

みよし市
福祉と介護についてのアンケート調査
調査結果報告書

令和8年3月
みよし市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 回収の結果	2
4 報告書の見方	2
II 調査の結果	3
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
（1）調査対象者について	3
（2）からだを動かすことについて	9
（3）食べることについて	13
（4）毎日の生活について	17
（5）地域での活動について	25
（6）就労について	29
（7）たすけあいについて	30
（8）健康について	34
（9）認知症について	41
（10）介護保険について	43
（11）高齢者施策について	45
（12）要介護リスクの状況について（一般高齢者）	49
2 在宅介護実態調査	59
（1）調査対象者について	59
（2）介護保険サービス等の利用について	65
（3）家族による介護等について	71
3 家庭介護者調査	74
（1）主な介護者について	74
（2）主な介護者の就労状況について	80
（3）介護についての困りごと等について	83
（4）その他について	88
4 若年者調査	91
（1）調査対象者について	91
（2）介護保険について	93
（3）健康について	96

（４）生活環境について	101
（５）生きがい・社会参加について	104
５ サービス提供事業者調査	107
（１）調査対象事業所について	107
（２）介護サービスの提供について	110
（３）人材確保について	114
（４）事業所運営の課題について	121
６ ケアマネジャー調査	128
（１）調査対象者について	128
（２）ケアプランの作成について	129
（３）高齢者施策について	134
（４）ケアマネジメント業務の課題について	139

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和 9（2027）年度から令和 11（2029）年度までの第 10 期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画の策定に向けて、市民の意見を把握し、事業計画がより実態に即したものとなるよう役立てる基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の設計

調査種別	対象者	抽出方法・ 標本サイズ	実施時期	調査方法
①介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	要介護の認定を受けていない 65 歳以上の市民（要支援認定者及び総合事業対象者を含む）	無作為抽出 1,585 人	令和 7 年 12 月 19 日 ～ 令和 8 年 1 月 9 日	郵送配布・ 郵送回収 ※①④は Web 回収、 ⑤⑥は E メール等を通じた配布・回収を、それぞれ含む
②在宅介護実態調査 ③家庭介護者調査 （一括して実施）	要介護等の認定を受けた市民のうち在宅で生活している市民及びその主な介護者である家族等	無作為抽出 772 人		
④若年者調査	要介護等の認定を受けていない 40～64 歳の市民	無作為抽出 897 人		
⑤サービス提供事業者 調査	本市でサービスを提供する介護サービス事業者	全数 157 件		
⑥ケアマネジャー調査	本市市民を対象としたケアマネジメントを行う居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャー	全数 76 人		

3 回収の結果

調査種別	標本 サイズ	有効回収数※ (うち Web 等回収)	有効回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,585	1,008 (103)	63.6%
②在宅介護実態調査 ③家庭介護者調査	772	381	49.4%
④若年者調査	897	433 (186)	48.3%
⑤サービス提供事業者調査	157	83 (39)	52.9%
⑥ケアマネジャー調査	76	60 (28)	78.9%

※有効回収数は、白票、介護施設入所者等（②）を除いたもの

4 報告書の見方

- (1) 本報告書では、前回調査（令和5年実施）で同様の設問があるものについては、原則として前回調査結果と今回調査結果を併載しています。両者の間に特記すべき差異が認められる場合には、本文中でコメントしています。
- (2) 割合（％）を算出する際の基数となる実数は、「件数（n）」として掲載しています。割合は、この件数を100％として算出しています。
- (3) 割合はすべて％で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、割合の合計が100.0％にならない場合があります。
- (4) 複数回答が可能な設問については、各項目を選択した人が回答者全体のうち何％かを示しています。このため、各項目の割合の合計は通常100％を超えます。
- (5) 本文中では、割合（％）については「高い・低い」、実数（件数等）については「多い・少ない」という表現を用いています。
- (6) 経年比較については、各項目の回答率（％）の増減そのものよりも、回答率が全項目の中でどの位置にあるかという順位の変化を重視してコメントしています。これは、項目間の相対的な位置づけの変化をわかりやすく示すためです。
- (7) 本報告書中の表・グラフ及び本文における回答選択肢は、本来の意味を損なわない範囲で一部省略して掲載している場合があります。
- (8) 集計表内に記載している件数以外の数値の単位は、すべて％です。

Ⅱ 調査の結果

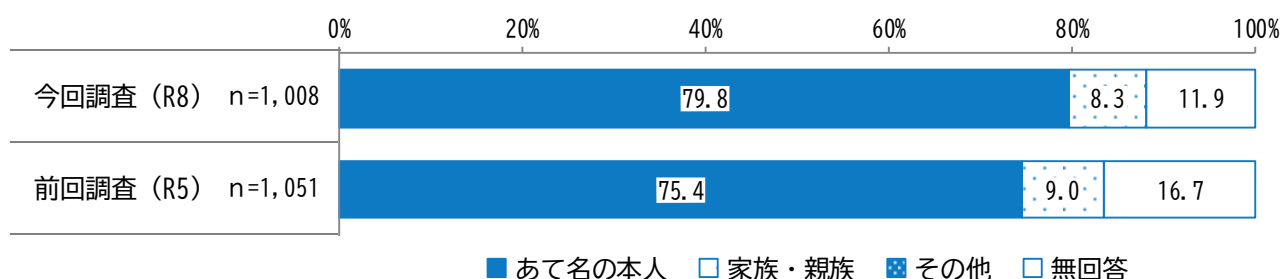
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 調査対象者について

1-1 回答者

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（○印は1つだけ）

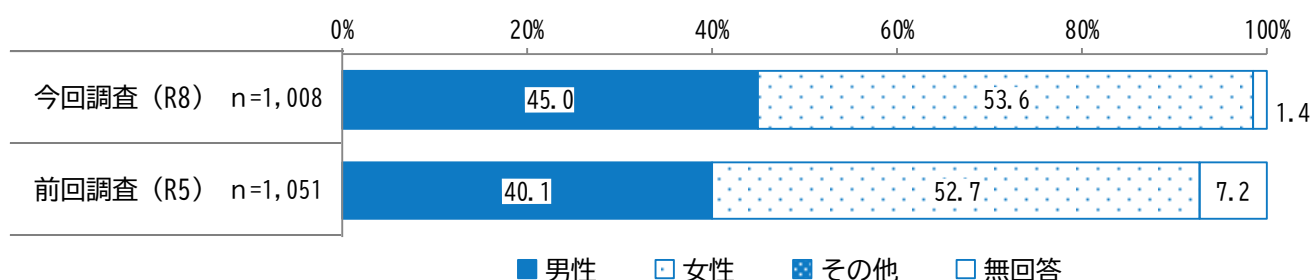
「本人」が79.8%、「家族・親族」が8.3%となっています。



1-2 性別

問1 あなたの性別をご回答ください。（○印は1つだけ）

「男性」が45.0%、「女性」が53.6%となっています。

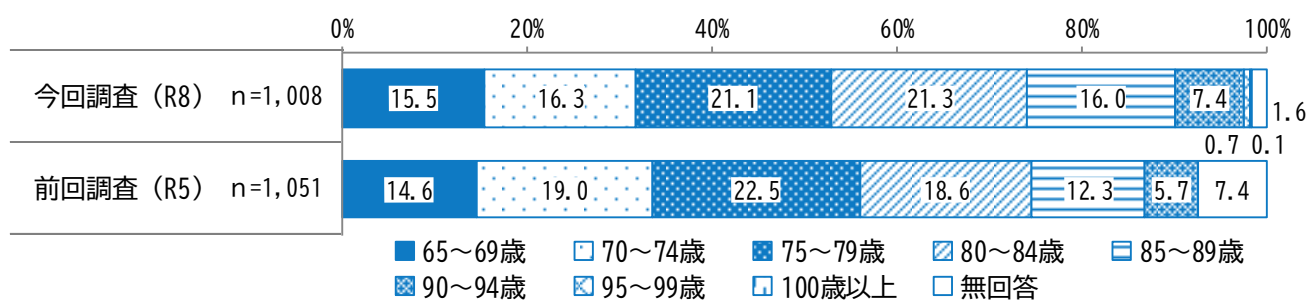


1-3 年齢

問2 あなたの年齢をご回答ください。（○印は1つだけ）

「80～84歳」（21.3%）、「75～79歳」（21.1%）が高くなっています。

前回調査と比べると、85歳以上の人の割合（18.0%→24.2%）が6.2ポイント上昇しています。



※前回調査では「90～94歳」は「90歳以上」。

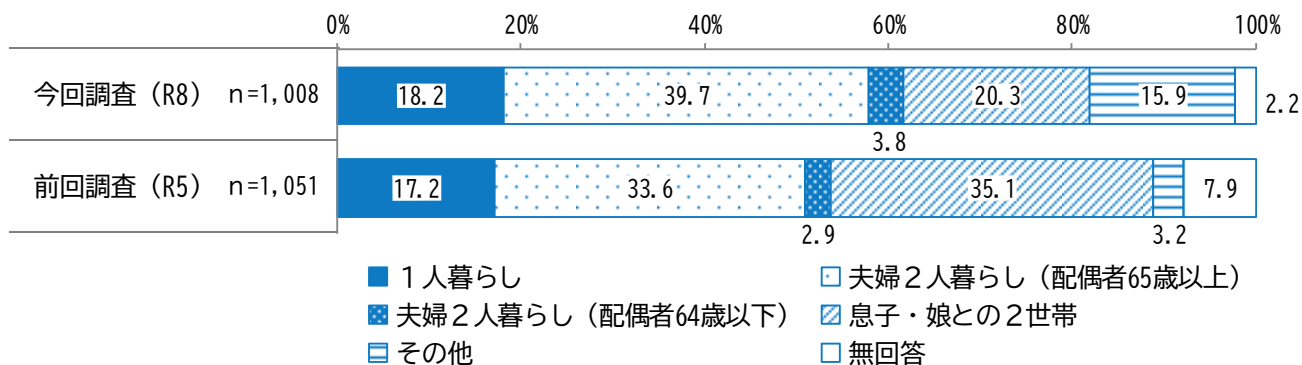
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1-4 家族構成

問3 あなたの家族構成について、ご回答ください。（○印は1つだけ）

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（39.7%）が最も高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高いほど「1人暮らし」の割合が概ね高くなっています。

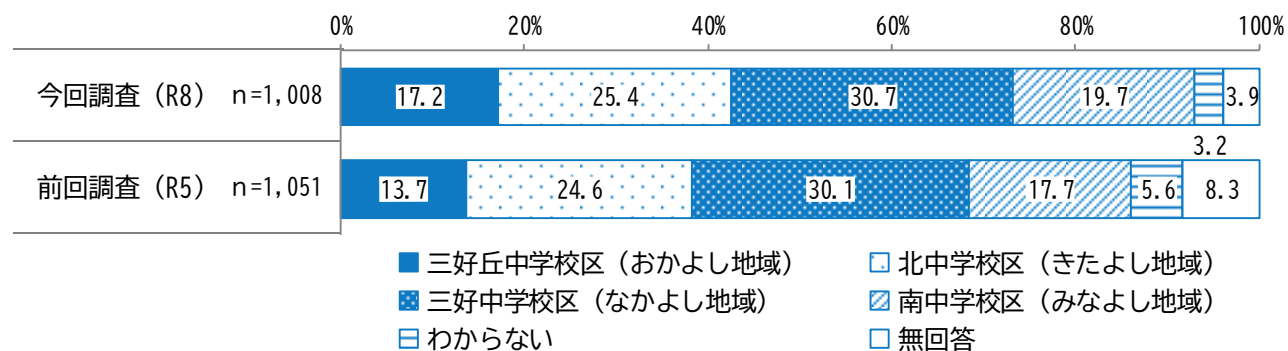


	件数	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全 体	1,008	18.2	2.9	39.7	20.3	15.9	2.2
65～69歳	156	7.7	37.2	17.3	12.8	25.0	-
70～74歳	164	12.8	49.4	2.4	20.7	14.0	0.6
75～79歳	213	16.9	48.8	0.5	22.1	10.8	0.9
80～84歳	215	23.3	40.5	1.4	22.8	11.6	0.5
85～89歳	161	23.0	32.9	0.6	23.0	19.3	1.2
90歳以上	83	32.5	18.1	1.2	21.7	22.9	3.6

1-5 中学校区

問4 あなたのお住まいの中学校区（地域）をご回答ください。（○印は1つだけ）

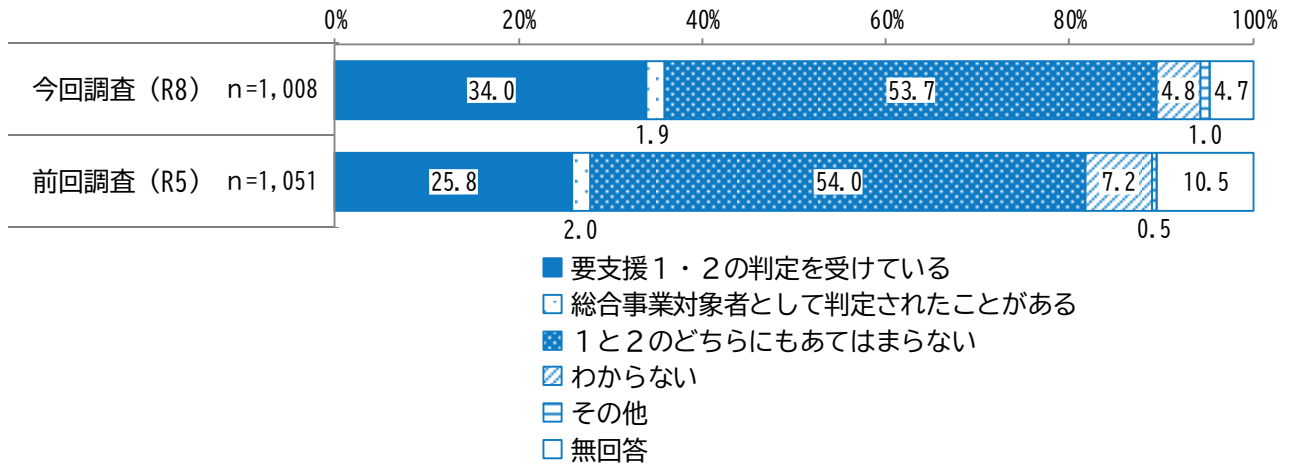
「三好中学校区（なかよし地域）」（30.7%）が最も高く、「三好丘中学校区（おかよし地域）」（17.2%）が最も低くなっています。



1-6 要支援の認定状況

問5 あなたは要支援1、要支援2の認定を受けていますか。受けていない場合、総合事業対象者として判定されたことがありますか。（○印は1つだけ）

「要支援1・2の判定を受けている」が34.0%、「総合事業対象者として判定されたことがある」が1.9%となっています。

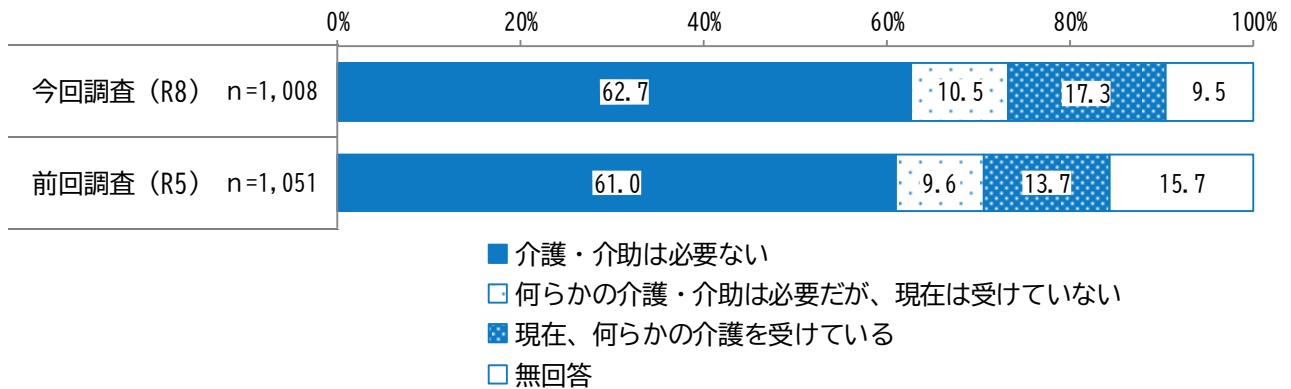


1-7 介護・介助の必要性

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○印は1つだけ）

「現在、何らかの介護を受けている」が17.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.5%となっています。

年齢別でみると、年齢が高いほど介護・介助が必要な人の割合が高くなっています。



	件数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	1,008	62.7	10.5	17.3	9.5
65～69歳	156	87.8	5.1	2.6	4.5
70～74歳	164	79.9	2.4	9.1	8.5
75～79歳	213	70.0	6.6	14.1	9.4
80～84歳	215	54.4	14.9	20.0	10.7
85～89歳	161	44.7	18.6	31.1	5.6
90歳以上	83	28.9	21.7	37.3	12.0

Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

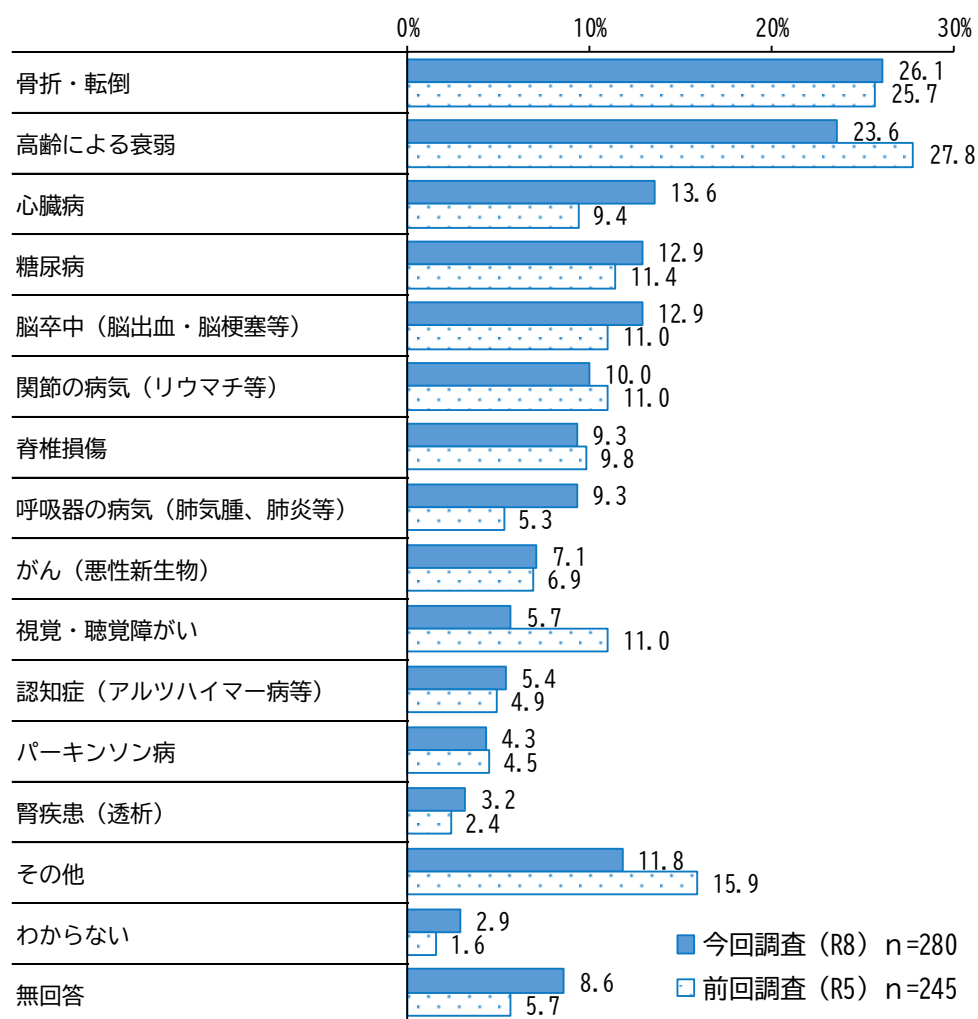
1-8 介護・介助が必要になった原因

問6において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を選択した人（介護が必要な人、介助を受けている人）のみ

問6-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（○印はいくつでも）

「骨折・転倒」（26.1%）が最も高く、次いで「高齢による衰弱」（23.6%）、「心臓病」（13.6%）となっています。

前回調査と比べると、「心臓病」「呼吸器の病気」が順位を上げています。



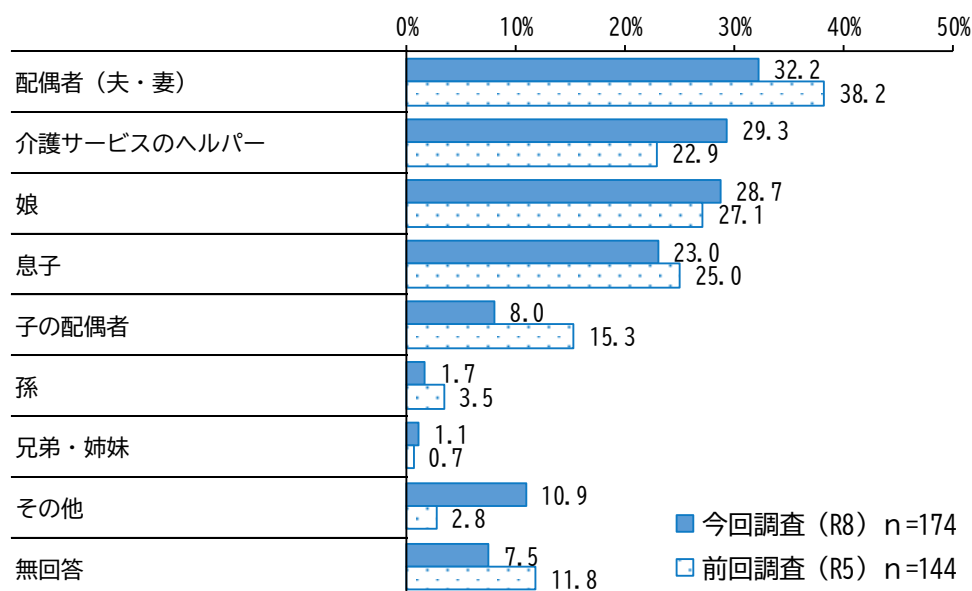
1-9 主な介護・介助者

問6において「現在、何らかの介護を受けている」を選択した人（介護・介助を受けている人）のみ

問6-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（○印はいくつでも）

「配偶者（夫・妻）」（32.2%）が最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」（29.3%）、「娘」（28.7%）となっています。

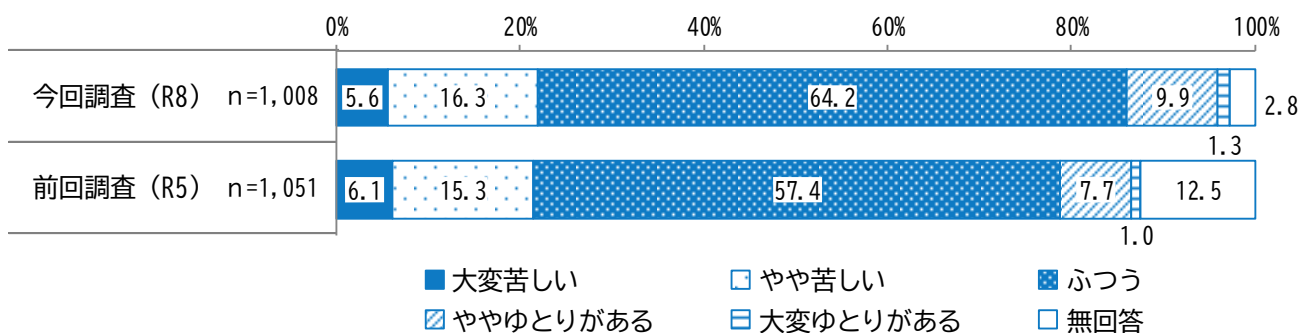
前回調査と比べると、「介護サービスのヘルパー」が順位を上げています。



1-10 経済的にみた現在の暮らしの状況

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○印は1つだけ）

「ふつう」（64.2%）が最も高く、『苦しい』（「大変苦しい」「やや苦しい」の計）は 21.9%、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」の計）は 11.2% となっています。

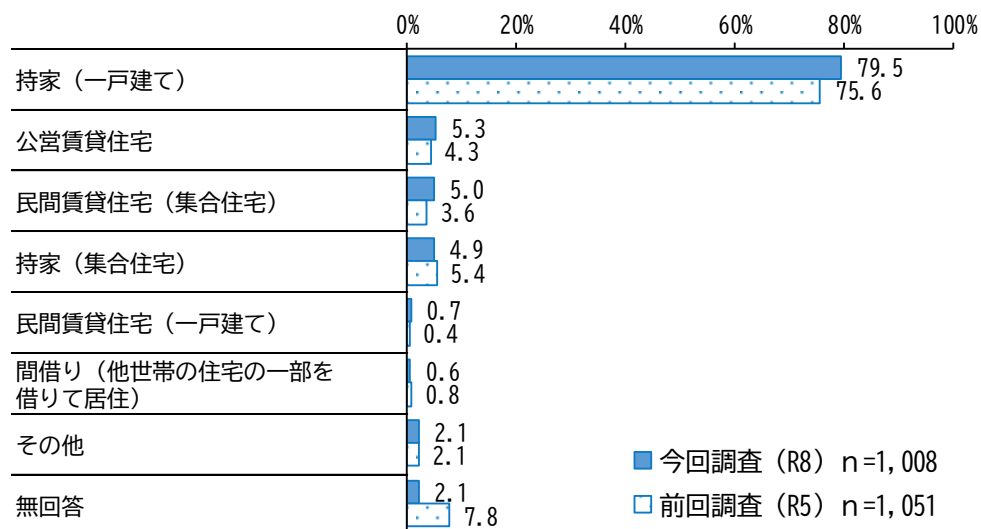


Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1-11 住居形態

問8 お住まいは次のどれにあたりますか。（○印は1つだけ）

「持家（一戸建て）」（79.5%）が最も高く、他の回答は1割未満となっています。



(2) からだを動かすことについて

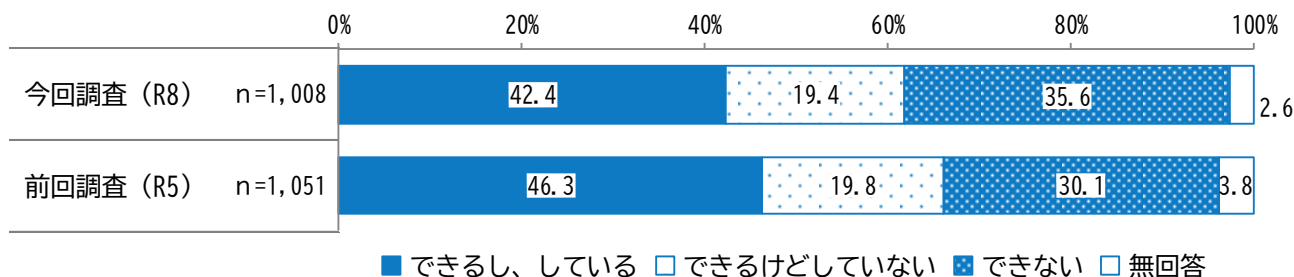
2-1 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

●からだを動かすことに関する以下の質問にお答えください。

(問1～問5、○印は各1つずつ)

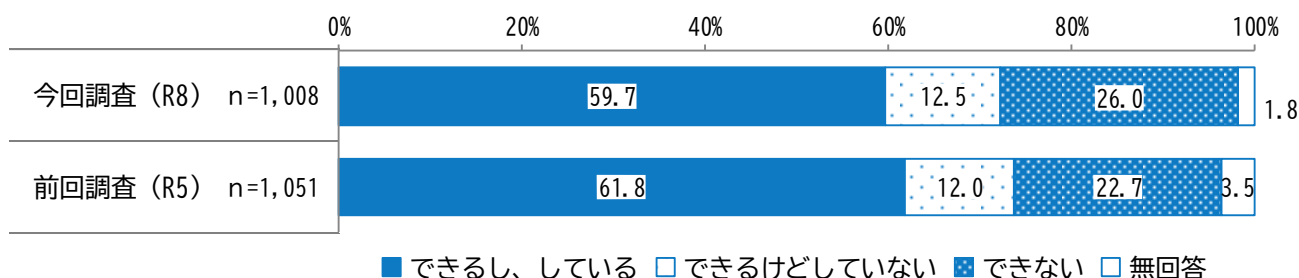
問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

「できない」が35.6%となっています。



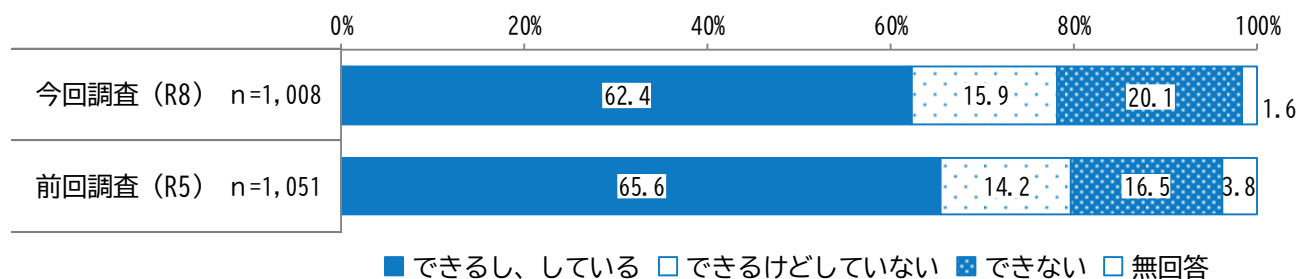
問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

「できない」が26.0%となっています。



問3 15分位続けて歩いていますか。

「できない」が20.1%となっています。



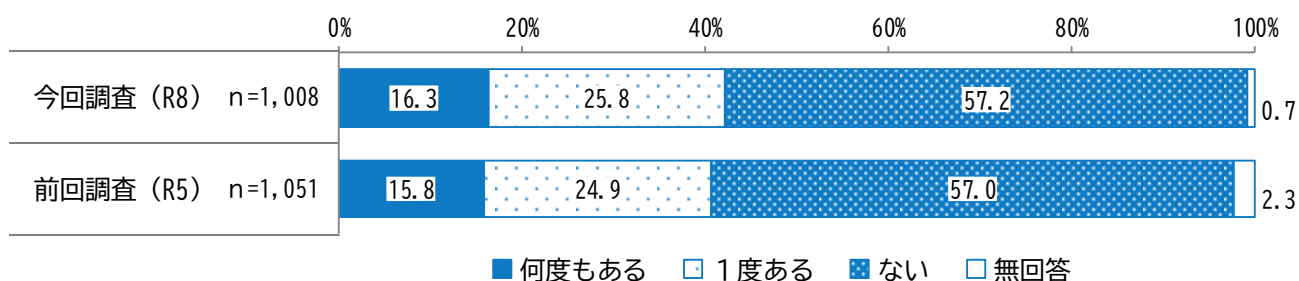
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

2-2 転倒について

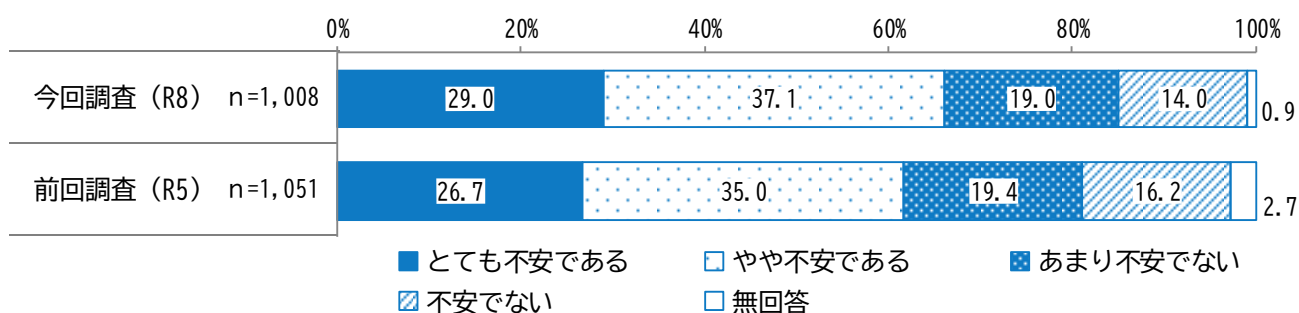
問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。

問5 転倒に対する不安は大きいですか。

過去1年間に転んだ経験が「何度もある」人は16.3%で、『ある』（「何度もある」「1度ある」の計）は42.1%となっています。



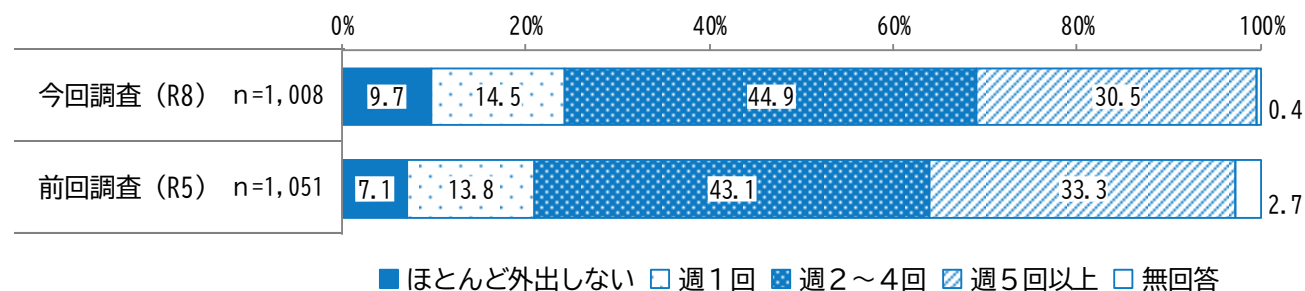
転倒に対する不安は、「やや不安である」（37.1%）が最も高く、『不安である』（「とても不安である」「やや不安である」の計）は66.1%となっています。



2-3 外出の頻度

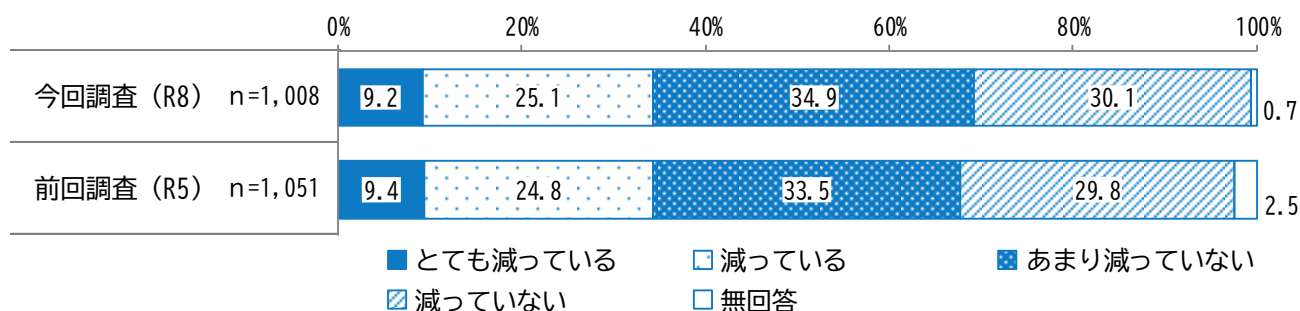
問6 週に1回以上は外出していますか。（○印は1つだけ）

外出の頻度は、「ほとんど外出しない」は9.7%となっており、『週1回以下』（「ほとんど外出しない」「週1回」の計）は24.2%となっています。



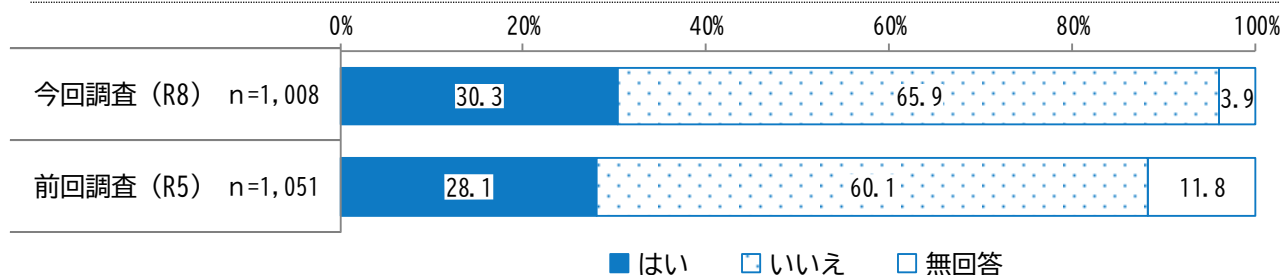
問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○印は1つだけ）

外出の回数が「とても減っている」は9.2%となっており、『減っている』（「とても減っている」「減っている」の計）は34.3%となっています。



問8 外出を控えていますか。（○印は1つだけ）

「はい」（外出を控えている）が30.3%となっています。

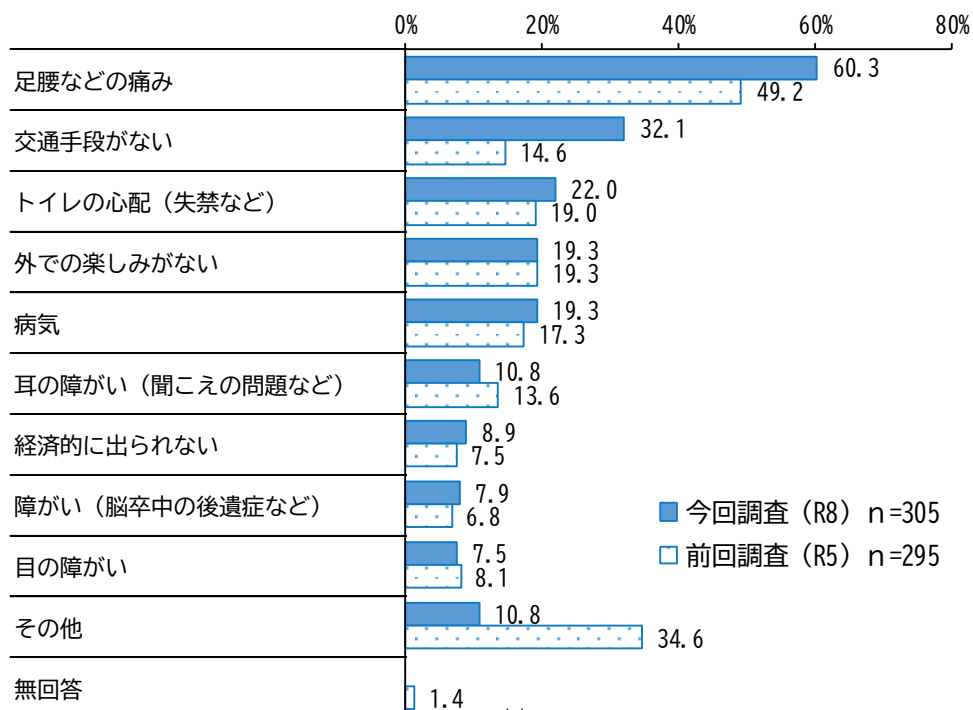


問8において「はい」を選択した人（外出を控えている人）のみ

問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（○印はいくつでも）

「足腰などの痛み」（60.3%）が最も高く、次いで「交通手段がない」（32.1%）、「トイレの心配（失禁など）」（22.0%）となっています。

前回調査と比べると、「交通手段がない」が順位を上げています。



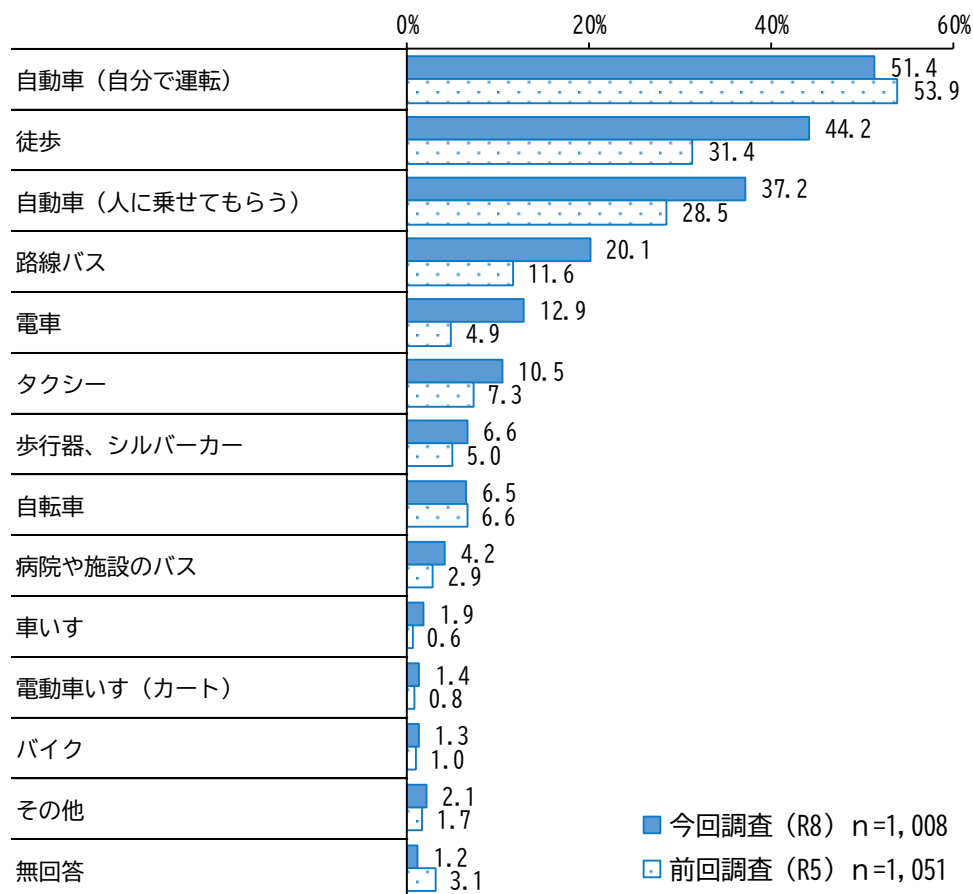
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域二エズ調査

2-4 外出する際の移動手段

問9 外出する際の移動手段は何ですか。（○印はいくつでも）

「自動車（自分で運転）」（51.4%）が最も高く、次いで「徒歩」（44.2%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（37.2%）、「路線バス」（20.1%）となっています。

地域別でみると、おかよし地域では「徒歩」や「電車」が高く、みなよし地域では「自動車」が高くなっています。



	件数	自動車 （自分で運転）	徒歩	自動車 （人に乗せてもらう）	路線バス	電車	タクシー	歩行器、 シルバーカー	自転車	病院や施設のバス	車いす	電動車いす （カート）	バイク	その他	無回答
全 体	1,008	51.4	44.2	37.2	20.1	12.9	10.5	6.6	6.5	4.2	1.9	1.4	1.3	2.1	1.2
おかよし地域	173	52.0	53.2	35.3	27.2	31.2	11.0	6.4	5.2	2.9	1.2	2.3	0.6	1.2	0.6
きたよし地域	256	55.5	45.3	32.4	21.1	16.4	10.2	3.5	6.3	3.5	2.3	1.2	2.0	1.2	1.2
なかよし地域	309	49.2	44.0	38.5	16.5	4.2	9.4	8.1	8.7	3.6	1.9	1.3	1.3	2.9	1.6
みなよし地域	199	55.8	39.2	44.2	17.6	7.0	9.5	5.0	4.5	5.5	2.0	0.5	0.5	2.5	1.0

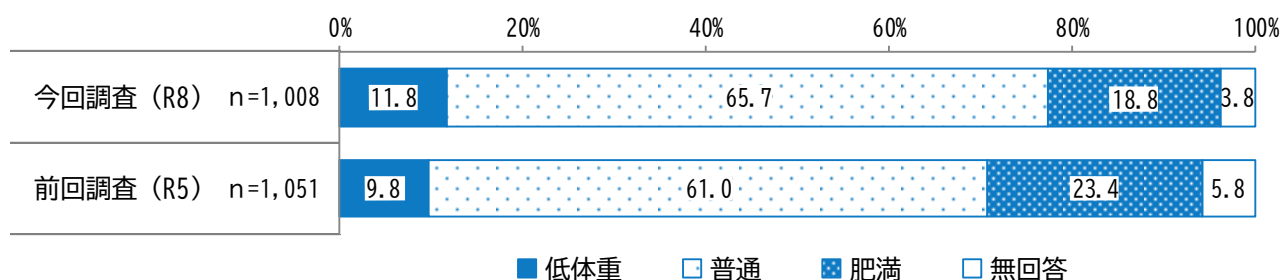
(3) 食べることにについて

3-1 BMI 判定の状況

問1 あなたの現在の身長・体重を記入してください。

身長と体重からBMI値※を計算すると、「低体重」の状態であるBMI=18.5未満の人は11.8%となっています。

※BMI (Body Mass Index) は、体重kg/(身長×身長)mで計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会では18.5未満をやせすぎ、25.0以上を肥満としています。

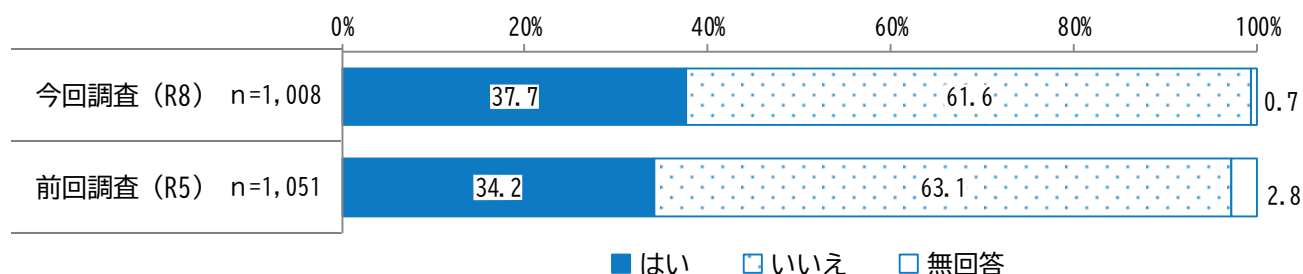


3-2 口腔機能について

●食べることに関する以下の質問にお答えください。(問2～問8、○印は各1つずつ)

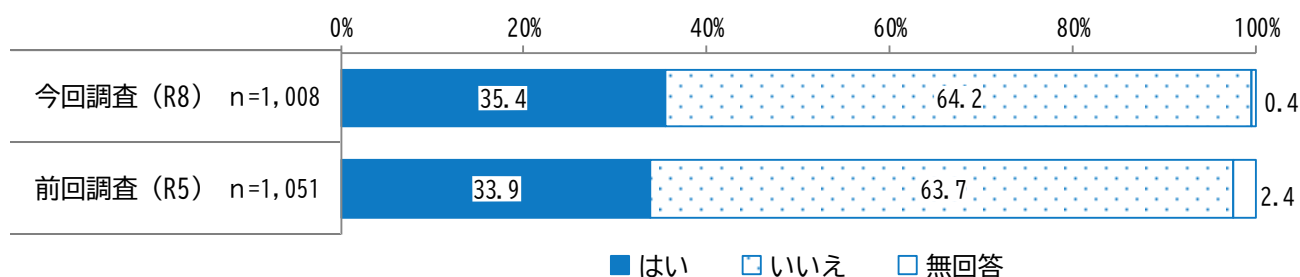
問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

「はい」(半年前に比べて固いものが食べにくくなった)が37.7%となっています。



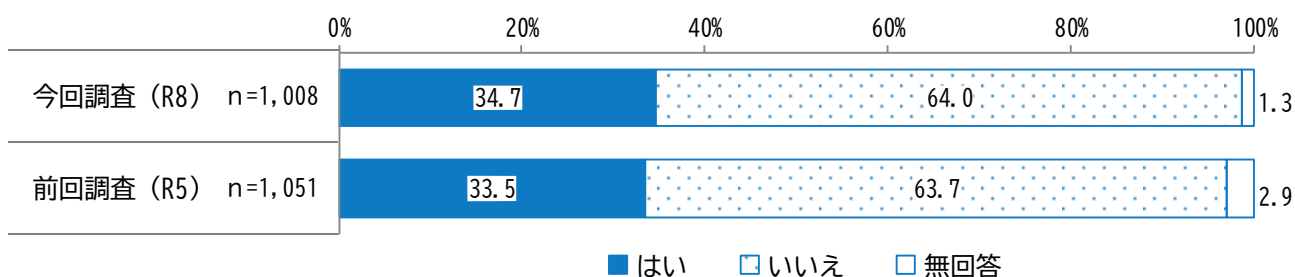
問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。

「はい」(お茶や汁物等でむせることがある)が35.4%となっています。



問4 口の渇きが気になりますか。

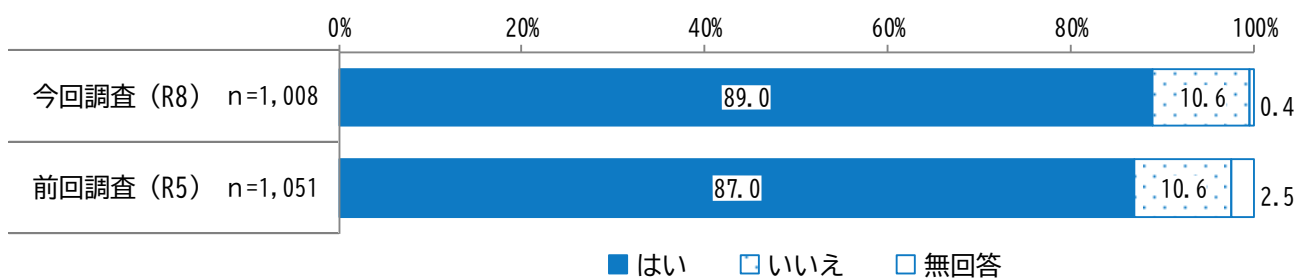
「はい」(口の渇きが気になる)が34.7%となっています。



3-3 歯の健康管理について

問5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。

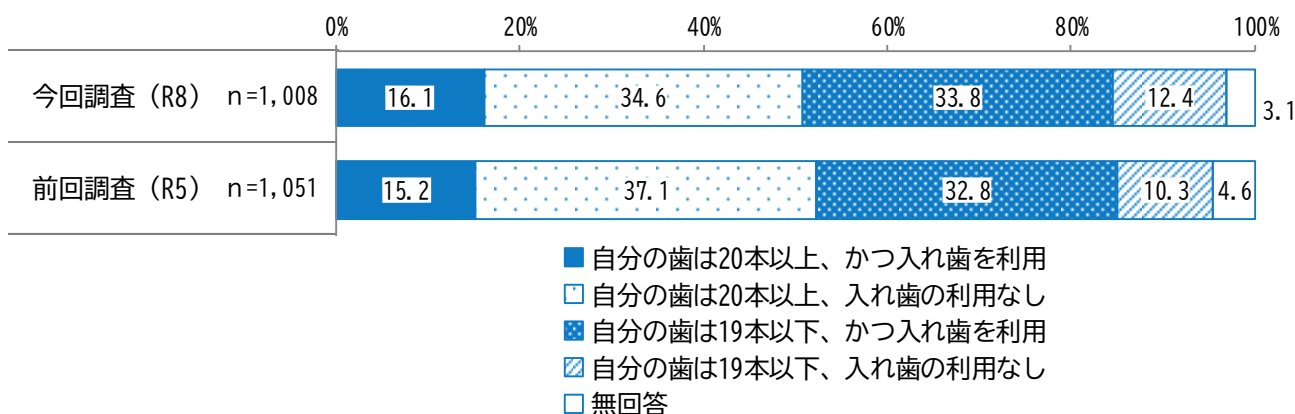
「いいえ」(歯磨きを毎日していない)が10.6%となっています。



問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

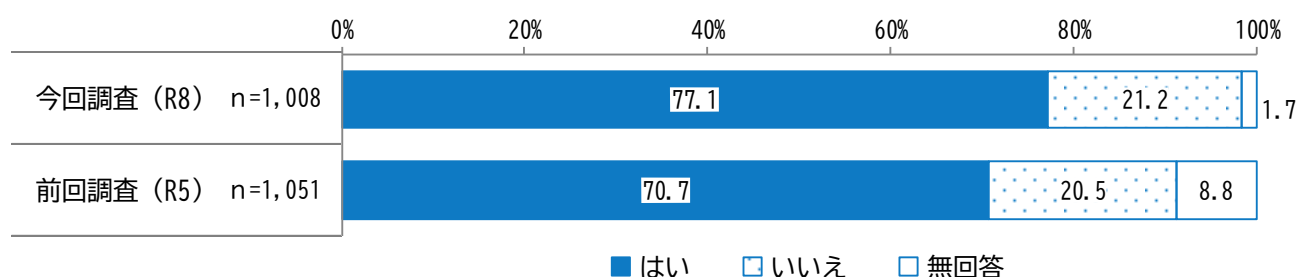
歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(34.6%)が最も高く、『入れ歯を利用』(「入れ歯を利用」している割合の計)は49.9%、『歯は20本以上』(「自分の歯は20本以上」の割合の計)は50.7%となっています。



問6-1 噛み合わせは良いですか。

「いいえ」(噛み合わせが良くない)が21.2%となっています。

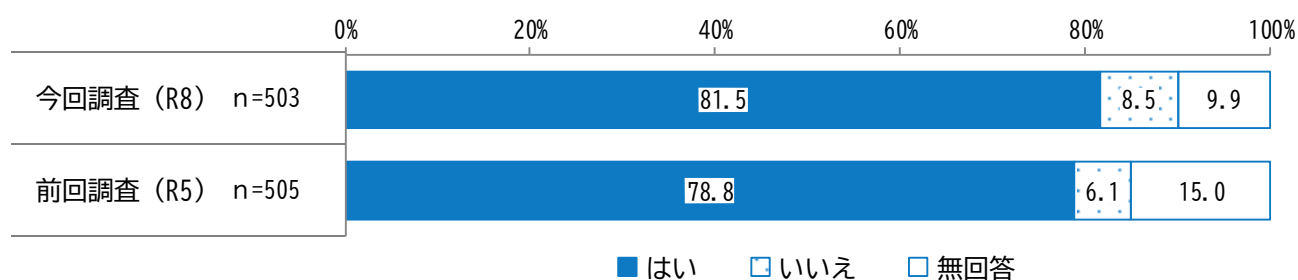
前回調査と比べると、「はい」(噛み合わせが良い)が6.4ポイント上昇しています。



問6で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した人(入れ歯を利用している人)のみ

問6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

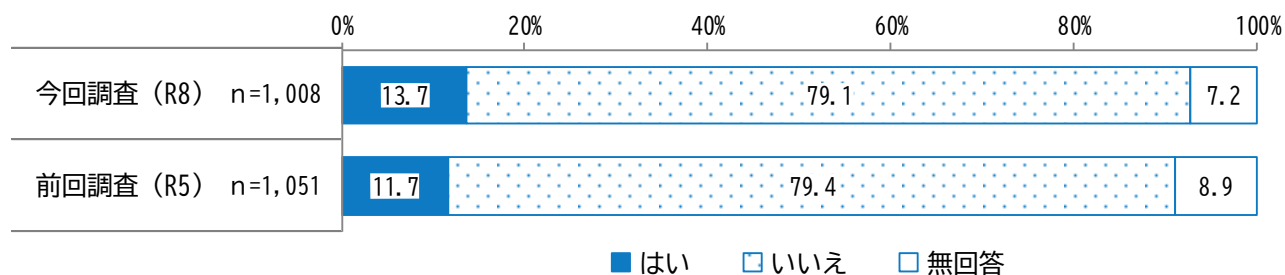
「いいえ」(毎日入れ歯の手入れをしていない)が8.5%となっています。



3-4 急な体重減少の有無

問7 最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

「はい」(最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があった)が13.7%となっています。



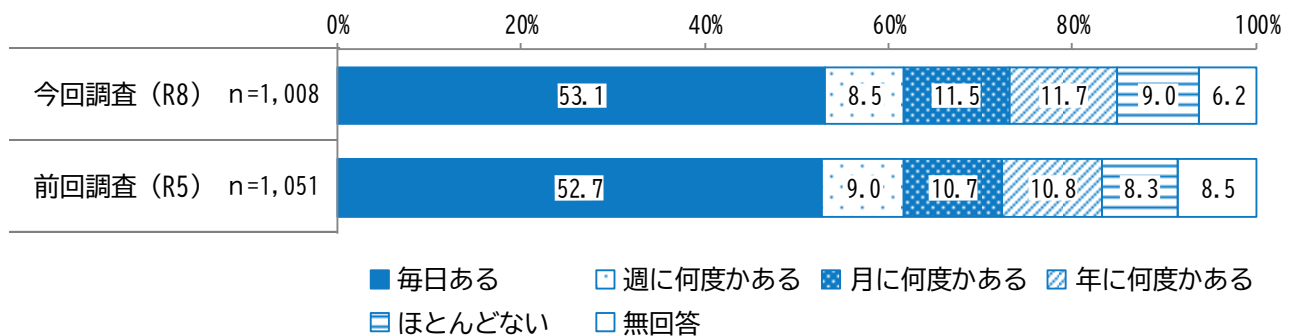
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

3-5 共食の状況

問8 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

「毎日ある」(53.1%)が最も高く、「ほとんどない」は9.0%となっています。

家族構成別でみると、1人暮らしでの「ほとんどない」は19.1%となっています。



	件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1,008	53.1	8.5	11.5	11.7	9.0	6.2
1人暮らし	183	6.0	18.6	25.7	24.6	19.1	6.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	400	65.3	4.0	8.0	10.3	5.8	6.8
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	38	78.9	7.9	-	5.3	2.6	5.3
息子・娘との2世帯	205	58.0	8.3	11.2	8.8	8.8	4.9
その他	160	66.9	8.8	6.3	6.9	6.3	5.0

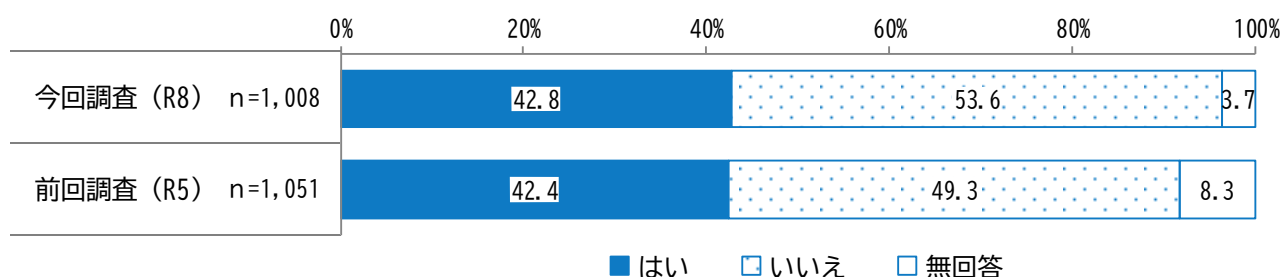
(4) 毎日の生活について

4-1 物忘れ等について

●毎日の生活に関する以下の質問にお答えください。(問1～問18、○印は各1つずつ)

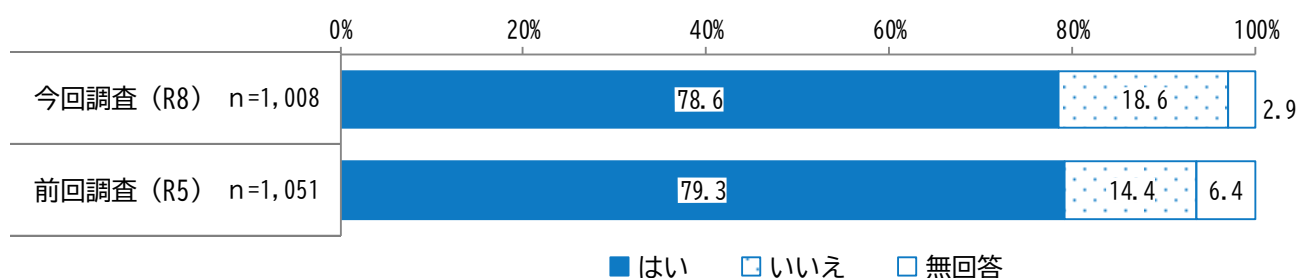
問1 物忘れが多いと感じますか。

「はい」(物忘れが多いと感じる)が42.8%となっています。



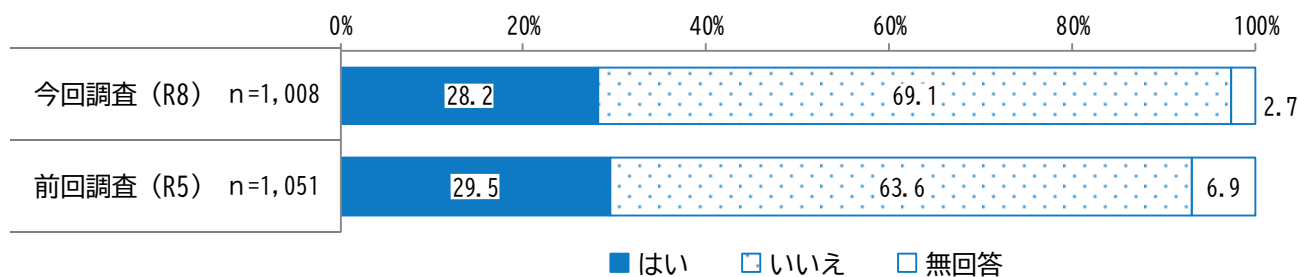
問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

「いいえ」(自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていない)が18.6%となっています。



問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

「はい」(今日が何月何日かわからない時がある)が28.2%となっています。

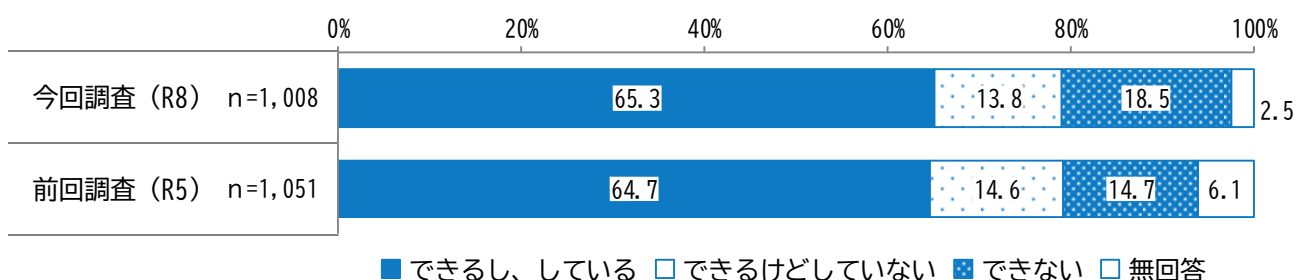


Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

4-2 I ADL（手段的日常生活動作）について

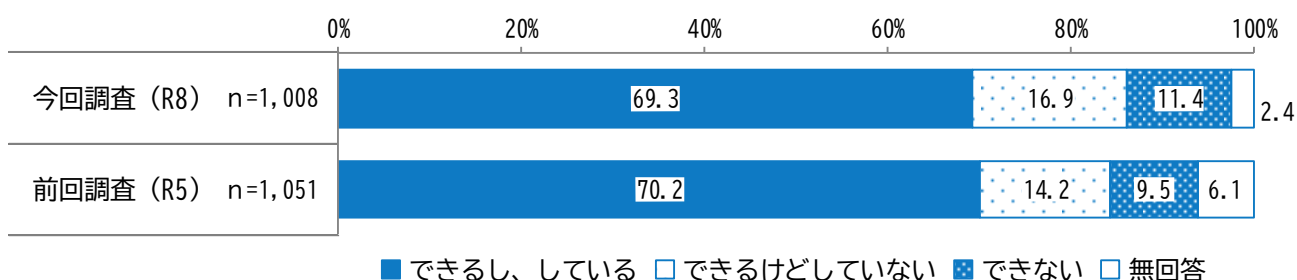
問4 バスや電車、自家用車を使って1人で外出していますか。

「できない」が18.5%となっています。



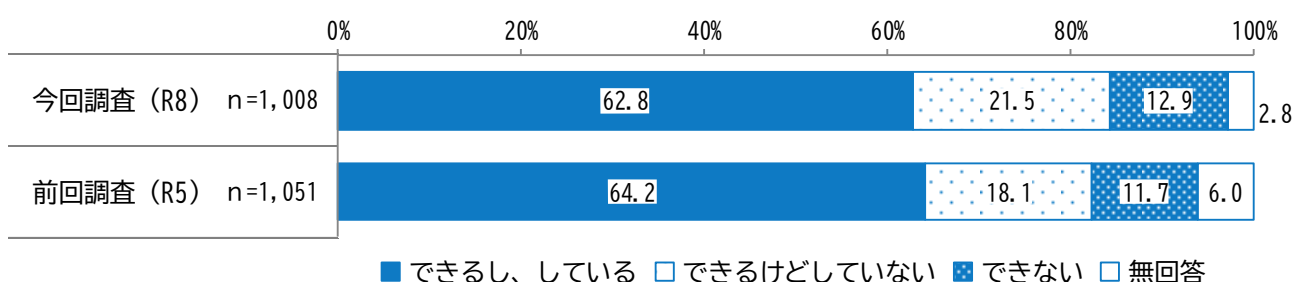
問5 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

「できない」が11.4%となっています。



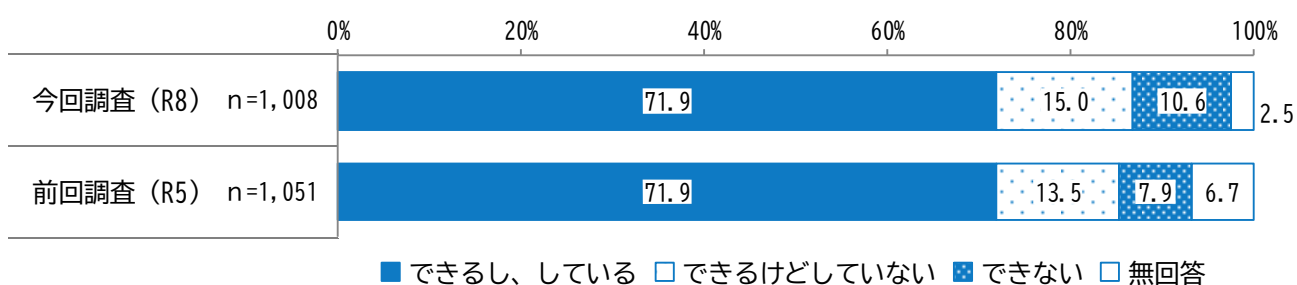
問6 自分で食事の用意をしていますか。

「できない」が12.9%となっています。



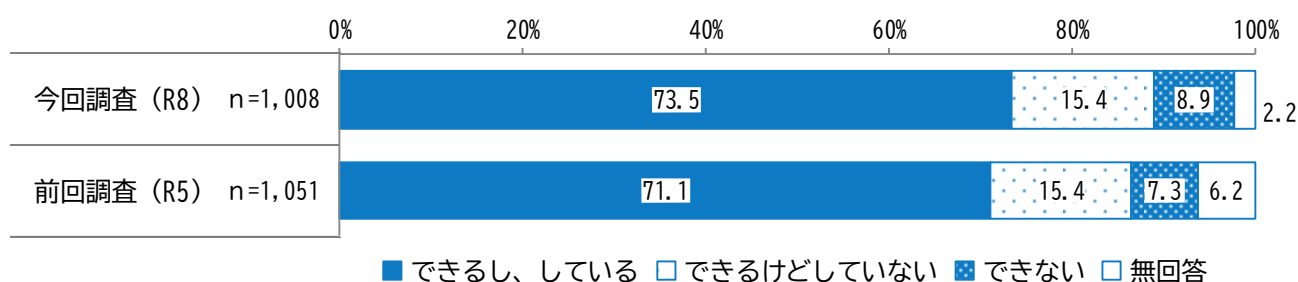
問7 自分で請求書の支払いをしていますか。

「できない」が10.6%となっています。



問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

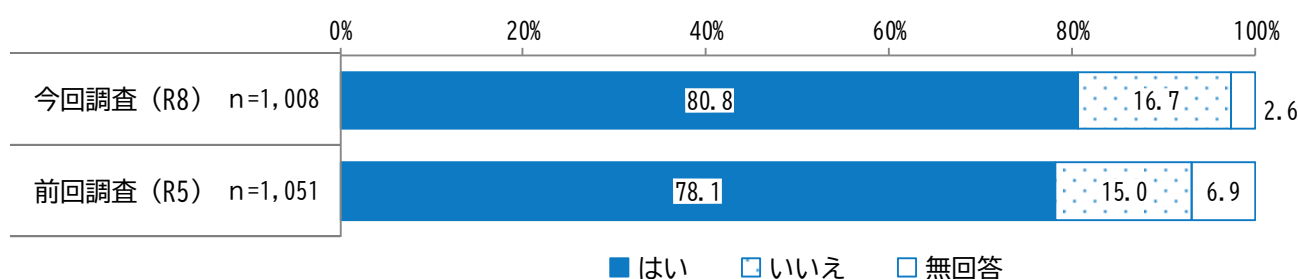
「できない」が8.9%となっています。



4-3 知的能動性や社会的役割について

問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

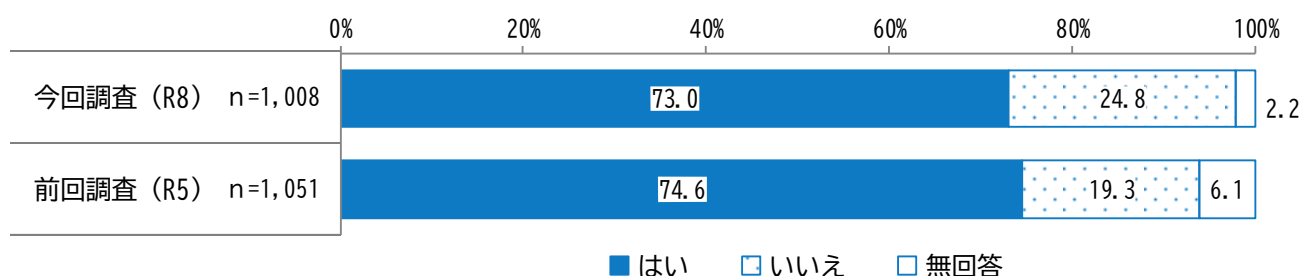
「いいえ」（年金などの書類が書けない）が16.7%となっています。



問10 新聞を読んでいますか。

「いいえ」（新聞を読んでいる）が24.8%となっています。

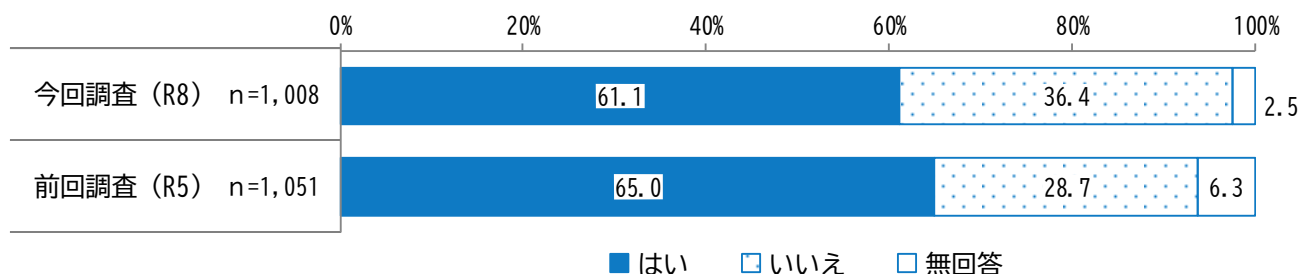
前回調査と比べると、「いいえ」が5.5ポイント上昇しています。



Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

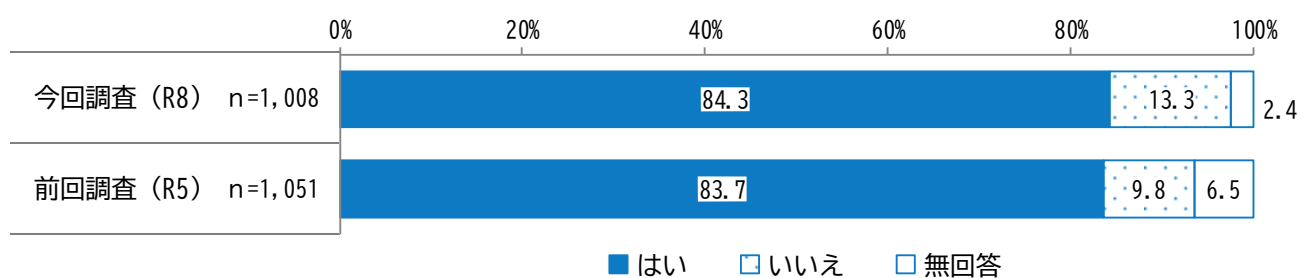
問11 本や雑誌を読んでいますか。

「いいえ」(本や雑誌を読んでいない)が36.4%となっています。
 前回調査と比べると、「いいえ」が7.7ポイント上昇しています。



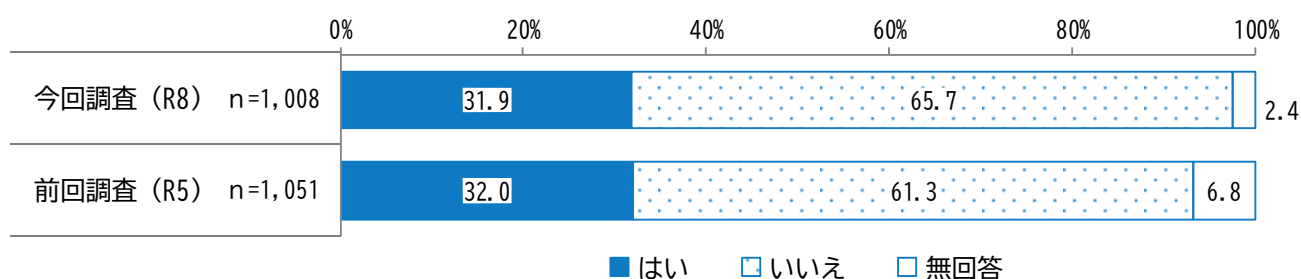
問12 健康についての記事や番組に関心がありますか。

「いいえ」(健康についての記事や番組に関心がない)が13.3%となっています。



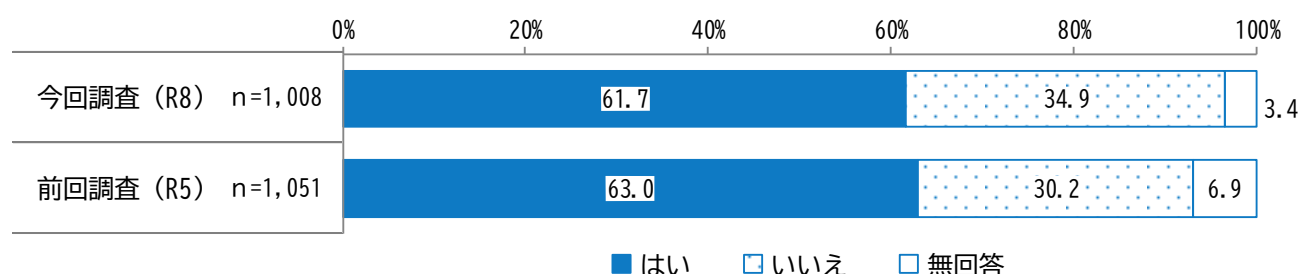
問13 友人の家を訪ねていますか。

「いいえ」(友人の家を訪ねていない)が65.7%となっています。
 前回調査と比べると、「いいえ」が4.4ポイント上昇しています。



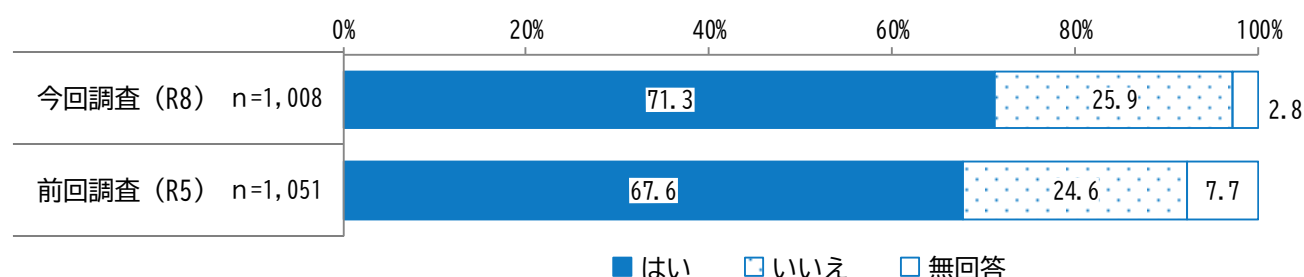
問14 家族や友人の相談にのっていますか。

「いいえ」(家族や友人の相談にのっていない)が34.9%となっています。
 前回調査と比べると、「いいえ」が4.7ポイント上昇しています。



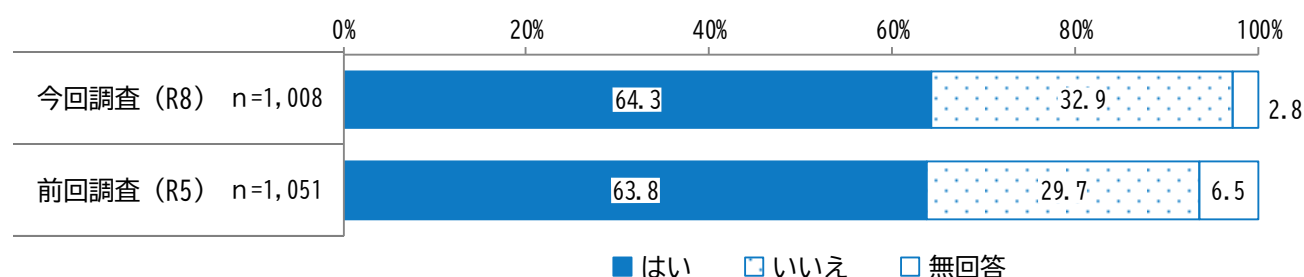
問15 病人を見舞うことができますか。

「いいえ」(病人を見舞うことができない)が25.9%となっています。



問16 若い人に自分から話しかけることがありますか。

「いいえ」(若い人に自分から話しかけることがない)が32.9%となっています。



Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

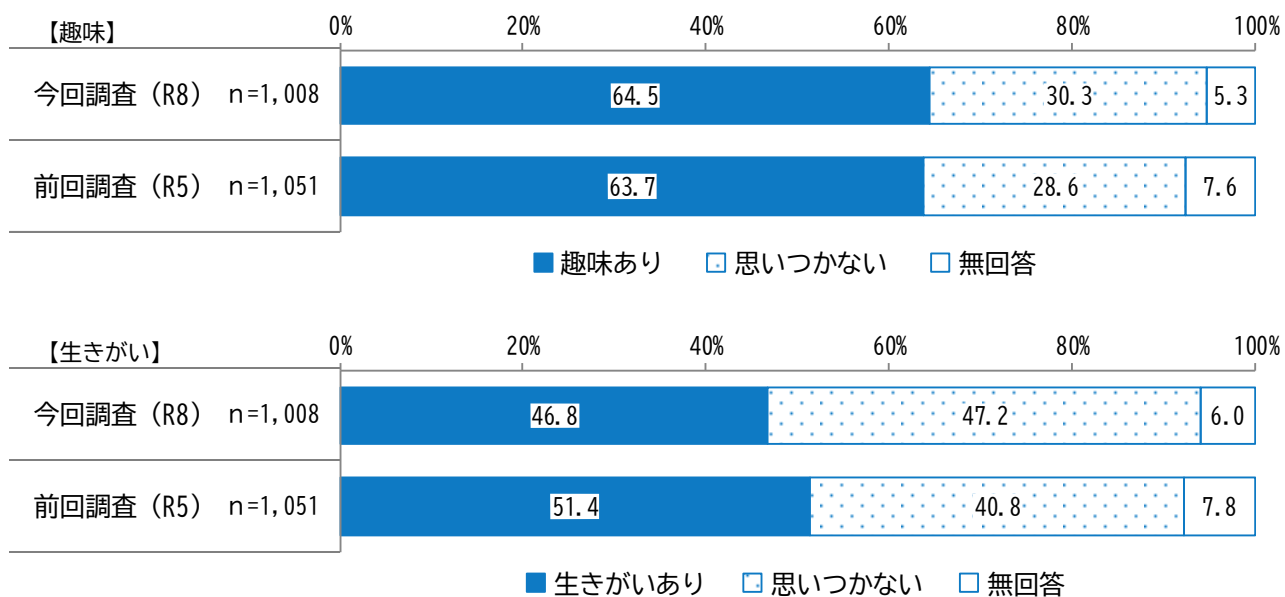
4-4 趣味・生きがいについて

問17 趣味はありますか。

問18 生きがいはありますか。

「趣味あり」が 64.5%、「生きがいあり」が 46.8%となっています。

前回調査と比べると、生きがいについて、前回調査では「生きがいあり」が「思いつかない」を上回っていましたが、本調査では「思いつかない」(47.2%)が「生きがいあり」(46.8%)を上回っています。

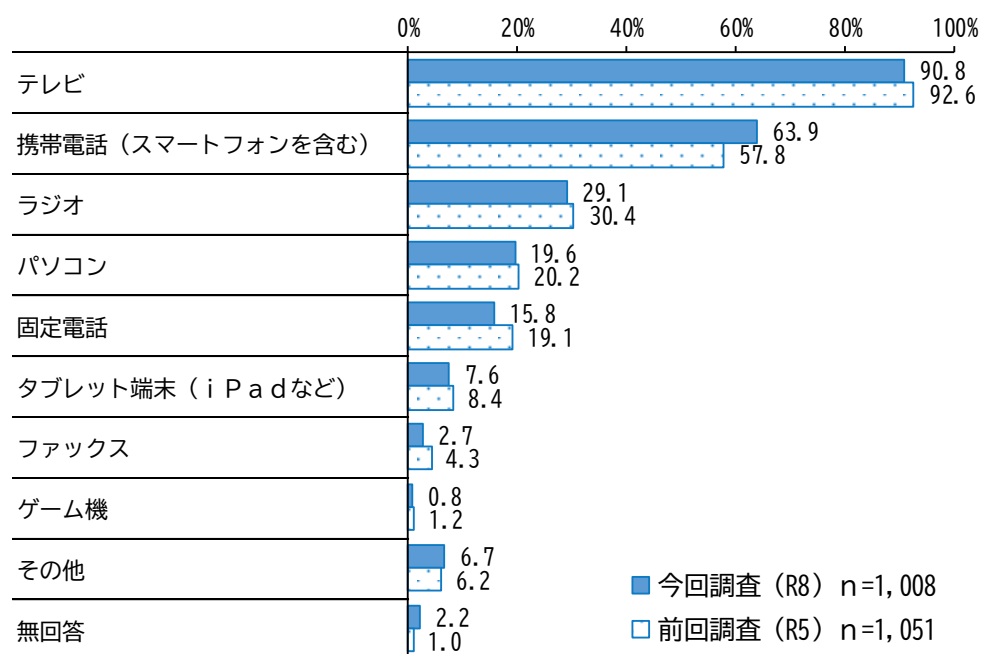


4-5 情報通信機器の利用について

問19 あなたが、情報収集や情報伝達のために、ふだん、利用している情報通信機器はどれですか。（○印はいくつでも）

利用している情報通信機器は、「テレビ」（90.8%）が最も高く、次いで「携帯電話（スマートフォンを含む）」（63.9%）、「ラジオ」（29.1%）となっています。

年齢別でみると、年齢が高いほど「携帯電話」「パソコン」「タブレット端末」が低く、「固定電話」が高くなっています。



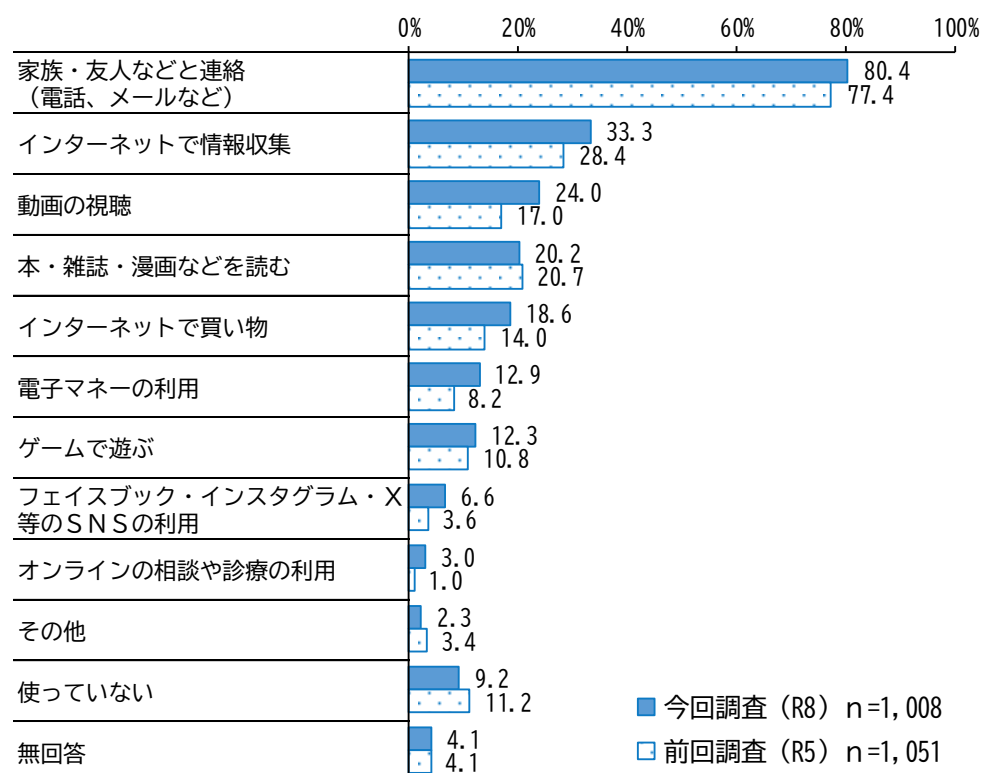
	件数	テレビ	携帯電話（スマートフォンを含む）	ラジオ	パソコン	固定電話	タブレット端末（iPadなど）	ファックス	ゲーム機	その他	無回答
全体	1,008	90.8	63.9	29.1	19.6	15.8	7.6	2.7	0.8	6.7	2.2
65～69歳	156	90.4	90.4	30.8	39.7	6.4	16.7	2.6	0.6	5.1	0.6
70～74歳	164	87.8	80.5	22.6	27.4	10.4	11.6	1.2	1.8	5.5	2.4
75～79歳	213	91.5	66.2	31.5	17.4	11.7	7.0	4.2	1.4	7.5	3.3
80～84歳	215	91.6	59.1	34.4	14.0	20.5	5.1	2.8	-	6.0	1.9
85～89歳	161	93.2	43.5	27.3	11.2	21.7	1.9	0.6	0.6	10.6	0.6
90歳以上	83	91.6	33.7	24.1	4.8	28.9	3.6	4.8	-	6.0	4.8

Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問20 あなたは、情報通信機器を使って、どのようなことをされますか。（○印はいくつでも）

情報通信機器の利用の内容は、「家族・友人などと連絡（電話、メールなど）」（80.4%）が最も高く、次いで「インターネットで情報収集」（33.3%）、「動画の視聴」（24.0%）となっています。

年齢別でみると、「本・雑誌・漫画などを読む」「その他」「使っていない」を除くすべての項目で、年齢が高いほど割合が概ね低くなっています。



	件数	家族・友人などと連絡（電話、メールなど）	インターネットで情報収集	動画の視聴	本・雑誌・漫画などを読む	インターネットで買い物	電子マネーの利用	ゲームで遊ぶ	フェイスブック・インスタグラム・X等のSNSの利用	オンラインの相談や診療の利用	その他	使っていない	無回答
全 体	1,008	80.4	33.3	24.0	20.2	18.6	12.9	12.3	6.6	3.0	2.3	9.2	4.1
65～69歳	156	95.5	78.8	55.8	21.2	51.3	34.6	26.9	19.9	4.5	1.9	0.6	0.6
70～74歳	164	88.4	48.2	36.6	23.2	30.5	23.2	23.2	10.4	4.9	1.2	2.4	1.8
75～79歳	213	84.0	29.1	22.1	16.0	12.2	11.3	10.3	4.7	4.2	2.3	8.5	2.3
80～84歳	215	75.3	20.5	11.6	20.9	7.9	4.7	5.1	3.3	1.4	2.8	10.7	6.0
85～89歳	161	70.2	11.8	9.9	23.6	6.2	1.9	2.5	-	-	1.9	13.7	6.8
90歳以上	83	61.4	6.0	3.6	18.1	3.6	-	4.8	1.2	2.4	4.8	27.7	6.0

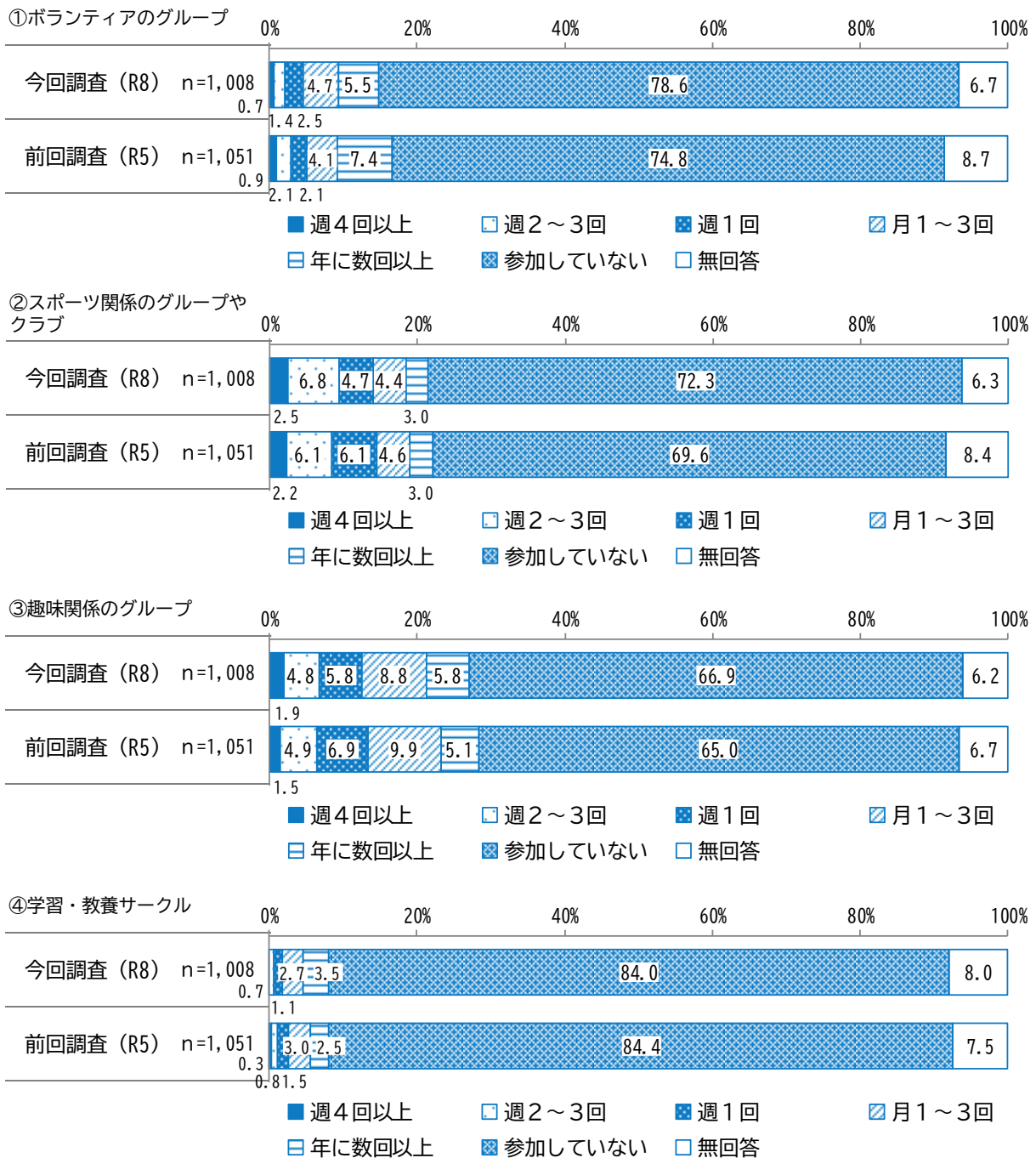
(5) 地域での活動について

5-1 社会参加活動への参加頻度

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(○印は①～⑧について各1つずつ)

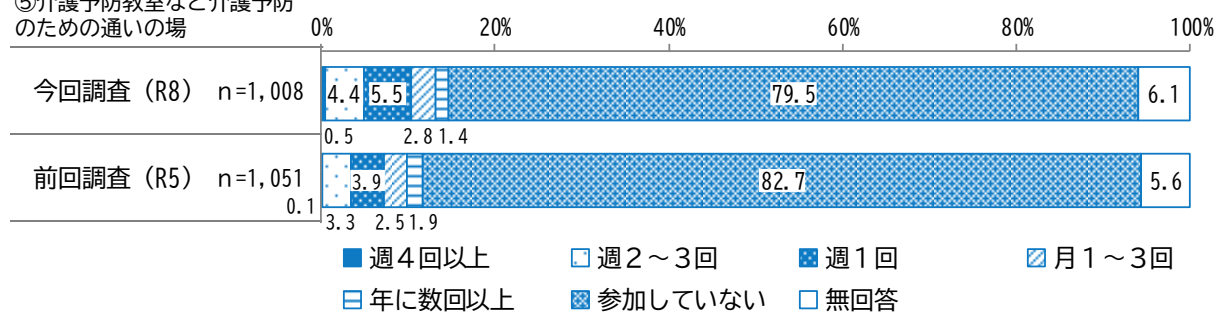
『参加している』(「週4回以上」～「年に数回以上」の計)は「趣味関係のグループ」(27.1%)で最も高く、次いで「行政区の集まり」(23.1%)、「収入のある仕事」(22.1%)となっています。また、「介護予防教室など介護予防のための通いの場」では『参加している』は14.6%となっています。

前回調査と比べると、『参加している』は「介護予防のための通いの場」(11.7%→14.6%)で2.9ポイント、「行政区の集まり」(18.8%→23.1%)で4.3ポイント、それぞれ上昇しています。

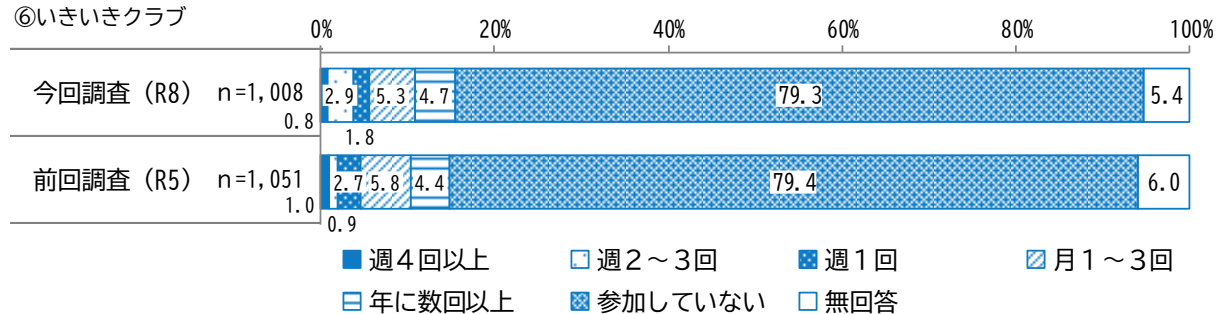


Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

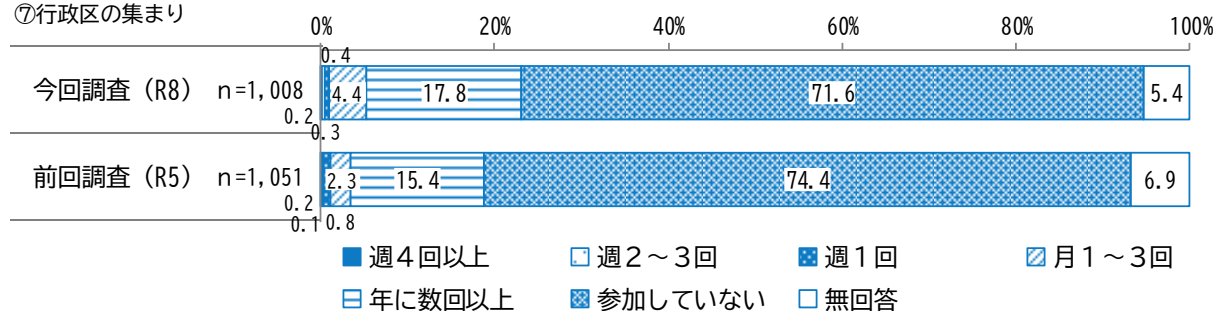
⑤介護予防教室など介護予防のための通いの場



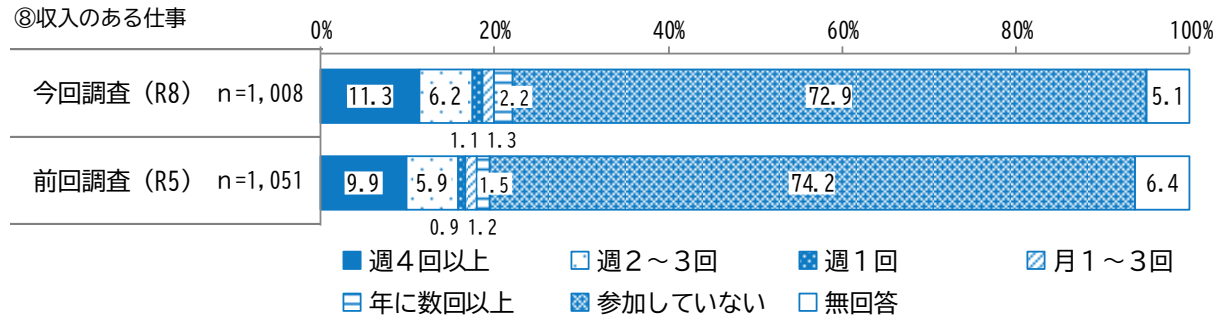
⑥いきいきクラブ



⑦行政区の集まり



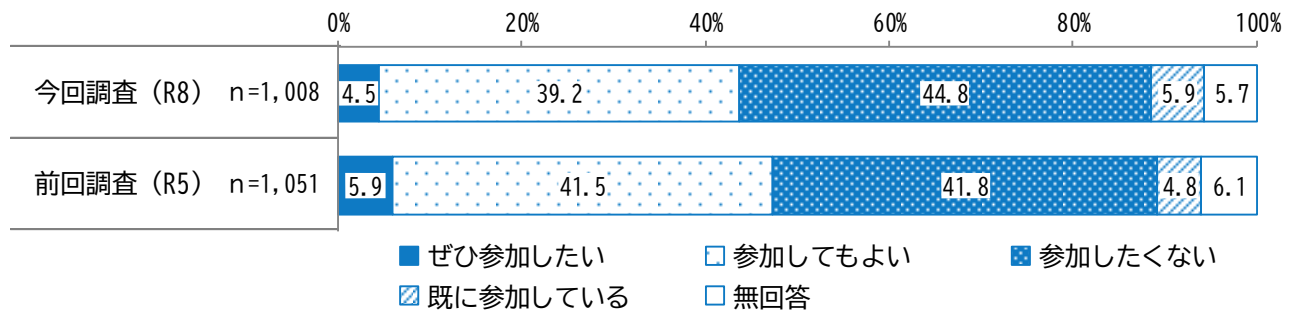
⑧収入のある仕事



5-2 地域づくりへの参加意向

問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○印は1つだけ）

地域住民による健康づくり活動への参加者としての参加意向については、『参加意向がある』（「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の計）が49.6%、「参加したくない」が44.8%となっています。



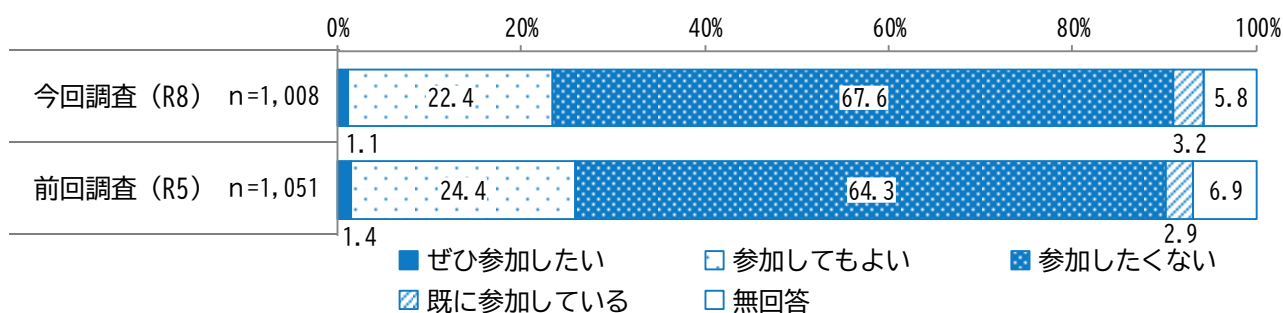
年齢別でみると、年齢が高いほど『参加意向がある』は概ね低く、65～69歳では64.1%、90歳以上では31.3%となっています。

	件数	た ぜ い ひ 参 加 し	よ 参 加 し て も	な 参 加 し た く	て 既 に 参 加 し	無 回 答
全 体	1,008	4.5	39.2	44.8	5.9	5.7
65～69歳	156	3.8	57.7	34.6	2.6	1.3
70～74歳	164	4.3	40.2	46.3	6.7	2.4
75～79歳	213	4.7	39.4	46.9	4.2	4.7
80～84歳	215	4.7	36.7	41.4	7.9	9.3
85～89歳	161	6.2	30.4	45.3	8.7	9.3
90歳以上	83	2.4	25.3	62.7	3.6	6.0

Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○印は1つだけ）

地域住民による健康づくり活動への企画・運営としての参加意向については、『参加意向がある』（「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の計）が26.7%、「参加したくない」が67.6%となっています。



年齢別でみると、『参加意向がある』は70～74歳（31.7%）で最も高く、90歳以上（20.5%）で最も低くなっています。

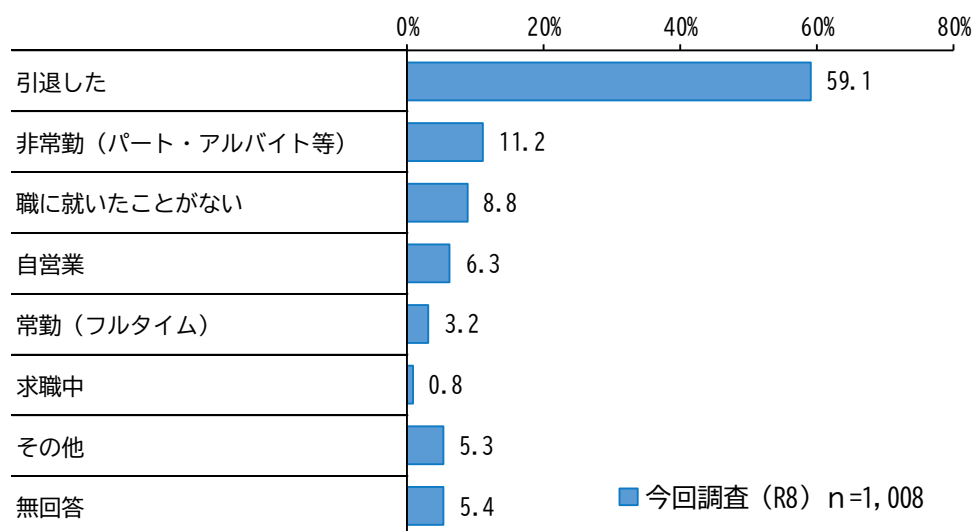
	件数	た ぜ い ひ 参 加 し	よ 参 加 し て も	な 参 加 し た く	て 既 に る 参 加 し	無 回 答
全 体	1,008	1.1	22.4	67.6	3.2	5.8
65～69歳	156	0.6	25.6	70.5	1.9	1.3
70～74歳	164	0.6	27.4	64.6	3.7	3.7
75～79歳	213	0.5	24.4	68.1	2.8	4.2
80～84歳	215	1.9	20.5	65.1	3.3	9.3
85～89歳	161	1.9	17.4	69.6	3.7	7.5
90歳以上	83	1.2	15.7	71.1	3.6	8.4

(6) 就労について

6-1 現在の就労状態

問1 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○印はいくつでも)

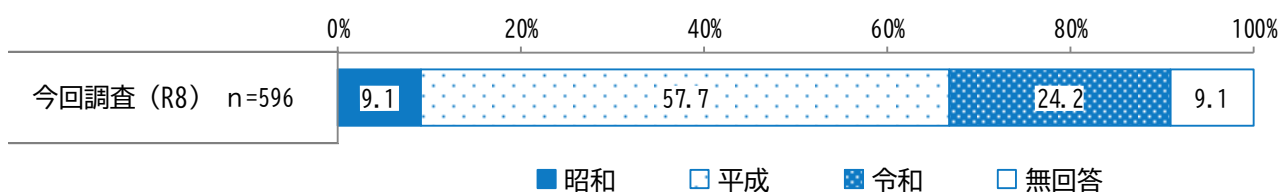
現在の就労状態については、「引退した」(59.1%)が最も高く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」(11.2%)、「職に就いたことがない」(8.8%)、「自営業」(6.3%)となっています。



問1において「引退した」を選択した人のみ

問1-1 あなたは、いつ引退しましたか。

引退した年号は「平成」が57.7%、「令和」が24.2%となっています。



Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(7) たすけあいについて

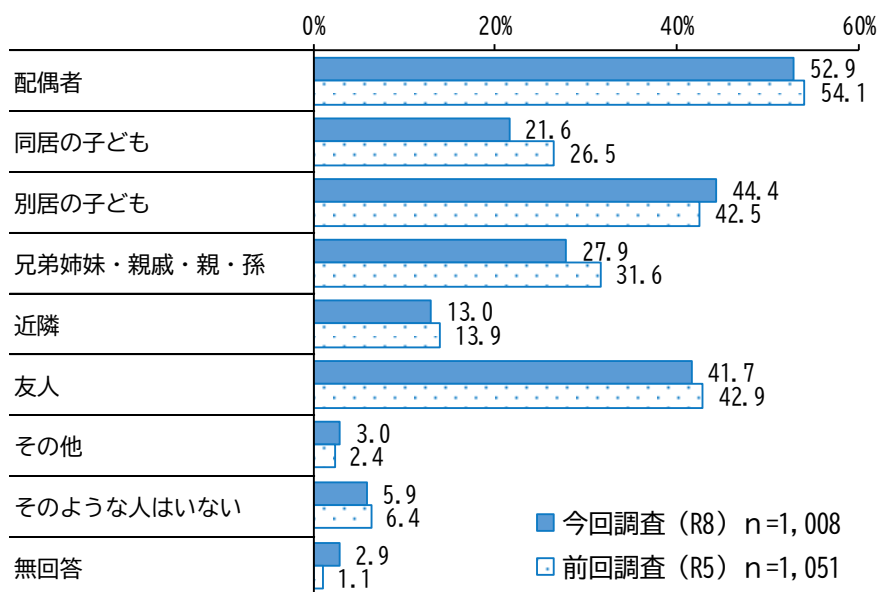
7-1 たすけあいの状況

●あなたと周りの人の「たすけあい」についてお伺いします。以下にあげるような人は誰ですか。あてはまる人をすべて選んでください。

(○印は問1～問4で各いくつでも)

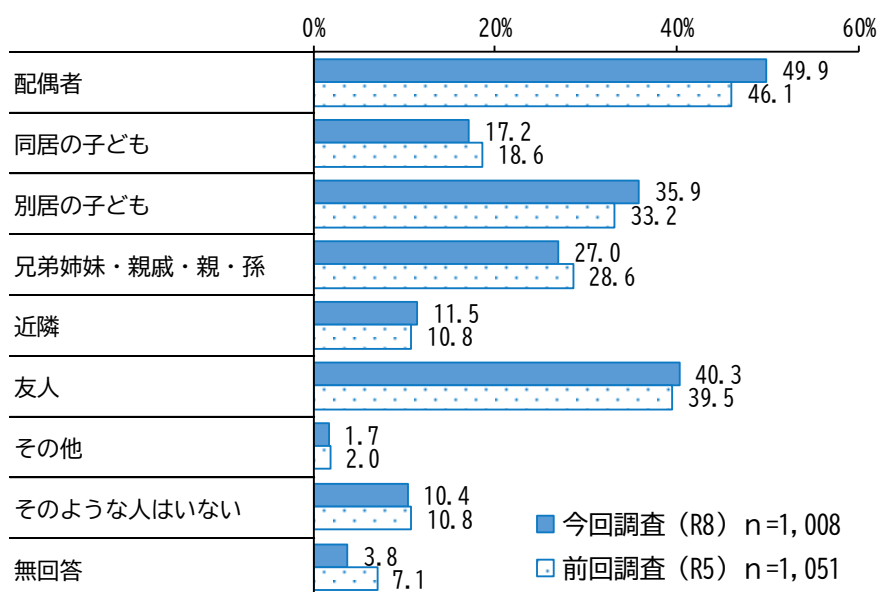
問1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」(52.9%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(44.4%)、「友人」(41.7%)となっています。



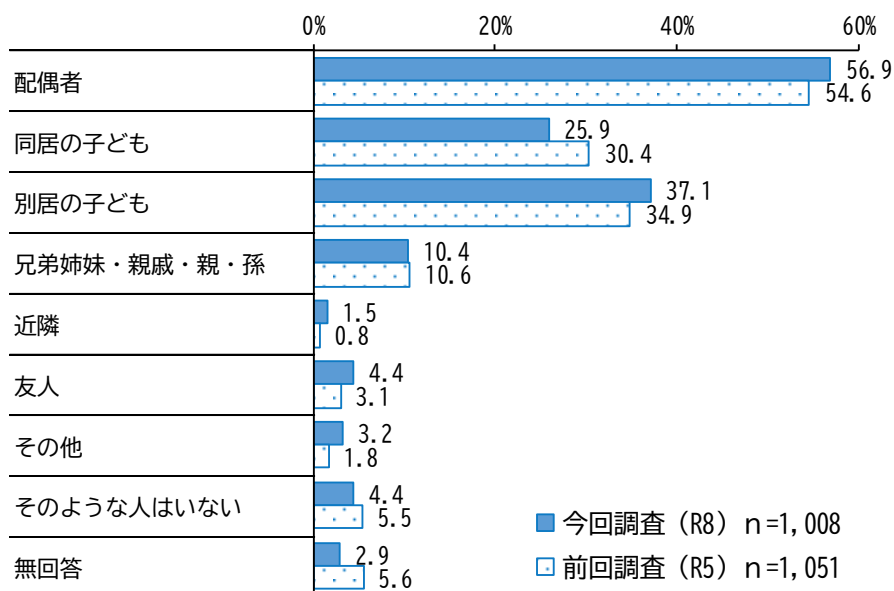
問2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」(49.9%)が最も高く、次いで「友人」(40.3%)、「別居の子ども」(35.9%)となっています。



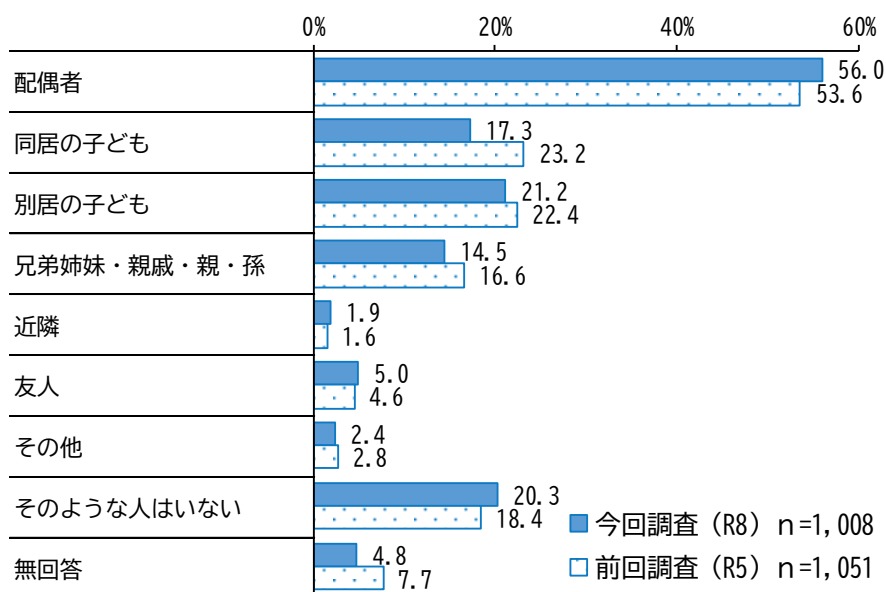
問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(56.9%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(37.1%)、「同居の子ども」(25.9%)となっています。



問4 反対に、看病や世話をしあげる人

看病や世話をしあげる人は、「配偶者」(56.0%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(21.2%)、「そのような人はいない」(20.3%)となっています。

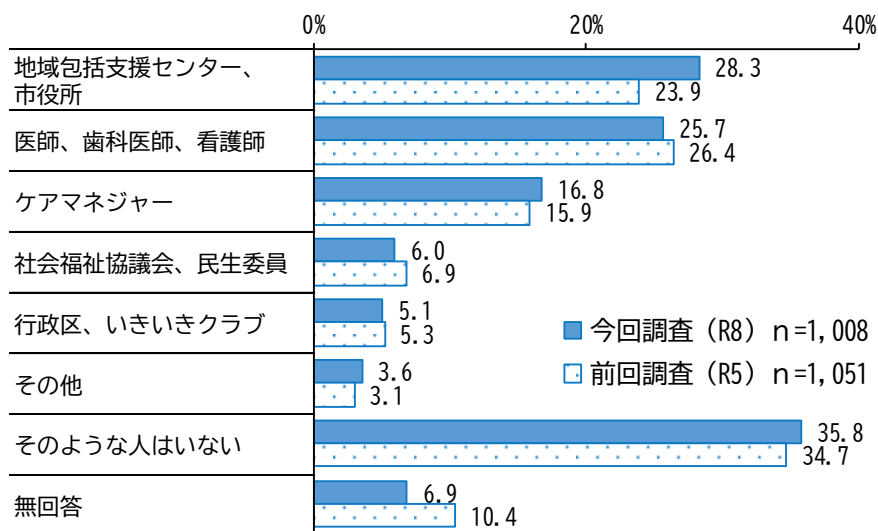


Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

7-2 地域の相談相手

問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（○印はいくつでも）

「そのような人はいない」（35.8%）が最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」（28.3%）、「医師・歯科医師・看護師」（25.7%）、「ケアマネジャー」（16.8%）となっています。

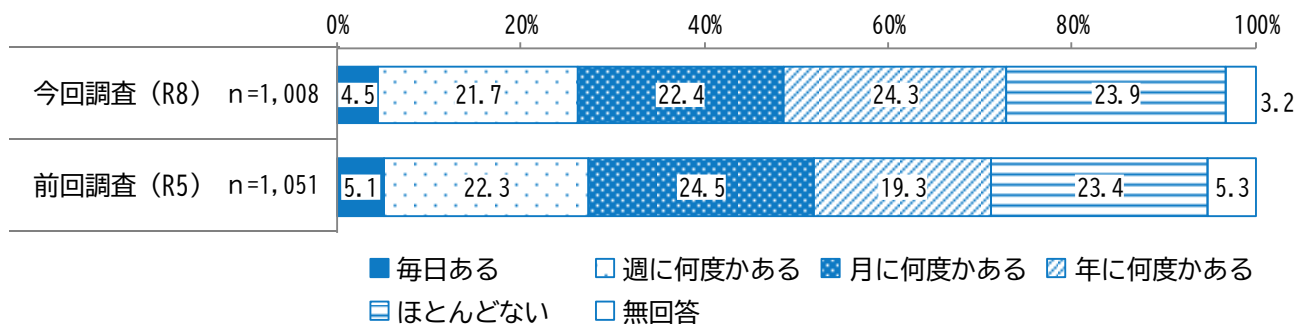


7-3 友人関係について

●あなたの友人関係についてお伺いします。

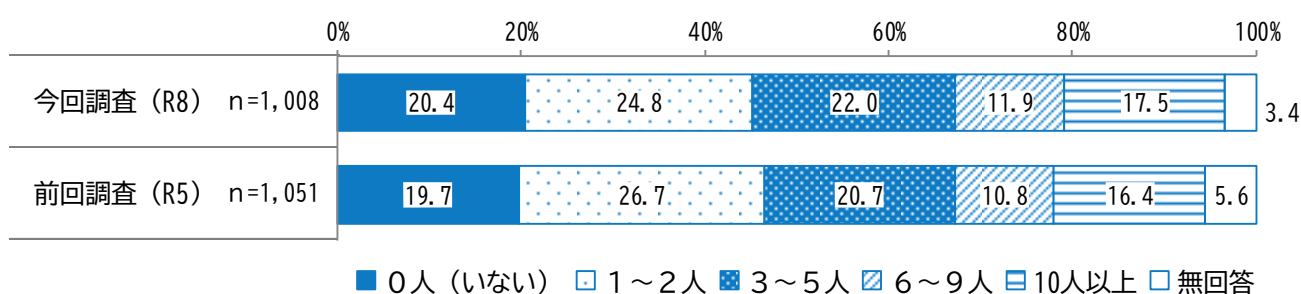
問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○印は1つだけ）

友人・知人と会う頻度は、「年に何度かある」（24.3%）が最も高く、次いで「ほとんどない」（23.9%）となっています。



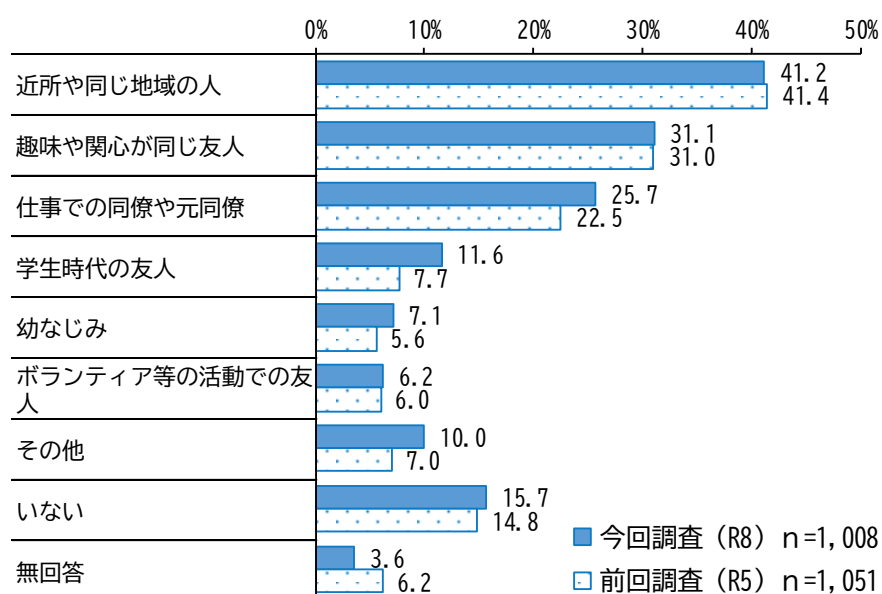
問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○印は1つだけ)

1か月間で会った友人・知人の人数は、「1～2人」(24.8%)が最も高く、次いで「3～5人」(22.0%)となっています。また、「0人(いない)」が20.4%となっています。



問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○印はいくつでも)

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(41.2%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(31.1%)、「仕事での同僚・元同僚」(25.7%)となっています。



Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(8) 健康について

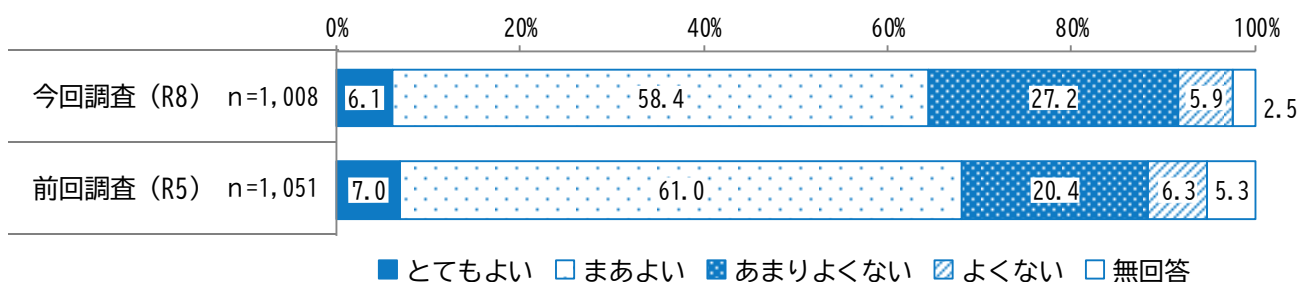
8-1 主観的健康感

●健康に関する以下の質問にお答えください。(問1～問6、○印は各1つずつ)

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「まあよい」(58.4%)が最も高く、『健康状態がよい』(「とてもよい」「まあよい」の計)は64.5%となっています。一方、『健康状態がよくない』(「よくない」「あまりよくない」の計)は33.1%となっています。

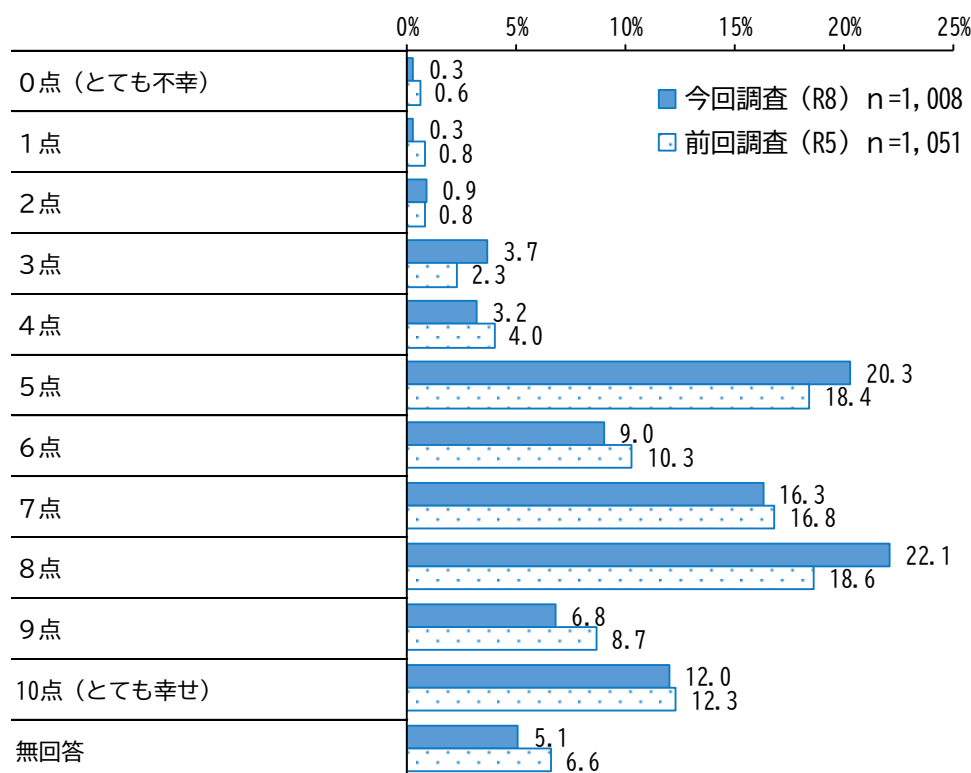
前回調査と比べると、『健康状態がよい』(68.0%→64.5%)が3.5ポイント低下しています。



8-2 主観的幸福感

問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点に○印をつけてください)。

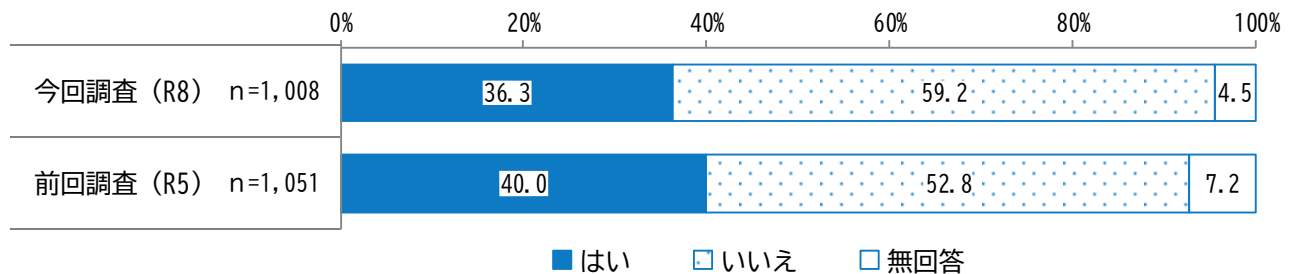
現在の幸福度(0点(とても不幸)から10点(とても幸せ)まで)は、「8点」(22.1%)が最も高く、次いで「5点」(20.3%)となっています。「8点」以上と答えた人は合計40.9%で、全体の平均点は6.9点となっています。



8-3 心の健康について

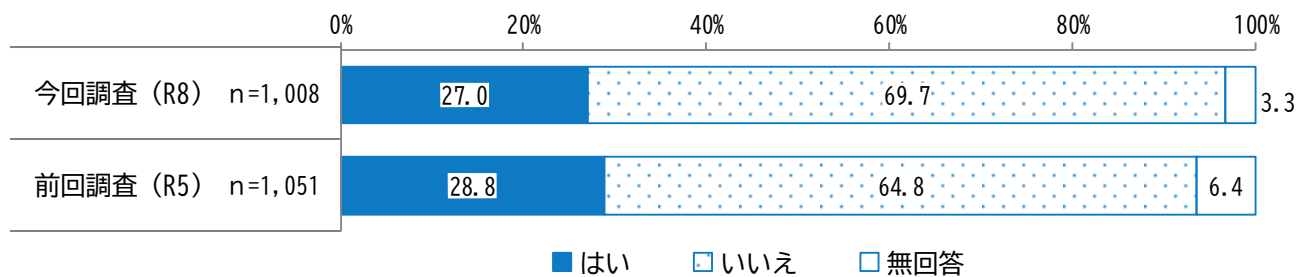
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

「はい」（気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあった）が36.3%となっています。



問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

「はい」（どうしても物事に対して興味がわかないあるいは心から楽しめない感じがよくあった）が27.0%となっています。

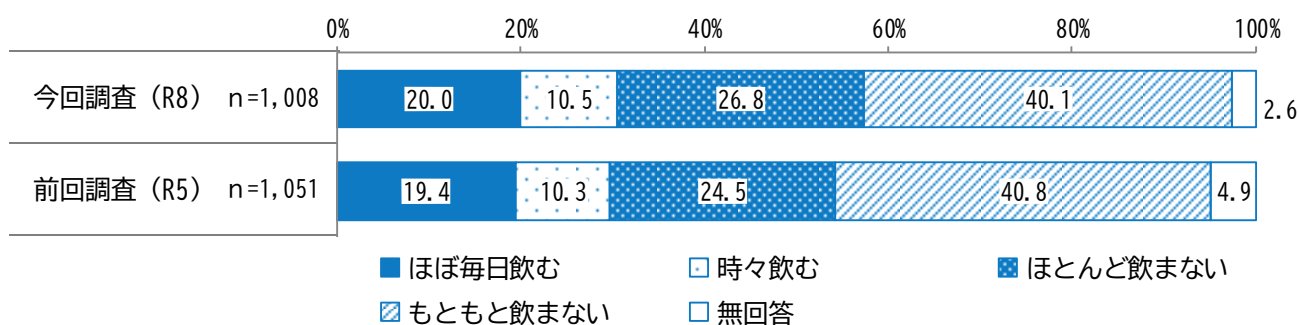


Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

8-4 飲酒について

問5 酒は飲みますか。

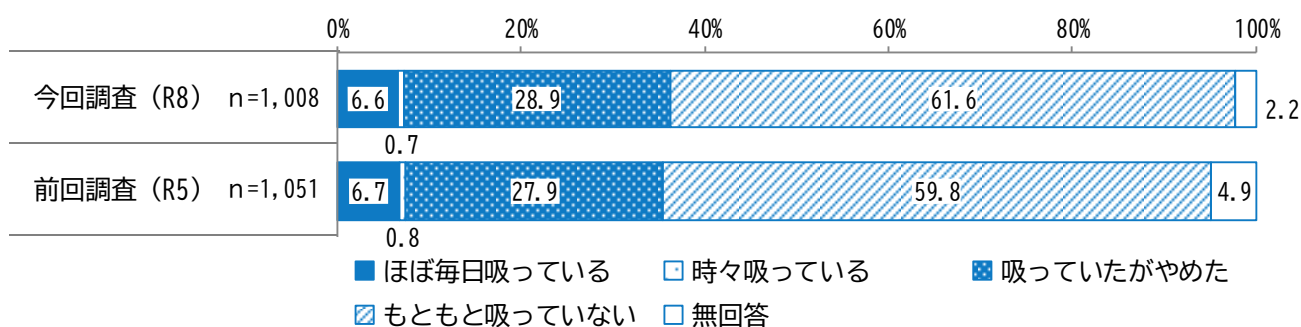
「もともと飲まない」(40.1%)が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(26.8%)となっており、『飲酒の習慣がある』(「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の計)は30.5%となっています。



8-5 喫煙について

問6 タバコは吸っていますか。

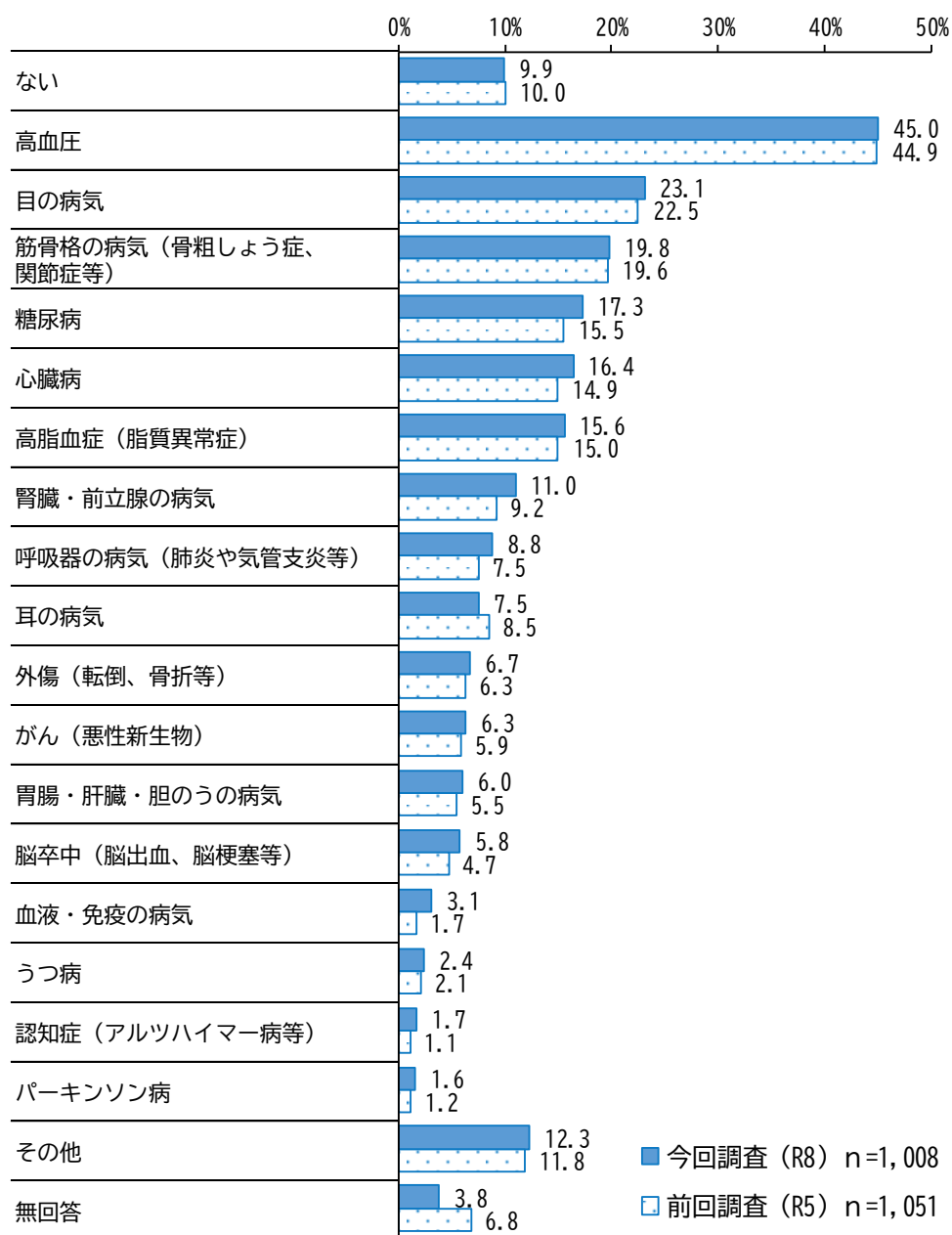
「もともと吸っていない」(61.6%)が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(28.9%)となっており、『喫煙している』(「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の計)は7.3%となっています。



8-6 現在治療中、または後遺症のある病気

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○印はいくつでも）

「高血圧」(45.0%) が最も高く、次いで「目の病気」(23.1%)、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」(19.8%)、「糖尿病」(17.3%)、「心臓病」(16.4%) となっています。また、「ない」は9.9%となっています。



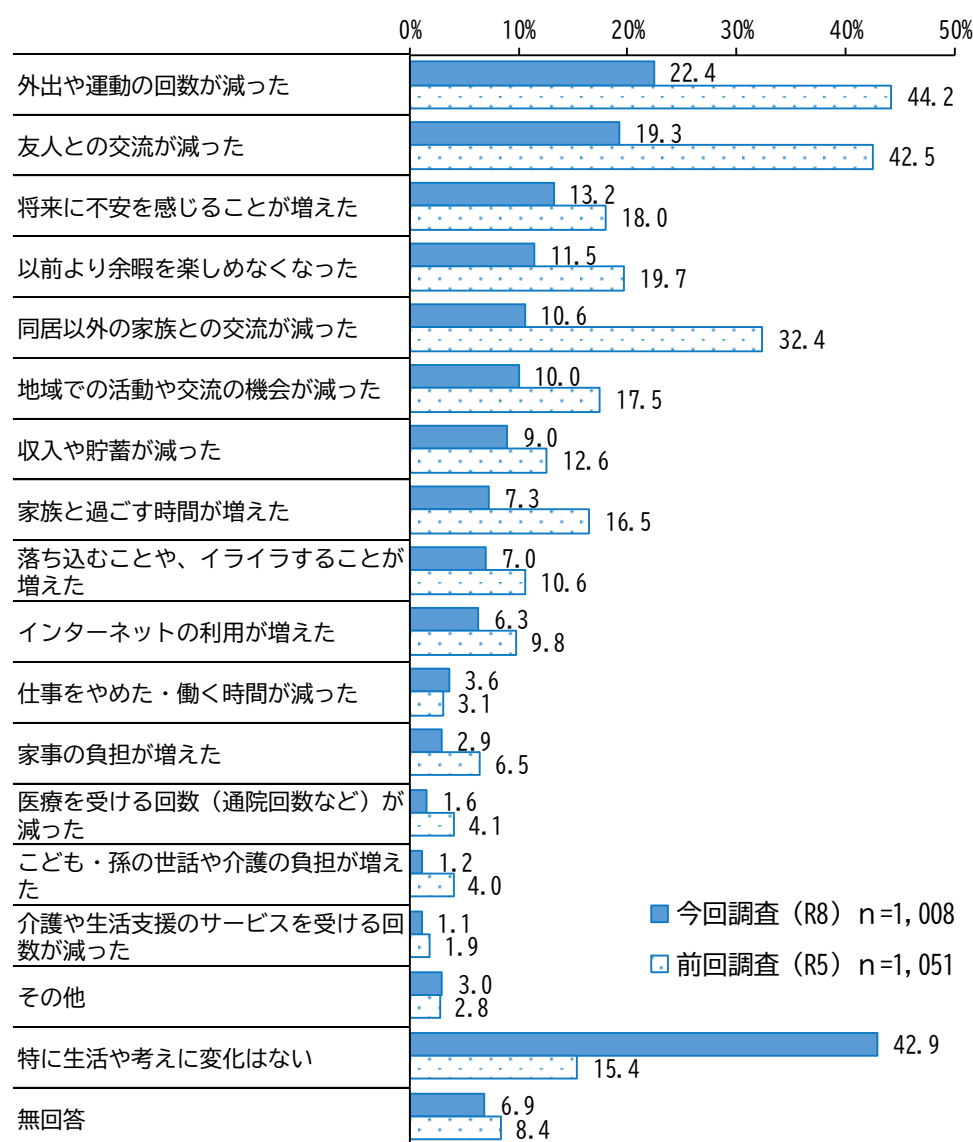
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

8-7 新型コロナウイルス感染症の影響について

問8 新型コロナウイルス感染症の流行の拡大をきっかけにして、あなたの生活や考えに次のような変化はありましたか。現在でもまだ残っている変化だけを選んでください。（○印はいくつでも）

「特に生活や考えに変化はない」（42.9%）が最も高く、次いで「外出や運動の回数が減った」（22.4%）、「友人との交流が減った」（19.3%）、「将来に不安を感じることが増えた」（13.2%）となっています。

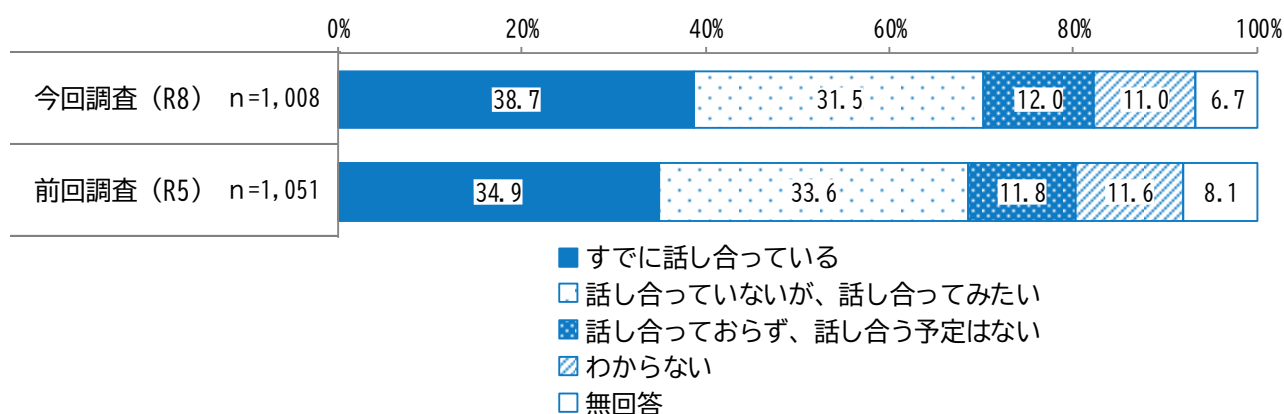
前回調査と比べると、「特に生活や考えに変化はない」が順位を上げ、「同居以外の家族との交流が減った」が順位を下げています。



8-8 看取り等について

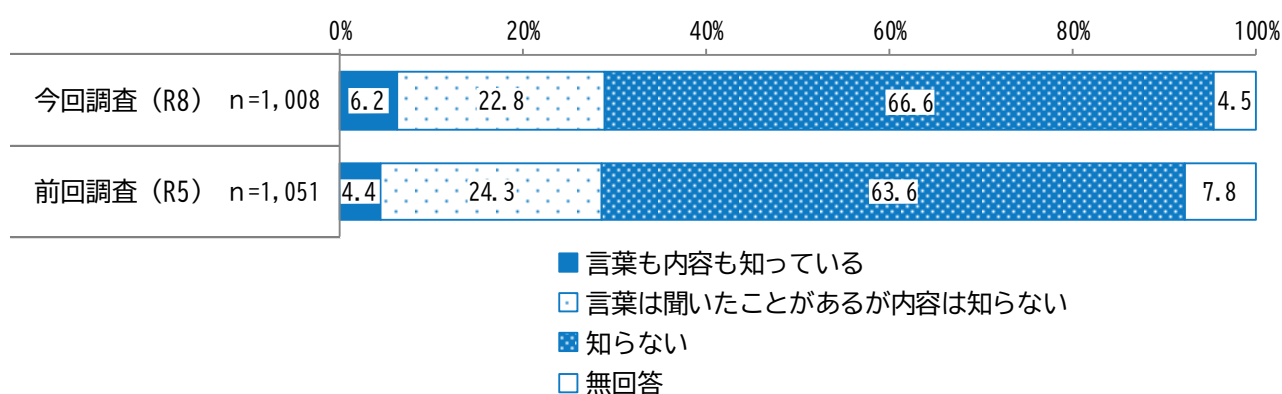
問9 あなたは、ご家族と将来のこと（医療や介護等）について話し合っていますか。
（○印は1つだけ）

将来のこと（医療や介護等）についての話し合いの状況は、「すでに話し合っている」（38.7%）が最も高く、次いで「話し合っていないが、話し合ってみたい」（31.5%）となっています。



問10 あなたは、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）という言葉について、知っていますか。（○印は1つだけ）

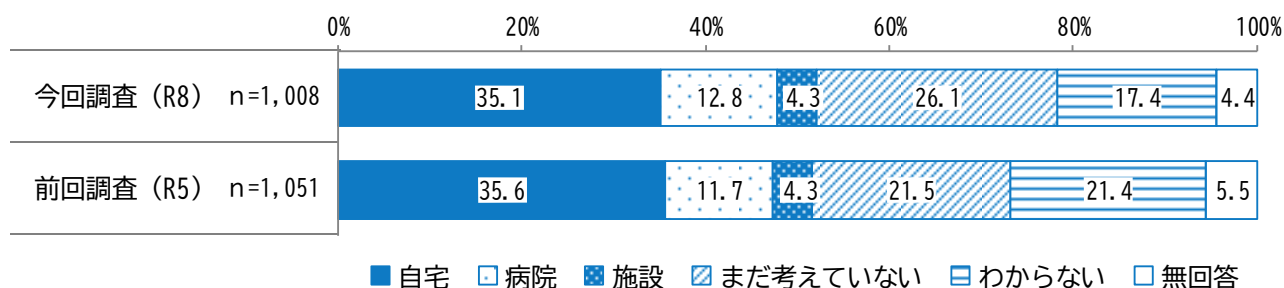
人生会議の認知度は、「知らない」（66.6%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は29.0%となっています。



Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問11 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。（○印は1つだけ）

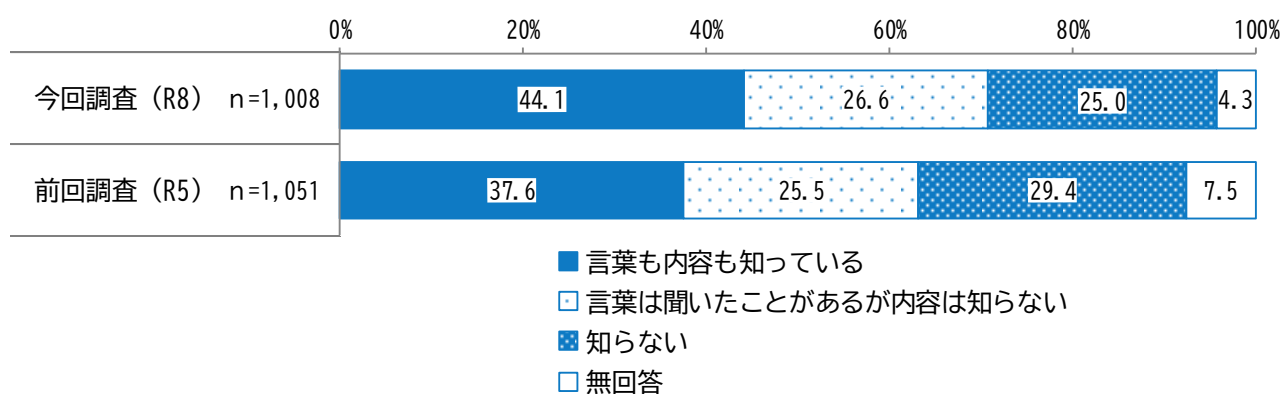
人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」(35.1%)が最も高く、次いで「まだ考えていない」(26.1%)、「わからない」(17.4%)、「病院」(12.8%)となっています。



問12 あなたは、「エンディングノート」について、知っていますか。（○印は1つだけ）

エンディングノートの認知度は、「言葉も内容も知っている」(44.1%)が最も高く、『言葉は知っている』(「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計)は70.7%、「知らない」は25.0%となっています。

前回調査と比べると、「言葉も内容も知っている」は6.5ポイント、『言葉は知っている』(63.1%→70.7%)は7.6ポイントそれぞれ上昇しています。

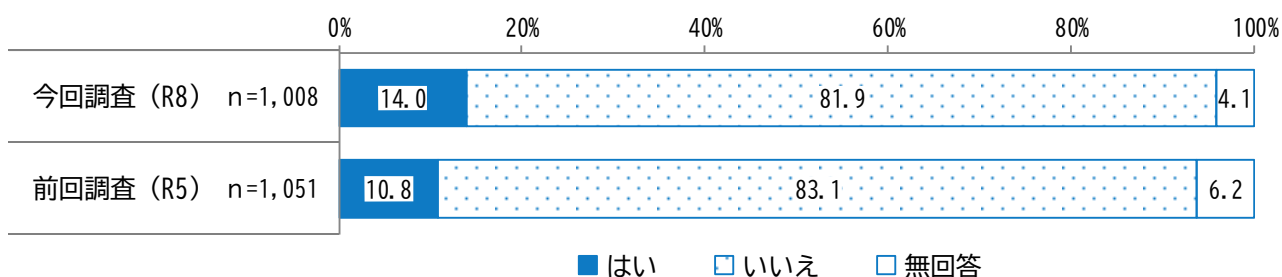


(9) 認知症について

9-1 認知症について

問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○印は1つだけ)

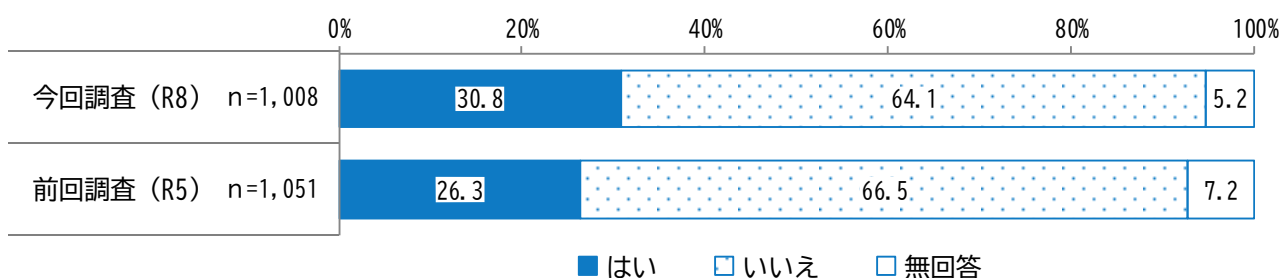
「はい」(自身または家族に認知症の症状がある人がいる)が14.0%となっています。



問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○印は1つだけ)

「はい」(認知症に関する相談窓口を知っている)が30.8%となっています。

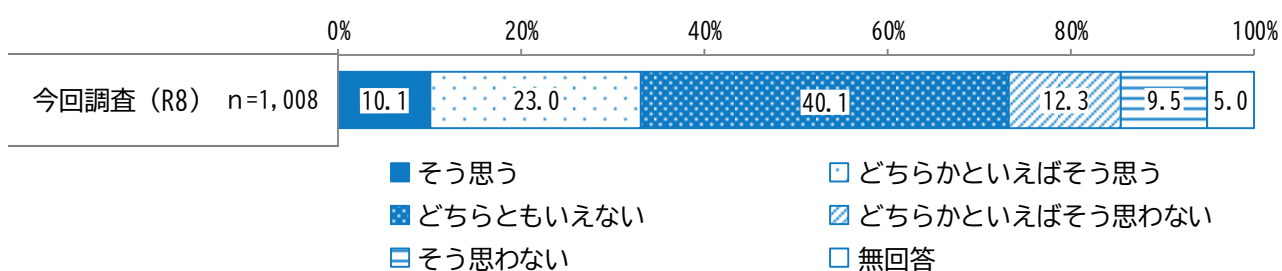
前回調査と比べると、「はい」が4.5ポイント上昇しています。



9-2 認知症の人と地域との関わりについて

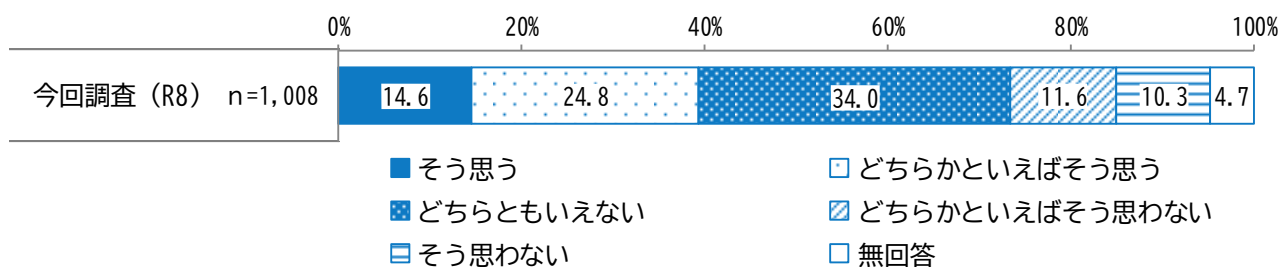
問3 あなたは、認知症になっても本人の意思や希望を尊重して社会の一員として共に生きることができると思いますか。(○印は1つだけ)

認知症になっても本人の意思や希望を尊重して社会の一員として共に生きることができるかどうかについては、「どちらともいえない」(40.1%)が最も高く、『そう思う』(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計)は33.1%、『そう思わない』(「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計)は21.8%となっています。



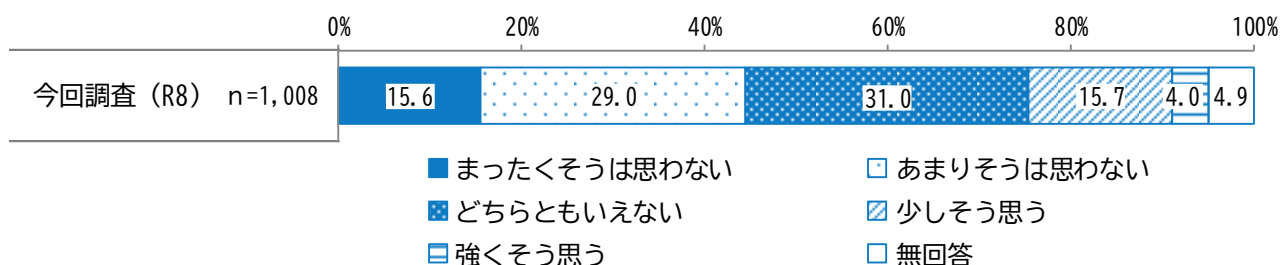
問4 認知症の人にも得意なことや役割があり、地域や社会に貢献できると思いますか。（○印は1つだけ）

認知症の人にも得意なことや役割があり地域や社会に貢献できるかどうかについては、「どちらともいえない」（34.0％）が最も高く、『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計）は 39.4％、『そう思わない』（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計）は 21.9％となっています。



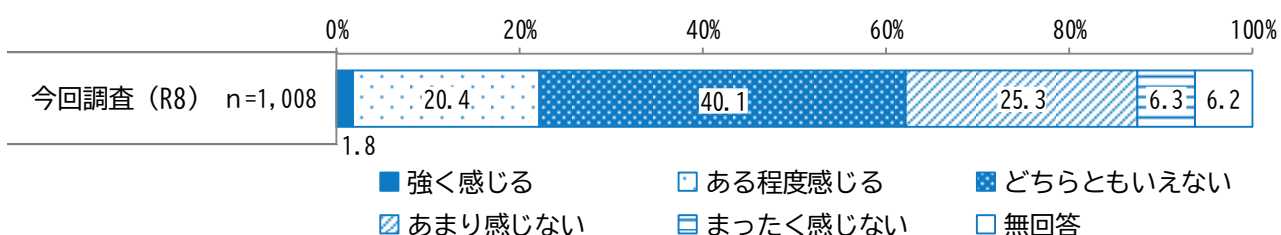
問5 あなたは「認知症の人は何もできない」という考え方について、どのように思いますか。（○印は1つだけ）

「認知症の人は何もできない」という考え方については、「どちらともいえない」（31.0％）が最も高く、『そうは思わない』（「まったくそうは思わない」「あまりそうは思わない」の計）は 44.6％、『そう思う』（「強くそう思う」「少しそう思う」の計）は 19.7％となっています。



問6 あなたは、自分の地域が認知症の人にやさしい社会になってきていると感じますか。（○印は1つだけ）

自分の地域が認知症の人にやさしい社会になってきているかどうかについては、「どちらともいえない」（40.1％）が最も高く、『そう感じる』（「強く感じる」「ある程度感じる」の計）は 22.2％、『そう感じない』（「まったく感じない」「あまり感じない」の計）は 31.6％となっています。

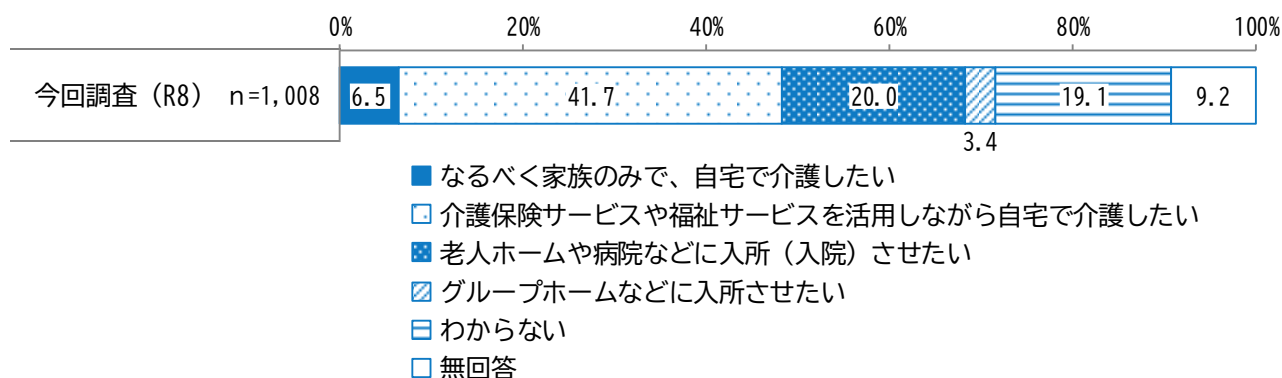


(10) 介護保険について

10-1 家族等に受けさせたい介護

問1 家族等に介護が必要となった際、どのようにしたいと思いますか。（○印は1つだけ）

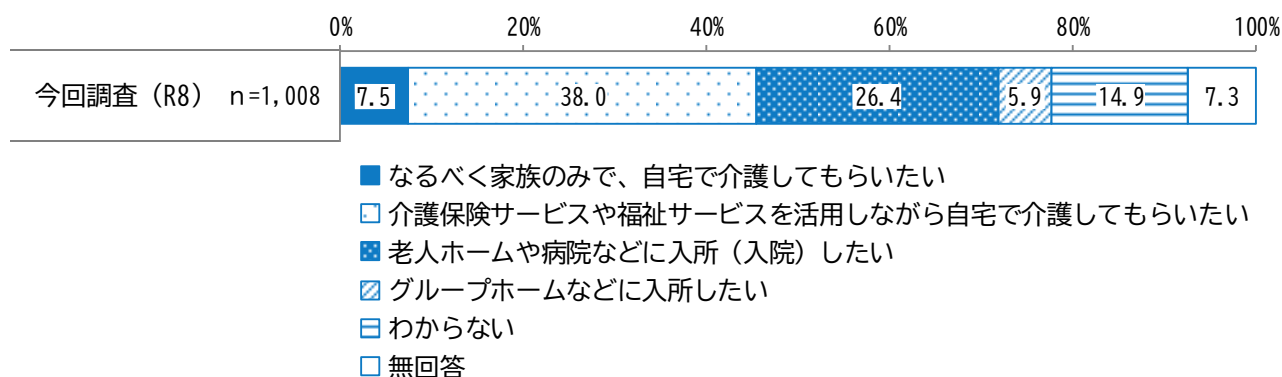
「介護保険制度のサービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい」（41.7%）が最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所（入院）させたい」（20.0%）、「わからない」（19.1%）となっています。



10-2 自身が受けたい介護

問2 あなたご自身が介護を受けることになった場合、どのような介護を受けたいと思いますか。（○印は1つだけ）

「介護保険制度のサービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい」（38.0%）が最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所（入院）したい」（26.4%）、「わからない」（14.9%）となっています。



Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

年齢別でみると、89 歳までは年齢が高いほど「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」が高くなっています。

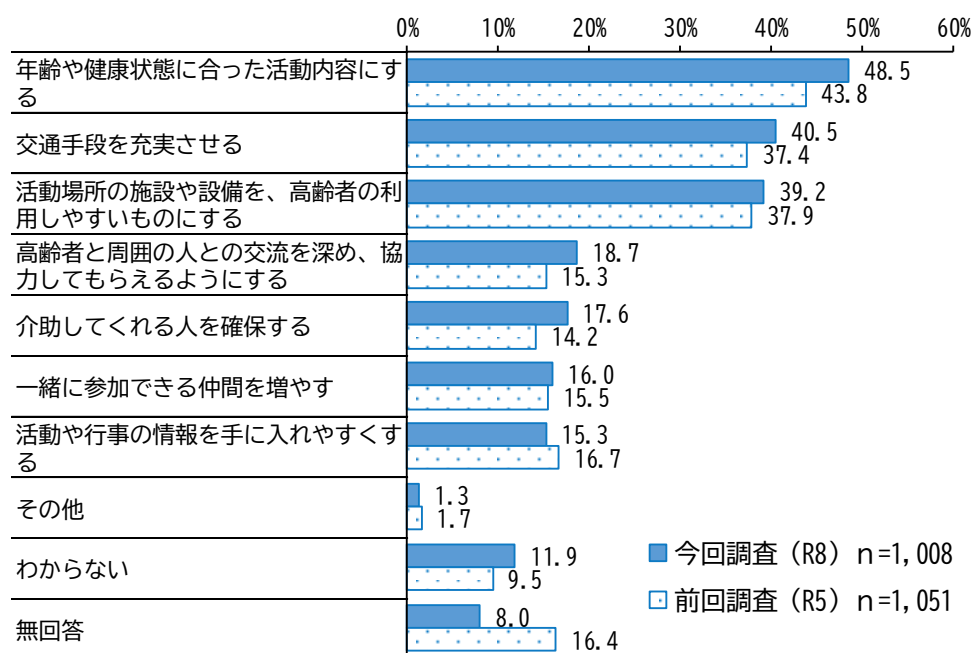
	件数	なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい	介護保険サービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい	老人ホームや病院などに入所（入院）したい	グループホームなどに入所したい	わからない	無回答
全 体	1,008	7.5	38.0	26.4	5.9	14.9	7.3
65～69歳	156	5.1	33.3	31.4	10.3	17.9	1.9
70～74歳	164	5.5	42.1	28.0	5.5	14.0	4.9
75～79歳	213	6.1	39.0	23.0	8.5	17.4	6.1
80～84歳	215	8.4	38.6	26.0	6.0	10.7	10.2
85～89歳	161	11.8	39.1	25.5	0.6	14.9	8.1
90歳以上	83	7.2	37.3	26.5	2.4	14.5	12.0

(11) 高齢者施策について

11-1 高齢者の社会参加に必要なこと

問1 高齢者が行事や活動に参加するには、どのようなことが必要と考えますか。（○印は3つまで）

「年齢や健康状態に合った活動内容にする」（48.5%）が最も高く、次いで「交通手段を充実させる」（40.5%）、「活動場所の施設や設備を、高齢者の利用しやすいものにする」（39.2%）となっています。また、「わからない」が11.9%となっています。



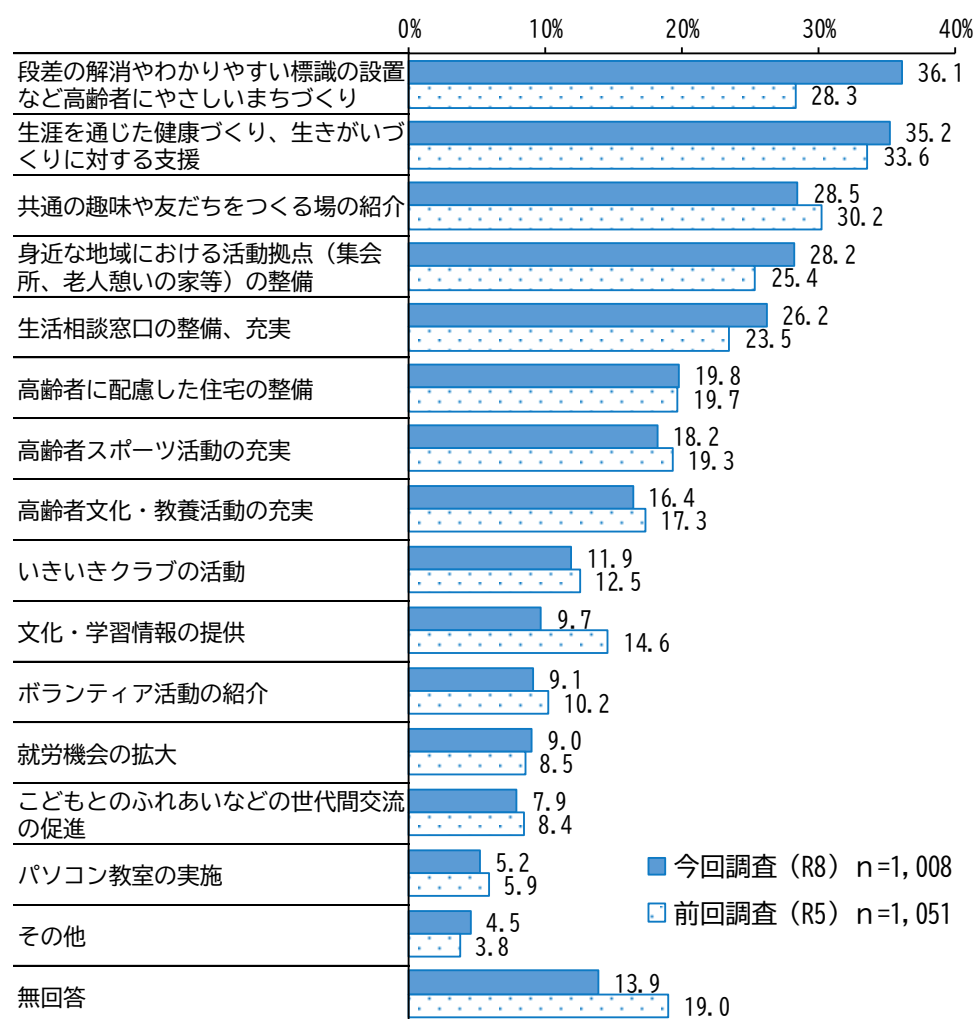
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

11-2 高齢者が生きがいをもって快適に暮らすために市が注力すべきこと

問2 高齢者が生きがいをもって快適に暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください。（○印は5つまで）

「段差の解消やわかりやすい標識の設置など高齢者にやさしいまちづくり」(36.1%)が最も高く、次いで「生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりに対する支援」(35.2%)、「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」(28.5%)、「身近な地域における活動拠点の整備」(28.2%)、「生活相談窓口の整備、充実」(26.2%)となっています。

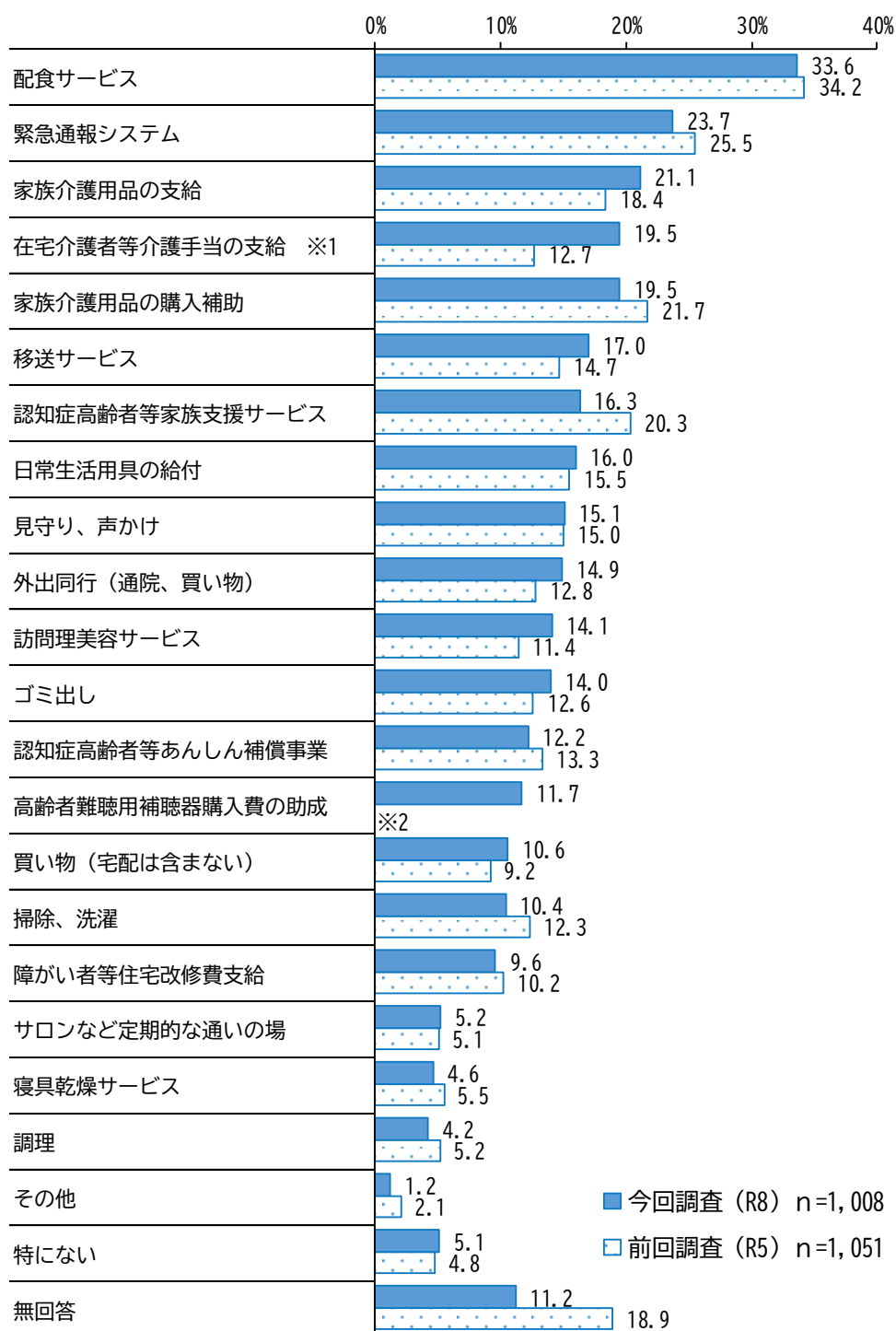
前回調査と比べると、「段差の解消やわかりやすい標識の設置など高齢者にやさしいまちづくり」が順位を上げています。



11-3 市が注力すべき介護サービス以外のサービス

問3 介護サービス以外のサービスで、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください。（○印は5つまで）

「配食サービス」（33.6%）が最も高く、次いで「緊急通報システム」（23.7%）、
「家族介護用品の支給」（21.1%）、「在宅介護者等介護手当の支給」「家族介護用品の
購入補助」（ともに 19.5%）となっています。



※1：前回調査では「ねたきり老人等手当の支給」。

※2：前回調査は選択肢無し。他に「床ずれ防止用具等購入費等の助成」が4.3%。

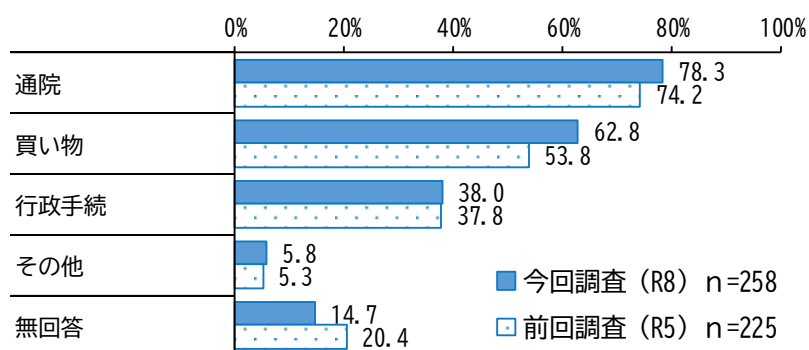
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

11-4 外出や移送について

問3で「外出同行」「移送サービス」と答えた人のみ

問3-1 (外出や移送の) 目的は何ですか。(〇印はいくつでも)

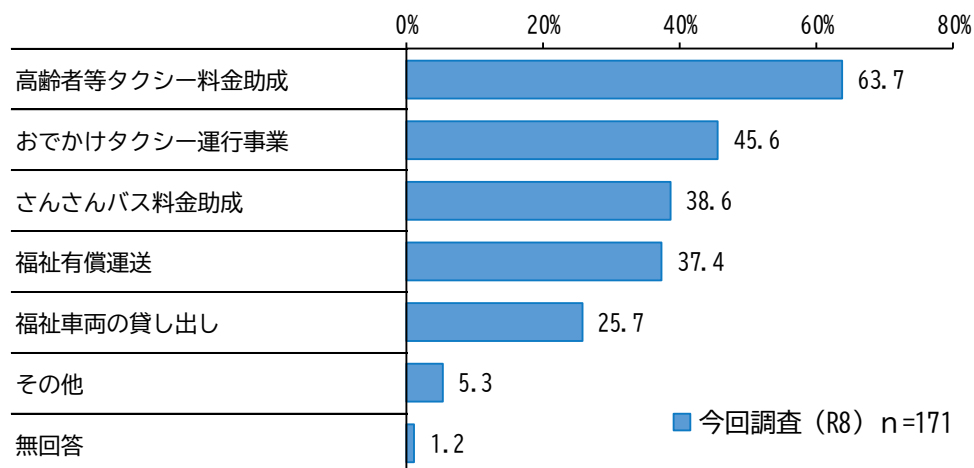
外出や移送の目的は、「通院」(78.3%)が最も高く、次いで「買い物」(62.8%)、「行政手続」(38.0%)となっています。



問3で「移送サービス」と答えた人のみ

問3-2 移送手段は何ですか。(〇印はいくつでも)

移送手段は、「高齢者等タクシー料金助成」(63.7%)が最も高く、次いで「おでかけタクシー運行事業」(45.6%)、「さんさんバス料金助成」(38.6%)となっています。



(12) 要介護リスクの状況について（一般高齢者）

本調査は、設問の回答状況の組み合わせにより、各種の要介護リスクの判定に用いることができます。これを活用して、一般高齢者（要支援認定者を含む）について要介護リスクのある人の割合を算出します。

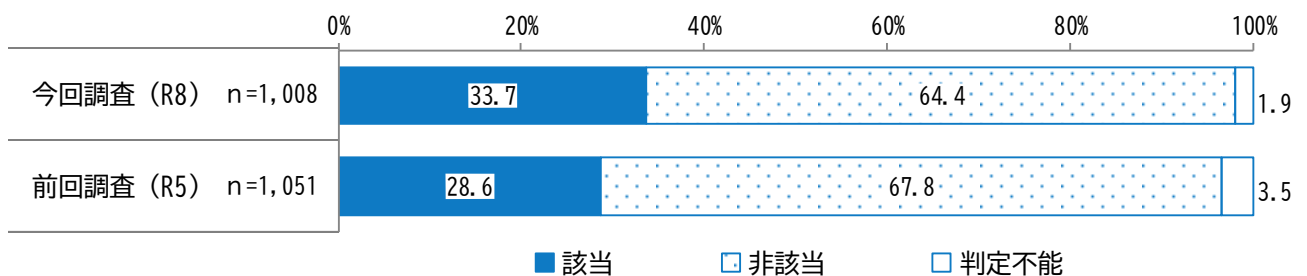
12-1 運動器機能の低下リスク

運動器機能の低下リスクがあるのは、33.7%となっています。前回調査と比べると、5.1ポイント上昇しています。

年齢別でみると、年齢が高いほどリスク該当者の割合が高くなっています。

判定条件		
2問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	左記の5つの設問において、3問以上該当する選択肢（網掛け部分）を回答された場合、運動器の機能が低下している高齢者と判定します。
2問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
2問3 15分位続けて歩いていますか		
2問4 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある 2 1度ある 3 ない	
2問5 転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない	

※判定に用いる設問に無回答があった場合、その設問の回答によって判定が変わる可能性があるときは「判定不能」とします（以下同様）。



	件数	該当	非該当	判定不能
65～69歳	156	12	144	-
	100.0	7.7	92.3	-
70～74歳	164	28	135	1
	100.0	17.1	82.3	0.6
75～79歳	213	58	152	3
	100.0	27.2	71.4	1.4
80～84歳	215	92	116	7
	100.0	42.8	54.0	3.3
85～89歳	161	89	66	6
	100.0	55.3	41.0	3.7
90歳以上	83	55	27	1
	100.0	66.3	32.5	1.2

	件数	該当	非該当	判定不能
おかよし地域	173	50	122	1
	100.0	28.9	70.5	0.6
きたよし地域	256	90	159	7
	100.0	35.2	62.1	2.7
なかよし地域	309	105	199	5
	100.0	34.0	64.4	1.6
みなよし地域	199	70	126	3
	100.0	35.2	63.3	1.5

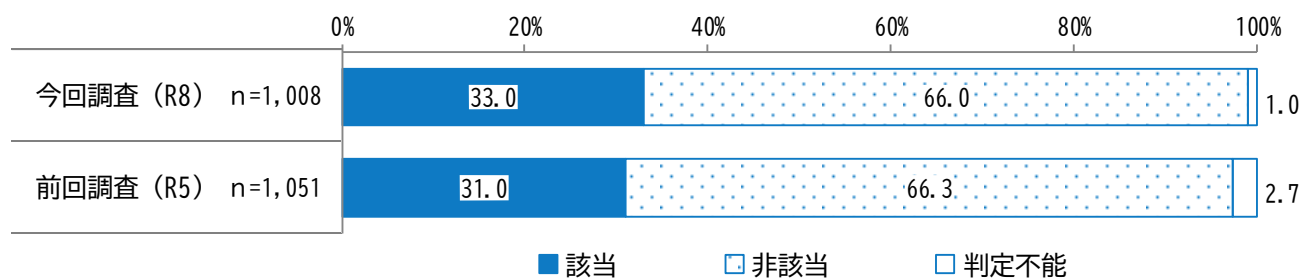
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

12-2 口腔機能の低下リスク

口腔機能の低下リスクがあるのは、33.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が高いほどリスク該当者の割合が高くなっています。

判定条件		
3問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ	左記の3つの設問において、 <u>2問以上</u> 該当する選択肢（網掛け部分）を回答された場合、口腔機能が低下している高齢者と判定します。
3問3 お茶や汁物等でむせることがありますか		
3問4 口の渇きが気になりますか		



	件数	該当	非該当	判定不能
65～69歳	156	30	125	1
	100.0	19.2	80.1	0.6
70～74歳	164	41	123	-
	100.0	25.0	75.0	-
75～79歳	213	67	142	4
	100.0	31.5	66.7	1.9
80～84歳	215	81	132	2
	100.0	37.7	61.4	0.9
85～89歳	161	68	91	2
	100.0	42.2	56.5	1.2
90歳以上	83	41	41	1
	100.0	49.4	49.4	1.2

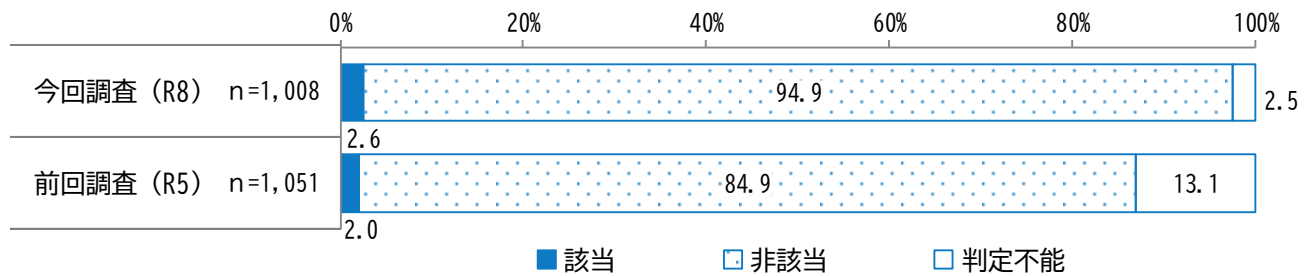
	件数	該当	非該当	判定不能
おかよし地域	173	54	117	2
	100.0	31.2	67.6	1.2
きたよし地域	256	80	174	2
	100.0	31.3	68.0	0.8
なかよし地域	309	107	199	3
	100.0	34.6	64.4	1.0
みなよし地域	199	67	129	3
	100.0	33.7	64.8	1.5

12-3 低栄養リスク

低栄養リスクがあるのは、2.6%となっています。

年齢別でみると、リスク該当者は80～84歳（3.7%）で最も高くなっています。

判定条件		
3問1 身長・体重を記入してください	身長・体重から算出されたBMI指数が18.5未満	左記の2つの設問のいずれの条件（網掛け部分）にも該当した場合、低栄養リスクのある高齢者と判定します。
3問7 最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい 2 いいえ	



	件数	該当	非該当	判定不能
65～69歳	156	3	150	3
	100.0	1.9	96.2	1.9
70～74歳	164	3	157	4
	100.0	1.8	95.7	2.4
75～79歳	213	4	203	6
	100.0	1.9	95.3	2.8
80～84歳	215	8	204	3
	100.0	3.7	94.9	1.4
85～89歳	161	5	152	4
	100.0	3.1	94.4	2.5
90歳以上	83	2	76	5
	100.0	2.4	91.6	6.0

	件数	該当	非該当	判定不能
おかよし地域	173	2	168	3
	100.0	1.2	97.1	1.7
きたよし地域	256	7	240	9
	100.0	2.7	93.8	3.5
なかよし地域	309	9	296	4
	100.0	2.9	95.8	1.3
みなよし地域	199	7	187	5
	100.0	3.5	94.0	2.5

Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

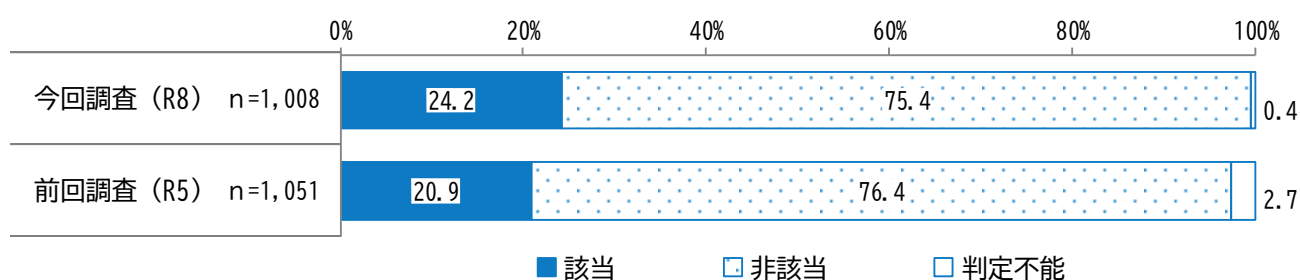
12-4 閉じこもり傾向

閉じこもり傾向があるのは、24.2%となっています。前回調査と比べると、3.3ポイント上昇しています。

年齢別でみると、年齢が高いほどリスク該当者の割合が高くなっています。

地域別でみると、なかよし地域で該当者の割合がやや高くなっています。

判定条件		
2問6 週に1回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
	2	週1回
	3	週2～4回
	4	週5回以上
左記の設問において、該当する選択肢（網掛け部分）を回答された場合、閉じこもり傾向のある高齢者と判定します。		



	件数	該当	非該当	判定不能
65～69歳	156	10	146	-
	100.0	6.4	93.6	-
70～74歳	164	16	148	-
	100.0	9.8	90.2	-
75～79歳	213	37	176	-
	100.0	17.4	82.6	-
80～84歳	215	65	148	2
	100.0	30.2	68.8	0.9
85～89歳	161	62	98	1
	100.0	38.5	60.9	0.6
90歳以上	83	48	35	-
	100.0	57.8	42.2	-

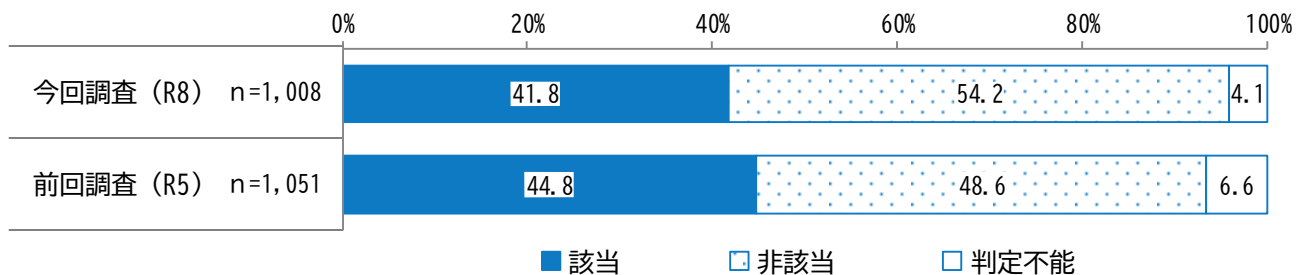
	件数	該当	非該当	判定不能
おかよし地域	173	36	137	-
	100.0	20.8	79.2	-
きたよし地域	256	52	202	2
	100.0	20.3	78.9	0.8
なかよし地域	309	87	221	1
	100.0	28.2	71.5	0.3
みなよし地域	199	42	157	-
	100.0	21.1	78.9	-

12-5 うつ傾向リスク

うつ傾向リスクがあるのは、41.8%となっています。前回調査と比べると、3.0ポイント低下しています。

年齢別でみると、リスク該当者は80歳代で50%以上と高くなっています。

判定条件		
8問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1 はい 2 いいえ	左記の2つの設問において、どちらか1問の該当する選択肢（網掛け部分）を回答された場合、うつ傾向リスクのある高齢者と判定します。
8問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか		



	件数	該当	非該当	判定不能
65～69歳	156	47	108	1
	100.0	30.1	69.2	0.6
70～74歳	164	53	109	2
	100.0	32.3	66.5	1.2
75～79歳	213	84	119	10
	100.0	39.4	55.9	4.7
80～84歳	215	112	94	9
	100.0	52.1	43.7	4.2
85～89歳	161	82	70	9
	100.0	50.9	43.5	5.6
90歳以上	83	38	39	6
	100.0	45.8	47.0	7.2

	件数	該当	非該当	判定不能
おかよし地域	173	69	101	3
	100.0	39.9	58.4	1.7
きたよし地域	256	106	144	6
	100.0	41.4	56.3	2.3
なかよし地域	309	135	159	15
	100.0	43.7	51.5	4.9
みなよし地域	199	83	107	9
	100.0	41.7	53.8	4.5

Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

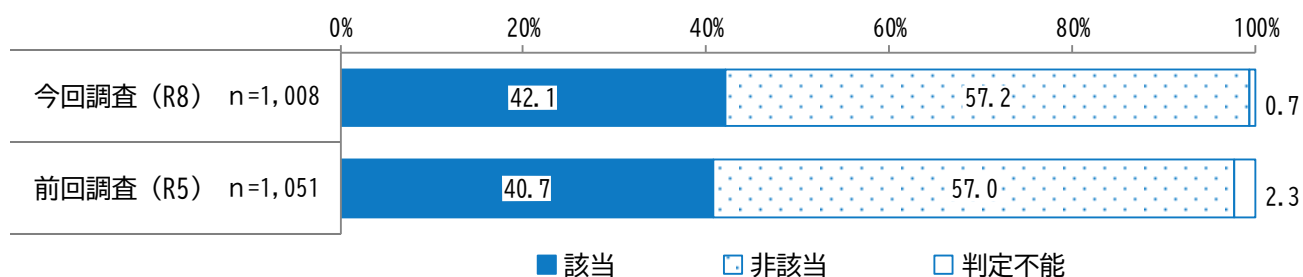
12-6 転倒リスク

転倒リスクがあるのは、42.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が高いほどリスク該当者の割合が高くなっています。

地域別でみると、みなよし地域で該当者の割合がやや高くなっています。

判定条件		
2問4 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け部分）を回答された場合、転倒リスクのある高齢者と判定します。
	2 1度ある	
	3 ない	



	件数	該当	非該当	判定不能
65～69歳	156	43	113	-
	100.0	27.6	72.4	-
70～74歳	164	56	108	-
	100.0	34.1	65.9	-
75～79歳	213	87	126	-
	100.0	40.8	59.2	-
80～84歳	215	96	116	3
	100.0	44.7	54.0	1.4
85～89歳	161	87	71	3
	100.0	54.0	44.1	1.9
90歳以上	83	49	34	-
	100.0	59.0	41.0	-

	件数	該当	非該当	判定不能
おかよし地域	173	65	108	-
	100.0	37.6	62.4	-
きたよし地域	256	101	152	3
	100.0	39.5	59.4	1.2
なかよし地域	309	136	170	3
	100.0	44.0	55.0	1.0
みなよし地域	199	94	105	-
	100.0	47.2	52.8	-

12-7 老研式活動能力指標

① IADL（手段的自立度）

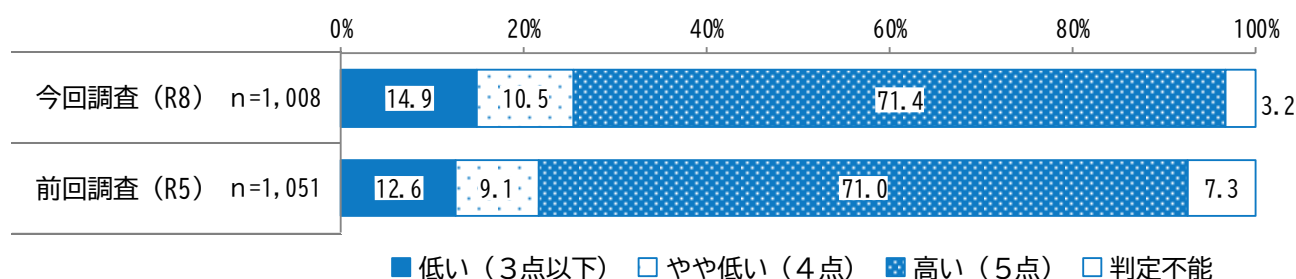
「低い」は14.9%、「やや低い」は10.5%となっています。

年齢別でみると、年齢が高いほど「低い」の割合が高くなっています。

地域別でみると、なかよし地域で「低い」の割合がやや高くなっています。

判定条件		
4問4 バスや電車、自家用車を使って1人で外出していますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	左記の5つの設問において、「できるし、している」または「できるけどしていない」を回答された場合を1点とし、5問合計で、 <u>3点以下：低い</u> 4点：やや低い 5点：高い と判定します。
4問5 自分で食品・日用品の買物をしていきますか		
4問6 自分で食事の用意をしていますか		
4問7 自分で請求書の支払いをしていますか		
4問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか		

※IADL：「Instrumental Activities of Daily Living」の略で、「手段的日常生活動作」と訳されます。例えば、掃除・料理・洗濯・買い物などの家事やコミュニケーション、交通機関の利用、自分の薬の管理、お金の管理など、単純な運動能力ではなく、日常生活を問題なく送る上で必要な活動を行う力を意味します。高齢者の自立度を評価する指標として活用されています。



	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
65～69歳	156	4	6	145	1
	100.0	2.6	3.8	92.9	0.6
70～74歳	164	8	7	146	3
	100.0	4.9	4.3	89.0	1.8
75～79歳	213	24	16	161	12
	100.0	11.3	7.5	75.6	5.6
80～84歳	215	32	35	138	10
	100.0	14.9	16.3	64.2	4.7
85～89歳	161	45	29	86	1
	100.0	28.0	18.0	53.4	0.6
90歳以上	83	34	10	35	4
	100.0	41.0	12.0	42.2	4.8

	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
おかよし地域	173	19	19	129	6
	100.0	11.0	11.0	74.6	3.5
きたよし地域	256	35	27	188	6
	100.0	13.7	10.5	73.4	2.3
なかよし地域	309	57	34	208	10
	100.0	18.4	11.0	67.3	3.2
みなよし地域	199	29	21	145	4
	100.0	14.6	10.6	72.9	2.0

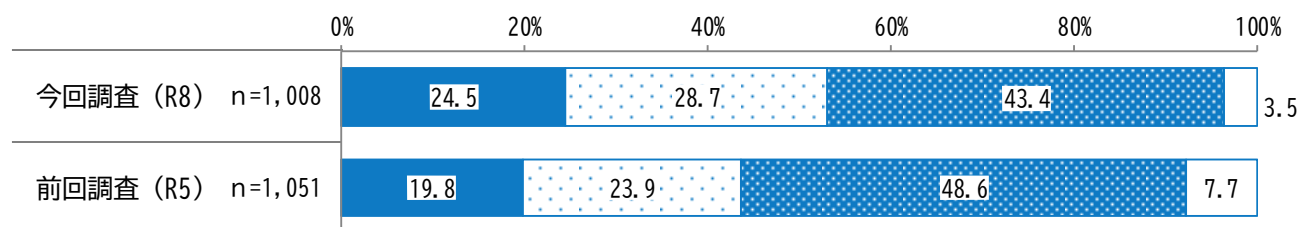
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

②知的能動性

「低い」は 24.5%、「やや低い」は 28.7%となっています。前回調査と比べると、「低い」は 4.7 ポイント上昇しています。

年齢別でみると、年齢が高いほど「低い」の割合が高くなっています。

判定条件		
4問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1 はい 2 いいえ	左記の4つの設問において、「はい」を回答された場合を1点とし、4問合計で、 2点以下：低い 3点：やや低い 4点：高い と判定します。
4問10 新聞を読んでいますか		
4問11 本や雑誌を読んでいますか		
4問12 健康についての記事や番組に関心がありますか		



■ 低い（2点以下） □ やや低い（3点） ■ 高い（4点） □ 判定不能

	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
65～69歳	156	25	47	82	2
	100.0	16.0	30.1	52.6	1.3
70～74歳	164	38	49	72	5
	100.0	23.2	29.9	43.9	3.0
75～79歳	213	50	57	97	9
	100.0	23.5	26.8	45.5	4.2
80～84歳	215	52	59	94	10
	100.0	24.2	27.4	43.7	4.7
85～89歳	161	50	49	59	3
	100.0	31.1	30.4	36.6	1.9
90歳以上	83	27	25	26	5
	100.0	32.5	30.1	31.3	6.0

	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
おかよし地域	173	34	40	92	7
	100.0	19.7	23.1	53.2	4.0
きたよし地域	256	64	65	124	3
	100.0	25.0	25.4	48.4	1.2
なかよし地域	309	80	96	120	13
	100.0	25.9	31.1	38.8	4.2
みなよし地域	199	47	61	86	5
	100.0	23.6	30.7	43.2	2.5

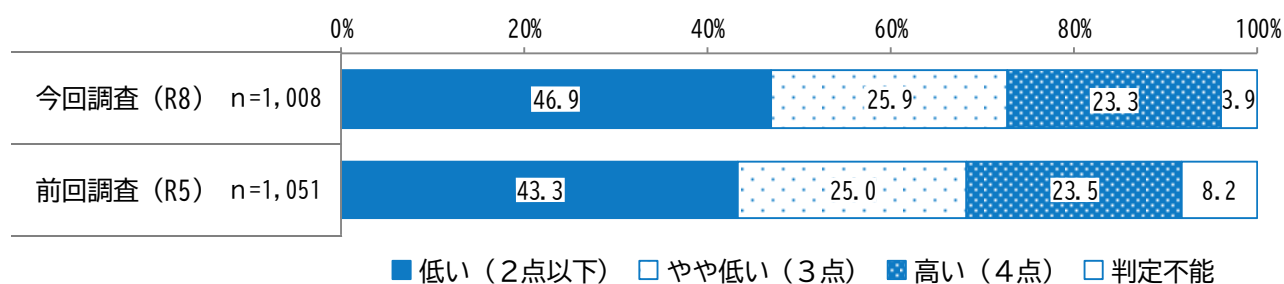
③社会的役割

「低い」は 46.9%、「やや低い」は 25.9%となっています。前回調査と比べると、「低い」は 3.6 ポイント上昇しています。

年齢別でみると、年齢が高いほど「低い」の割合が高くなっています。

地域別でみると、おかよし地域で「低い」の割合がやや高くなっています。

判定条件		
4問13 友人の家を訪ねていますか	1 はい 2 いいえ	左記の4つの設問において、「はい」を回答された場合を1点とし、4問合計で、 2点以下：低い 3点：やや低い 4点：高い と判定します。
4問14 家族や友人の相談にのっていますか		
4問15 病人を見舞うことができますか		
4問16 若い人に自分から話しかけることができますか		



	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
65～69歳	156	52	52	49	3
	100.0	33.3	33.3	31.4	1.9
70～74歳	164	63	48	48	5
	100.0	38.4	29.3	29.3	3.0
75～79歳	213	86	54	60	13
	100.0	40.4	25.4	28.2	6.1
80～84歳	215	103	55	46	11
	100.0	47.9	25.6	21.4	5.1
85～89歳	161	104	34	22	1
	100.0	64.6	21.1	13.7	0.6
90歳以上	83	57	16	6	4
	100.0	68.7	19.3	7.2	4.8

	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
おかよし地域	173	89	37	40	7
	100.0	51.4	21.4	23.1	4.0
きたよし地域	256	121	65	65	5
	100.0	47.3	25.4	25.4	2.0
なかよし地域	309	144	84	70	11
	100.0	46.6	27.2	22.7	3.6
みなよし地域	199	80	63	48	8
	100.0	40.2	31.7	24.1	4.0

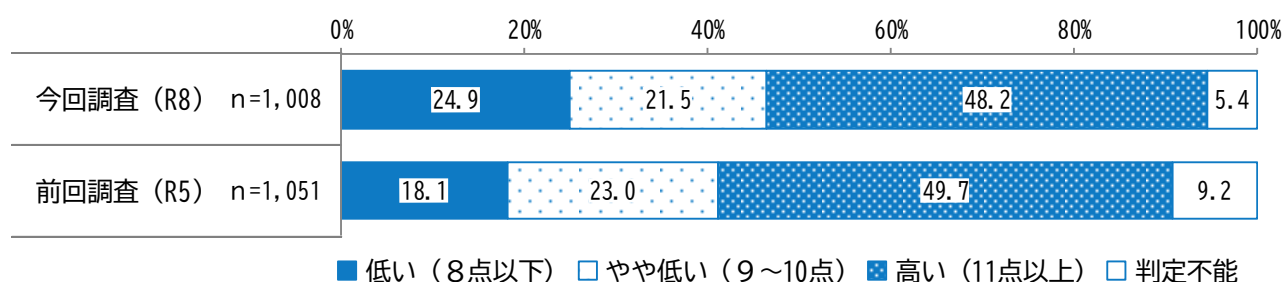
Ⅱ 調査の結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

④老研指標総合評価

「低い」は 24.9%、「やや低い」は 21.5%となっています。前回調査と比べると、「低い」は 6.8 ポイント上昇しています。

年齢別でみると、年齢が高いほど「低い」の割合が高くなっています。

判定条件	
「① I A D L（手段的自立度）」「②知的能動性」「③社会的役割」における各得点の合計点を計算し、	
11 点以上：高い	
9～10 点：やや低い	
8 点以下：低い	
と判定します。	



	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
65～69歳	156	17	29	107	3
	100.0	10.9	18.6	68.6	1.9
70～74歳	164	29	35	93	7
	100.0	17.7	21.3	56.7	4.3
75～79歳	213	45	34	115	19
	100.0	21.1	16.0	54.0	8.9
80～84歳	215	54	52	93	16
	100.0	25.1	24.2	43.3	7.4
85～89歳	161	65	42	51	3
	100.0	40.4	26.1	31.7	1.9
90歳以上	83	35	22	22	4
	100.0	42.2	26.5	26.5	4.8

	件数	低い	やや低い	高い	判定不能
おかよし地域	173	35	42	87	9
	100.0	20.2	24.3	50.3	5.2
きたよし地域	256	64	50	134	8
	100.0	25.0	19.5	52.3	3.1
なかよし地域	309	86	63	141	19
	100.0	27.8	20.4	45.6	6.1
みなよし地域	199	44	42	103	10
	100.0	22.1	21.1	51.8	5.0

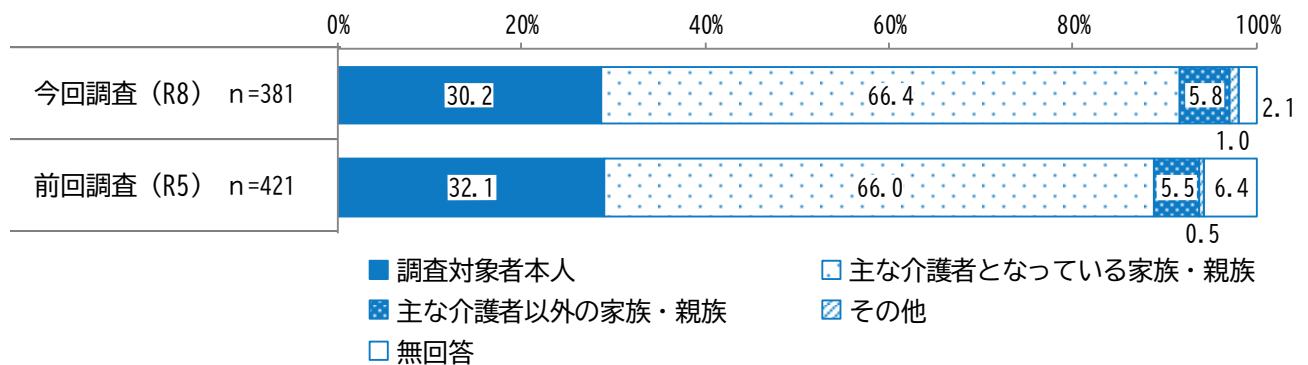
2 在宅介護実態調査

(1) 調査対象者について

1-1 回答者

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（○印はいくつでも）

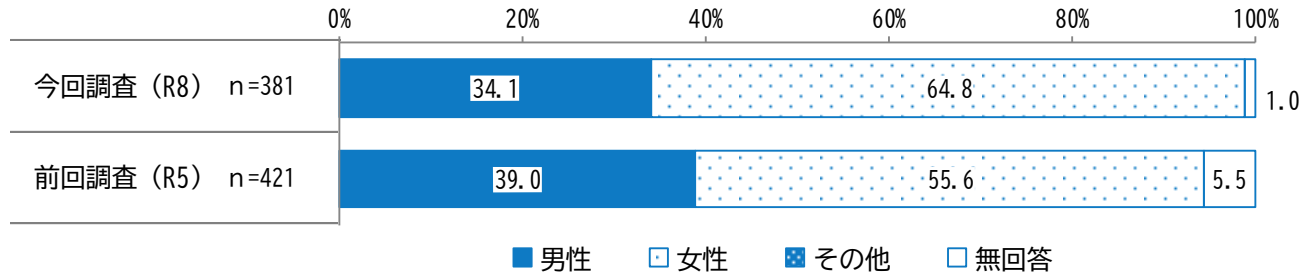
「調査対象者本人」が 30.2%、「主な介護者となっている家族・親族」が 66.4%となっています。



1-2 性別

問1 あなたの性別をご回答ください。（○印は1つだけ）

「男性」が 34.1%、「女性」が 64.8%となっています。

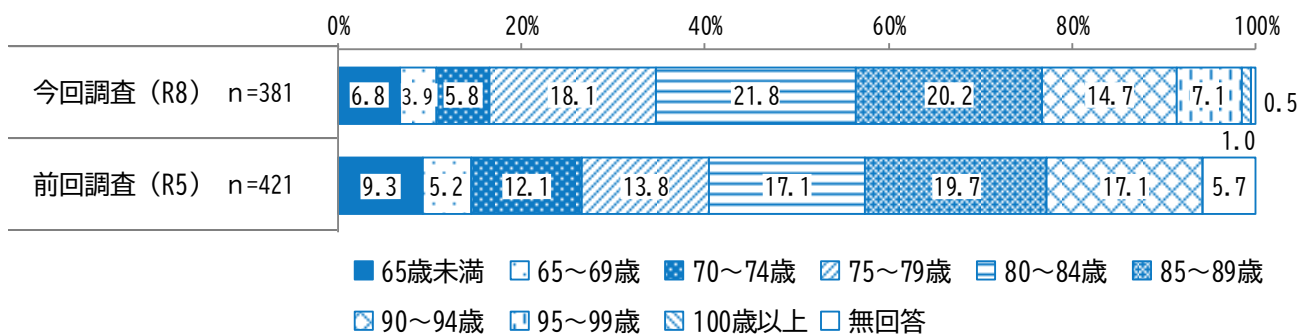


1-3 年齢

問2 あなたの年齢をご回答ください。（○印は1つだけ）

「80～84歳」（21.8%）、「85～89歳」（20.2%）が高くなっています。

前回調査と比べると、85歳以上の人の割合（36.8%→43.0%）が 6.2 ポイント上昇しています。



※前回調査では「90～94歳」は「90歳以上」。

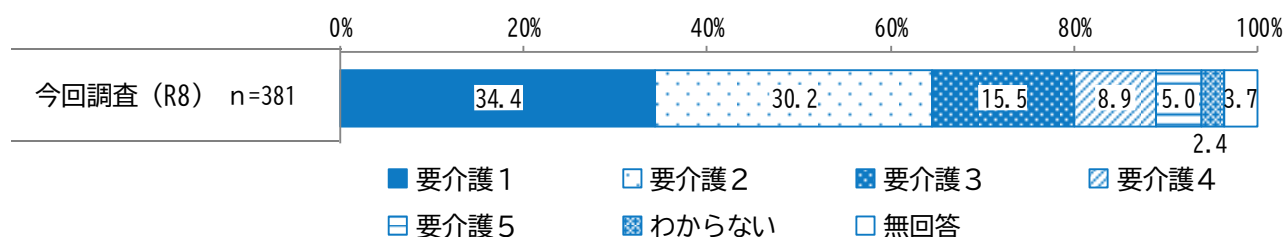
Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

	件数	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答
全 体	381	6.8	3.9	5.8	18.1	21.8	20.2	22.8	0.5
要介護1	131	4.6	1.5	1.5	16.0	22.1	26.7	27.5	-
要介護2	115	6.1	3.5	7.8	16.5	19.1	22.6	24.3	-
要介護3	59	5.1	5.1	8.5	20.3	27.1	13.6	20.3	-
要介護4	34	14.7	2.9	2.9	26.5	17.6	17.6	17.6	-
要介護5	19	10.5	15.8	21.1	10.5	21.1	5.3	15.8	-

1-4 要介護度

問3 あなたの要介護度について、ご回答ください。（○印は1つだけ）

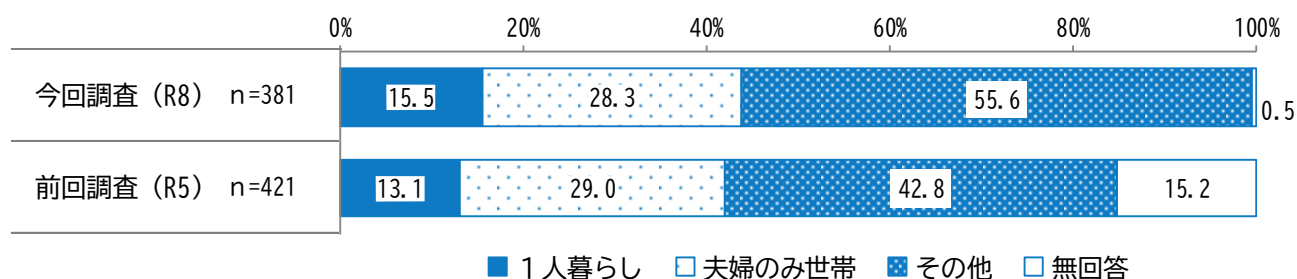
「要介護1」（34.4%）が最も高く、次いで「要介護2」（30.2%）、「要介護3」（15.5%）となっています。



1-5 世帯類型

問4 あなたのご家庭の世帯類型をご回答ください。（○印は1つだけ）

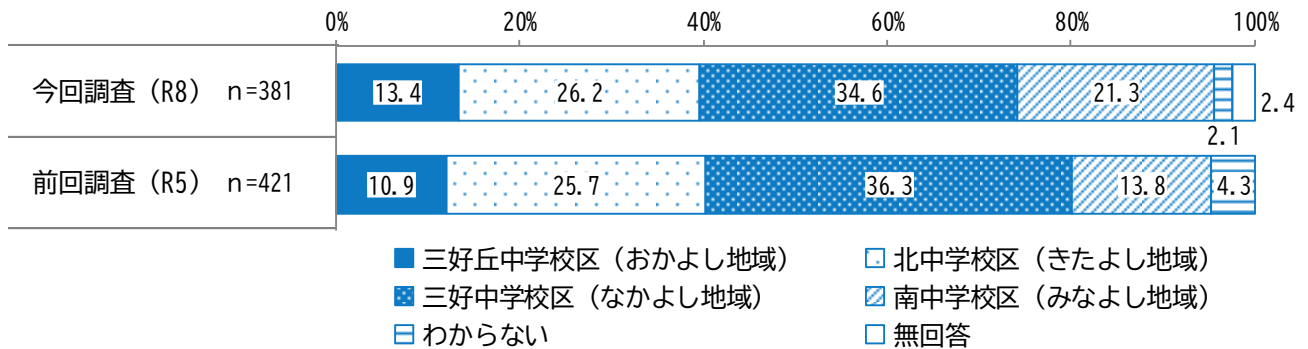
「その他」（55.6%）が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」（28.3%）、「1人暮らし」（15.5%）となっています。



1-6 中学校区

問5 あなたのお住まいの中学校区（地域）をご回答ください。（○印は1つだけ）

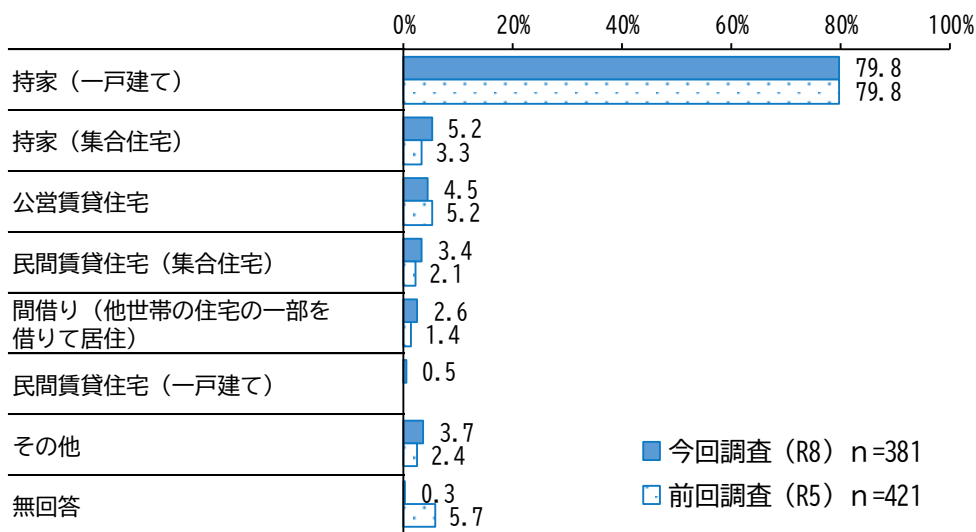
「三好中学校区（なかよし地域）」（34.6%）が最も高く、「三好丘中学校区（おかよし地域）」（13.4%）が最も低くなっています。



1-7 住居形態

問6 お住まいは次のどれにあたりますか。（○印は1つだけ）

「持家（一戸建て）」（79.8%）が最も高く、他の回答は1割未満となっています。



Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

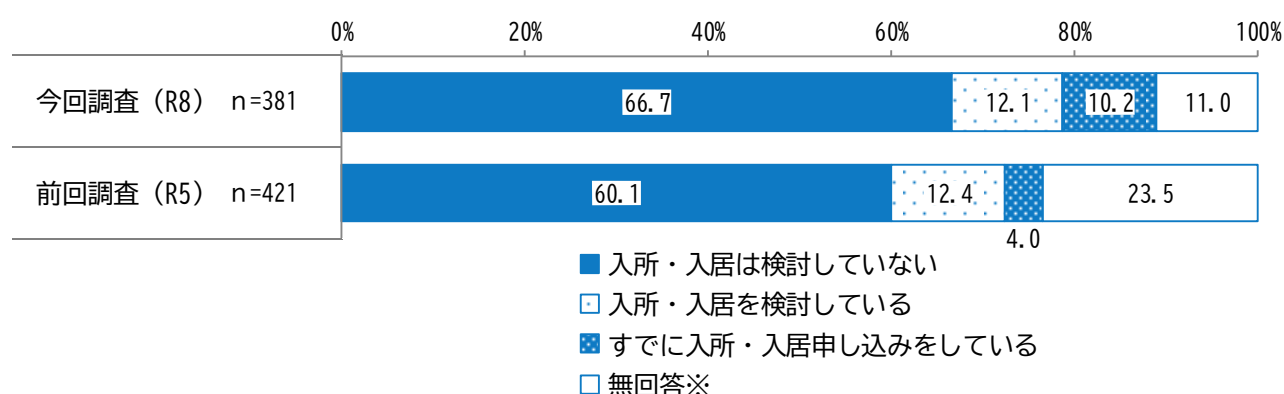
1-8 施設等への入所・入居の検討状況

問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（○印は1つだけ）

「入所・入居は検討していない」（66.7%）が最も高く、『入所・入居を検討した』（「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」の計）は22.3%となっています。

前回調査と比べると、『入所・入居を検討した』（16.4%→22.3%）は5.9ポイント上昇していますが、「入所・入居は検討していない」も6.6ポイント上昇しています。

要介護度別でみると、『入所・入居を検討した』は要介護3以上で3割以上と高くなっています。



※前回調査の「無回答」には「すでに入所している」（11.9%）を含む。

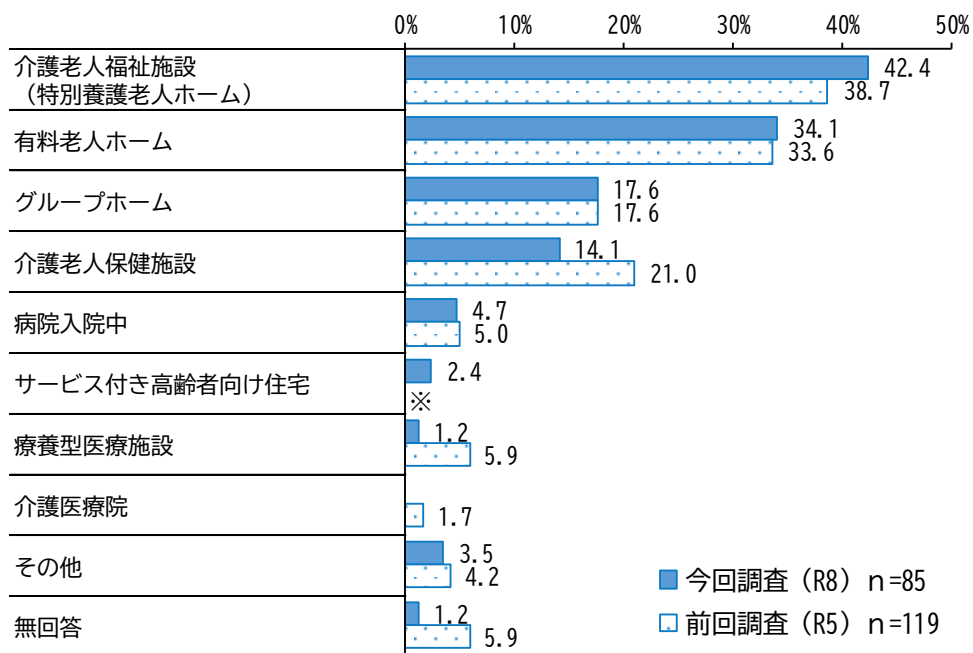
	件数	入所・入居を検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全 体	381	66.7	12.1	10.2	11.0
要介護1	131	71.8	11.5	4.6	12.2
要介護2	115	68.7	11.3	8.7	11.3
要介護3	59	55.9	15.3	16.9	11.9
要介護4	34	50.0	17.6	23.5	8.8
要介護5	19	68.4	10.5	21.1	-

問7で「入所・入居を検討」「すでに申し込み」と回答した人のみ

問7-1 現時点での、入所・入居を検討している（入所・入居している）施設について、ご回答ください。（○印はいくつでも）

入所・入居を検討している（入所・入居している）施設は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（42.4%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム」（34.1%）、「グループホーム」（17.6%）となっています。

前回調査と比べると、「グループホーム」が順位を上げています。



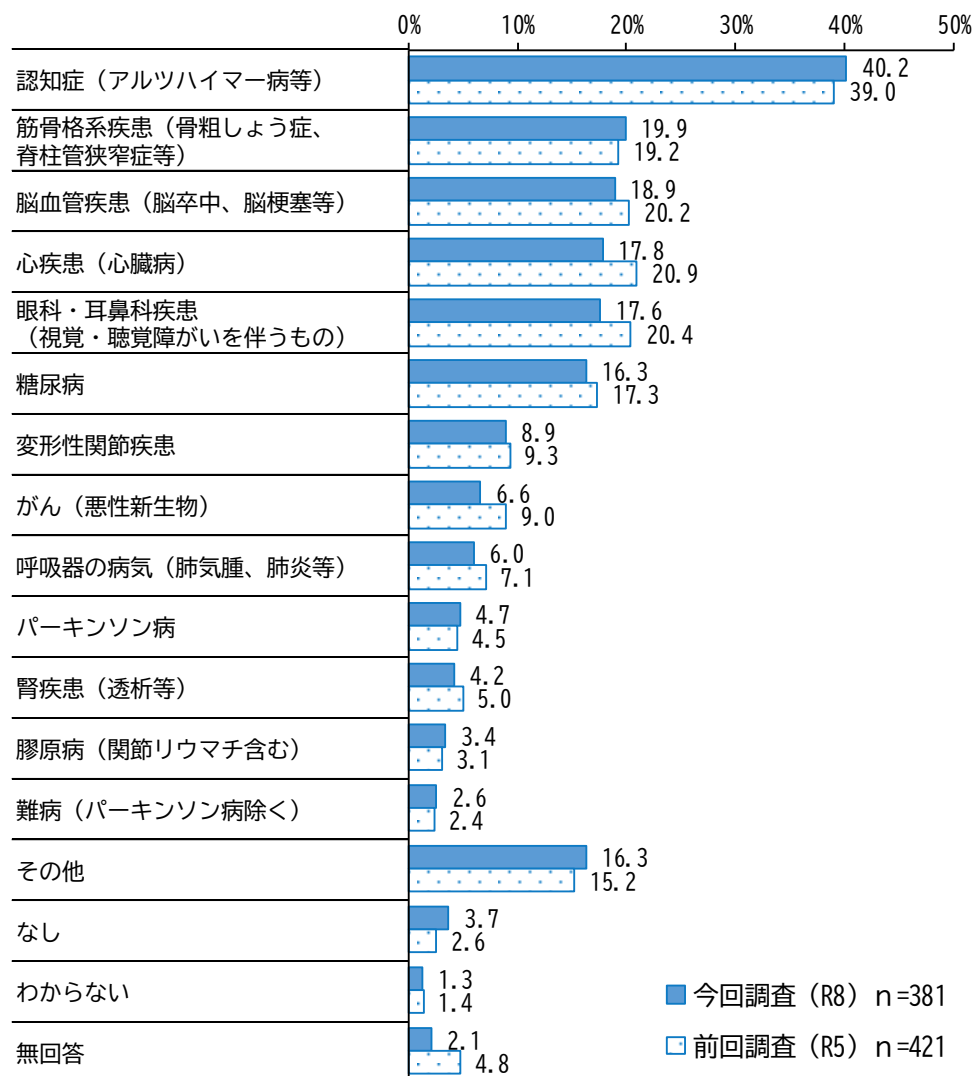
※前回調査は選択肢無し。

Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

1-9 現在抱えている傷病

問8 あなたが現在抱えている傷病についてご回答ください。（○印はいくつでも）

「認知症」（40.2%）が最も高く、次いで「筋骨格系疾患」（19.9%）、「脳血管疾患」（18.9%）、「心疾患」（17.8%）、「眼科・耳鼻科疾患」（17.6%）となっています。



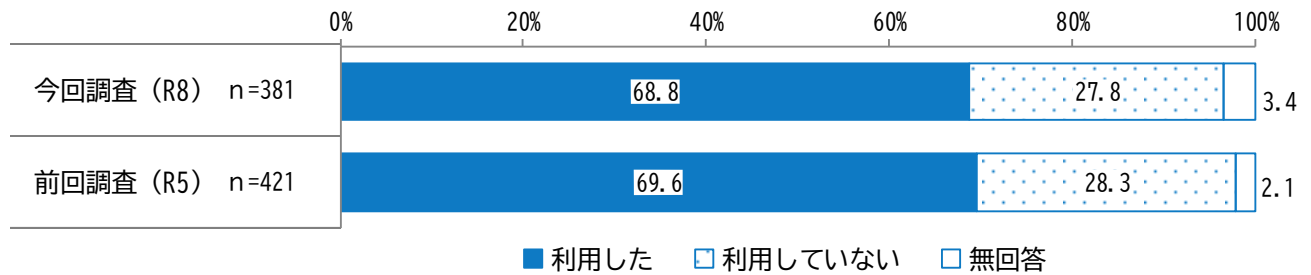
(2) 介護保険サービス等の利用について

2-1 介護保険サービスの利用状況

問9 令和7年(2025)年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○印は1つだけ)

介護保険サービスの利用の有無については、「利用した」が68.8%となっています。

要介護度別でみると、「利用した」は要介護5(78.9%)、要介護2(75.7%)で高くなっています。



	件数	利用した	利用していない	無回答
全 体	381	68.8	27.8	3.4
要介護1	131	64.9	31.3	3.8
要介護2	115	75.7	21.7	2.6
要介護3	59	69.5	27.1	3.4
要介護4	34	70.6	26.5	2.9
要介護5	19	78.9	21.1	-

Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

問9で「利用した」と回答した人のみ

問9－1 以下の介護保険サービスについて、令和7年（2025）年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（○印はそれぞれ1つだけ）

介護保険サービス別の利用状況については、『利用した』（「利用していない」と無回答を除く回答の計）は「通所介護」（64.8％）で最も高く、次いで「訪問看護」「通所リハビリテーション」（ともに 21.8％）、「訪問介護」（20.2％）、「ショートステイ」（19.5％）となっています。

	件数	利用していない	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	無回答
A 訪問介護（ホームヘルプサービス）	262 100.0	152 58.0	17 6.5	12 4.6	5 1.9	5 1.9	14 5.3	57 21.8
B 訪問入浴介護	262 100.0	185 70.6	10 3.8	10 3.8	3 1.1	1 0.4	－	53 20.2
C 訪問看護	262 100.0	149 56.9	35 13.4	14 5.3	7 2.7	1 0.4	－	56 21.4
D 訪問リハビリテーション	262 100.0	162 61.8	21 8.0	24 9.2	4 1.5	－	－	51 19.5
E 通所介護（デイサービス）	262 100.0	66 25.2	20 7.6	44 16.8	52 19.8	32 12.2	22 8.4	26 9.9
F 通所リハビリテーション（デイケア）	262 100.0	156 59.5	12 4.6	18 6.9	17 6.5	9 3.4	1 0.4	49 18.7

	件数	利用していない	利用した	無回答
G 小規模多機能型居宅介護	262 100.0	196 74.8	14 5.3	52 19.8

	件数	利用していない	月1回 1～7日	月1～4回 8～13日	月1～2回 14～19日	月2回以上 20～25日	無回答
H ショートステイ	262 100.0	178 67.9	34 13.0	13 5.0	1 0.4	3 1.1	33 12.6

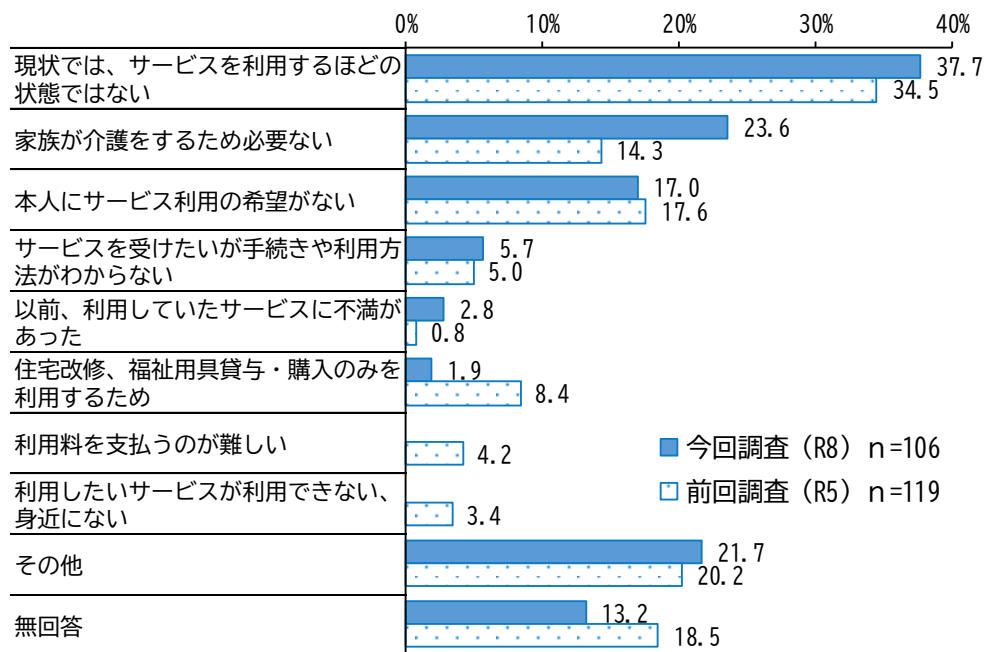
	件数	利用していない	月1回	月2回	月3回	月4回	無回答
I 居宅療養管理指導	262 100.0	189 72.1	17 6.5	10 3.8	－	2 0.8	44 16.8

2-2 介護保険サービスを利用していない理由

問9で「利用していない」と回答した人のみ

問9-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○印はいくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（37.7%）が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」（23.6%）、「本人にサービス利用の希望がない」（17.0%）となっています。

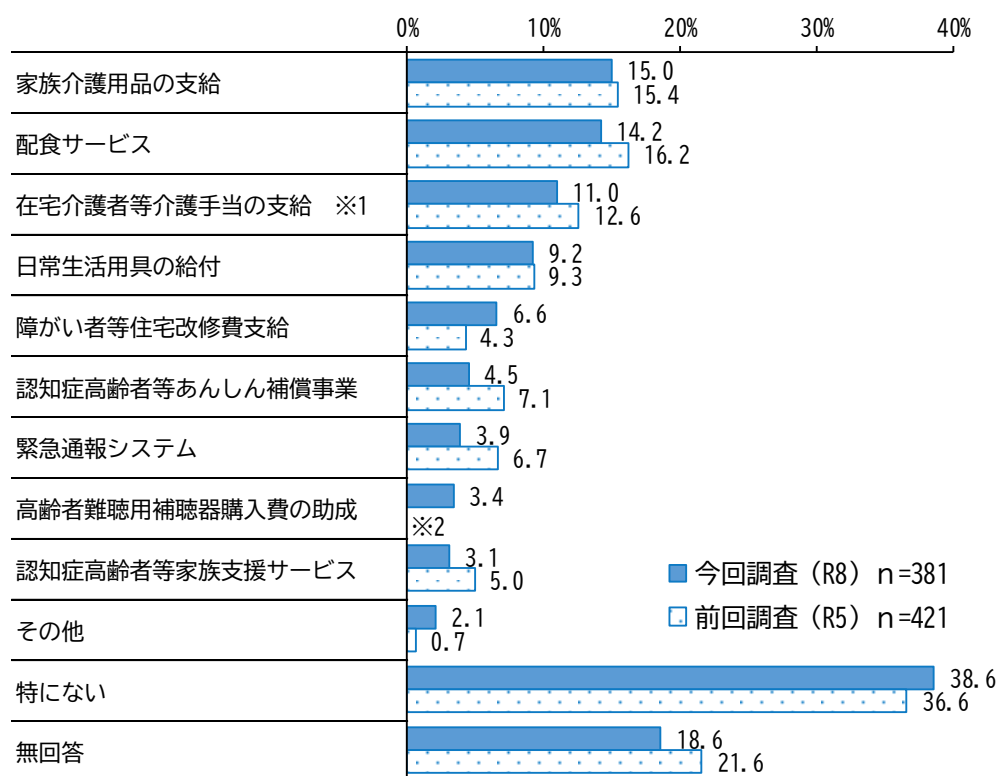


Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

2-3 現在利用している介護保険外サービス

問10 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援及びサービスについて、ご回答ください。（○印はいくつでも）

「特にない」（38.6%）が最も高く、全体から「特にない」と無回答を除いた『介護保険外サービスを利用している』人は 42.8%となっています。利用しているサービスでは、「家族介護用品の支給」（15.0%）が最も高く、次いで「配食サービス」（14.2%）、「在宅介護者等介護手当の支給」（11.0%）となっています。



※1：前回調査では「ねたきり老人等手当の支給」。

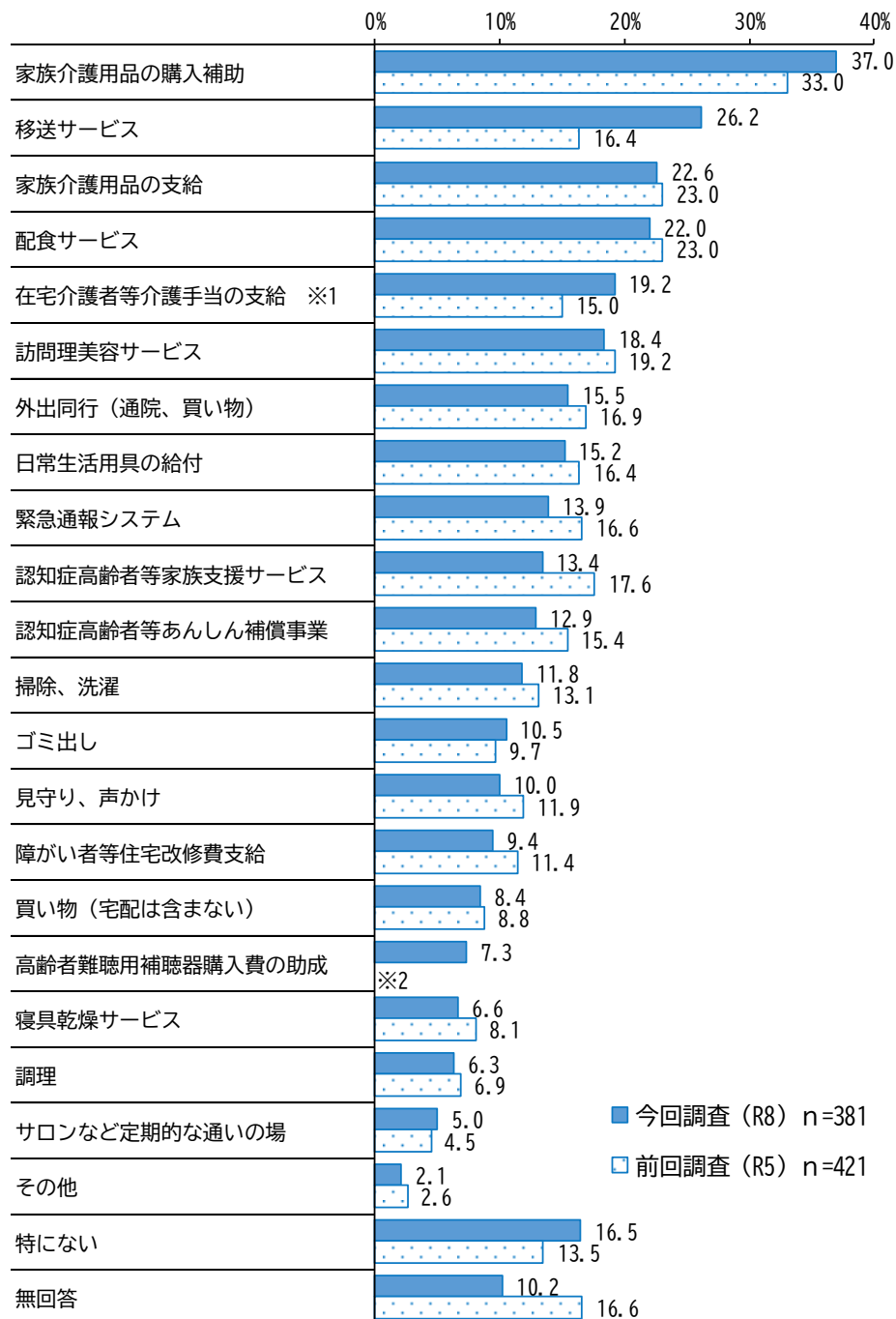
※2：前回調査は選択肢無し。他に「床ずれ防止用具等購入費等の助成」が4.8%。

2-4 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてご回答ください。（○印はいくつでも）

「家族介護用品の購入補助」（37.0%）が最も高く、次いで「移送サービス」（26.2%）、「家族介護用品の支給」（22.6%）、「配食サービス」（22.0%）となっています。

「特にない」は 16.5%で、全体から「特にない」と無回答を除いた『支援・サービスを必要としている』人は 73.3%となっています。



※1：前回調査では「ねたきり老人等手当の支給」。

※2：前回調査は選択肢無し。他に「床ずれ防止用具等購入費等の助成」が 9.3%。

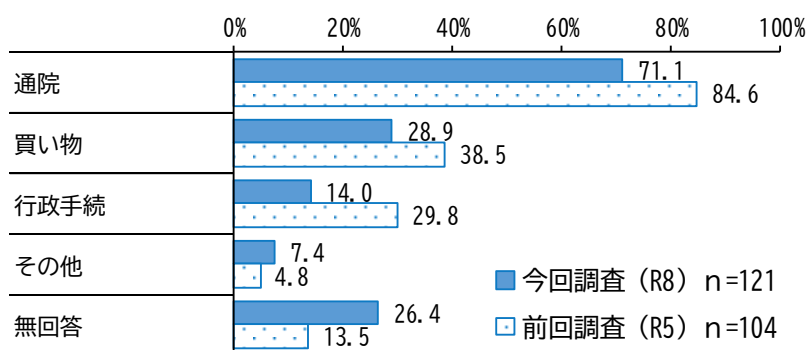
Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

2-5 外出や移送について

問11で「外出同行」「移送サービス」と答えた人のみ

問11-1 (外出や移送の) 目的は何ですか。(○印はいくつでも)

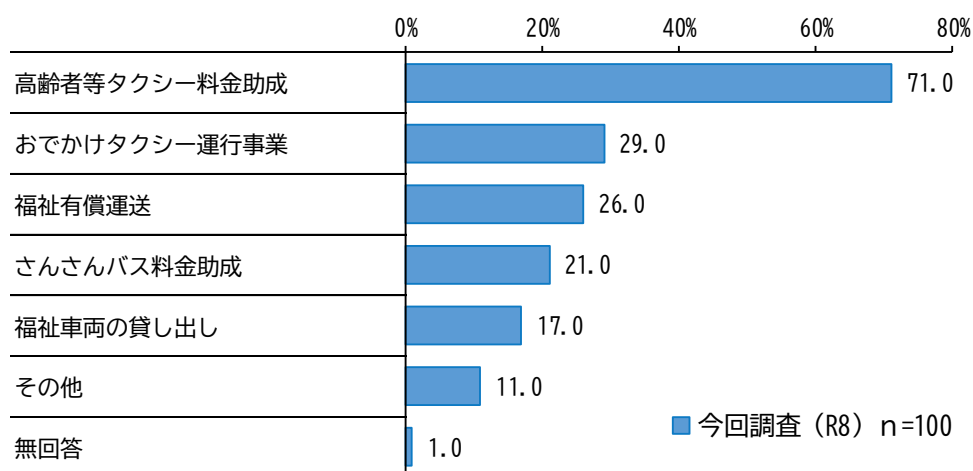
外出や移送の目的は、「通院」(71.1%)が最も高く、次いで「買い物」(28.9%)、「行政手続」(14.0%)となっています。



問11で「移送サービス」と答えた人のみ

問11-2 移送手段は何ですか。(○印はいくつでも)

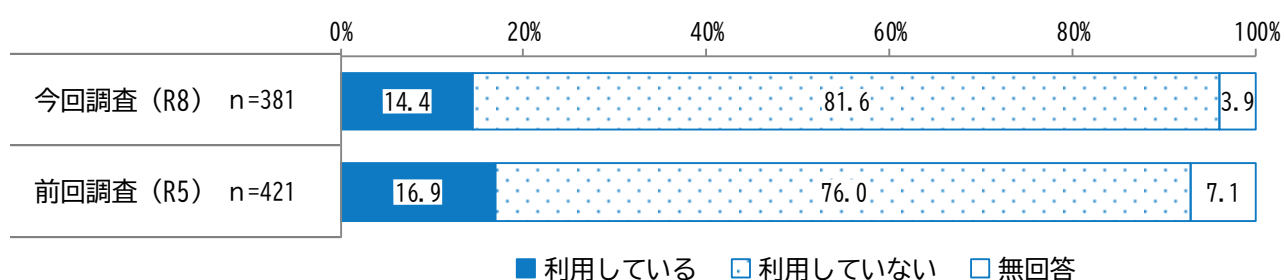
移送手段は、「高齢者等タクシー料金助成」(71.0%)が最も高く、次いで「おでかけタクシー運行事業」(29.0%)、「福祉有償運送」(26.0%)となっています。



2-6 訪問診療の利用の有無

問12 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(○印は1つだけ)

「利用している」が14.4%となっています。

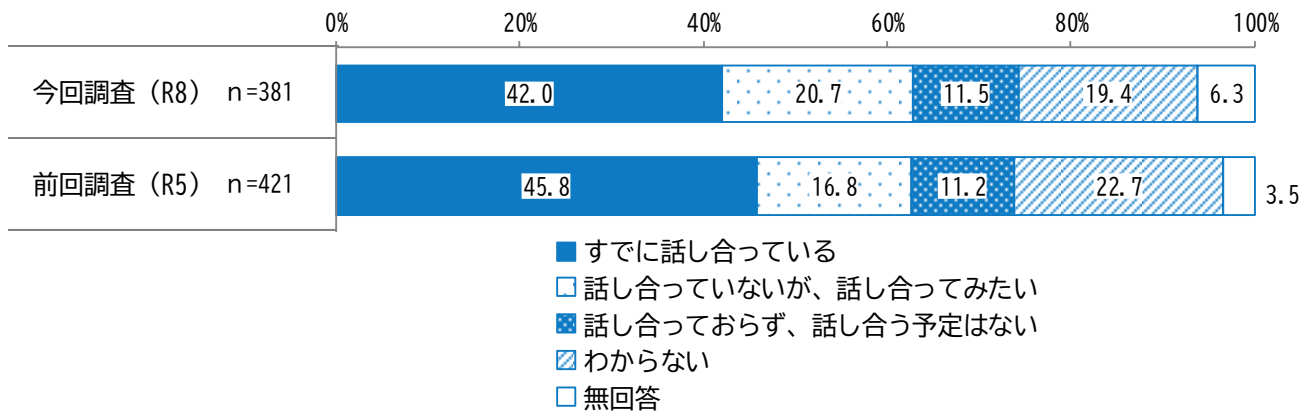


(3) 家族による介護等について

3-1 看取り等について

問13 あなたは、ご家族と将来のこと（医療や介護等）について話し合っていますか。
（○印は1つだけ）

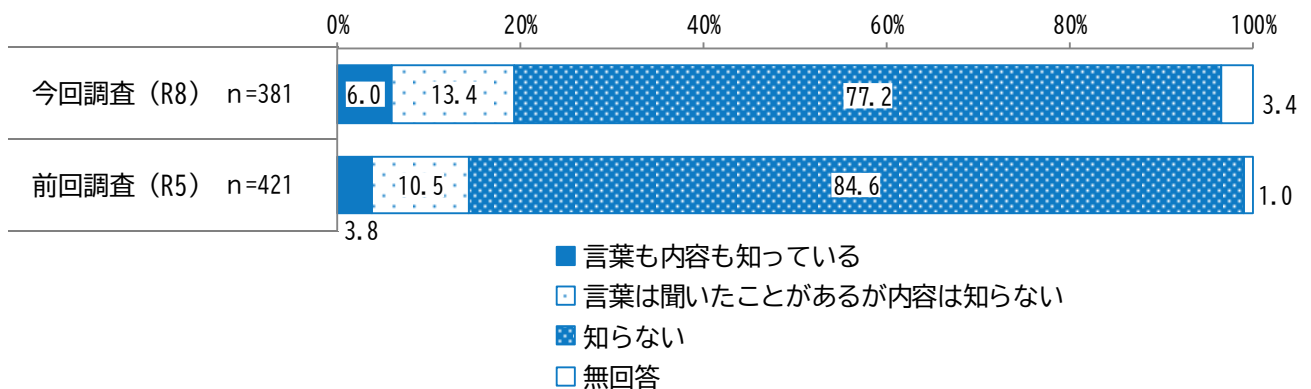
将来のこと（医療や介護等）についての話し合いの状況は、「すでに話し合っている」（42.0%）が最も高く、次いで「話し合っていないが、話し合ってみたい」（20.7%）となっています。



問14 あなたは、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）という言葉について、知っていますか。（○印は1つだけ）

人生会議の認知度は、「知らない」（77.2%）が最も高く、「言葉も内容も知っている」は6.0%、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は19.4%となっています。

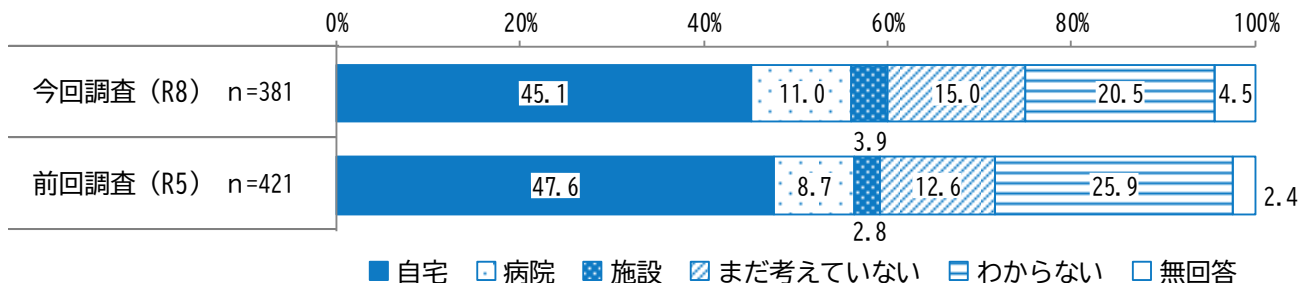
前回調査と比べると、『言葉は知っている』（14.3%→19.4%）は5.1ポイント上昇しています。



Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護実態調査

問15 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。（○印は1つだけ）

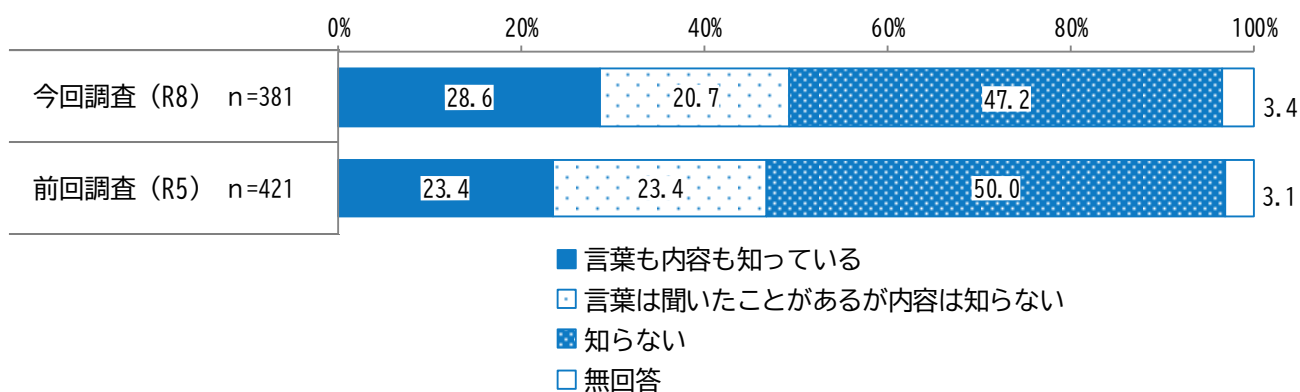
人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」（45.1%）が最も高く、次いで「わからない」（20.5%）、「まだ考えていない」（15.0%）、「病院」（11.0%）となっています。



問16 あなたは、「エンディングノート」について、知っていますか。（○印は1つだけ）

エンディングノートの認知度は、「知らない」（47.2%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は49.3%となっています。

前回調査と比べると、「言葉も内容も知っている」は5.2ポイント上昇しています。

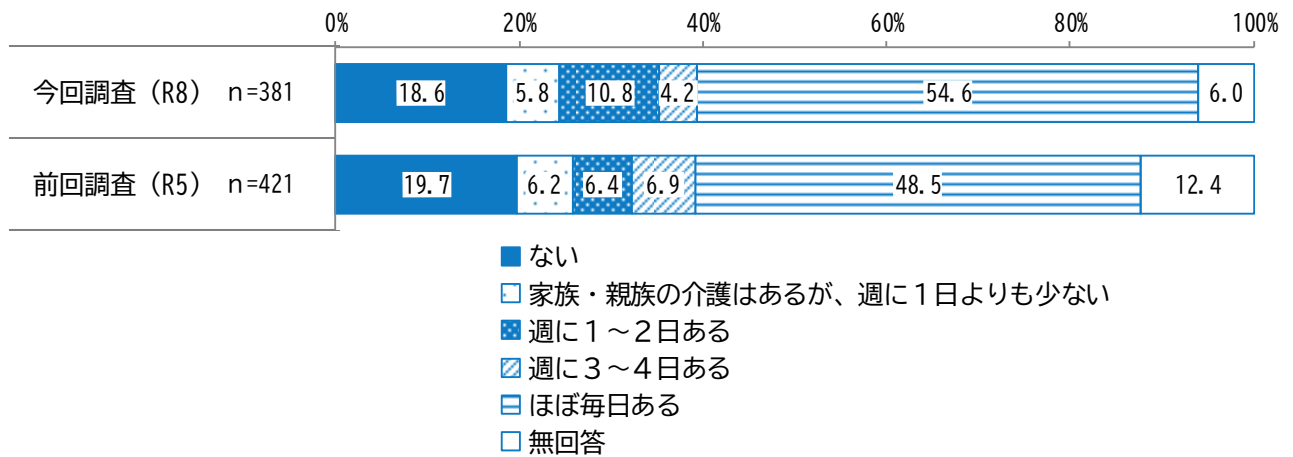


3-2 家族等による介護の頻度

問17 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○印は1つだけ）

「ほぼ毎日ある」（54.6%）が最も高く、「ない」が 18.6%となっています。全体から「ない」と無回答を除いた『家族介護者あり』は 75.4%となっています。

前回調査と比べると、『家族介護者あり』（67.9%→75.4%）は 7.5 ポイント上昇しています。



3 家庭介護者調査

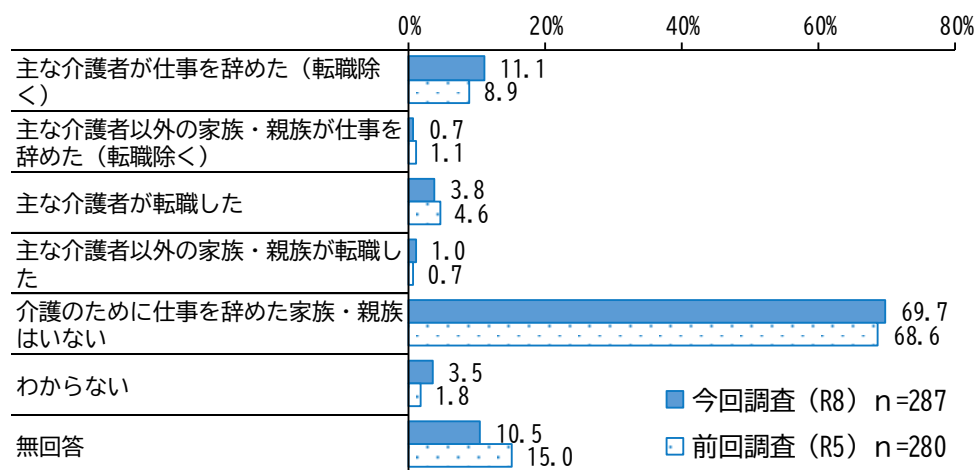
(1) 主な介護者について

問17で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「ほぼ毎日ある」と答えた人のみ

1-1 介護のための離職の有無

問18 ご家族やご親族の中で、封筒の宛名の方（要介護認定を受けている方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○印はいくつでも）

「主な介護者が仕事を辞めた」は11.1%、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は69.7%となっています。全体から「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と「わからない」と無回答を除いた『家族等が介護のために離職した』人の割合は16.3%となっています。

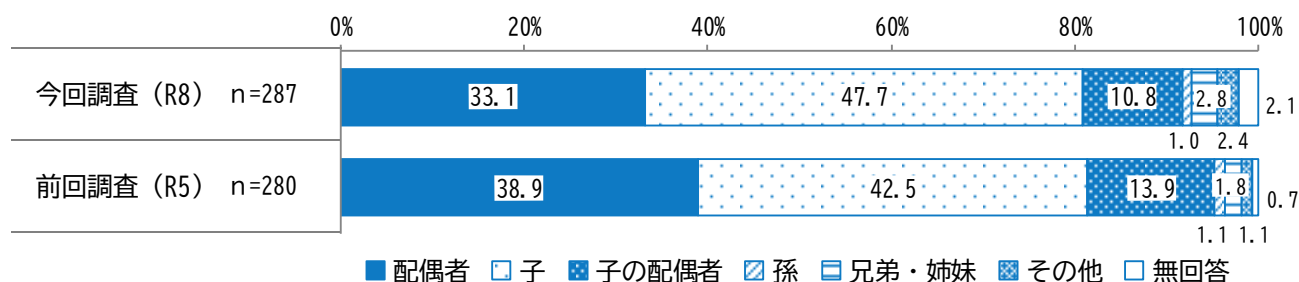


1-2 主な介護者の続柄

問19 主な介護者の方はどなたですか。封筒の宛名の方から見た続柄でお答えください。（○印は1つだけ）

「子」（47.7%）が最も高く、次いで「配偶者」（33.1%）、「子の配偶者」（10.8%）となっています。

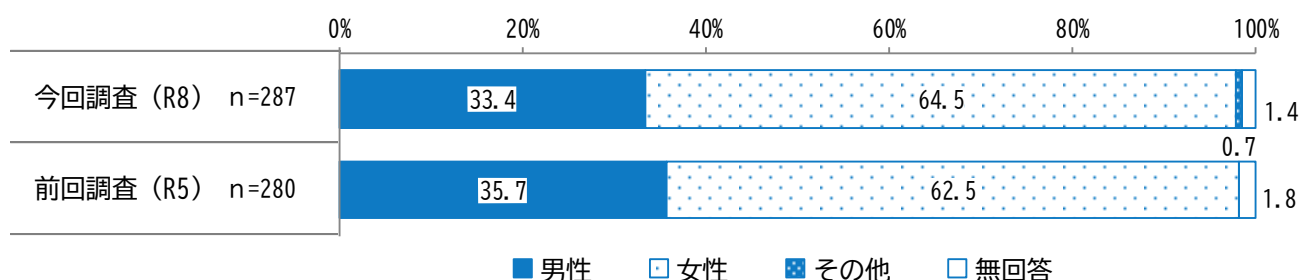
前回調査と比べると、「子」が5.2ポイント上昇し、「配偶者」が5.8ポイント低下しています。



1-3 主な介護者の性別

問20 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○印は1つだけ）

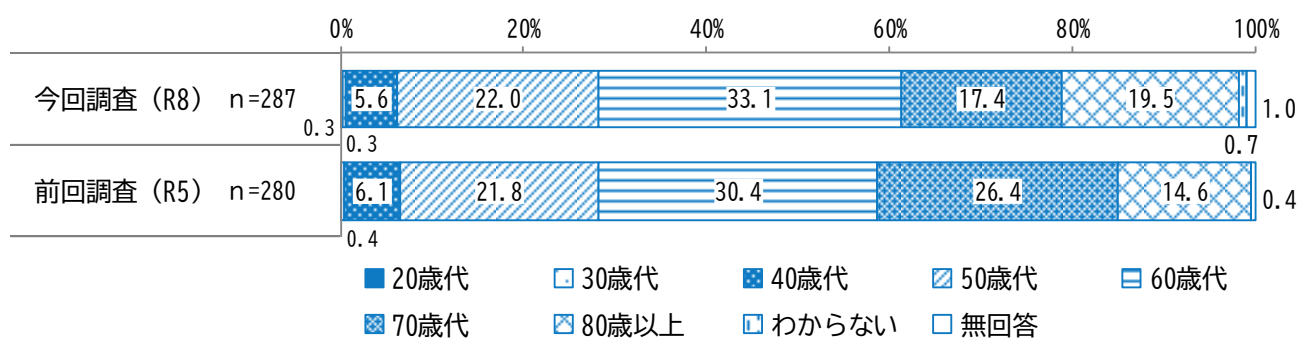
主な介護者の性別は、「男性」が 33.4%、「女性」が 64.5%となっています。



1-4 主な介護者の年齢

問21 主な介護者の年齢について、ご回答ください。（○印は1つだけ）

主な介護者の年齢は、「60 歳代」(33.1%) が最も高く、次いで「50 歳代」(22.0%)、「80 歳以上」(19.5%) となっており、『70 歳以上』(「70 歳代」「80 歳以上」の計) は 36.9%となっています。



※前回調査では「30 歳代」は「40 歳未満」。

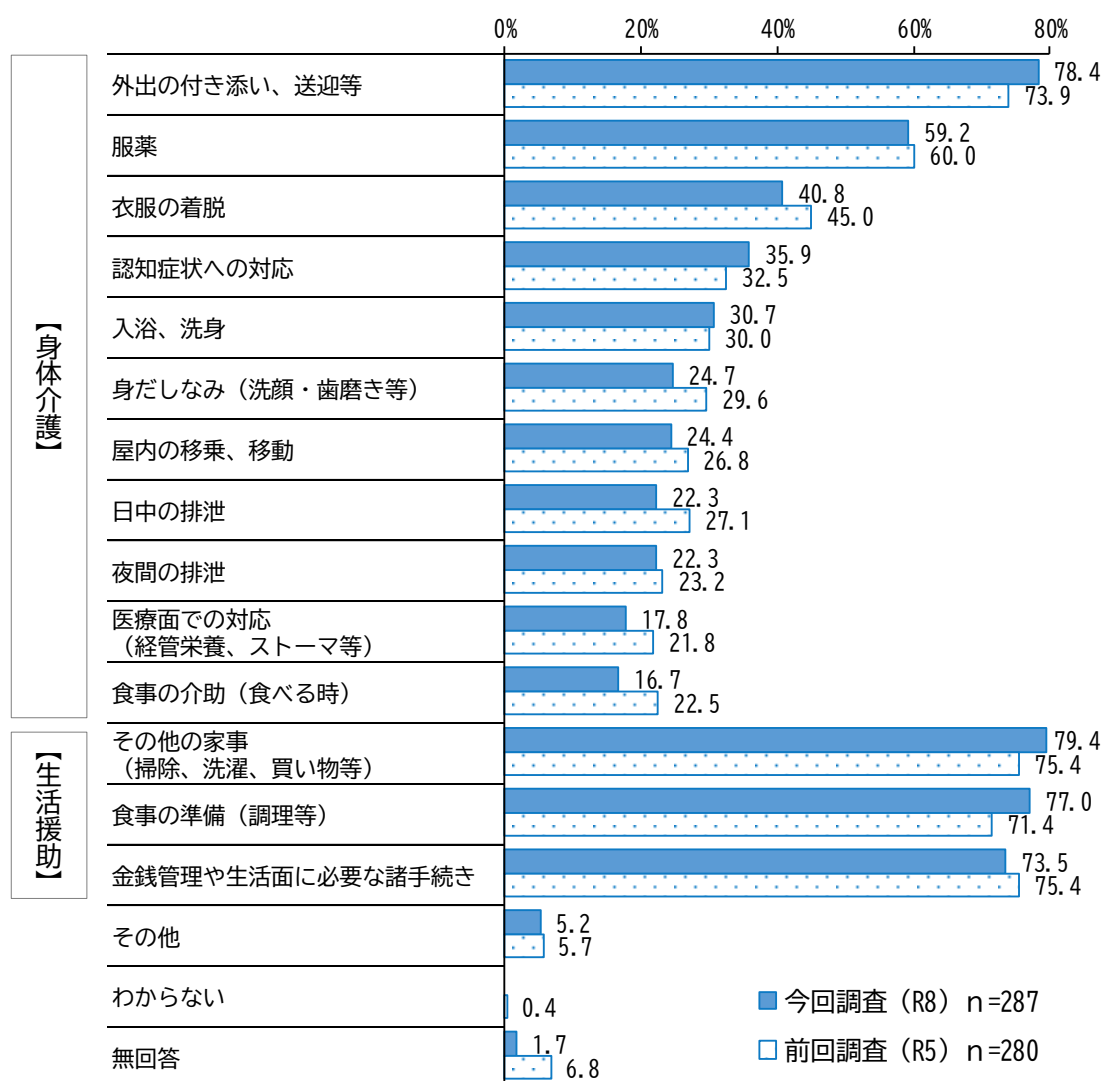
Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

1-5 現在行っている介護

問22 現在、主な介護者の方が行っている介護等についてご回答ください。（○印はいくつでも）

【身体介護】では「外出の付き添い、送迎等」（78.4%）が最も高く、次いで「服薬」（59.2%）、「衣服の着脱」（40.8%）、「認知症状への対応」（35.9%）、「入浴、洗身」（30.7%）となっています。

一方、【生活援助】では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（79.4%）が最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」（77.0%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（73.5%）と、いずれも7割以上の高い割合となっています。



要介護度別でみると、【身体介護】では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「医療面での対応」を除くすべての項目は要介護3以上で、「医療面での対応」は要介護5でそれぞれ高くなっています。また、「認知症状への対応」は要介護1で45.5%と高くなっています。

	件数	外出の付き添い、送迎等	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	入浴、洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	屋内の移乗、移動	日中の排泄	夜間の排泄	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の介助（食べる時）	濯、買物等（掃除、洗濯、買い物等）	食事の準備（調理等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	わからない	無回答
全 体	287	78.4	59.2	40.8	35.9	30.7	24.7	24.4	22.3	22.3	17.8	16.7	79.4	77.0	73.5	5.2	-	1.7
要介護1	101	74.3	58.4	22.8	45.5	27.7	12.9	9.9	7.9	8.9	14.9	5.9	73.3	77.2	68.3	3.0	-	3.0
要介護2	90	84.4	51.1	33.3	34.4	24.4	17.8	22.2	15.6	17.8	16.7	12.2	84.4	80.0	78.9	8.9	-	1.1
要介護3	48	81.3	70.8	72.9	25.0	39.6	37.5	37.5	35.4	35.4	12.5	27.1	85.4	85.4	75.0	6.3	-	-
要介護4	25	72.0	68.0	68.0	32.0	48.0	48.0	44.0	52.0	40.0	20.0	44.0	72.0	76.0	68.0	4.0	-	-
要介護5	13	69.2	84.6	84.6	30.8	46.2	92.3	53.8	84.6	69.2	53.8	53.8	84.6	46.2	84.6	-	-	7.7

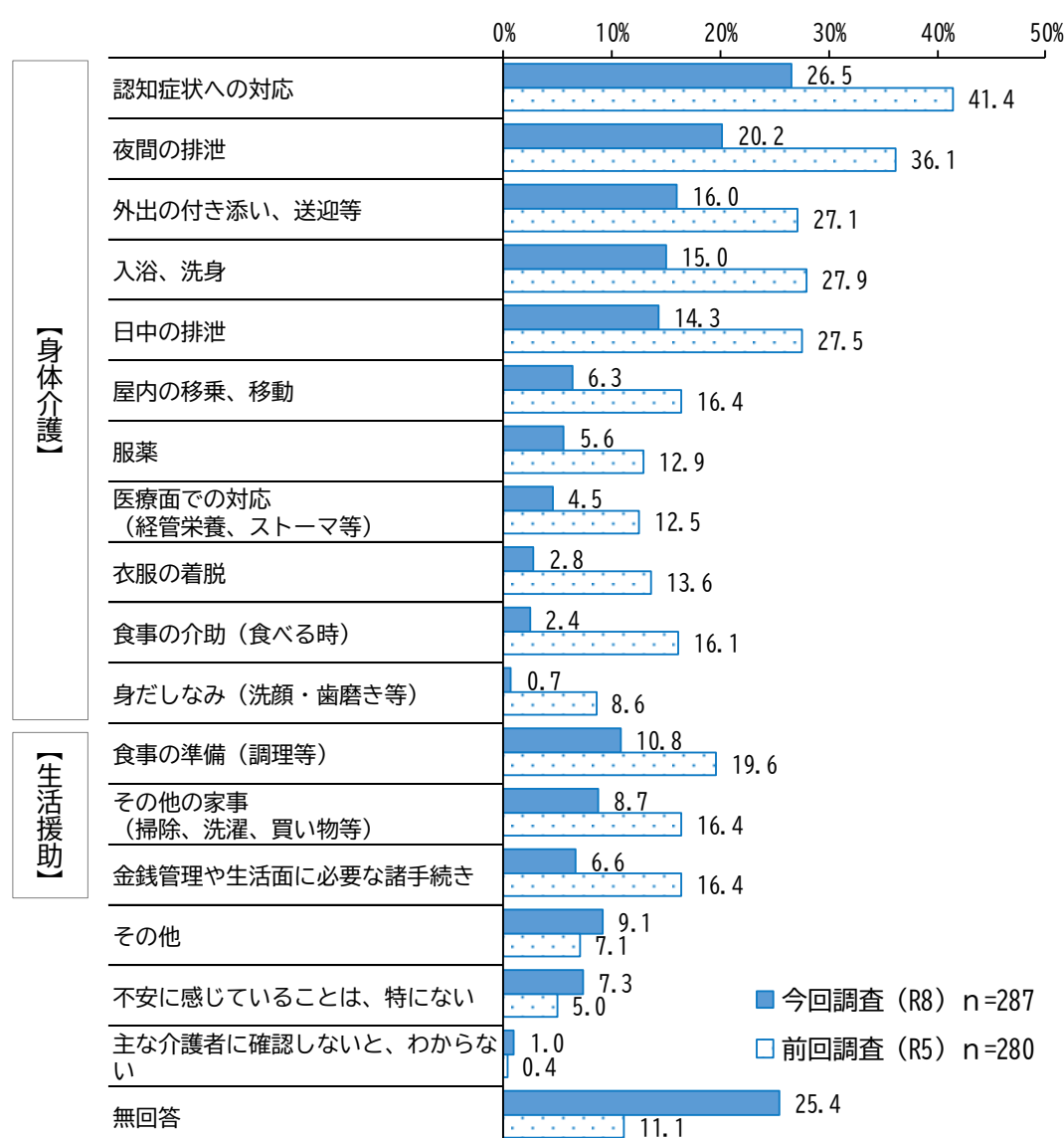
Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

1-6 在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護

問23 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等についてご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（○印は3つまで）

【身体介護】では「認知症状への対応」(26.5%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」(20.2%)、「外出の付き添い、送迎等」(16.0%)、「入浴、洗身」(15.0%)、「日中の排泄」(14.3%)となっています。

一方、【生活援助】では「食事の準備（調理等）」(10.8%)が最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(8.7%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(6.6%)と、いずれも【身体介護】の上位5項目より低い割合となっています。



要介護度別でみると、「認知症状への対応」は要介護1で38.6%、「衣服の着脱」は要介護5で15.4%と、いずれも高くなっています。

	件数	認知症状への対応	夜間の排泄	外出の付き添い、送迎等	入浴、洗身	日中の排泄	屋内の移乗、移動	服薬	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	衣服の着脱	食事の介助（食べる時）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	287	26.5	20.2	16.0	15.0	14.3	6.3	5.6	4.5	2.8	2.4	0.7	10.8	8.7	6.6	9.1	7.3	1.0	25.4
要介護1	101	38.6	20.8	18.8	15.8	13.9	5.0	7.9	6.9	1.0	2.0	-	12.9	7.9	5.9	7.9	3.0	1.0	23.8
要介護2	90	21.1	26.7	14.4	18.9	16.7	7.8	6.7	2.2	3.3	3.3	2.2	11.1	12.2	5.6	5.6	3.3	-	31.1
要介護3	48	25.0	16.7	16.7	4.2	16.7	6.3	2.1	2.1	4.2	2.1	-	6.3	6.3	10.4	16.7	10.4	2.1	25.0
要介護4	25	20.0	12.0	16.0	16.0	12.0	8.0	4.0	4.0	-	4.0	-	12.0	8.0	4.0	16.0	16.0	-	16.0
要介護5	13	-	15.4	7.7	23.1	7.7	7.7	-	7.7	15.4	-	-	7.7	-	7.7	-	38.5	-	15.4

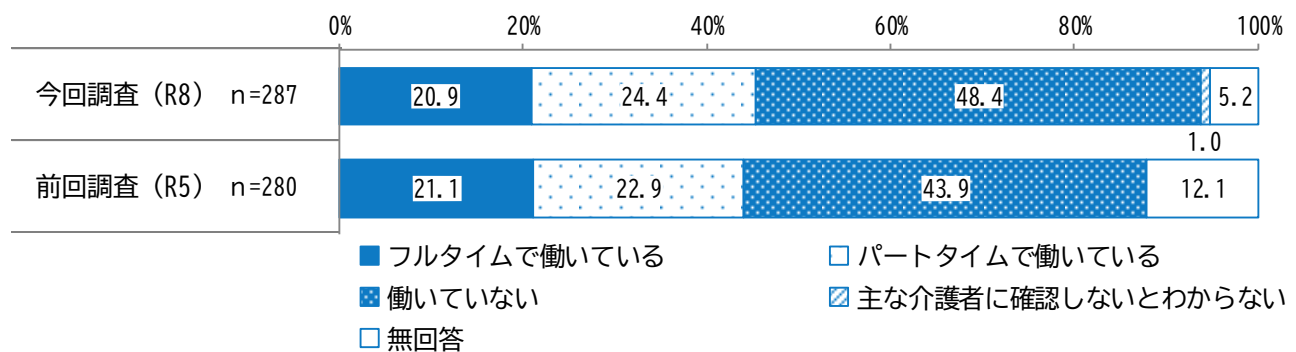
Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

(2) 主な介護者の就労状況について

2-1 介護者の勤務形態

問24 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○印は1つだけ）

「働いていない」(48.4%)が最も高く、次いで「パートタイムで働いている」(24.4%)、「フルタイムで働いている」(20.9%)となっています。



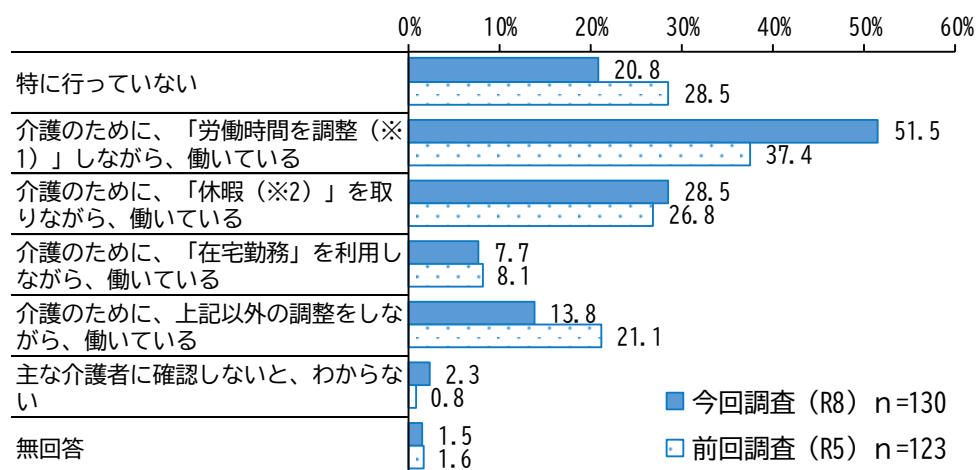
2-2 介護のための働き方の調整の状況

問24で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人（働いている人）のみ

問24-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（○印はいくつでも）

全体から「特に行っていない」と「主な介護者に確認しないと、わからない」と無回答を除いた『介護のために働き方を調整している』人は 75.4%となっています。調整方法としては、「介護のために、労働時間を調整しながら働いている」(51.5%)が最も高く、次いで「介護のために、休暇を取りながら働いている」(28.5%)、「介護のために、上記以外の調整をしながら働いている」(13.8%)となっています。

前回調査と比べると、『介護のために働き方を調整している』(69.1%→75.4%)は 6.3 ポイント上昇しています。



※1：残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等

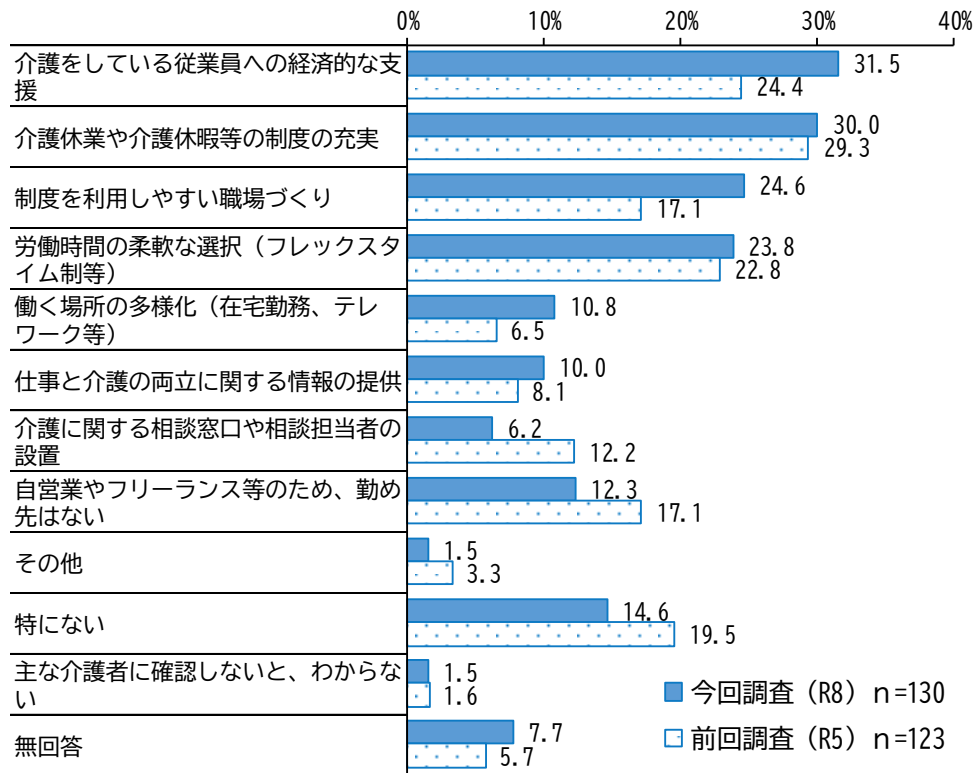
※2：年休や介護休暇等

2-3 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

問24で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人（働いている人）のみ

問24-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○印は3つまで）

「介護をしている従業員への経済的な支援」（31.5%）が最も高く、次いで「介護休業や介護休暇等の制度の充実」（30.0%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（24.6%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」（23.8%）となっています。



Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

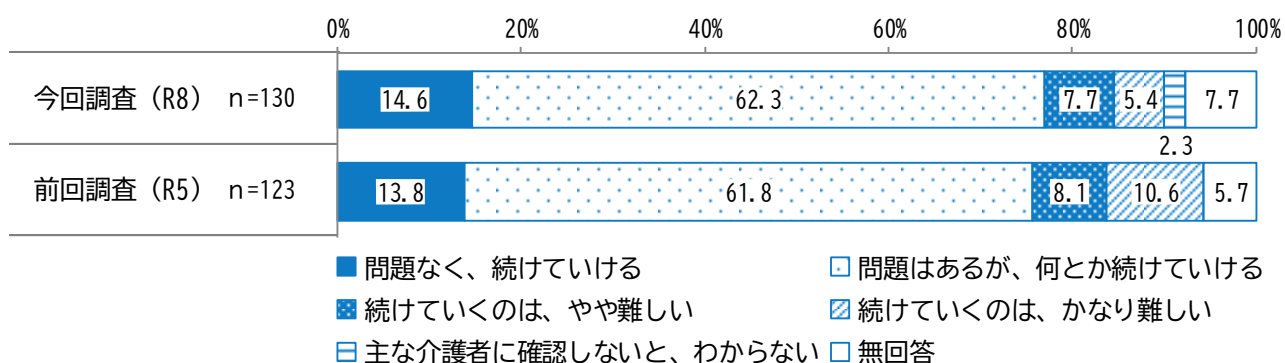
2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

問24で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人（働いている人）のみ

問24-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○印は1つだけ）

『続けていける』（「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の計）は 76.9%、『続けていくのは難しい』（「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」の計）は 13.1%となっています。

前回調査と比べると、『続けていくのは難しい』（18.7%→13.1%）が 5.6 ポイント低下しています。

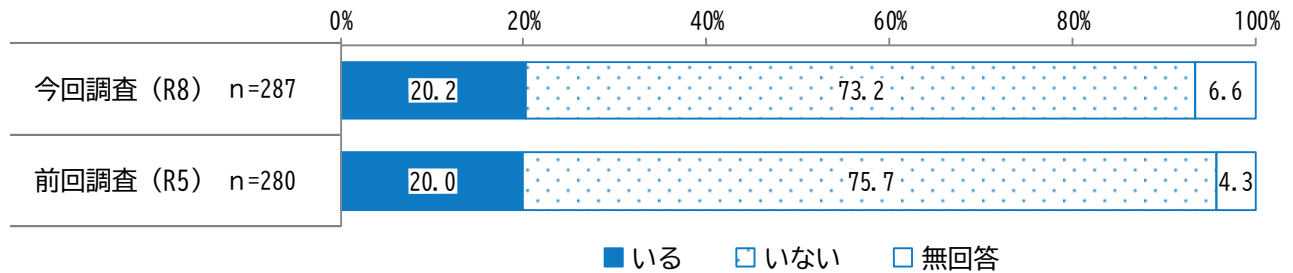


(3) 介護についての困りごと等について

3-1 対象者以外の被介護者の有無

問25 主な介護者の方には、封筒の宛名の方以外に介護をしている家族・親族（乳幼児・障がいのある人・介護が必要な高齢者など）がいますか。（○印は1つだけ）

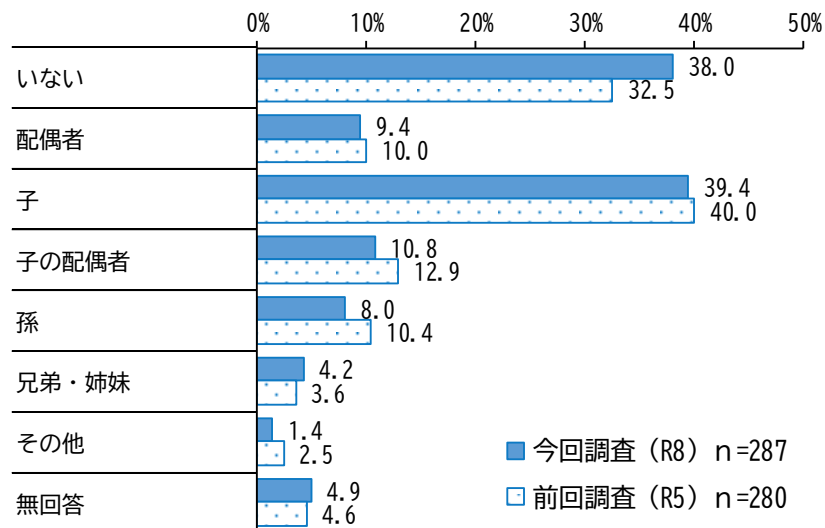
「いる」（ダブルケアの状態にある）が 20.2%となっています。



3-2 主な介護者以外の介護者

問26 主な介護者の方以外に、封筒の宛名の方の介護をしている家族・親族はいますか。封筒の宛名の方から見た続柄でお答えください。（○印はいくつでも）

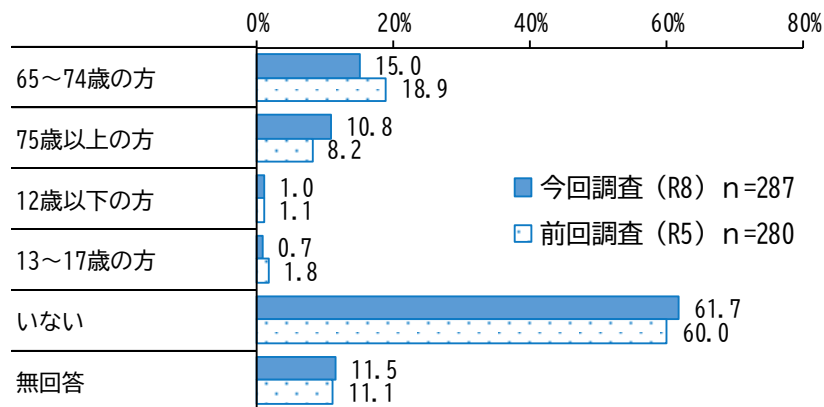
主な介護者以外の介護者は、「子」（39.4%）が最も高く、次いで「いない」（38.0%）となっています。



Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

問27 主な介護者の方以外に、封筒の宛名の方の介護をしている家族・親族のうち、次の年齢にあてはまる人はいますか。（○印はいくつでも）

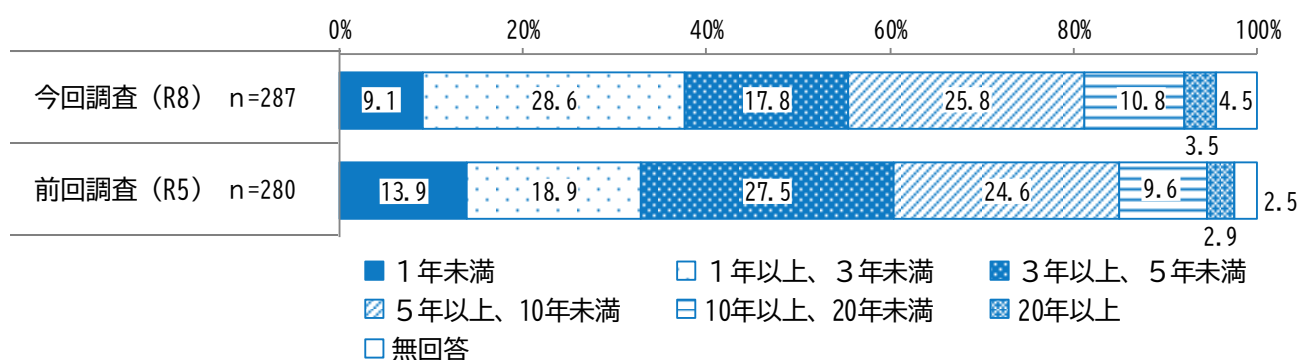
主な介護者以外の介護者の年齢は、「65～74歳」が15.0%、「75歳以上」が10.8%となっています。また、17歳以下の子どもの年齢の回答が計1.7%となっています。



3-3 介護の実施年数

問28 あなたが封筒の宛名の方の介護をするようになってどのくらいたちますか。（○印は1つだけ）

「1年以上、3年未満」（28.6%）が最も高く、次いで「5年以上、10年未満」（25.8%）となっており、『10年以上』（「10年以上、20年未満」「20年以上」の計）は14.3%となっています。

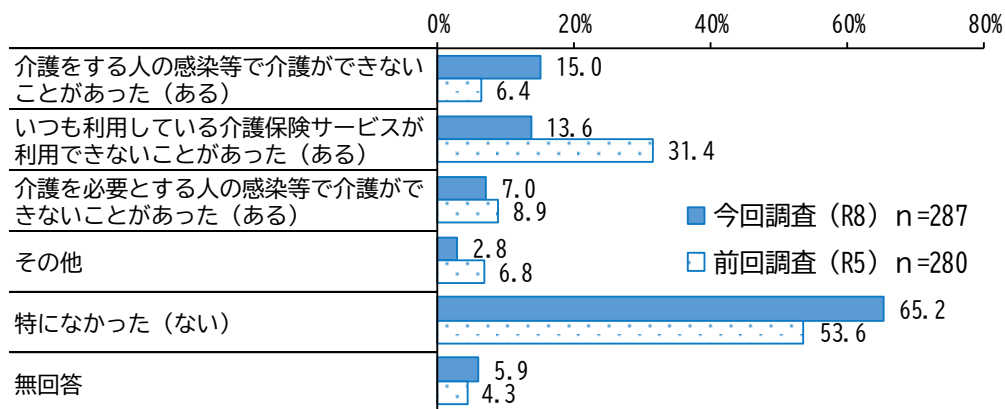


3-4 新型コロナウイルス感染症の介護への影響について

問29 新型コロナウイルス感染症拡大の影響や感染防止のために、介護に支障が出た（出ている）ことがありますか。（○印はいくつでも）

「特になかった（ない）」（65.2%）が最も高く、次いで「介護をする人の感染等で介護ができないことがあった（ある）」（15.0%）となっています。全体から「特になかった（ない）」と無回答を除いた『介護に支障が出た（出ている）』人の割合は28.9%となっています。

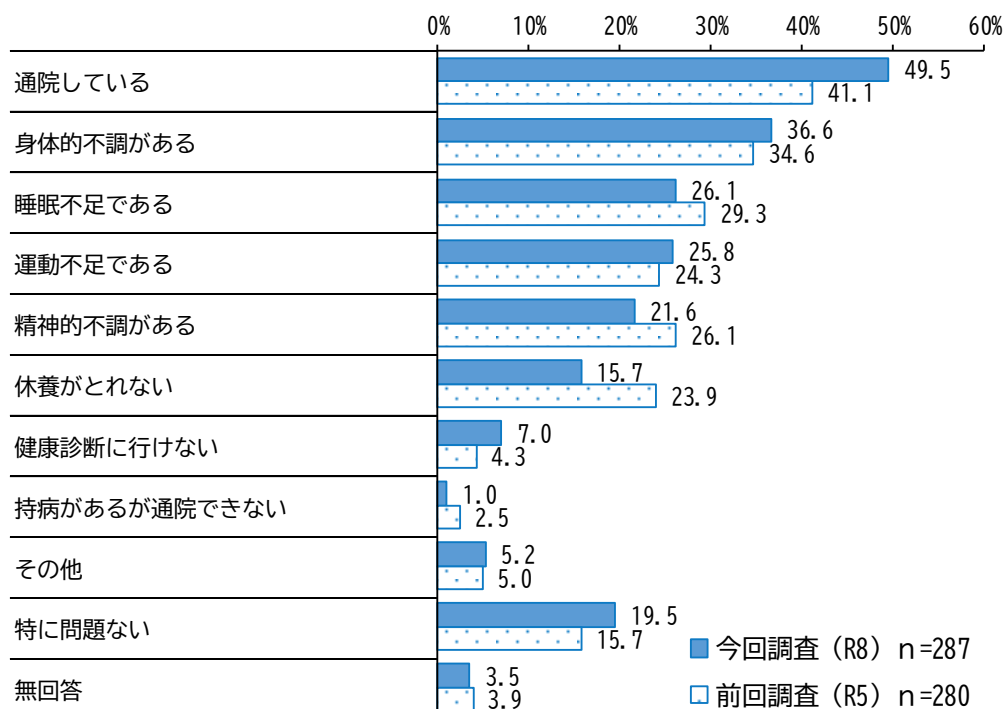
前回調査と比べると、『介護に支障が出た（出ている）』（42.1%→28.9%）が13.2ポイント低下しています。



3-5 主な介護者の健康状態

問30 あなたの健康や健康維持の状態について教えてください。（○印はいくつでも）

「通院している」（49.5%）が最も高く、次いで「身体的不調がある」（36.6%）、「睡眠不足である」（26.1%）、「運動不足である」（25.8%）となっています。

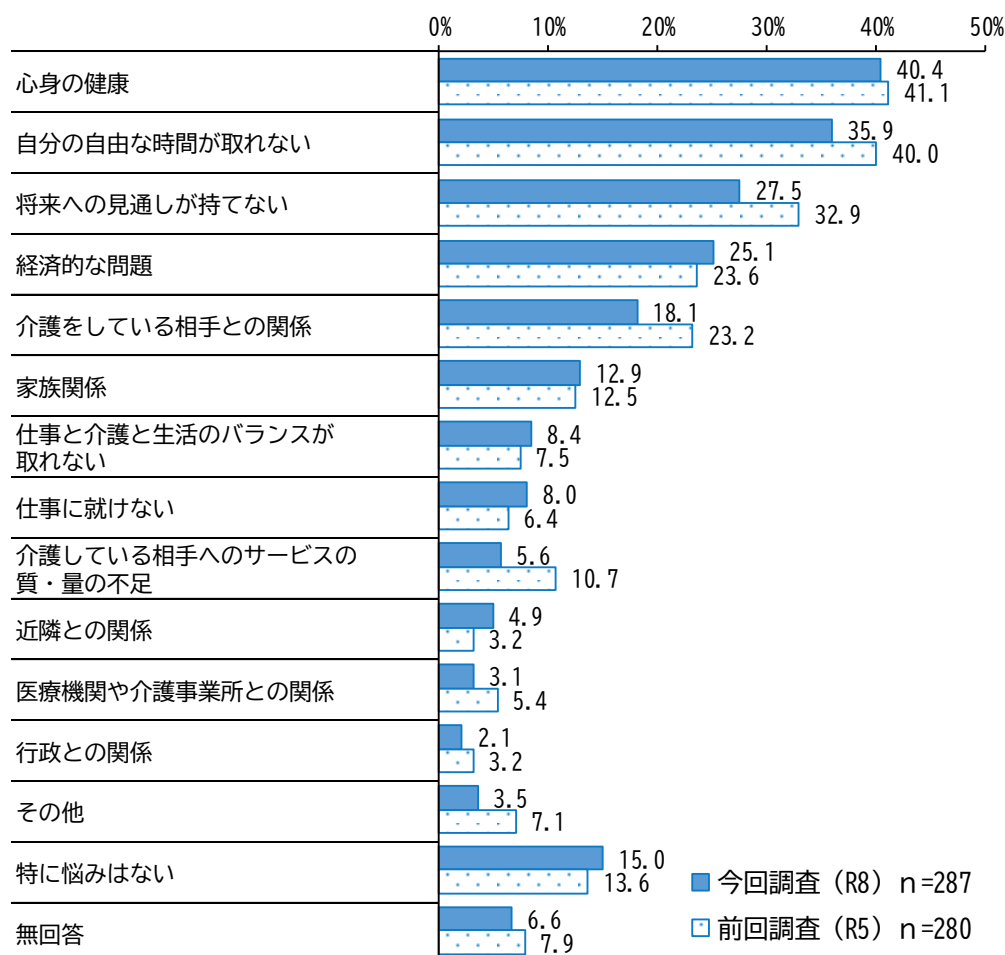


Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

3-6 介護が原因となっている悩み

問31 介護が原因となっている、生活や人生に関する悩みがあれば、あてはまるものを選んでください。（○印はいくつでも）

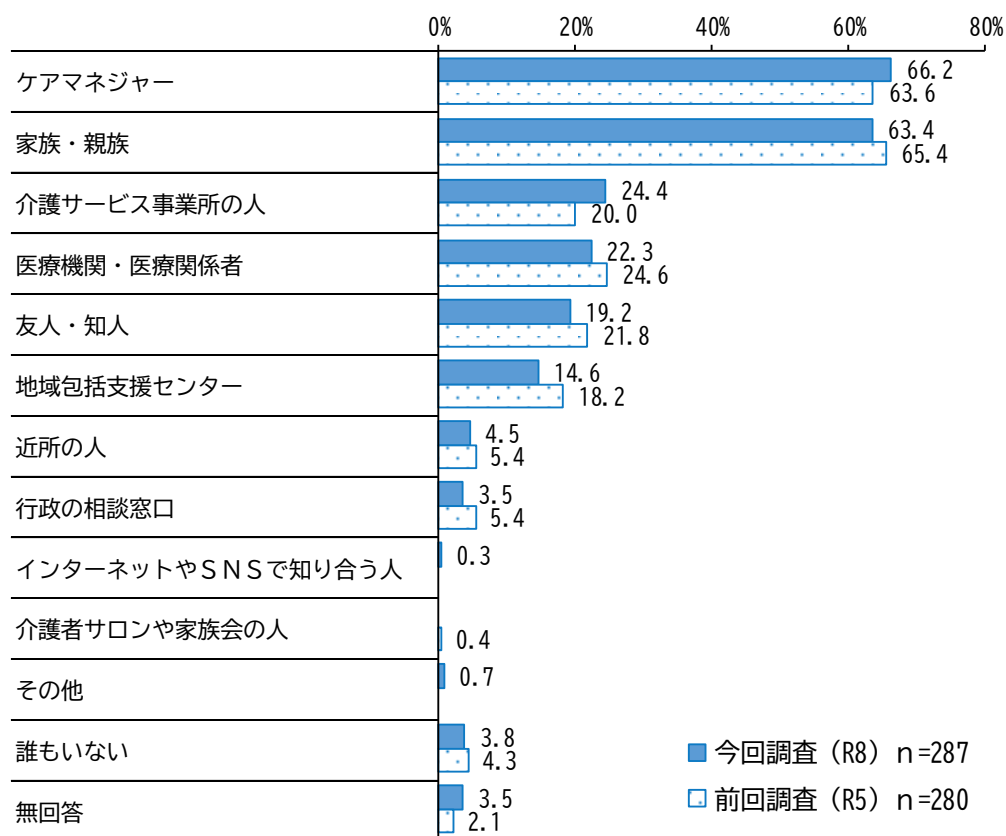
「心身の健康」（40.4％）が最も高く、次いで「自分の自由な時間が取れない」（35.9％）、「将来への見通しが持てない」（27.5％）、「経済的な問題」（25.1％）となっています。



3-7 信頼している相談先

問32 あなたが信頼して相談できる人や窓口・機関があれば教えてください。（○印は
いくつでも）

「ケアマネジャー」（66.2%）が最も高く、次いで「家族・親族」（63.4%）、「介護サービス事業所の人」（24.4%）、「医療機関・医療関係者」（22.3%）となっています。



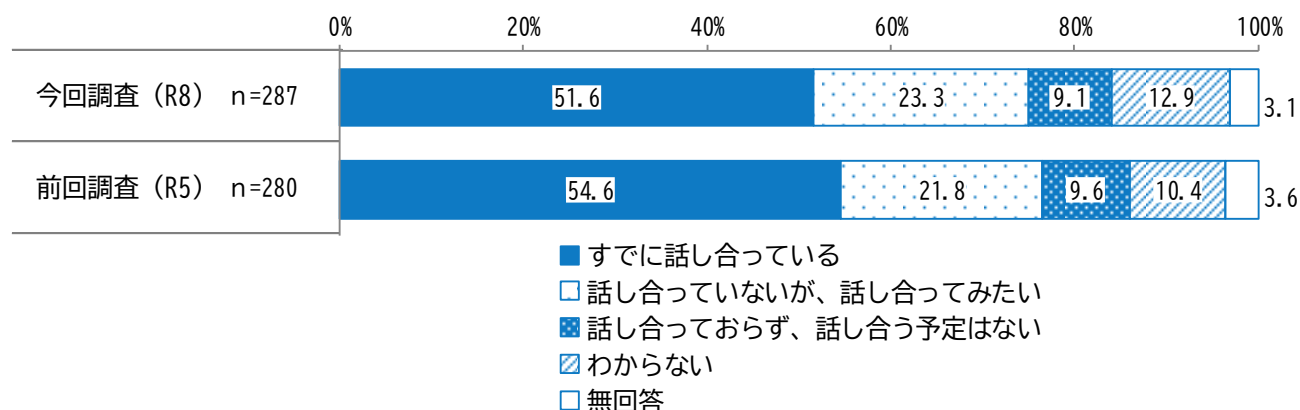
Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

(4) その他について

4-1 看取り等について

問33 あなたは、ご家族と将来のこと（医療や介護等）について話し合っていますか。
（○印は1つだけ）

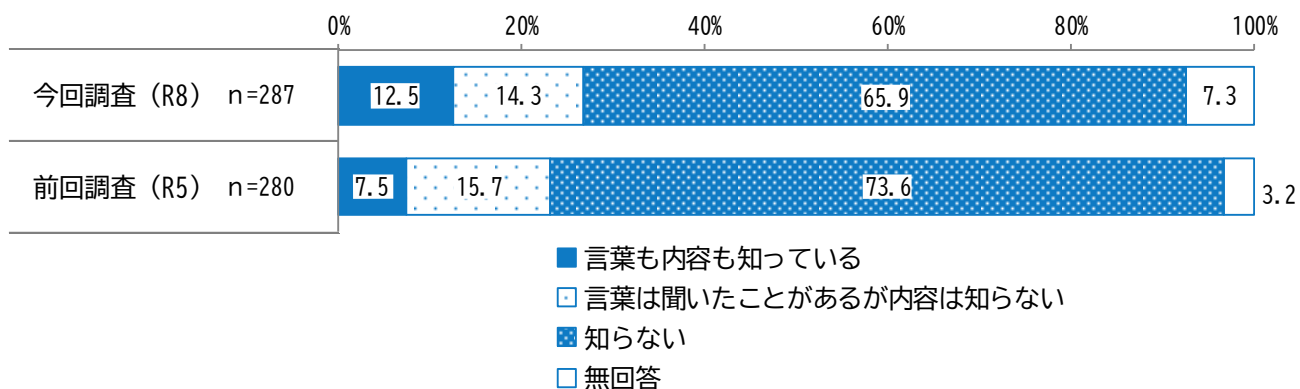
将来のこと（医療や介護等）についての話し合いの状況は、「すでに話し合っている」（51.6%）が最も高く、次いで「話し合っていないが、話し合ってみたい」（23.3%）となっています。



問34 あなたは、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）という言葉について、知っていますか。（○印は1つだけ）

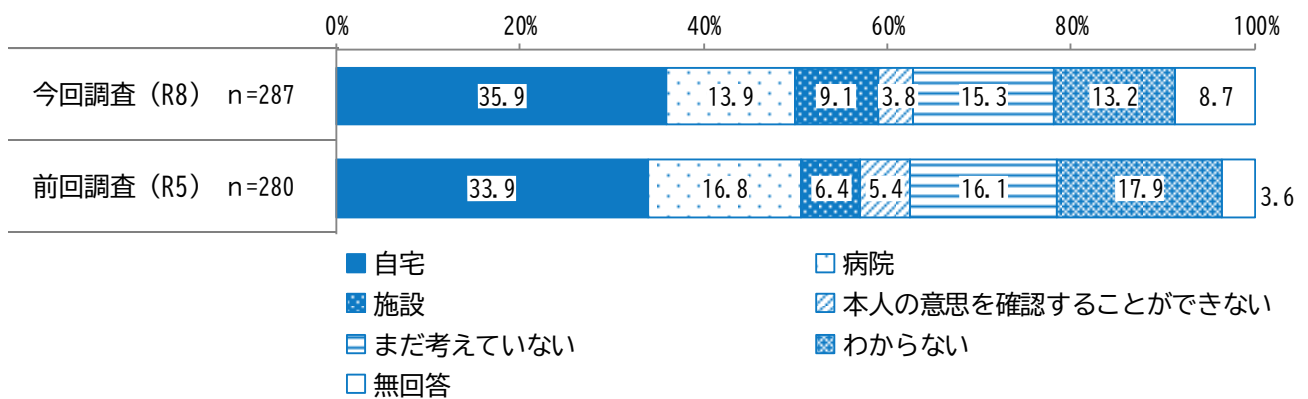
人生会議の認知度は、「知らない」（65.9%）が最も高く、「言葉も内容も知っている」は12.5%、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は26.8%となっています。

前回調査と比べると、「知らない」が7.7ポイント低下しています。



問35 主な介護者の方は、調査対象者ご本人に人生の最期をどこで迎えてもらいたいと考えていますか。（○印は1つだけ）

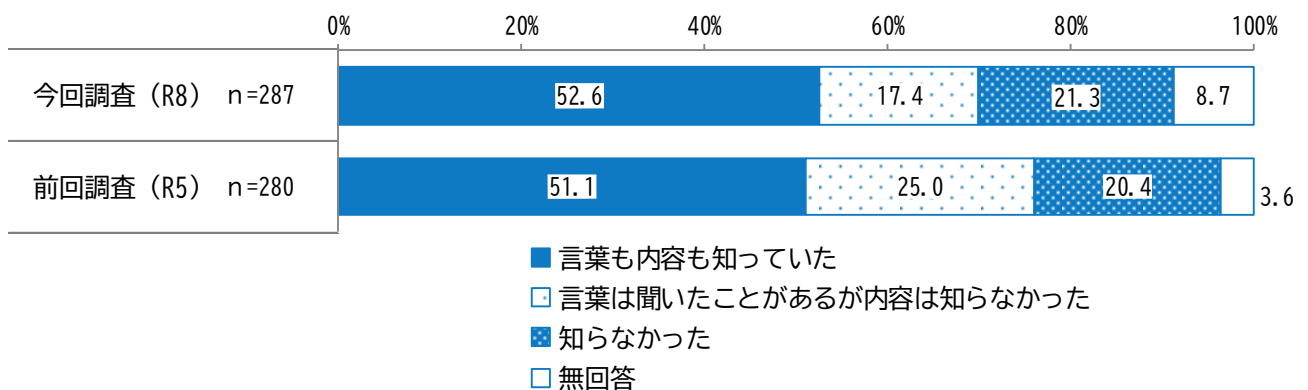
人生の最期を迎えてもらいたい場所は、「自宅」（35.9%）が最も高く、次いで「まだ考えていない」（15.3%）、「病院」（13.9%）、「わからない」（13.2%）となっています。



問36 あなたは、「エンディングノート」について、知っていますか。（○印は1つだけ）

エンディングノートの認知度は、「言葉も内容も知っていた」（52.6%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っていた」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らなかった」の計）は70.0%、「知らなかった」は21.3%となっています。

前回調査と比べると、『言葉は知っている』（76.1%→70.0%）が 6.1 ポイント低下しています。

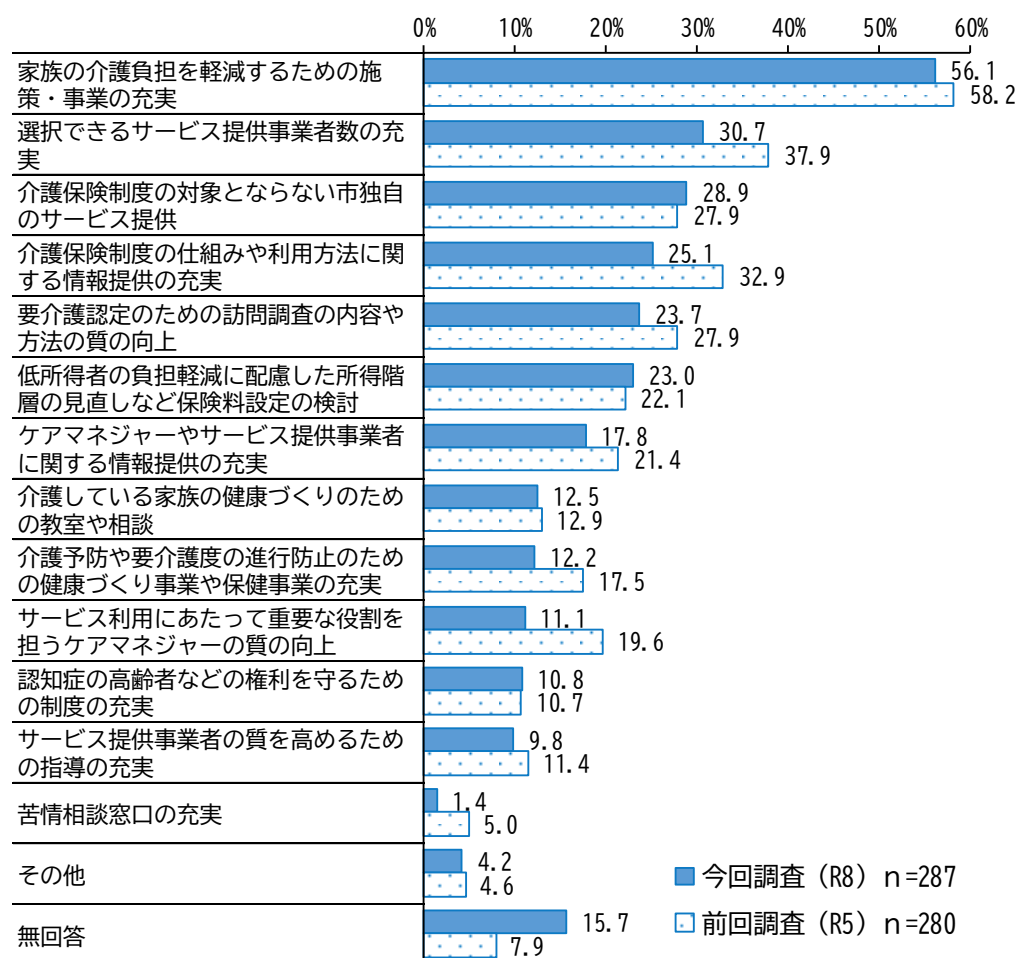


Ⅱ 調査の結果 3 家庭介護者調査

4-2 介護関連施策で特に注力してほしいこと

問37 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか。（○印は5つまで）

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」（56.1%）が最も高く、次いで「選択できるサービス提供事業者数の充実」（30.7%）、「介護保険制度の対象とならない市独自のサービス提供」（28.9%）、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」（25.1%）、「要介護認定のための訪問調査の内容や方法の質の向上」（23.7%）となっています。



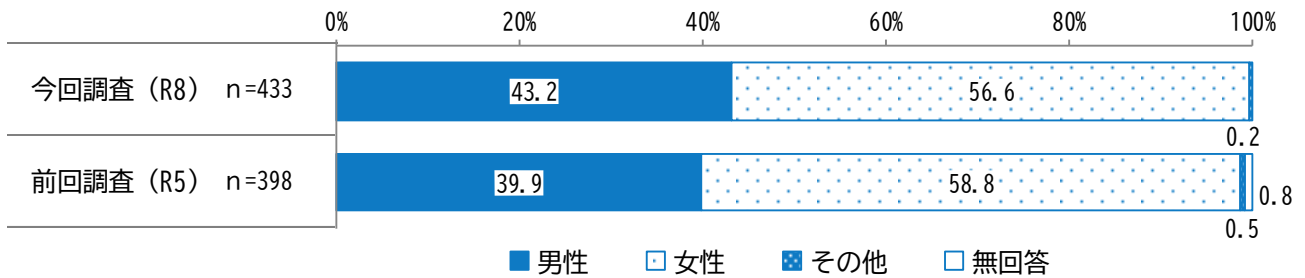
4 若年者調査

(1) 調査対象者について

1-1 性別

問1 あなたの性別をご回答ください。(○印は1つだけ)

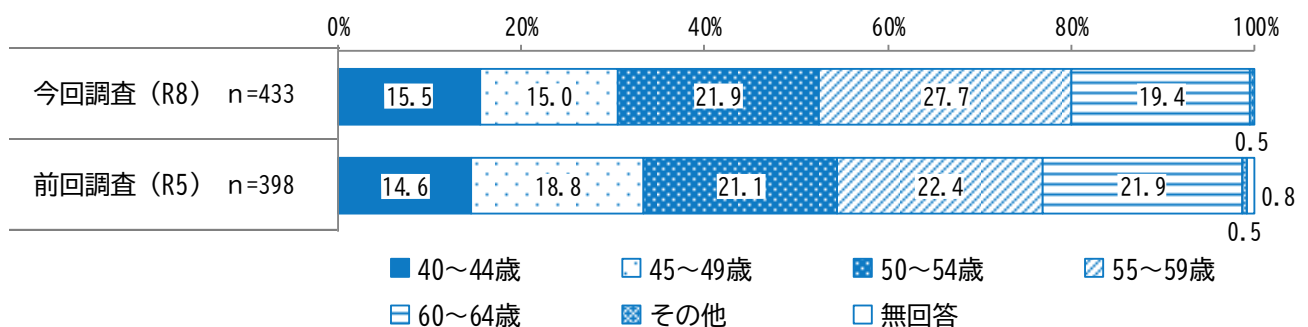
「男性」が43.2%、「女性」が56.6%となっています。



1-2 年齢

問2 あなたの年齢をご回答ください。(○印は1つだけ)

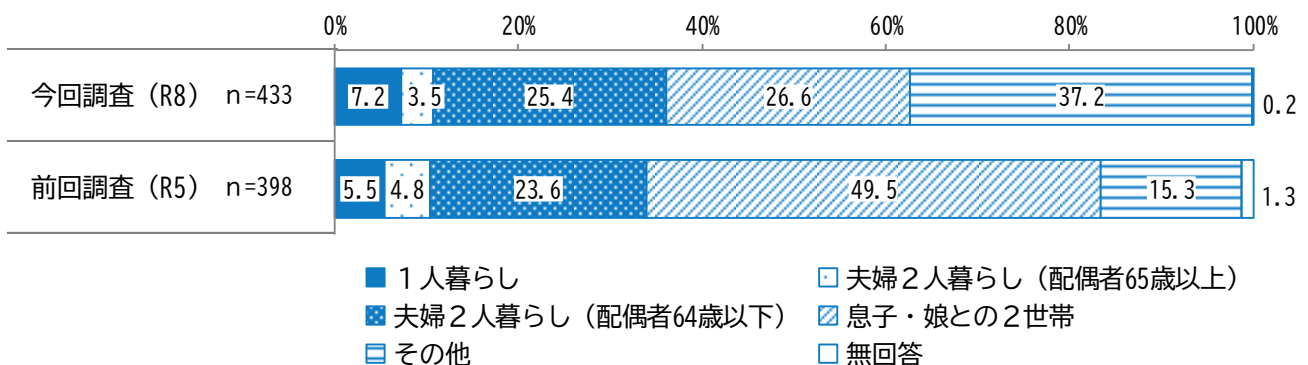
「55～59歳」(27.7%)、「50～54歳」(21.9%)が高くなっています。



1-3 家族構成

問3 あなたの家族構成について、ご回答ください。(○印は1つだけ)

「その他」(37.2%)が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(26.6%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以下)」(25.4%)、「1人暮らし」(7.2%)となっています。

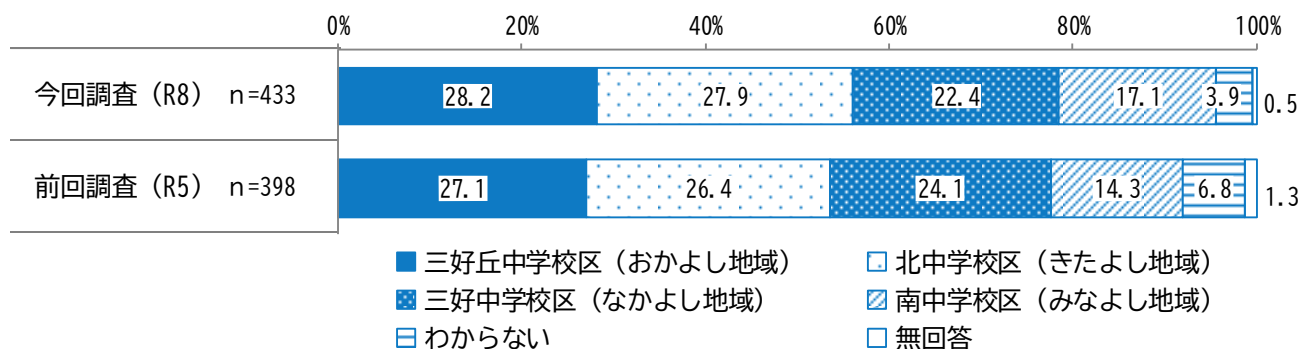


Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査

1-4 中学校区

問4 あなたのお住まいの中学校区（地域）をご回答ください。（○印は1つだけ）

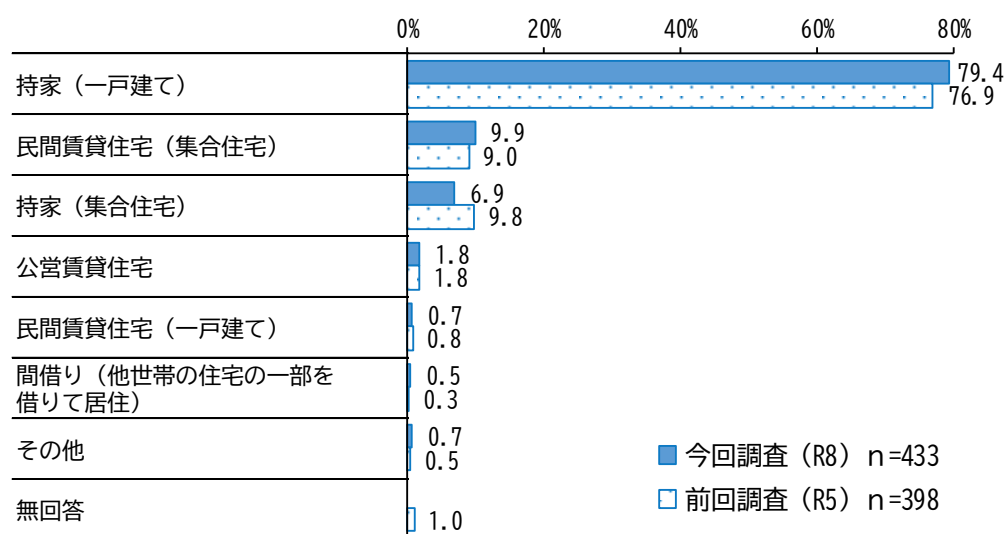
「三好丘中学校区（おかよし地域）」（28.2%）が最も高く、「南中学校区（みなよし地域）」（17.1%）が最も低くなっています。



1-5 住居形態

問5 お住まいは次のどれにあたりますか。（○印は1つだけ）

「持家（一戸建て）」（79.4%）が最も高く、他の回答は1割未満となっています。

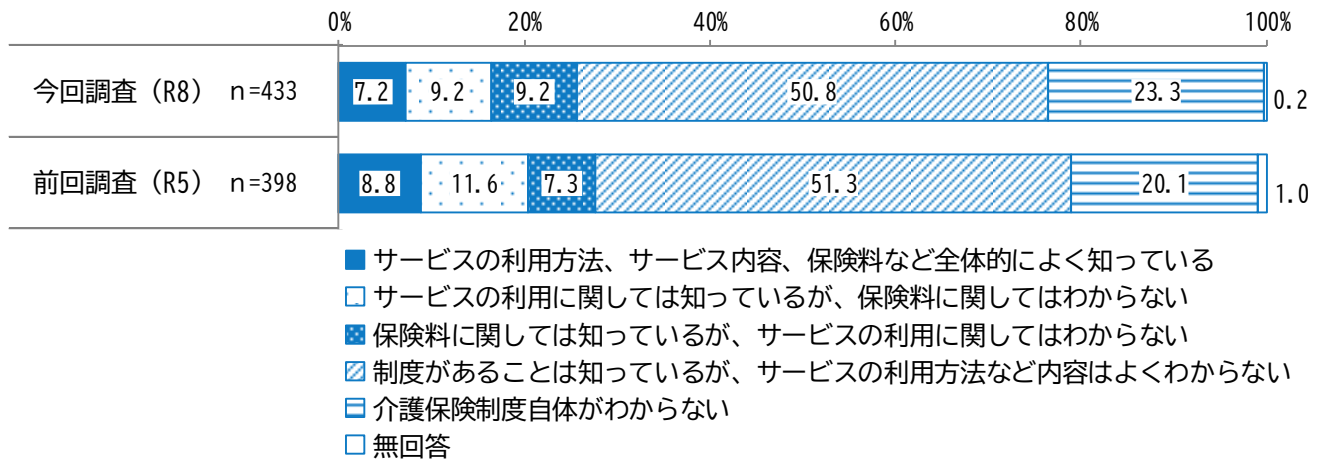


(2) 介護保険について

2-1 介護保険制度の認知度

問1 介護保険制度についてご存知ですか。(○印は1つだけ)

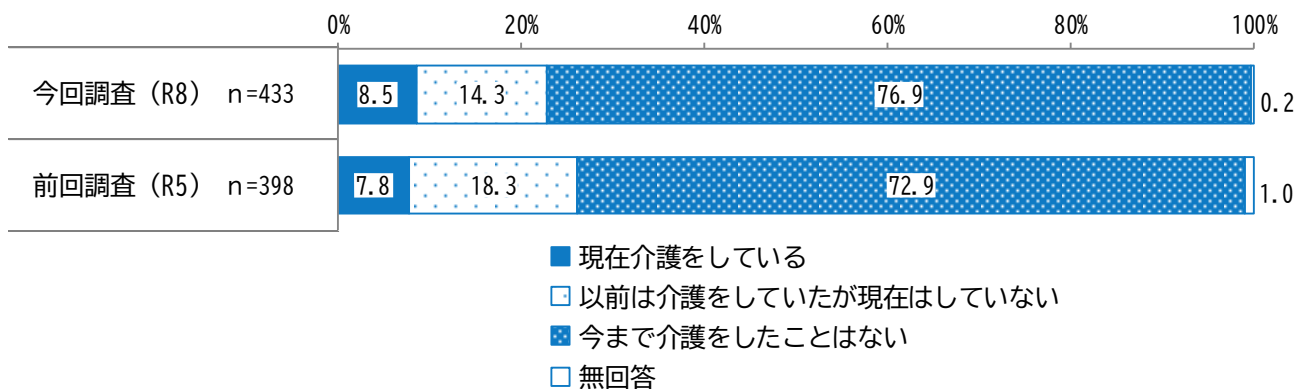
「制度があることは知っているが、サービスの利用方法など内容はよくわからない」(50.8%)が最も高く、次いで「介護保険制度自体がわからない」(23.3%)となっています。



2-2 介護経験の有無

問2 介護をした経験はありますか。(○は1つ)

「現在介護をしている」が8.5%、「以前は介護をしていたが現在はしていない」が14.3%となっています。



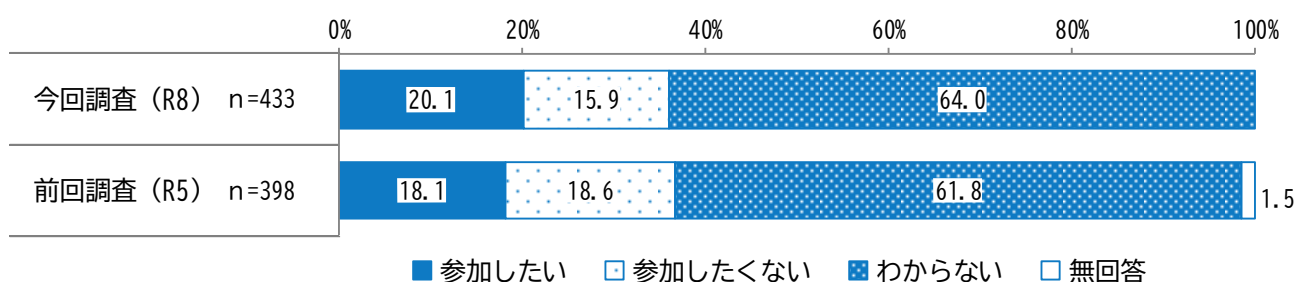
Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査

2-3 在宅介護の研修や講習会への参加意向

問3 あなたは、在宅介護の基本的な知識や技術を習得する研修や講習会があれば、参加したいと思いますか。（○印は1つだけ）

「参加したい」が20.1%、「参加したくない」が15.9%となっています。

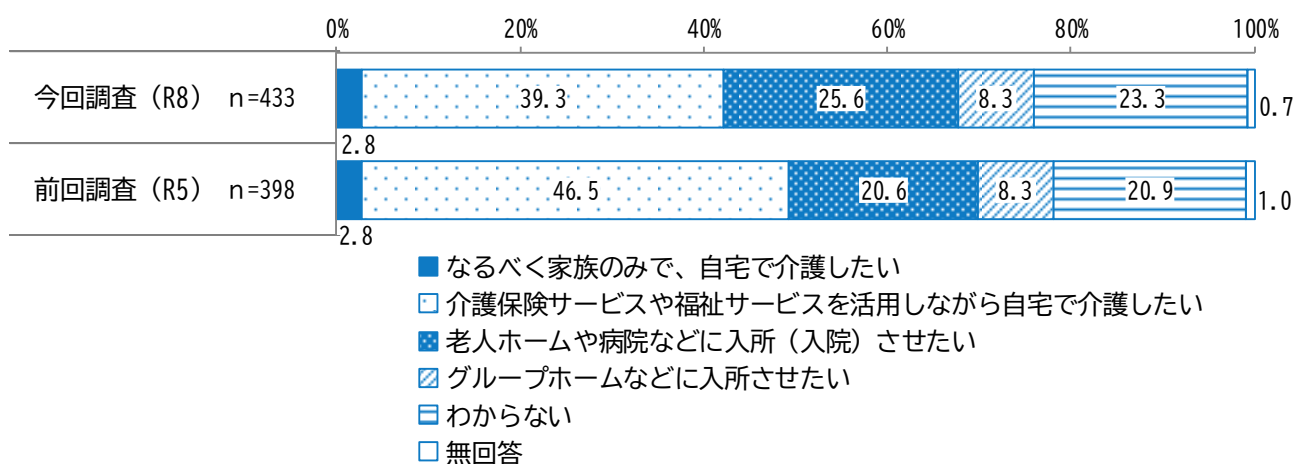
前回調査と比べると、前回調査では「参加したくない」が「参加したい」を上回っていましたが、本調査では「参加したい」が「参加したくない」を上回っています。



2-4 家族等に受けさせたい介護

問4 家族等に介護が必要となった際、どのようにしたいと思いますか。（○印は1つだけ）

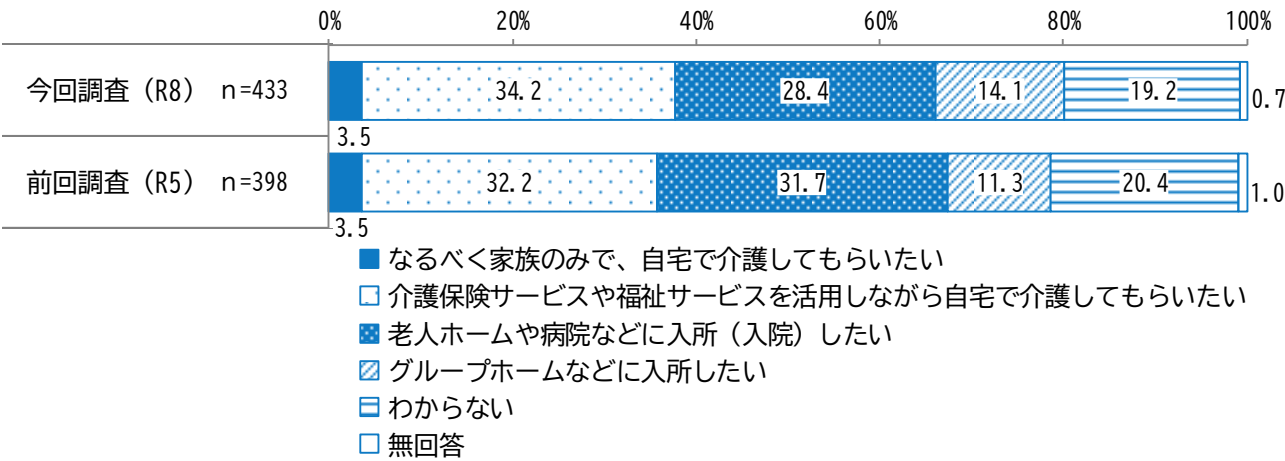
「介護保険制度のサービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい」(39.3%)が最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所（入院）させたい」(25.6%)、「わからない」(23.3%)となっています。



2-5 自身が受けたい介護

問5 今後、もしあなたご自身が介護を受けることになったら、どのような介護を受けたいと思いますか。（○印は1つだけ）

「介護保険制度のサービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい」（34.2%）が最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所（入院）したい」（28.4%）、「わからない」（19.2%）となっています。



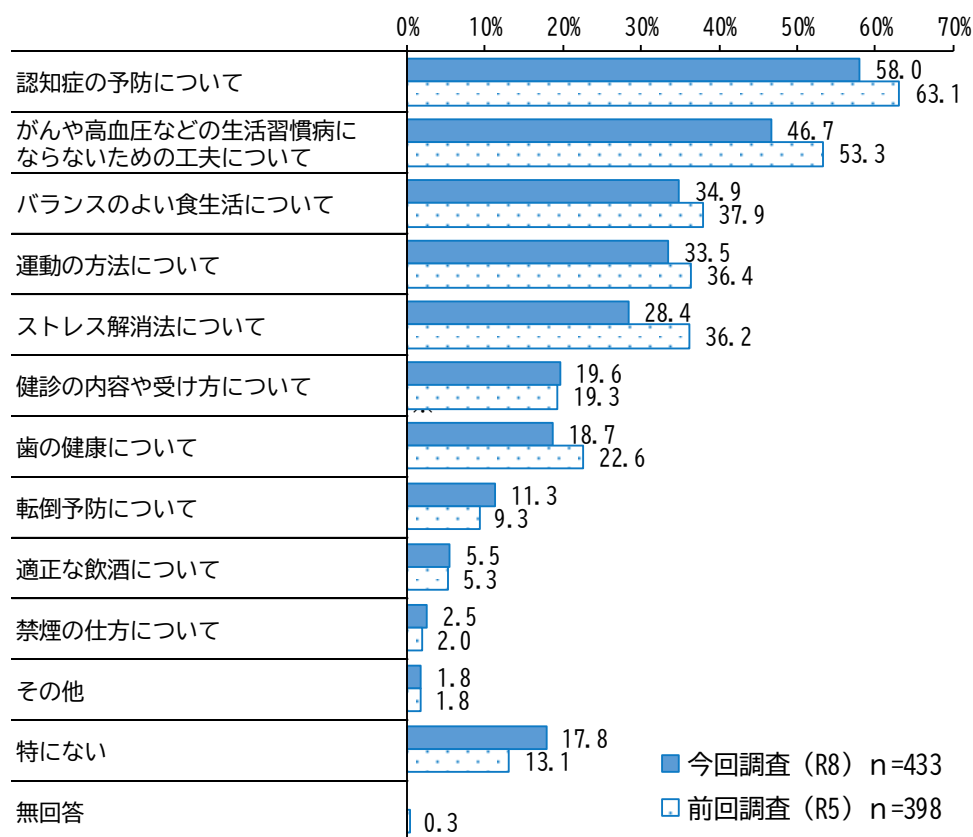
Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査

(3) 健康について

3-1 健康について知りたいこと

問1 健康について、どのようなことが知りたいですか。(○印は5つまで)

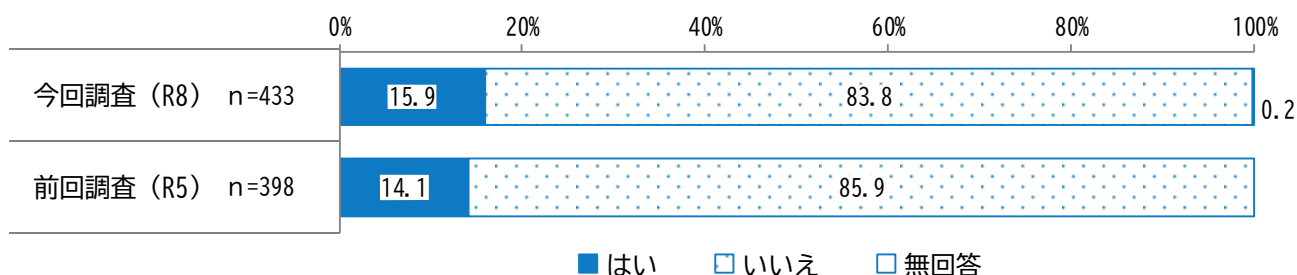
「認知症の予防について」(58.0%) が最も高く、次いで「がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について」(46.7%)、「バランスのよい食生活について」(34.9%)、「運動の方法について」(33.5%)となっています。



3-2 認知症について

問2 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○印は1つだけ)

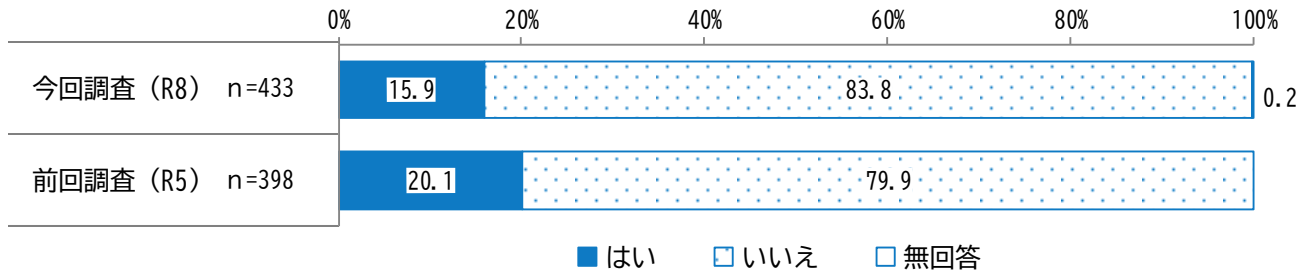
「はい」(自身または家族に認知症の症状がある人がいる) が 15.9%となっています。



問3 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○印は1つだけ）

「はい」（認知症に関する相談窓口を知っている）が15.9%となっています。

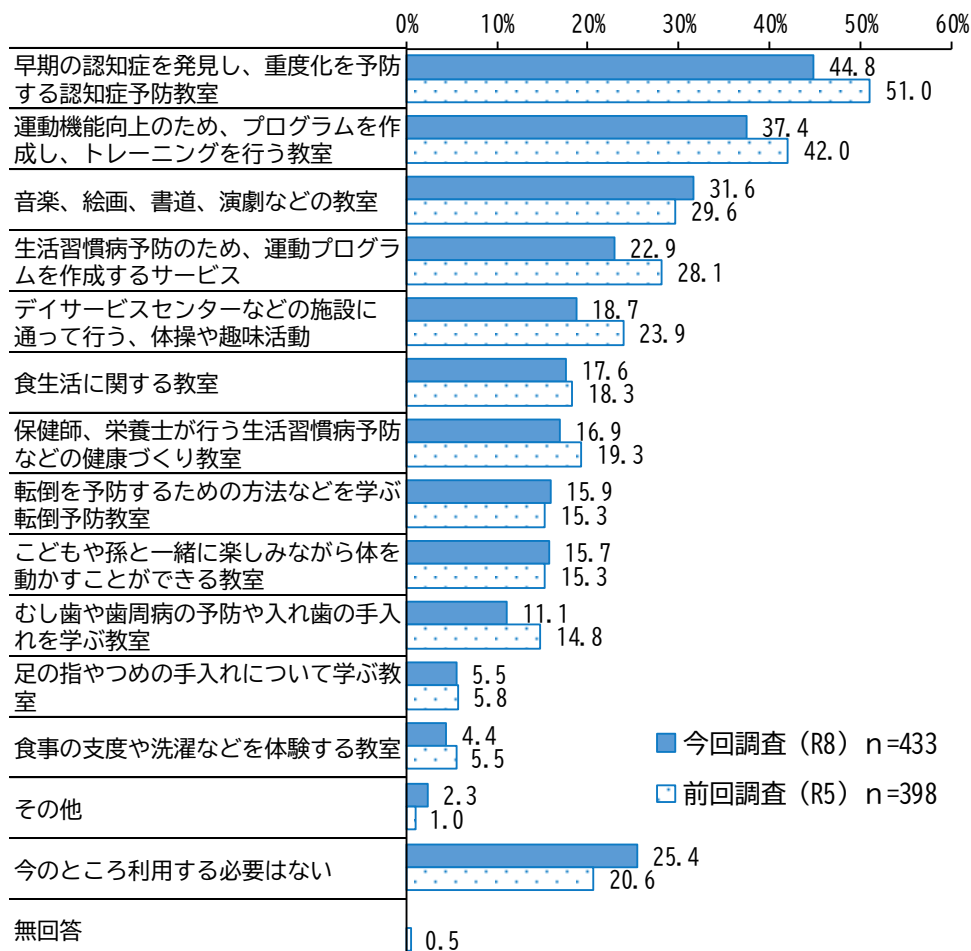
前回調査と比べると、「はい」が4.2ポイント低下しています。



3-3 利用したい介護予防・生きがい活動支援サービス

問4 次の介護予防や生きがい活動を支援するサービスについて、利用したいと思うもの（利用しているものも含む）はありますか。（○印はいくつでも）

「早期の認知症を発見し、重度化を予防する認知症予防教室」（44.8%）が最も高く、次いで「運動機能向上のため、プログラムを作成し、トレーニングを行う教室」（37.4%）、「音楽、絵画、書道、演劇などの教室」（31.6%）となっています。また、「今のところ利用する必要はない」が25.4%となっています。



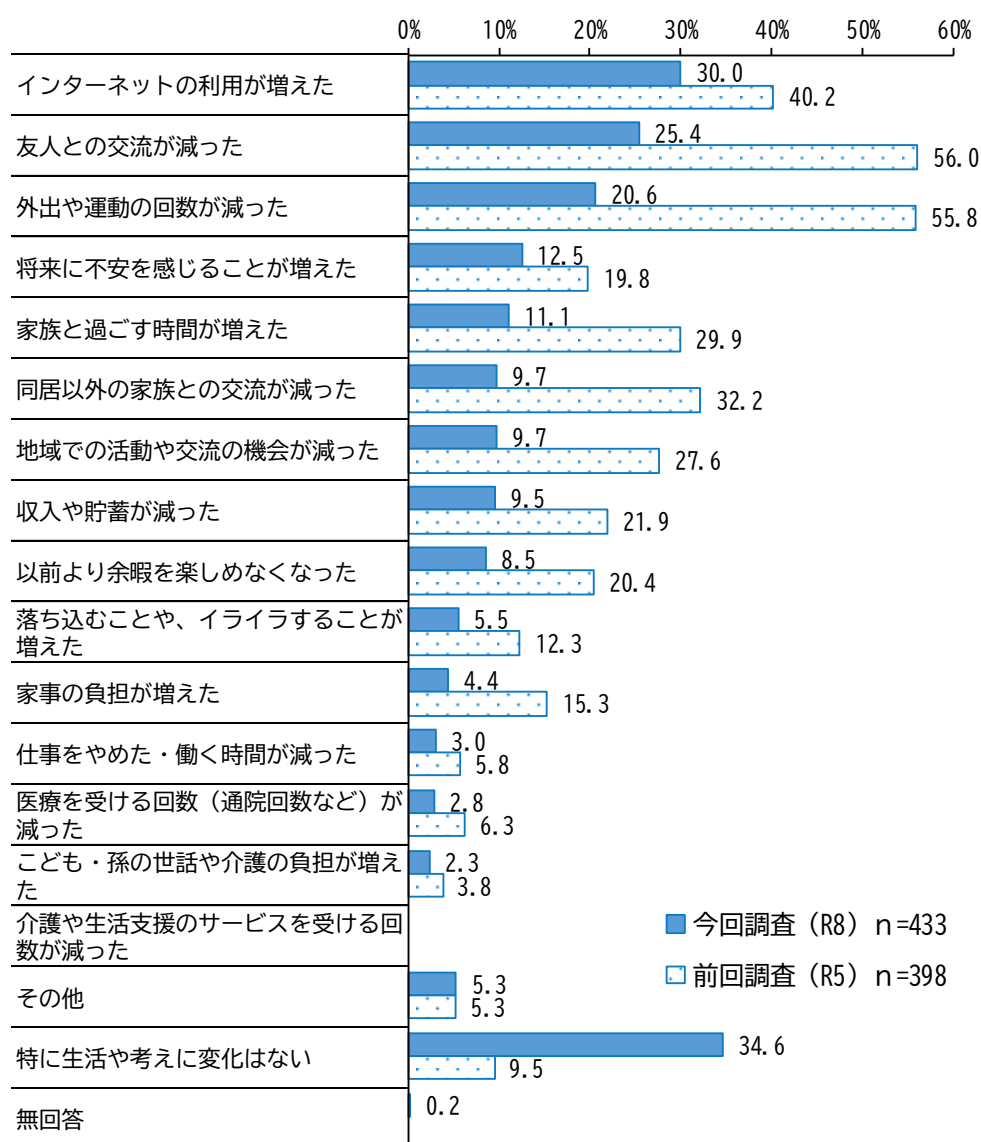
Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査

3-4 新型コロナウイルス感染症の影響について

問5 新型コロナウイルス感染症の流行の拡大をきっかけにして、あなたの生活や考えに次のような変化はありましたか。現在でもまだ残っている変化だけを選んでください。（○印はいくつでも）

「特に生活や考えに変化はない」（34.6%）が最も高く、次いで「インターネットの利用が増えた」（30.0%）、「友人との交流が減った」（25.4%）、「外出や運動の回数が減った」（20.6%）となっています。

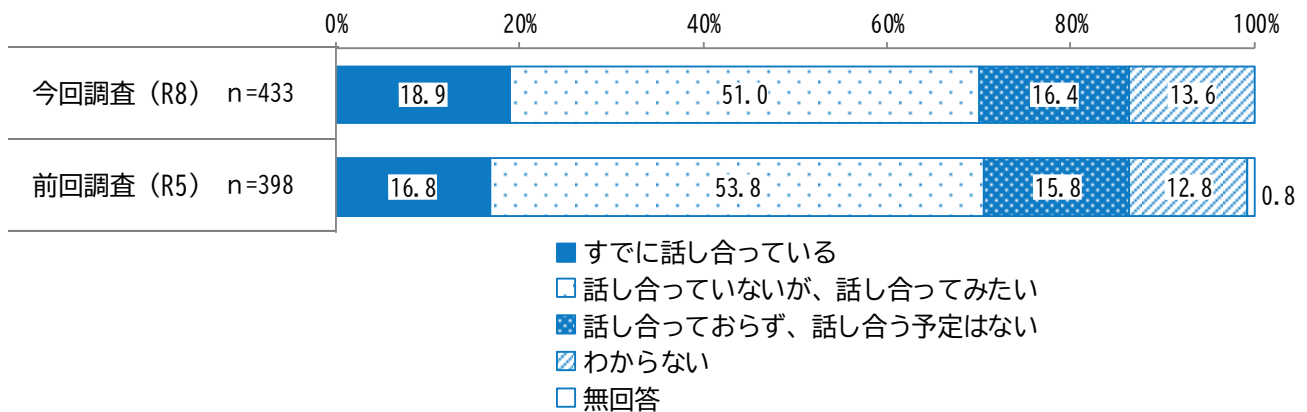
前回調査と比べると、「特に生活や考えに変化はない」「将来に不安を感じるが増えた」が増えた」が順位を上げています。



3-5 看取り等について

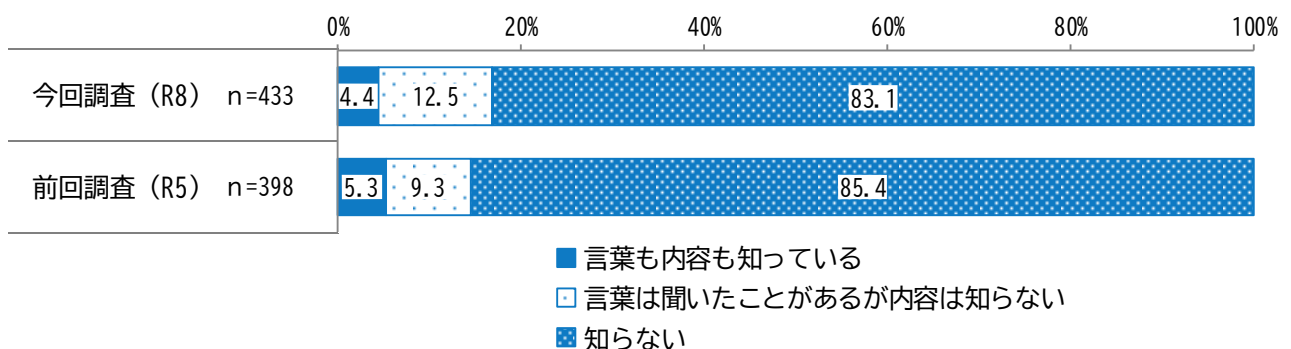
問6 あなたは、ご家族と将来のこと（医療や介護等）について話し合っていますか。
（○印は1つだけ）

将来のこと（医療や介護等）についての話し合いの状況は、「話し合っていないが、話し合ってみたい」（51.0%）が最も高く、次いで「すでに話し合っている」（18.9%）となっています。



問7 あなたは、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）という言葉について、知っていますか。（○印は1つだけ）

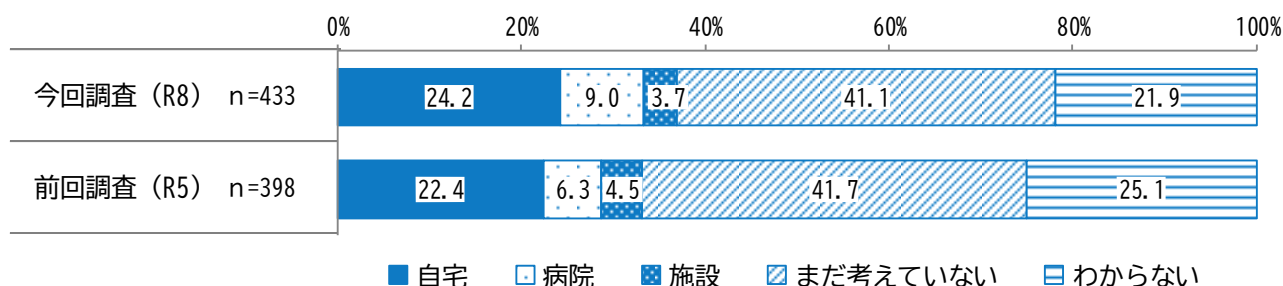
人生会議の認知度は、「知らない」（83.1%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は16.9%となっています。



Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査

問8 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。（○印は1つだけ）

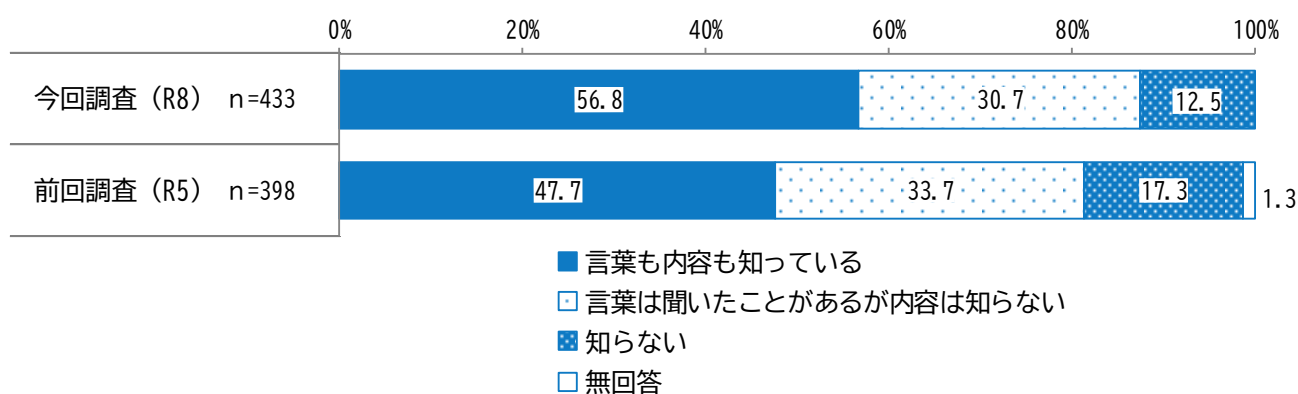
人生の最期を迎えたい場所は、「まだ考えていない」（41.1%）が最も高く、次いで「自宅」（24.2%）、「わからない」（21.9%）、「病院」（9.0%）となっています。



問9 あなたは、「エンディングノート」について、知っていますか。（○印は1つだけ）

エンディングノートの認知度は、「言葉も内容も知っている」（56.8%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は87.5%、「知らない」は12.5%となっています。

前回調査と比べると、『言葉は知っている』（81.4%→87.5%）が 6.1 ポイント上昇しています。

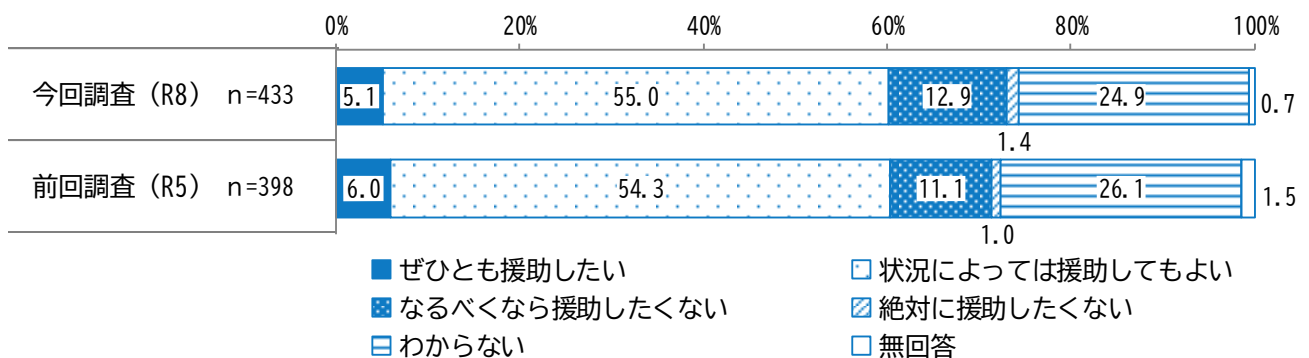


(4) 生活環境について

4-1 地域の要支援者に対する援助について

問1 体の具合が悪くなったり、寝たきりになった場合、地域に住んでいる方による助け合いが大切であると言われています。近くに住んでいる方に支援が必要となった時に、簡単な援助をすることについてどう思いますか。(○印は1つだけ)

地域の要支援者に対する援助の意向は、「状況によっては援助してもよい」(55.0%)が最も高く、『援助したい』(「ぜひとも援助したい」「状況によっては援助してもよい」の計)は60.1%、『援助したくない』(「絶対に援助したくない」「なるべくなら援助したくない」の計)は14.3%となっています。また、「わからない」が24.9%となっています。

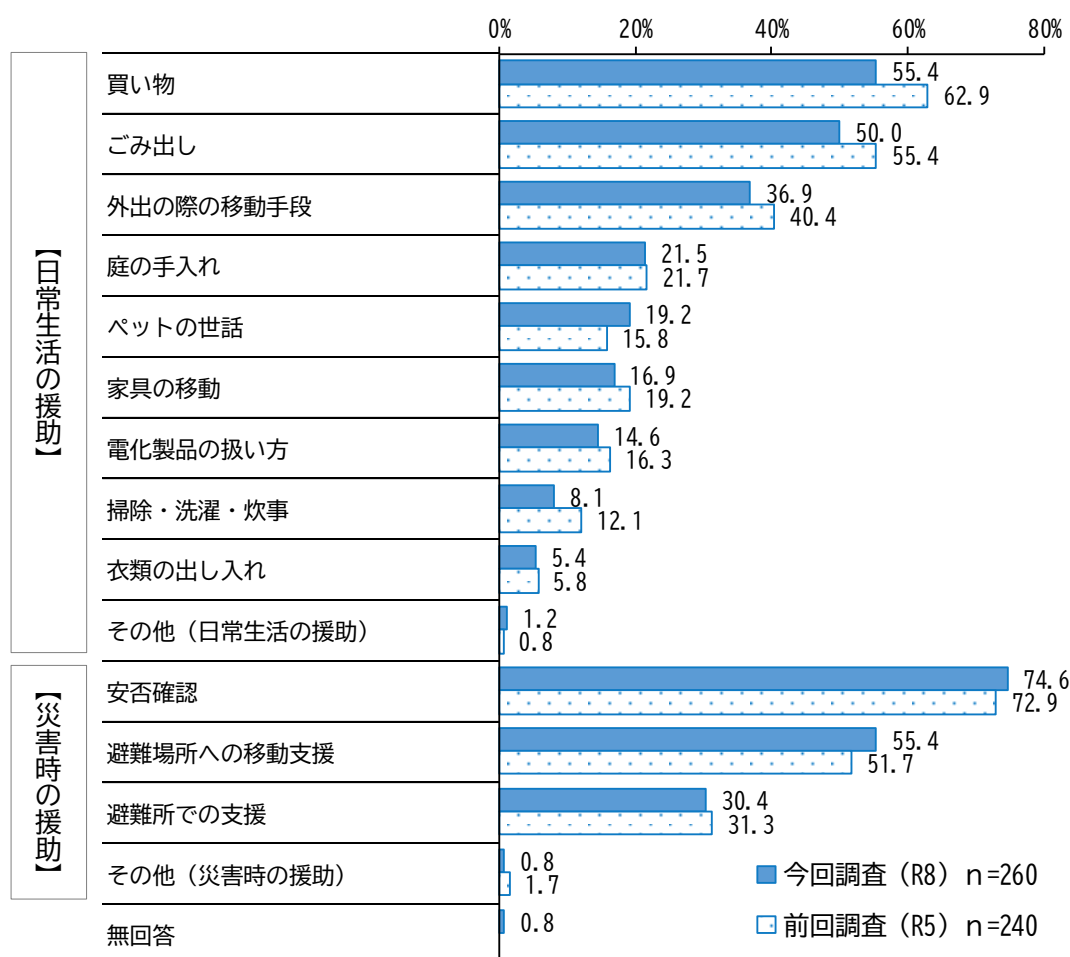


問1で「ぜひとも援助したい」「状況によっては援助してもよい」を選択した人のみ

問1-1 その場合、どのようなことであれば援助をすることができますか。(○印は8つまで)

援助できることは、【日常生活の援助】では「買い物」(55.4%)が最も高く、次いで「ごみ出し」(50.0%)、「外出の際の移動手段」(36.9%)となっています。【災害時の援助】では「安否確認」(74.6%)が最も高く、次いで「避難場所への移動支援」(55.4%)、「避難所での支援」(30.4%)となっています。

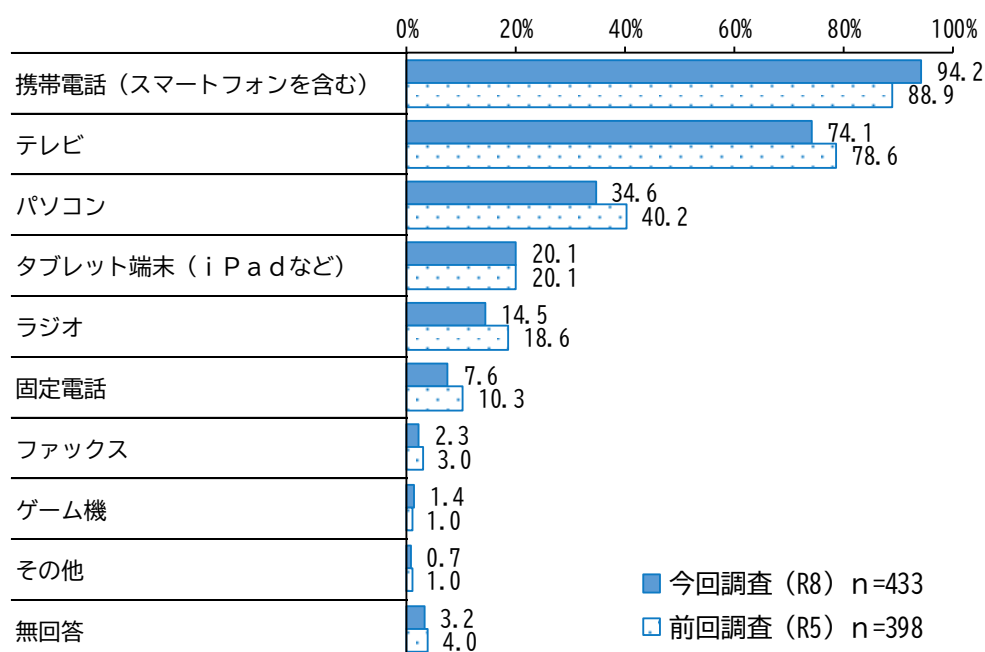
Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査



4-2 情報通信機器の利用について

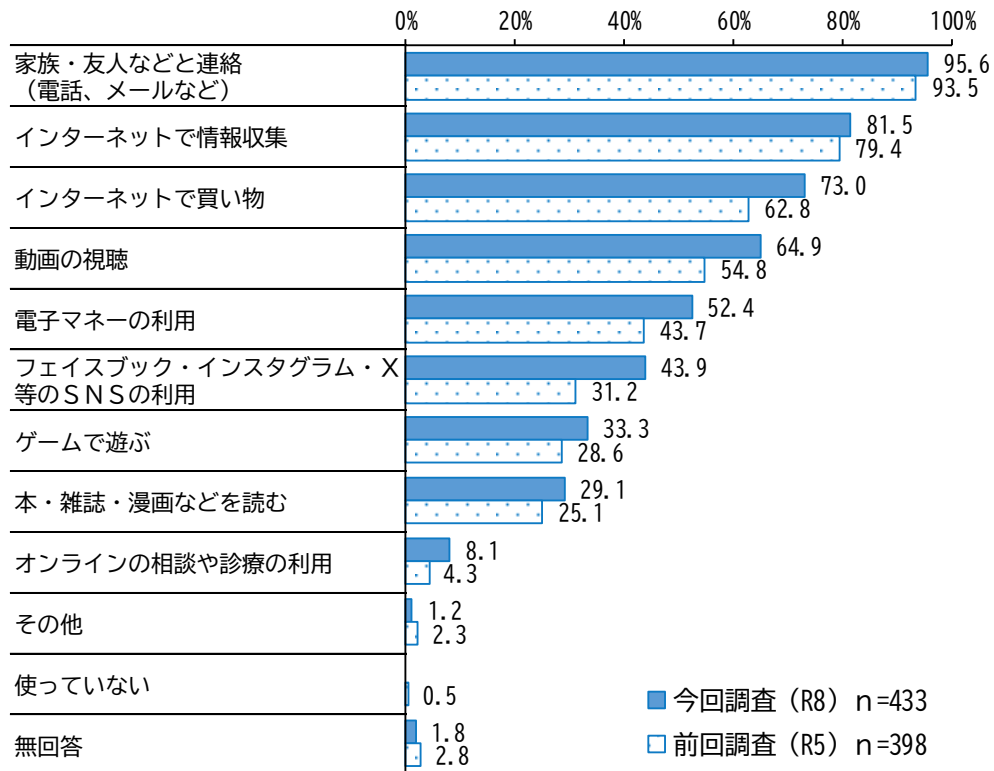
問2 あなたが、情報収集や情報伝達のために、ふだん、利用している情報通信機器はどれですか。（○印はいくつでも）

利用している情報通信機器は、「携帯電話（スマートフォンを含む）」（94.2%）が最も高く、次いで「テレビ」（74.1%）、「パソコン」（34.6%）となっています。



問3 あなたは、情報通信機器を使って、どのようなことをされますか。（○印はいくつでも）

情報通信機器の利用の内容は、「家族・友人などと連絡（電話、メールなど）」（95.6%）が最も高く、次いで「インターネットで情報収集」（81.5%）、「インターネットで買い物」（73.0%）となっています。



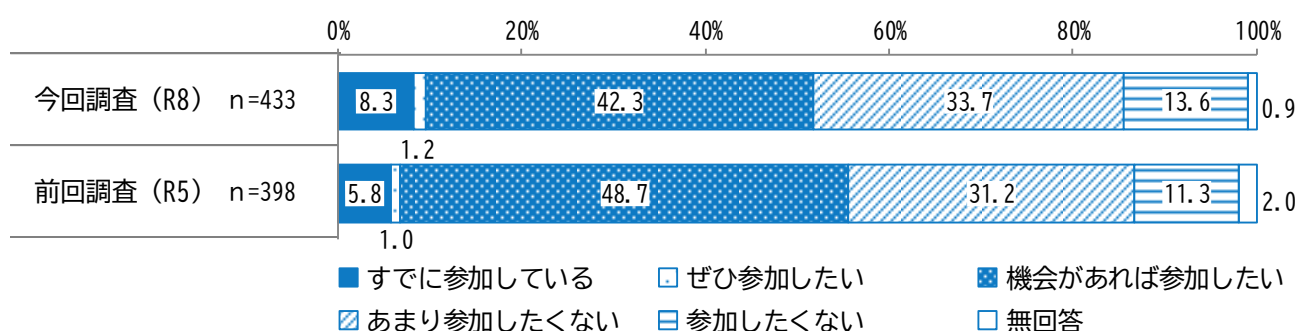
(5) 生きがい・社会参加について

5-1 ボランティア活動への参加意向

問1 あなたは今後、ボランティア活動に参加してみたいですか。(○印は1つだけ)

「機会があれば参加したい」(42.3%)が最も高く、『参加したい』(「すでに参加している」「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」の計)は51.8%、『参加したくない』(「参加したくない」「あまり参加したくない」の計)は47.3%となっています。

前回調査と比べると、『参加したい』(55.5%→51.8%)が3.7ポイント低下しています。

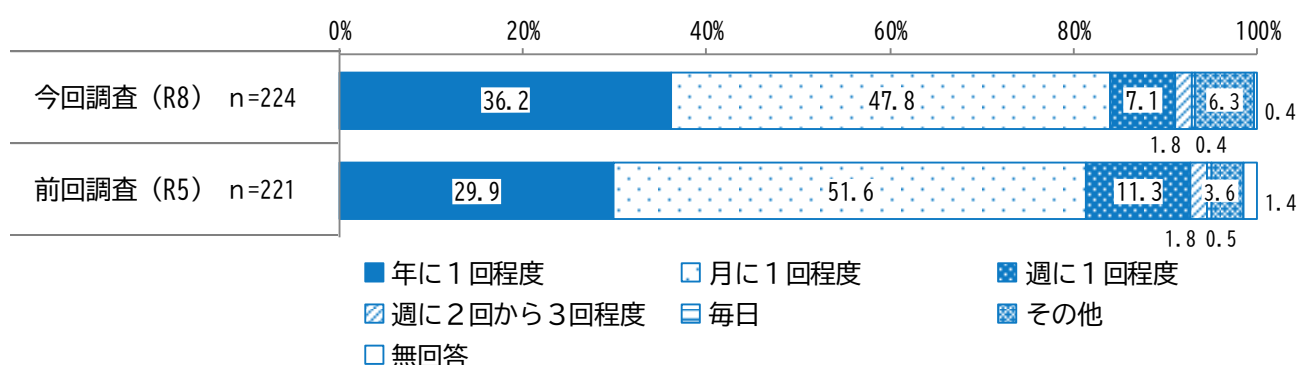


問1で「すでに参加している」「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」を選択した人のみ

問1-1 どれくらいの頻度でボランティアに参加できますか。(○印は1つだけ)

「月に1回程度」(47.8%)が最も高く、次いで「年に1回程度」(36.2%)となっています。

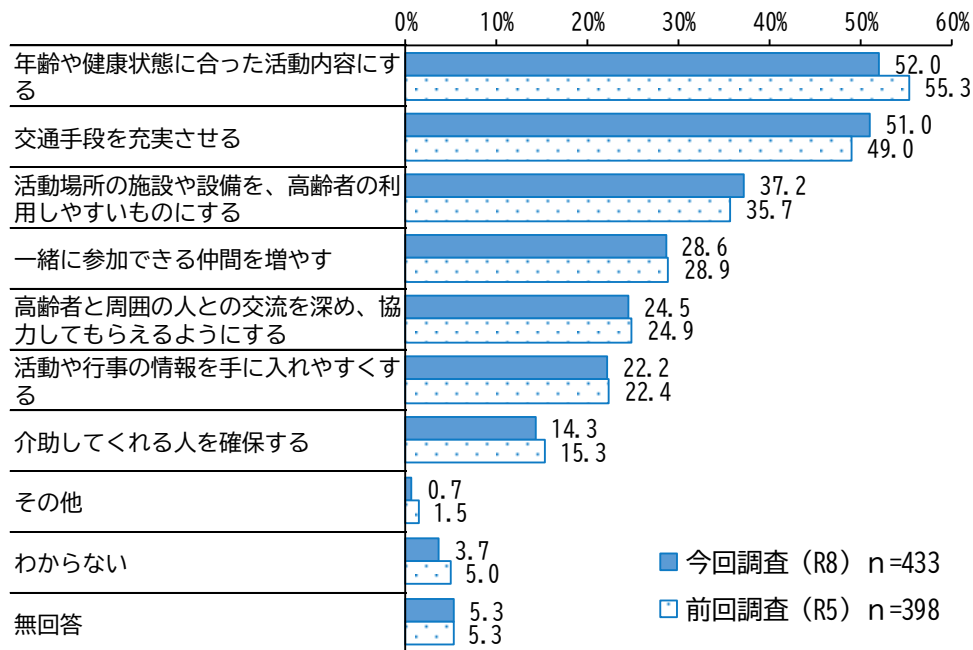
前回調査と比べると、「年に1回程度」が6.3ポイント上昇しています。



5-2 高齢者の社会参加に必要なこと

問2 高齢者が行事や活動に参加するには、どのようなことが必要と考えますか。（○印は3つまで）

「年齢や健康状態に合った活動内容にする」(52.0%) が最も高く、次いで「交通手段を充実させる」(51.0%)、「活動場所の施設や設備を、高齢者の利用しやすいものにする」(37.2%) となっています。



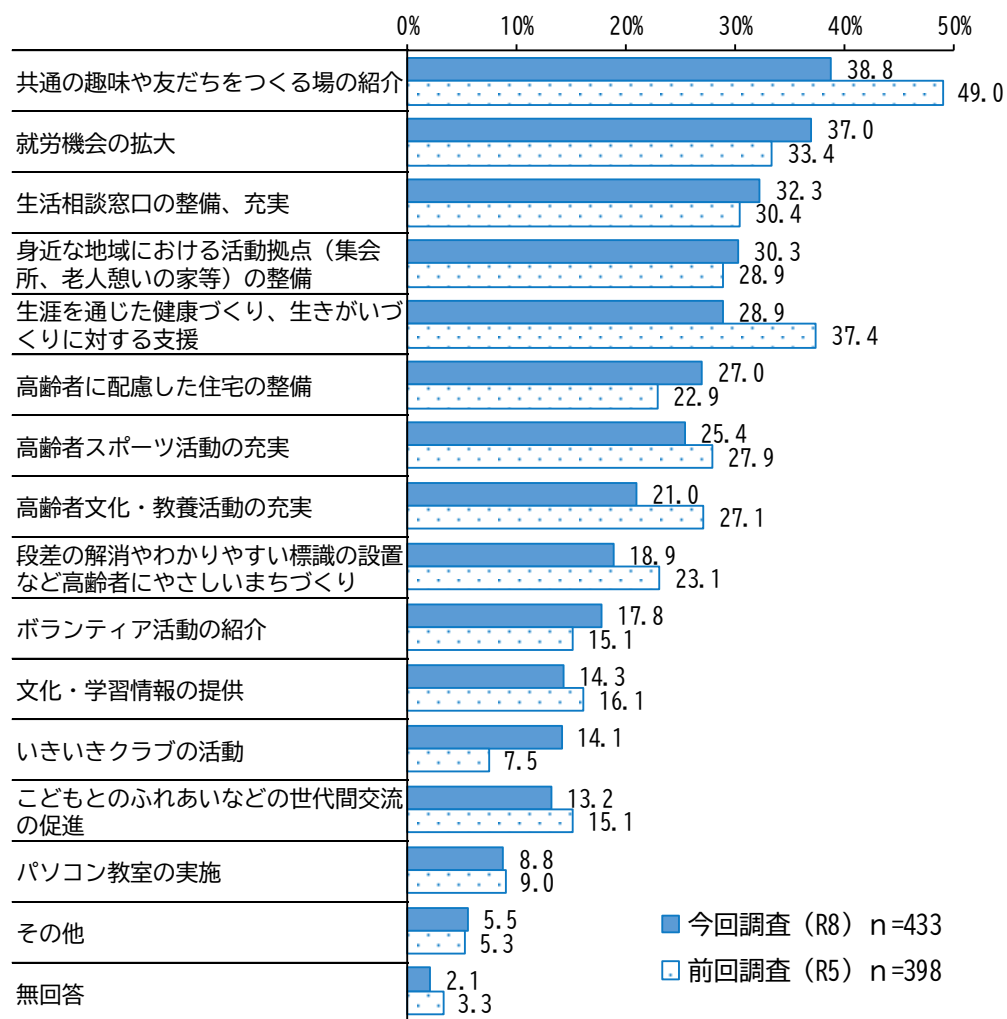
Ⅱ 調査の結果 4 若年者調査

5-3 高齢者が生きがいをもって快適に暮らすために市が注力すべきこと

問3 高齢者が生きがいをもって快適に暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください。（○印は5つまで）

「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」（38.8%）が最も高く、次いで「就労機会の拡大」（37.0%）、「生活相談窓口の整備、充実」（32.3%）、「身近な地域における活動拠点（集会所、老人憩いの家等）の整備」（30.3%）となっています。

前回調査と比べると、「高齢者に配慮した住宅の整備」が順位を上げ、「生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりに対する支援」が順位を下げています。



5 サービス提供事業者調査

(1) 調査対象事業所について

1-1 指定事業による事業所の種別

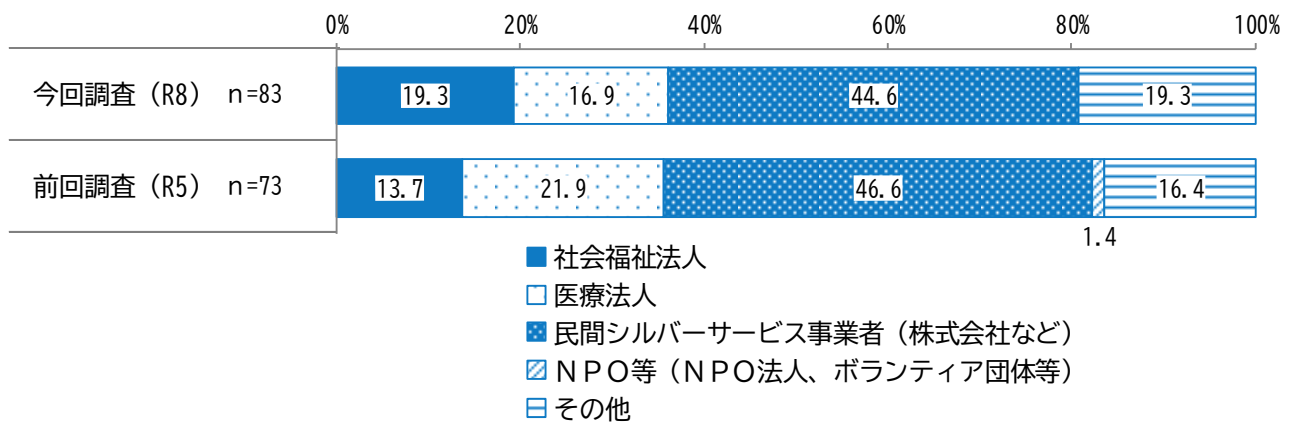
事業所名及び指定事業（自由記述）

回答された 83 事業所中、指定事業による事業所種別は、「施設サービス事業所」が 12 件、「居宅介護支援事業所」が 7 件、その他が 59 件、無回答が 5 件となっています。

1-2 事業所の運営形態

問1 貴事業所の運営形態をお聞かせください。（○印は1つだけ）

「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」（44.6%）が最も高く、次いで「社会福祉法人」（19.3%）となっています。

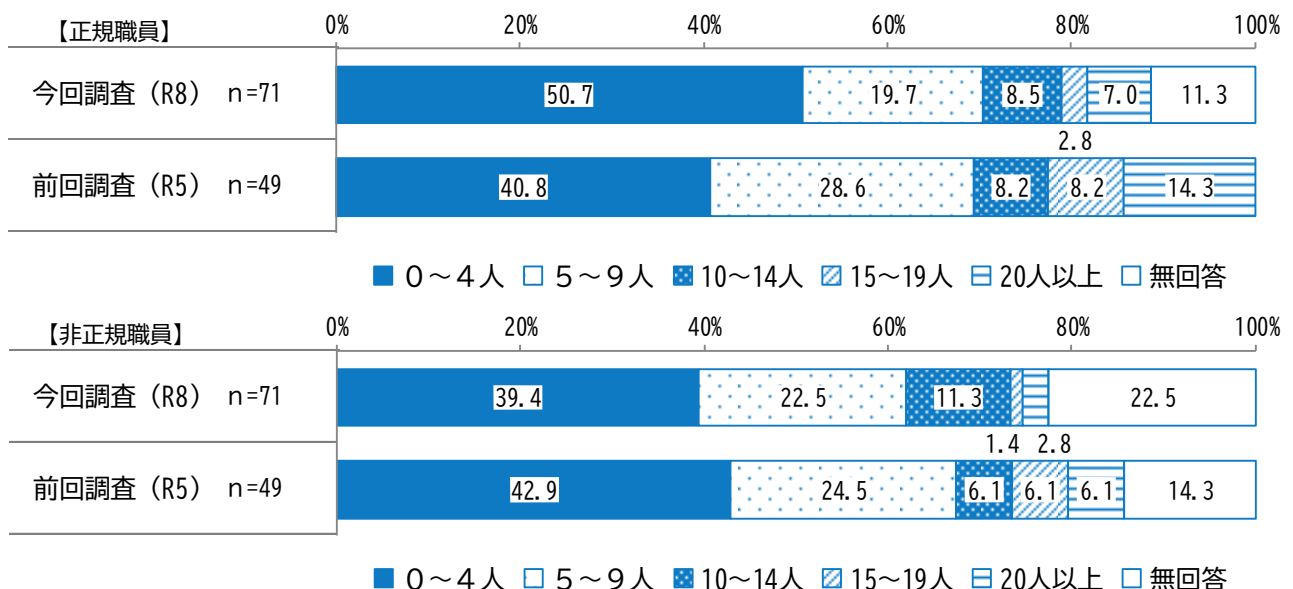


1-3 現在の介護職員数

居宅介護支援事業所以外の事業所のみ

問2 現在の介護職員（ボランティアは含まない）の総数を、ご記入ください。

正規職員、非正規職員ともに「0～4人」が最も高く、次いで「5～9人」となっています。



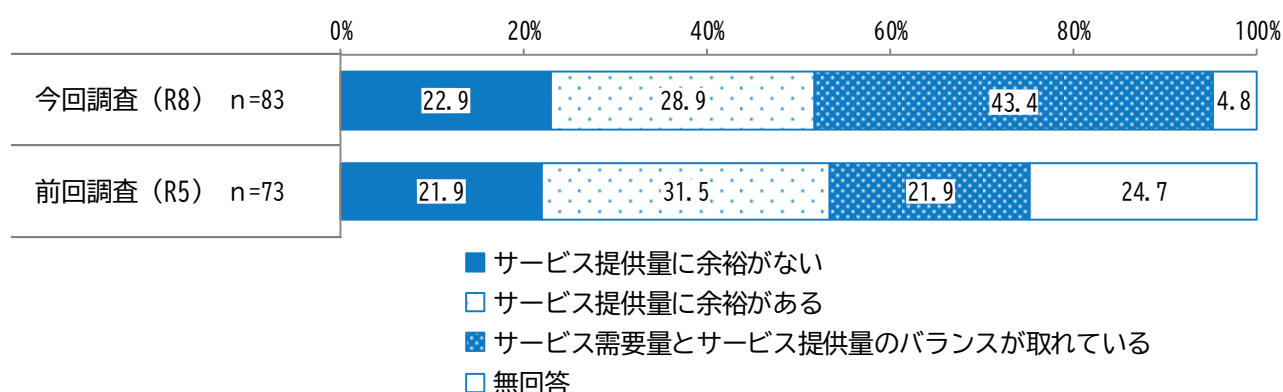
Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

1-4 サービス提供の状況

問3 現在、貴事業所におけるサービス提供はどのような状況ですか。（○印は1つだけ）

「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」（43.4%）が最も高く、次いで「サービス提供量に余裕がある」（28.9%）、「サービス提供量に余裕がない」（22.9%）となっています。

前回調査と比べると、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が21.5ポイント上昇しています。

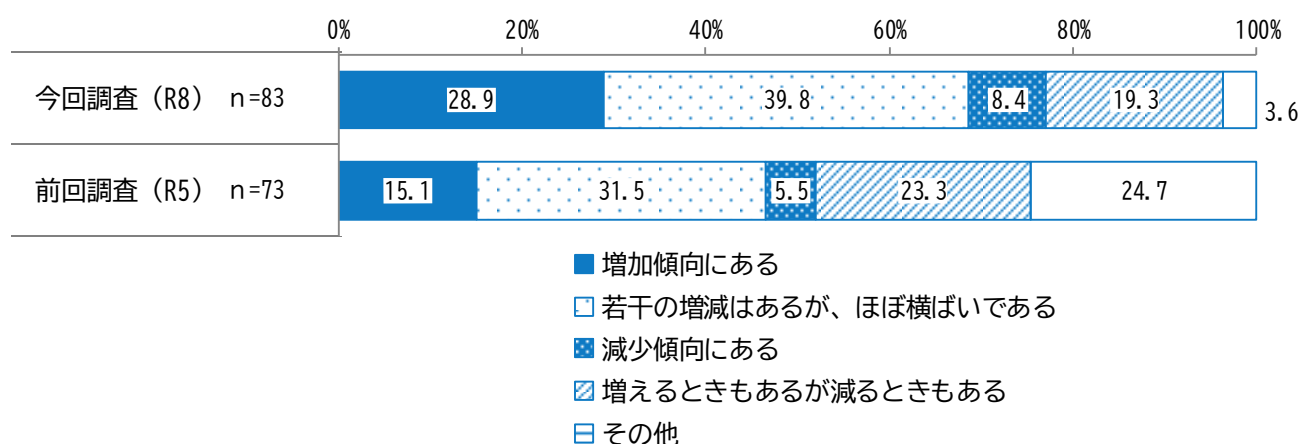


1-5 事業所の利用者数の状況

問4 貴事業所の利用者数の状況についてお答えください。（○印は1つだけ）

「若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである」（39.8%）が最も高く、次いで「増加傾向にある」（28.9%）となっており、「増加傾向にある」が「減少傾向にある」（8.4%）を大きく上回っています。

前回調査と比べると、「増加傾向にある」が13.8ポイント上昇しています。



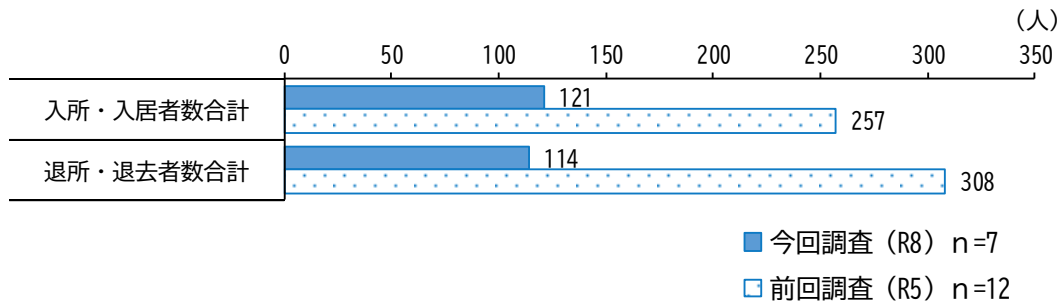
1-6 入所・入居者及び退所・退去者について

施設サービス事業所のみ

問5 過去1年間（令和6（2024）年12月から令和7（2025）年11月まで）に貴施設等に新規で入所・入居した人及び退所・退去した人の人数をご記入ください。（一時的な入院等で貴施設等に戻った人、又は一時的に入院中の人は含めないでください。）

回答のあった7事業所を合計すると、入所・入居者数の合計は121人、退所・退去者数の合計は114人となっています。

前回調査では退所・退去者数が入所・入居者数を上回っていましたが、本調査では退所・退去者数より入所・入居者数の方が多くなっています。

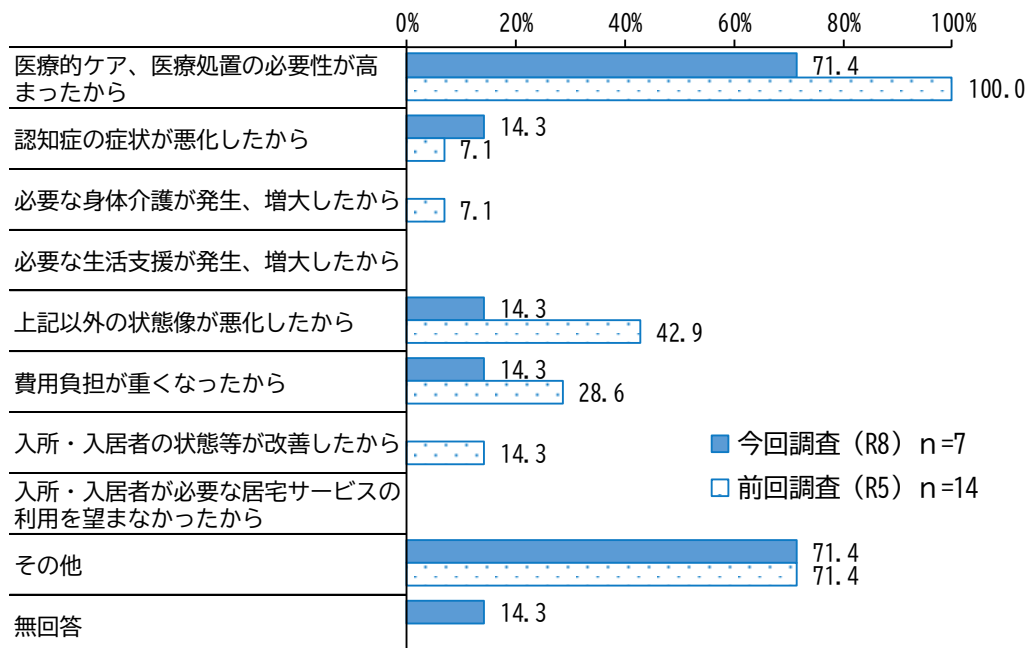


施設サービス事業所のみ

問6 貴施設の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んでください。（第1位から第3位まで、退去理由の上位3つに○印）

退去の理由は、「医療的ケア、医療処置の必要性が高まったから」「その他」（ともに71.4%）が最も高くなっています。「その他」の具体的内容としては“死亡”が多くあげられています。

退去理由の順位では、第1位で「その他」（57.1%）、第2位で「医療的ケア」（42.9%）が高くなっています。



Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

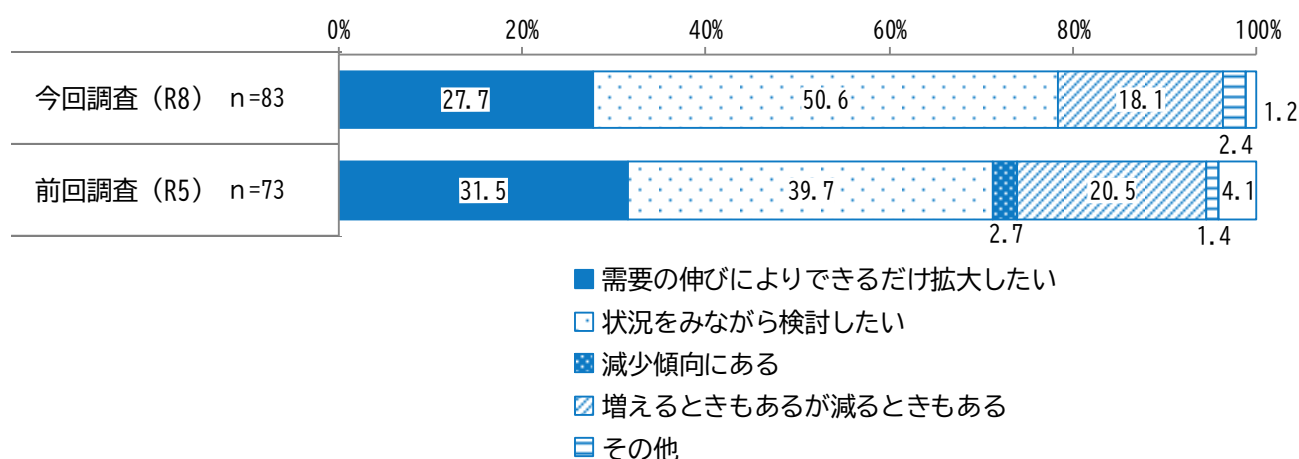
(2) 介護サービスの提供について

2-1 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

問7 貴事業所では、令和8（2026）年度以降の介護保険サービスの提供をどのようにお考えですか。（○印は1つだけ）

「状況をみながら検討したい」（50.6%）が最も高く、次いで「需要の伸びによりできるだけ拡大したい」（27.7%）となっています。

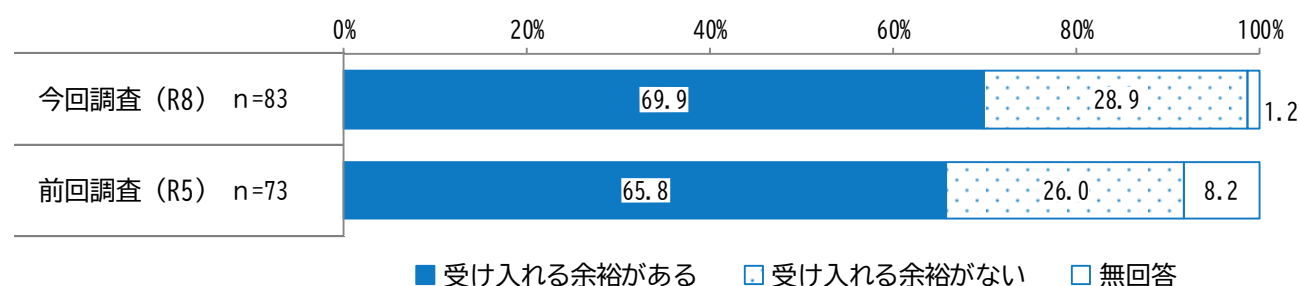
前回調査と比べると、「状況をみながら検討したい」が 10.9 ポイント上昇しています。



2-2 サービス待機者の受け入れについて

問8 サービス待機者の状況はいかがですか。（○印は1つだけ）

サービス待機者の受け入れの可否は、「受け入れる余裕がある」が 69.9%、「受け入れる余裕がない」が 28.9%となっています。

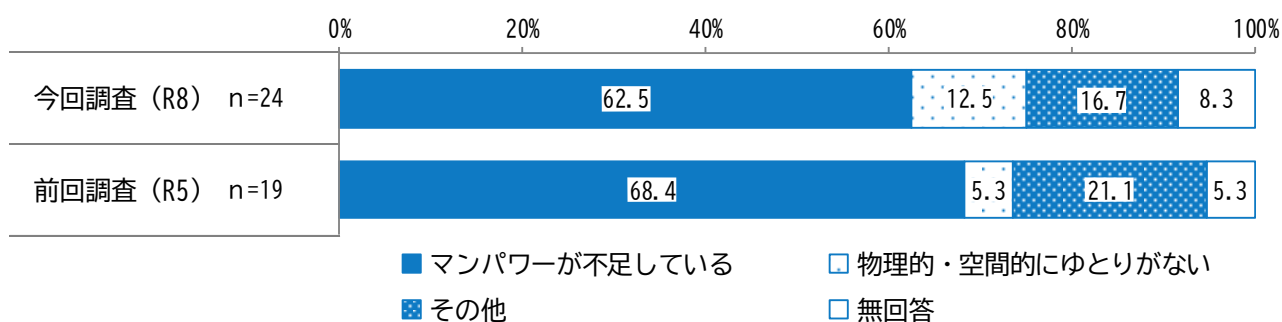


問8で「受け入れる余裕がない」と回答した事業所のみ

問8-1 その理由は何ですか。（○印は1つだけ）

「マンパワーが不足している」が 62.5%、「物理的・空間的にゆとりがない」が 12.5%となっています。

前回調査と比べると、「物理的・空間的にゆとりがない」が 7.2 ポイント上昇しています。

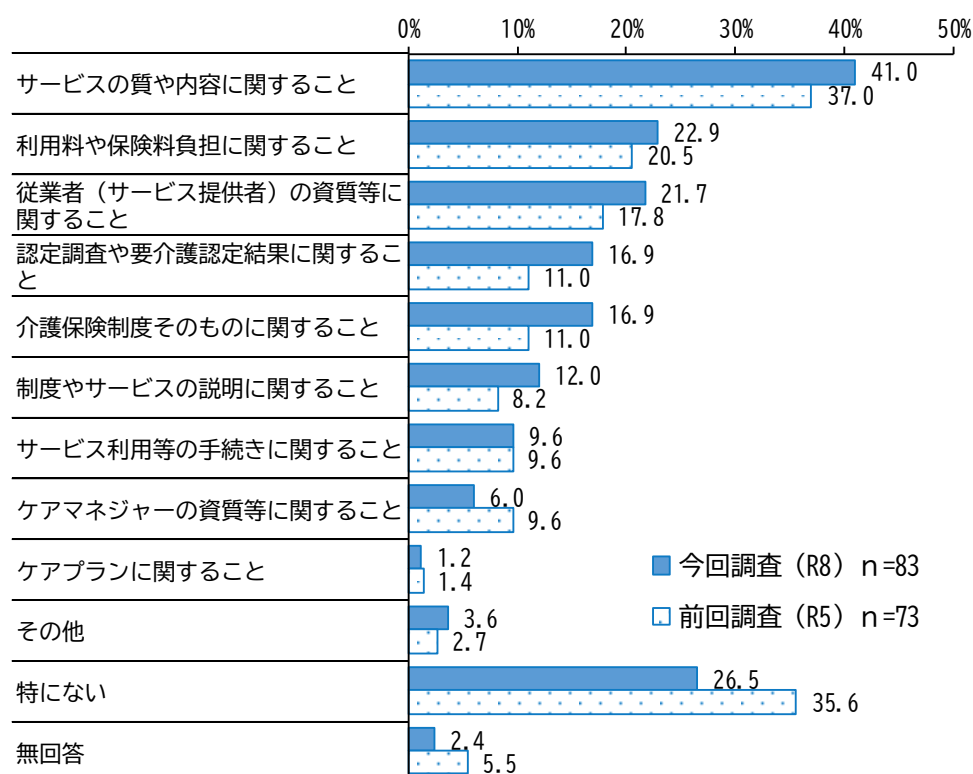


2-3 利用者等からの苦情の内容

問9 貴事業所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものをお答えください。（○印は5つまで）

「サービスの質や内容に関すること」(41.0%) が最も高く、次いで「特にない」(26.5%)、「利用料や保険料負担に関すること」(22.9%)、「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」(21.7%) となっています。

前回調査と比べると、「制度やサービスの説明に関すること」が順位を上げています。



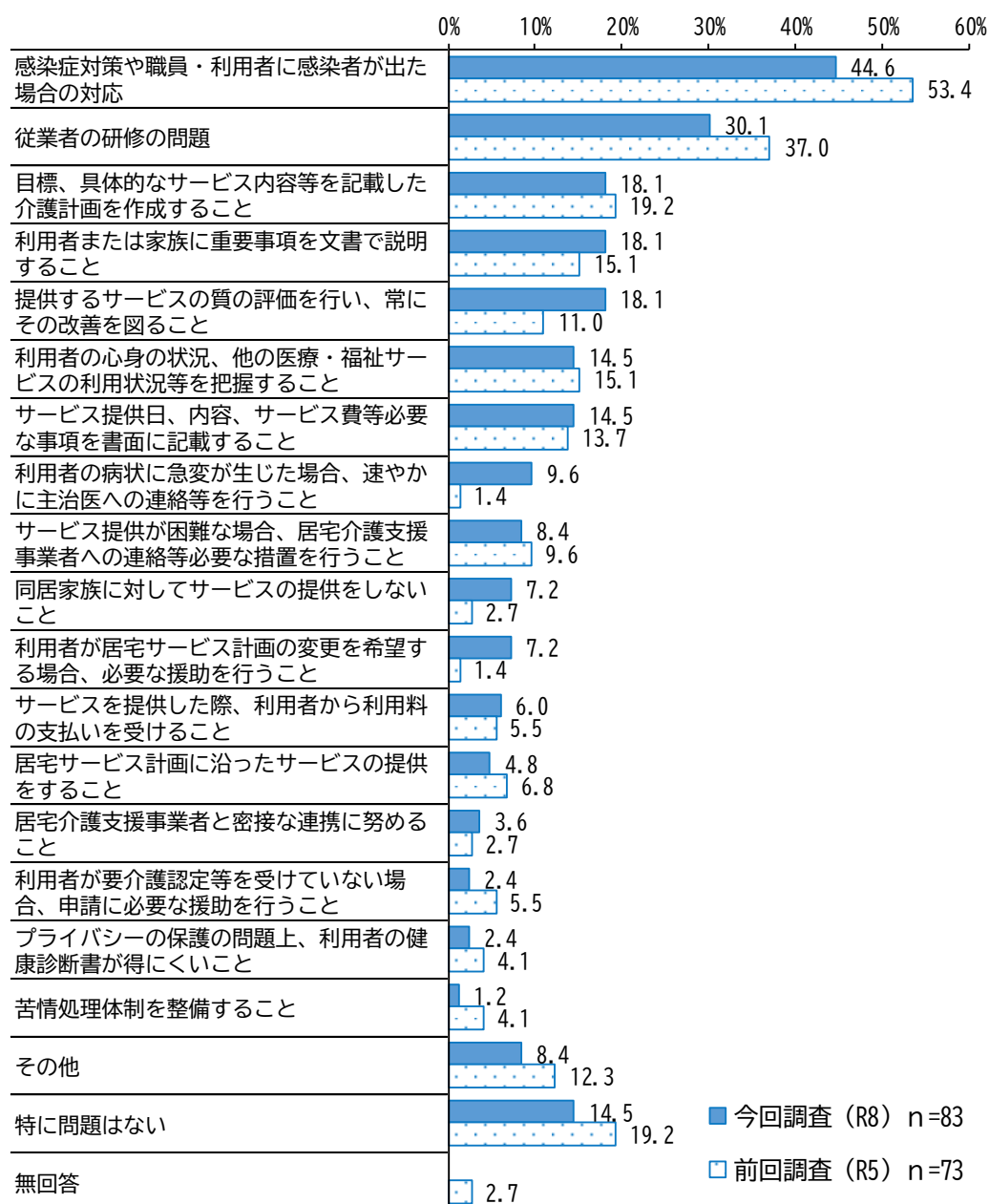
Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

2-4 サービスを提供する上で負担となっていること

問10 現在、貴事業所がサービスを提供する上で負担であると考えているのは、どのようなことですか。（〇印はいくつでも）

「感染症対策や職員・利用者に感染者が出た場合の対応」（44.6%）が最も高く、次いで「従業員の研修の問題」（30.1%）となっています。

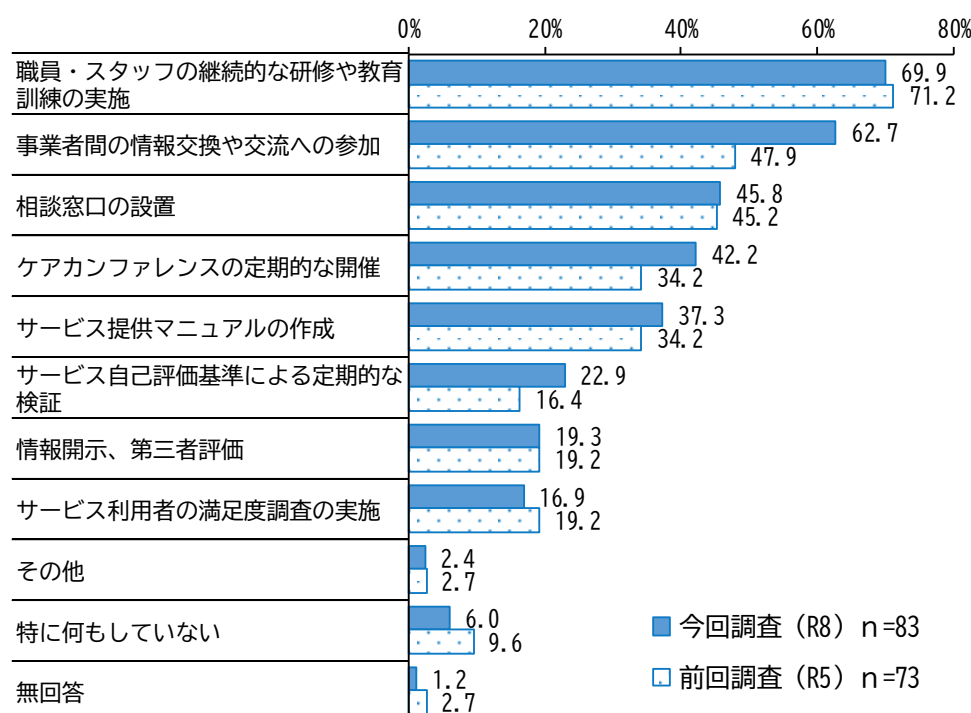
前回調査と比べると、「提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図ること」「利用者の病状に急変が生じた場合、速やかに主治医への連絡等を行うこと」等が順位を上げています。



2-5 サービスの質の向上のために実施していること

問11 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのようなことをしていますか。（○印はいくつでも）

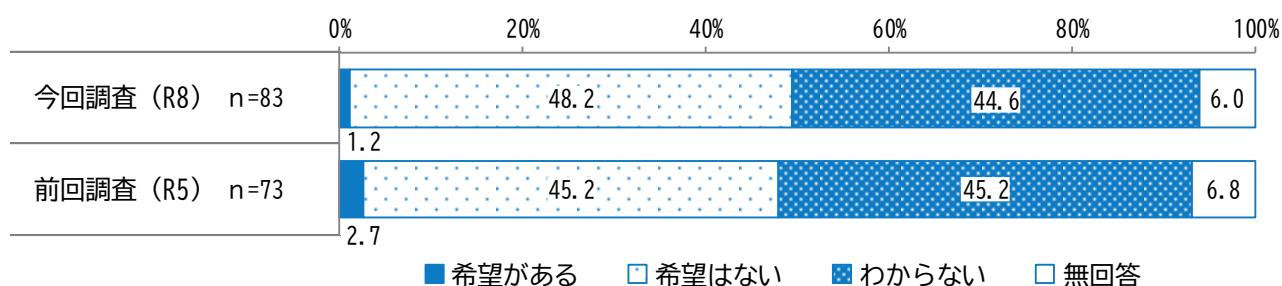
「職員・スタッフの継続的な研修や教育訓練の実施」（69.9%）が最も高く、次いで「事業者間の情報交換や交流への参加」（62.7%）、「相談窓口の設置」（45.8%）となっています。



2-6 地域密着型サービスの事業者指定の希望の有無

問12 今後、市内で新たに地域密着型サービスの事業者指定を受ける希望はありますか。（○印は1つだけ）

「希望がある」が1.2%（1件）となっています。



問12で「希望がある」と回答した事業所のみ

問12-1 希望しているサービスについてお答えください。（○印はいくつでも）

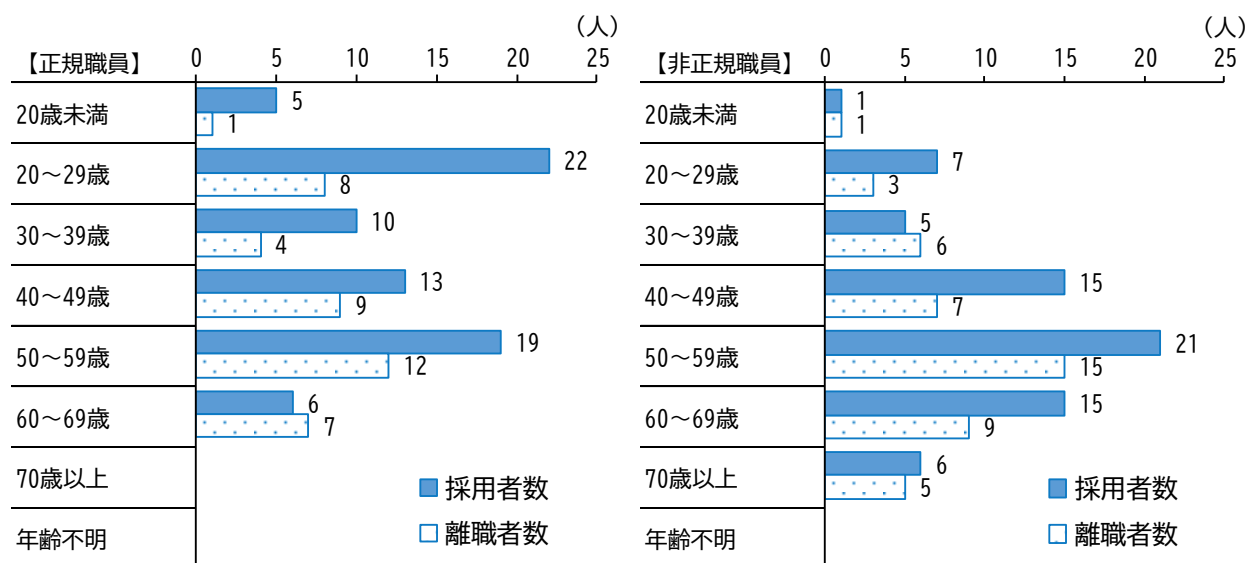
「希望がある」と回答した1件の希望するサービスは、「地域密着型通所介護」となっています。

(3) 人材確保について

3-1 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

問13 貴事業所における、過去1年間（令和6（2024）年12月1日～令和7（2025）年11月30日）の採用者数と離職者数について、正規・非正規の別、年齢別をご記入ください。

回答のあった全事業所の合計では、正規職員については、採用者数は「20～29 歳」が最も多く、離職者数は「50～59 歳」が最も多くなっています。非正規職員については、採用者数・離職者数ともに「50～59 歳」が最も多くなっています。

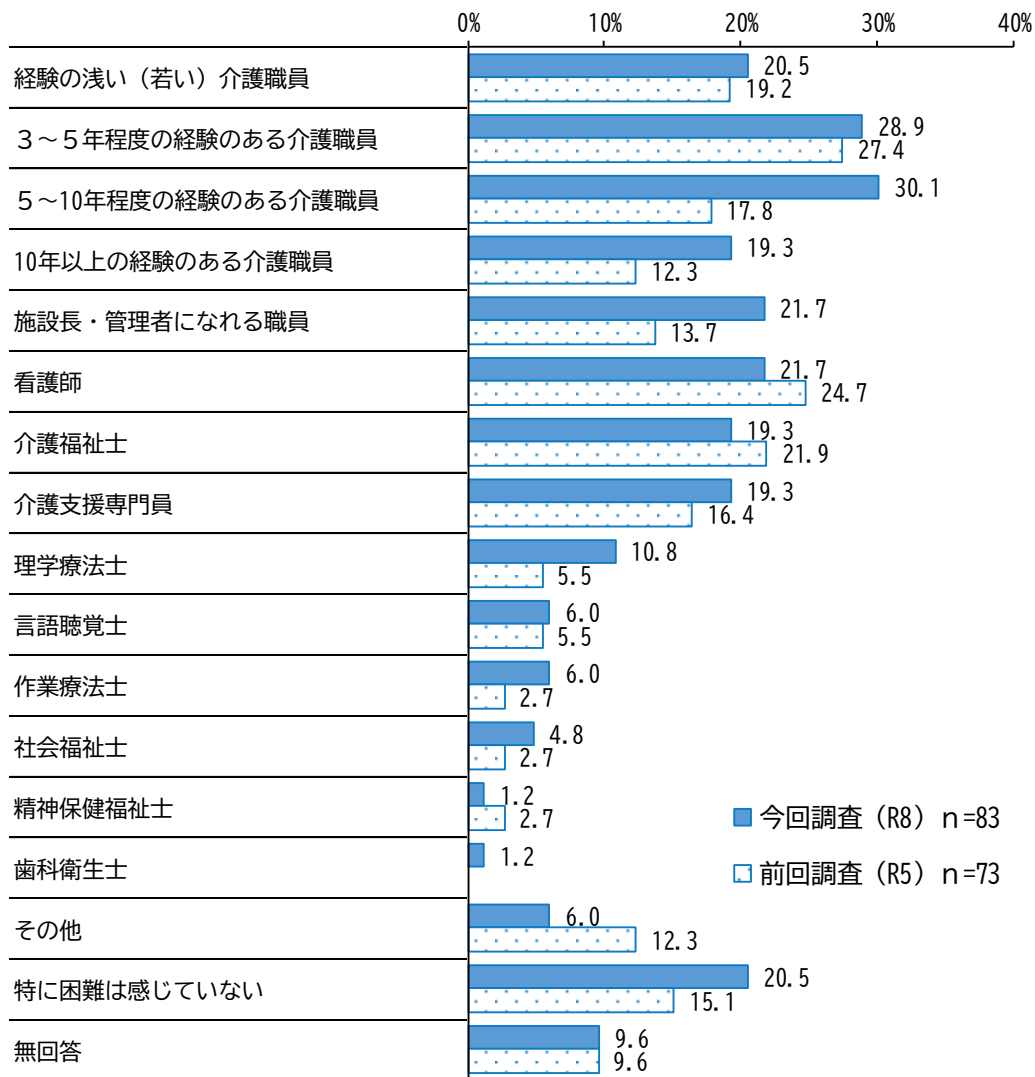


3-2 確保に困難を感じている介護職員や有資格者

問14 貴事業所では、どのような介護職員や有資格者の確保に困難を感じていますか。
(○印はいくつでも)

「5～10年程度の経験のある介護職員」(30.1%)が最も高く、次いで「3～5年程度の経験のある介護職員」(28.9%)、「施設長・管理者になれる職員」「看護師」(ともに21.7%)となっています。また、「特に困難は感じていない」が20.5%となっています。

前回調査と比べると、「5～10年程度の経験のある介護職員」「施設長・管理者になれる職員」が順位を上げています。



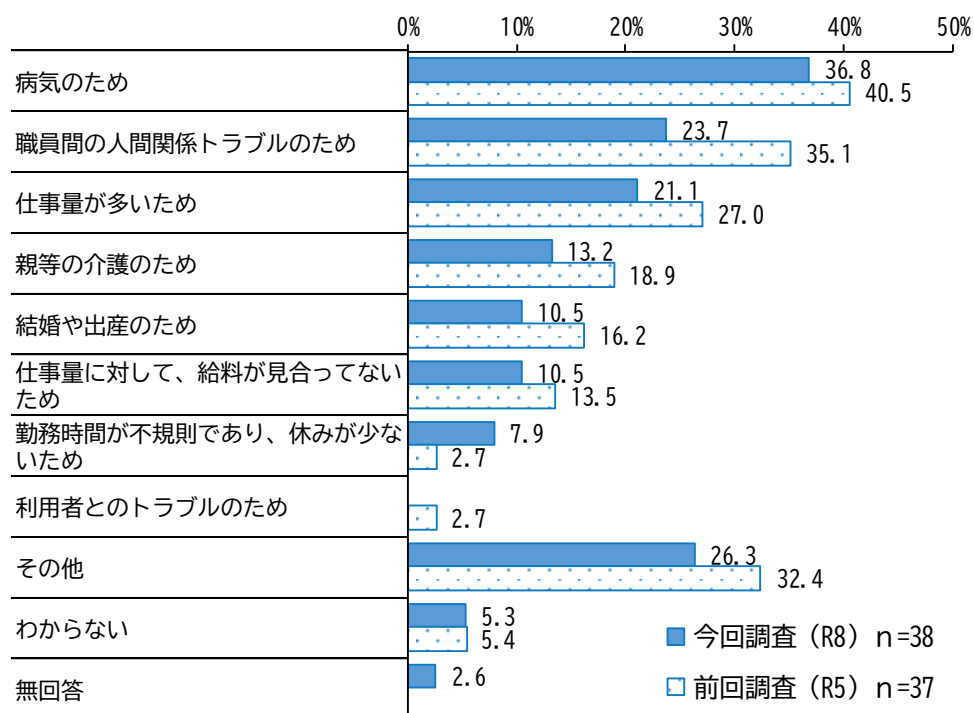
Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

3-3 離職した理由

問13で離職者数が1人以上であった事業所のみ

問15 離職した理由として考えられることは何でしたか。（○印はいくつでも）

「病気のため」(36.8%)が最も高く、次いで「職員間の人間関係トラブルのため」(23.7%)、「仕事量が多いため」(21.1%)となっています。

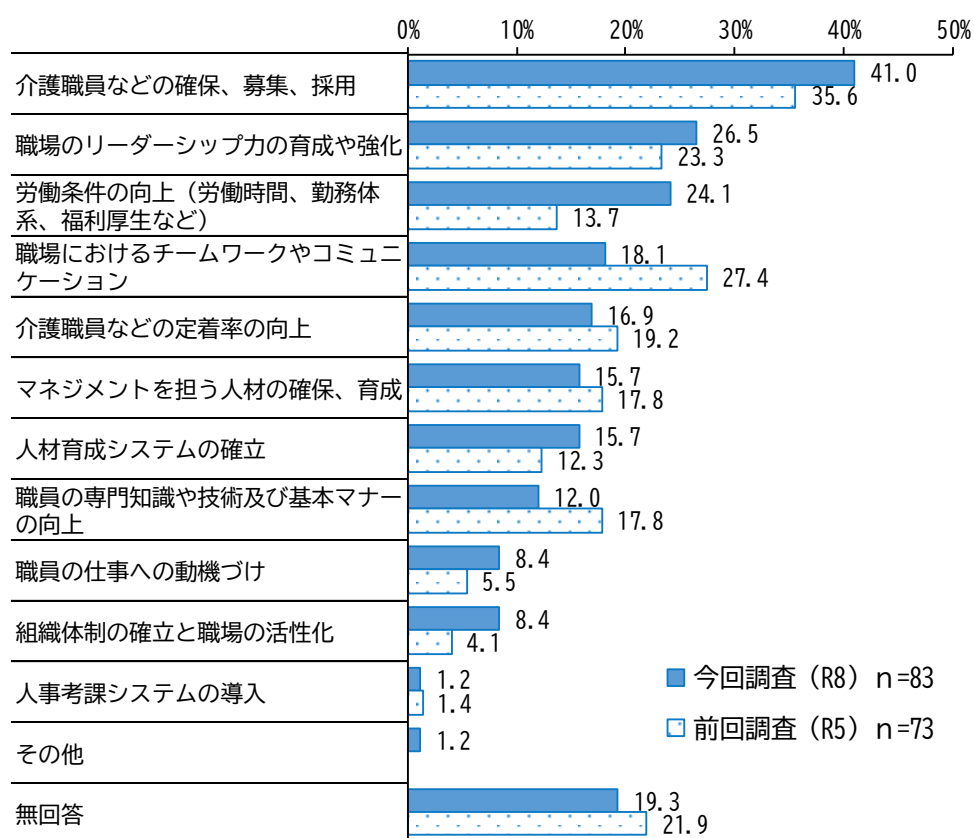


3-4 人材マネジメントにおける問題

問16 貴事業所では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。（○印は3つまで）

「介護職員などの確保、募集、採用」（41.0%）が最も高く、次いで「職場のリーダーシップ力の育成や強化」（26.5%）、「労働条件の向上（労働時間、勤務体系、福利厚生など）」（24.1%）となっています。

前回調査と比べると、「労働条件の向上」が順位を上げ、「職場におけるチームワークやコミュニケーション」「職員の専門知識や技術及び基本マナーの向上」が順位を下げています。



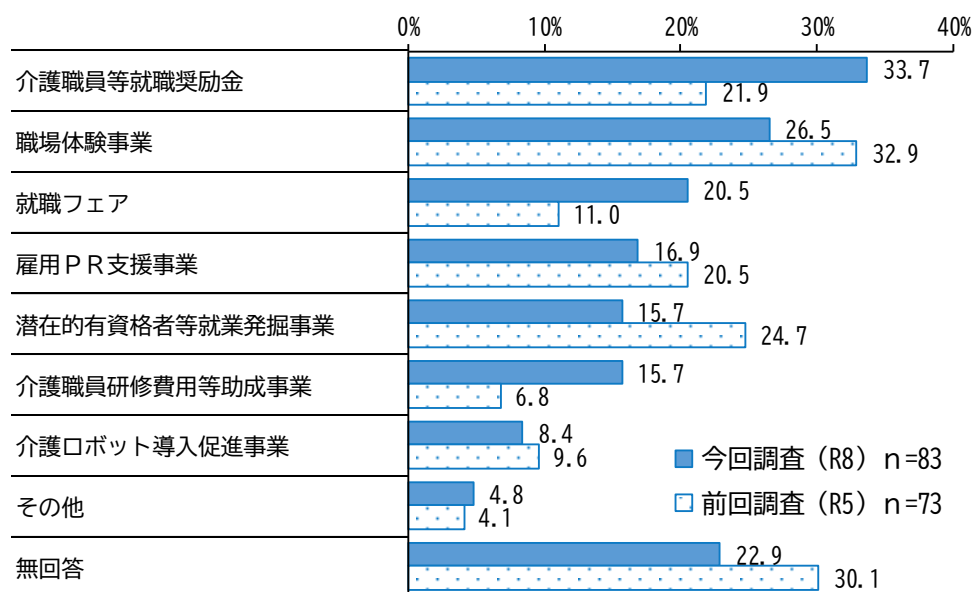
Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

3-5 介護人材確保において有効な事業

問17 介護人材確保において、有効であるとする事業は何ですか。（○印は3つまで）

「介護職員等就職奨励金」（33.7%）が最も高く、次いで「職場体験事業」（26.5%）、「就職フェア」（20.5%）となっています。

前回調査と比べると、「介護職員等就職奨励金」「就職フェア」が順位を上げ、「潜在的有資格者等就業発掘事業」が順位を下げています。

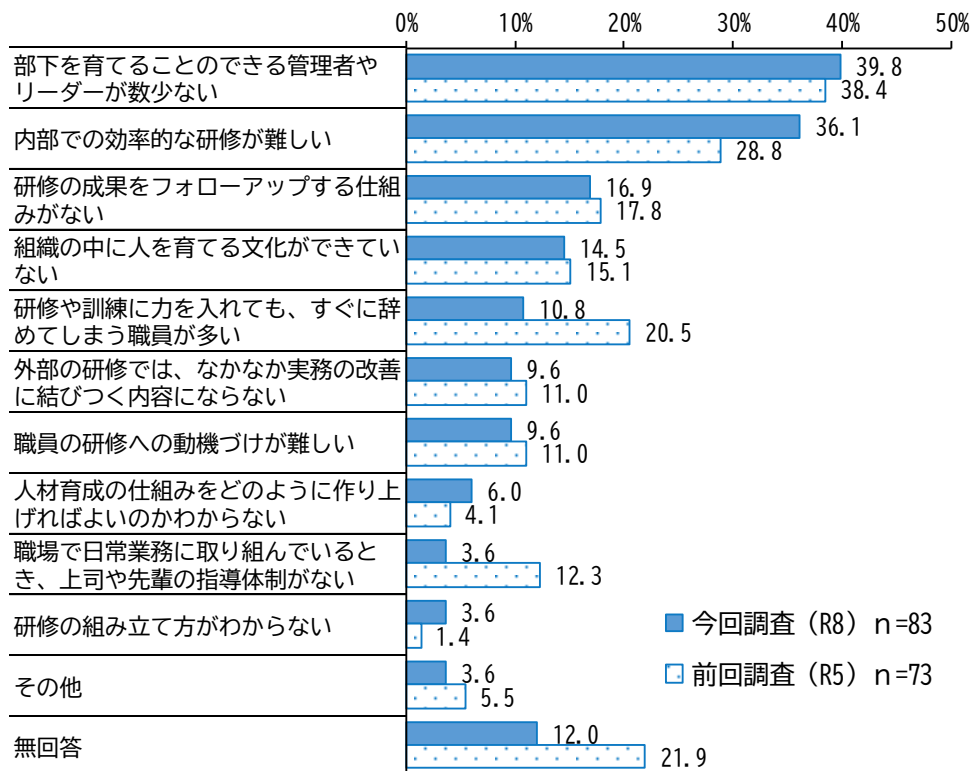


3-6 人材の育成の取り組みにおける問題

問18 貴事業所では、人材の育成に取り組んでいく時、どのような問題点がありますか。（○印は3つまで）

「部下を育てることのできる管理者やリーダーが数少ない」（39.8%）が最も高く、次いで「内部での効率的な研修が難しい」（36.1%）、「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」（16.9%）となっています。

前回調査と比べると、「研修や訓練に力を入れても、すぐに辞めてしまう職員が多い」「職場で日常業務に取り組んでいるとき、上司や先輩の指導体制がない」が順位を下げています。



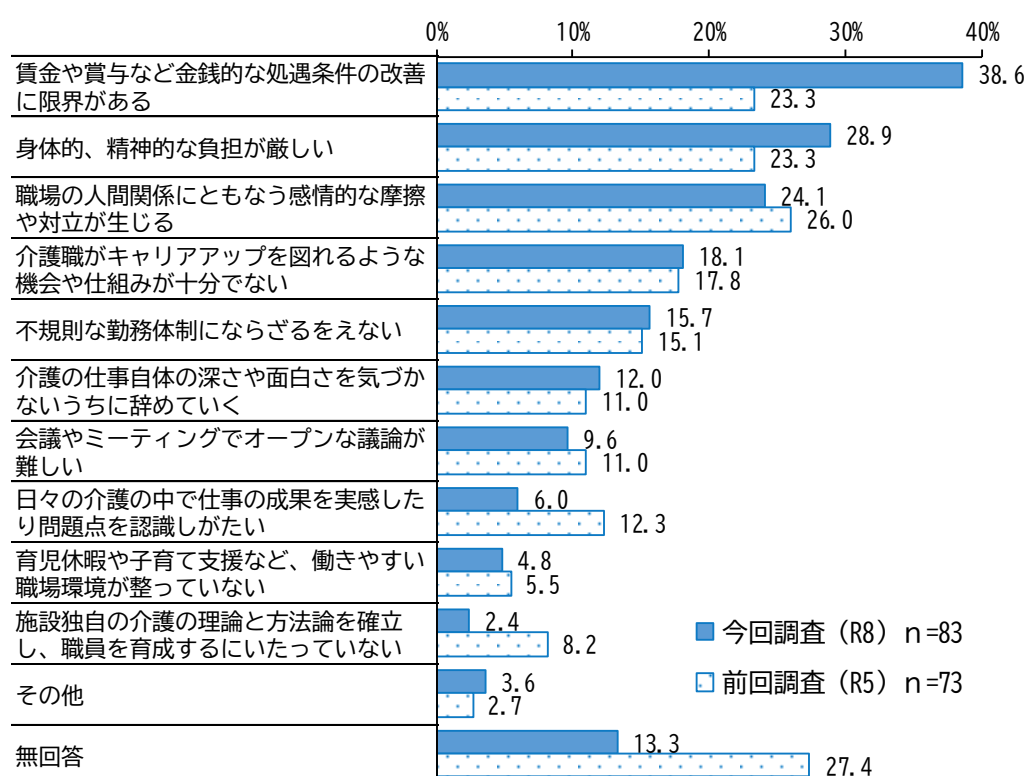
Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

3-7 職員の確保と定着向上における問題

問19 貴事業所では、職員の確保と定着向上にはどのような問題点がありますか。（○印は3つまで）

「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」（38.6%）が最も高く、次いで「身体的、精神的な負担が厳しい」（28.9%）、「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」（24.1%）となっています。

前回調査と比べると、「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」「日々の介護の中で仕事の成果を実感したり問題点を認識しがたい」が順位を下げています。また、「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が15.3ポイント上昇しています。

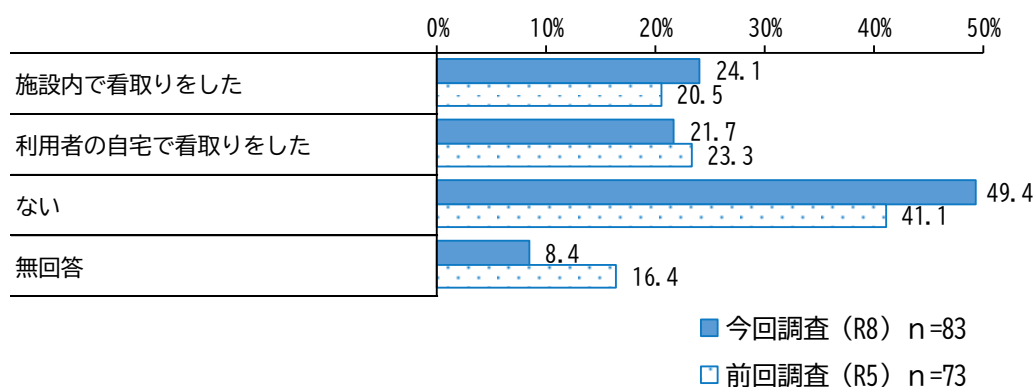


（４）事業所運営の課題について

4-1 利用者の看取りをしたケースの有無

問20 過去１年間で、利用者の看取りをしたケースはありますか。（○印はいくつでも）

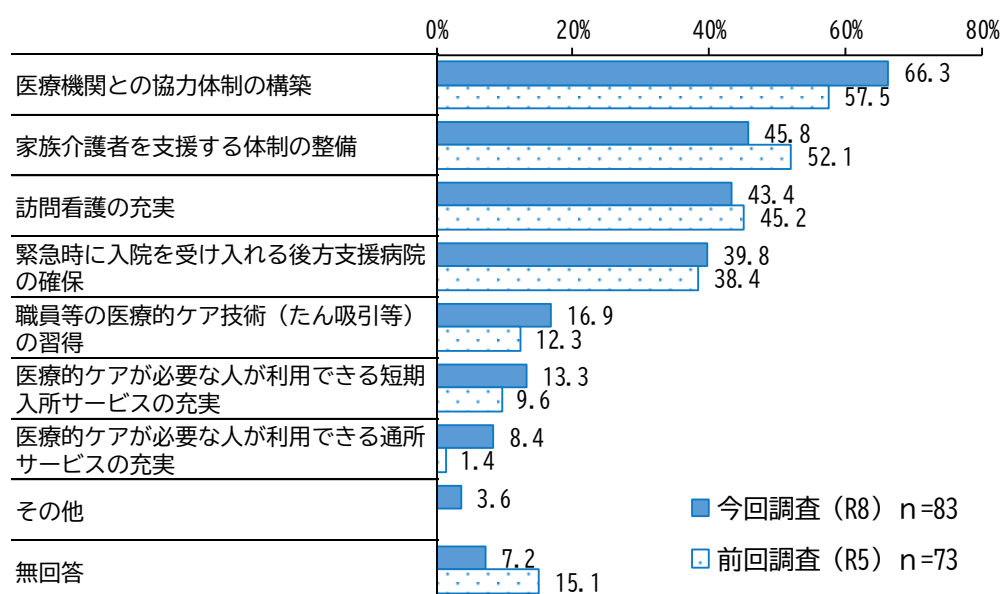
「施設内で看取りをした」が 24.1%、「利用者の自宅で看取りをした」が 21.7%となっています。



4-2 在宅での看取りをするために必要なこと

問21 在宅での看取りをするために、必要であると考えていることは、どのようなことですか。（○印は3つまで）

「医療機関との協力体制の構築」(66.3%) が最も高く、次いで「家族介護者を支援する体制の整備」(45.8%)、「訪問看護の充実」(43.4%)となっています。

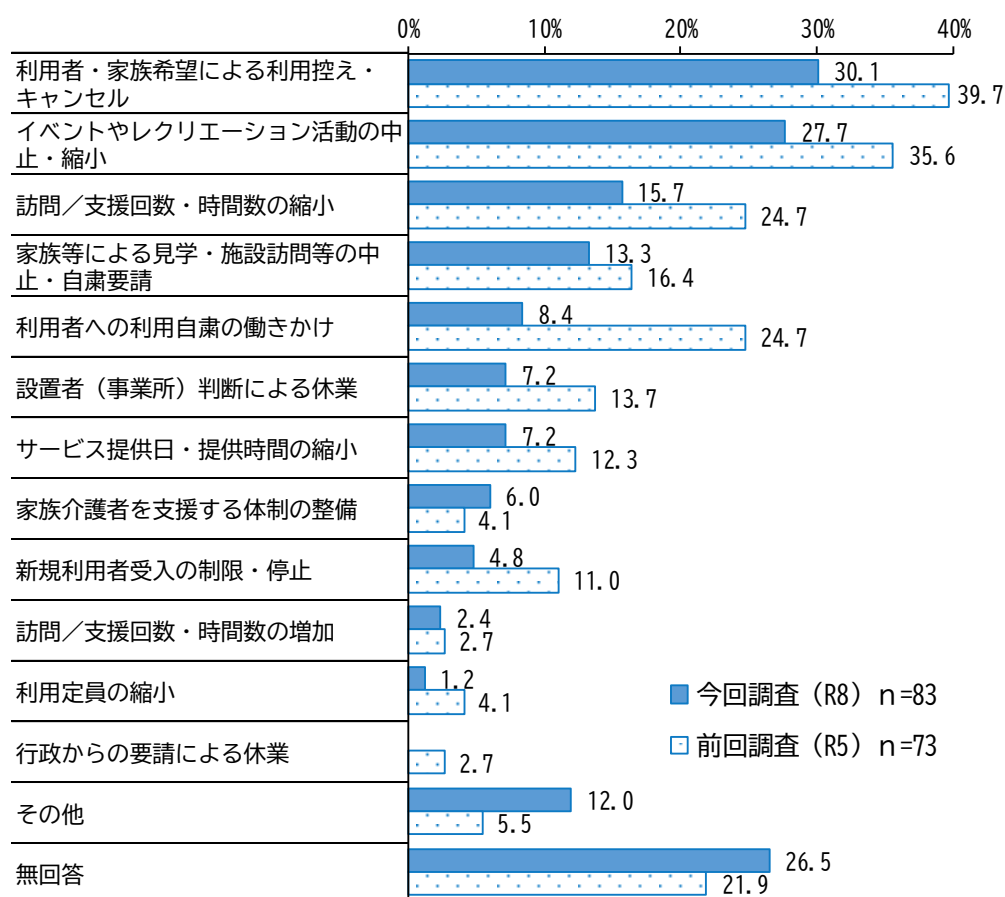


Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

4-3 新型コロナウイルス感染症の事業所運営への影響

問22 過去1年間の、新型コロナウイルス感染症の、事業所運営への影響について、あてはまるものをお答えください。（○印はいくつでも）

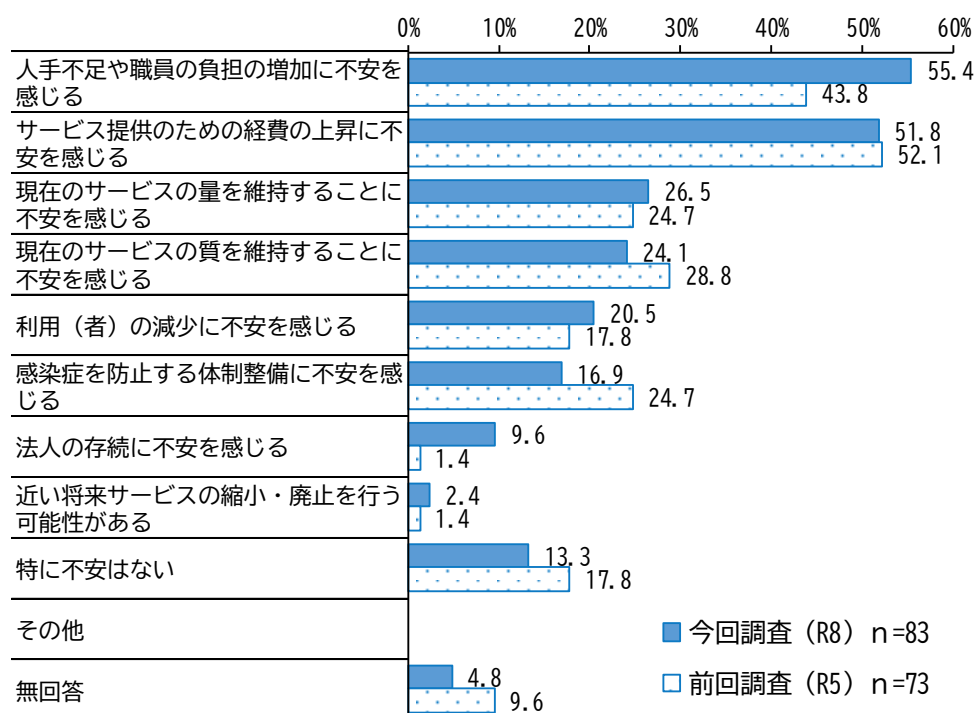
「利用者・家族希望による利用控え・キャンセル」(30.1%)が最も高く、次いで「イベントやレクリエーション活動の中止・縮小」(27.7%)、「訪問／支援回数・時間数の縮小」(15.7%)、「家族などによる見学・施設訪問等の中止・自粛要請」(13.3%)となっています。



4-4 感染症の流行や物価上昇等による、現状のサービスの維持や経営上の不安

問23 近年の感染症の流行や物価上昇等の影響で、現状のサービスの維持や経営に不安を感じる状況はありますか。あてはまるものをお答えください。（○印はいくつでも）

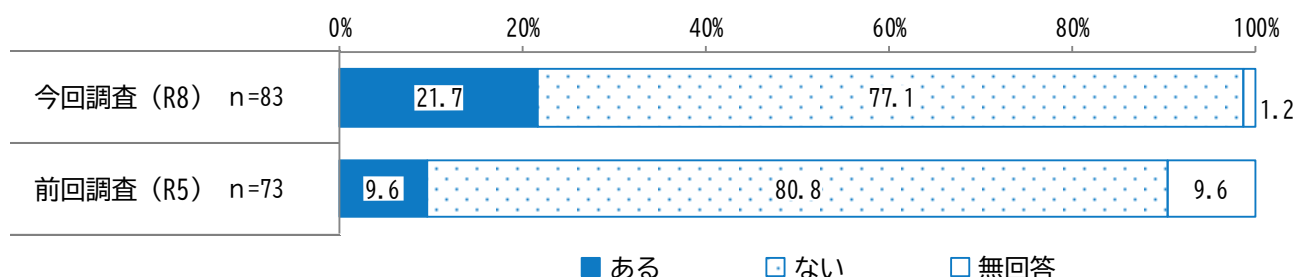
「人手不足や職員の負担の増加に不安を感じる」（55.4%）が最も高く、次いで「サービス提供のための経費の上昇に不安を感じる」（51.8%）、「現在のサービスの量を維持することに不安を感じる」（26.5%）、「現在のサービスの質を維持することに不安を感じる」（24.1%）となっています。



4-5 高齢者虐待の事例について

問24 貴事業所がサービスを提供している利用者の中で、この1年間に高齢者虐待を受けている、又は受けていると思われる事例がありましたか。（○印は1つだけ）

サービス利用者における高齢者虐待の事例は、「ある」が21.7%となっています。前回調査と比べると、「ある」は12.1ポイント上昇しています。

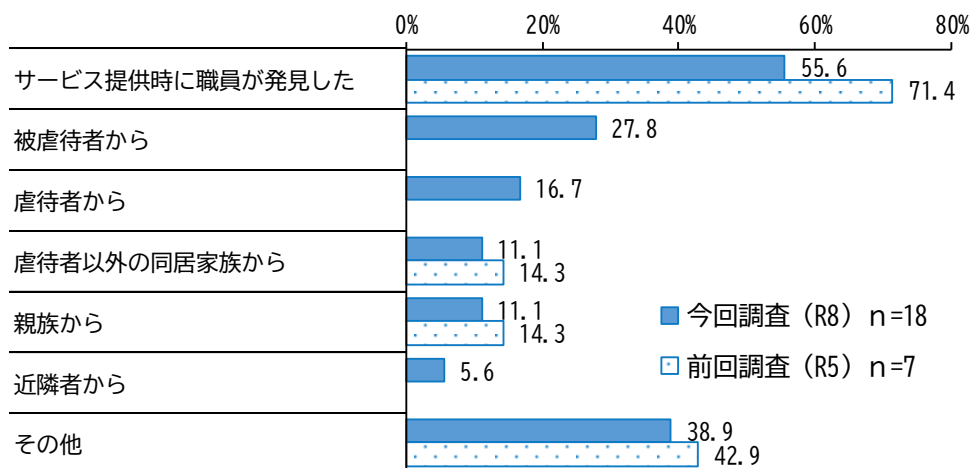


Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

問24で「ある」と答えた事業所のみ

問24-1 どこから虐待を発見しましたか。（○印はいくつでも）

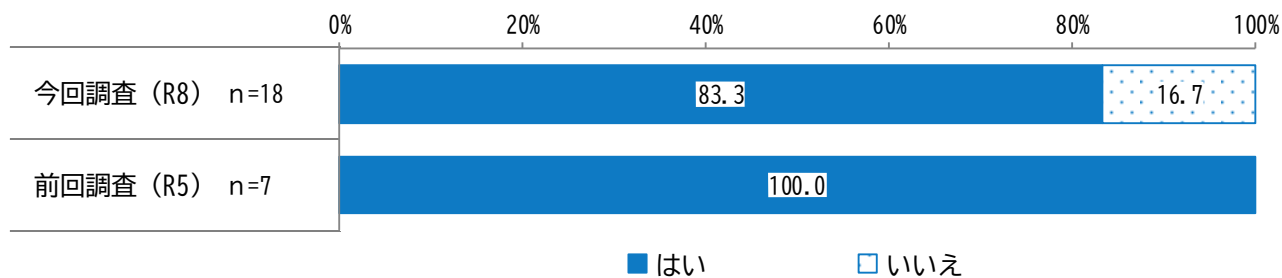
虐待の発見者は、「サービス提供時に職員が発見した」（55.6％）が最も高く、次いで「被虐待者から」（27.8％）となっています。



問24で「ある」と答えた事業所のみ

問24-2 その時に、関係機関に相談・通報しましたか。（○印は1つだけ）

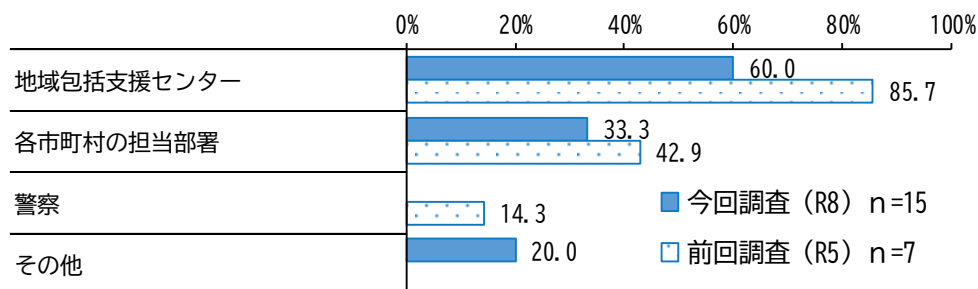
虐待発見時の相談・通報は、「はい」（相談・通報した）が83.3％となっています。



問24-2で「はい」と答えた事業所のみ

問24-3 相談・通報先はどこでしたか。（○印はいくつでも）

相談・通報先は、「地域包括支援センター」（60.0％）が最も高く、次いで「各市町村の担当部署」（33.3％）となっています。



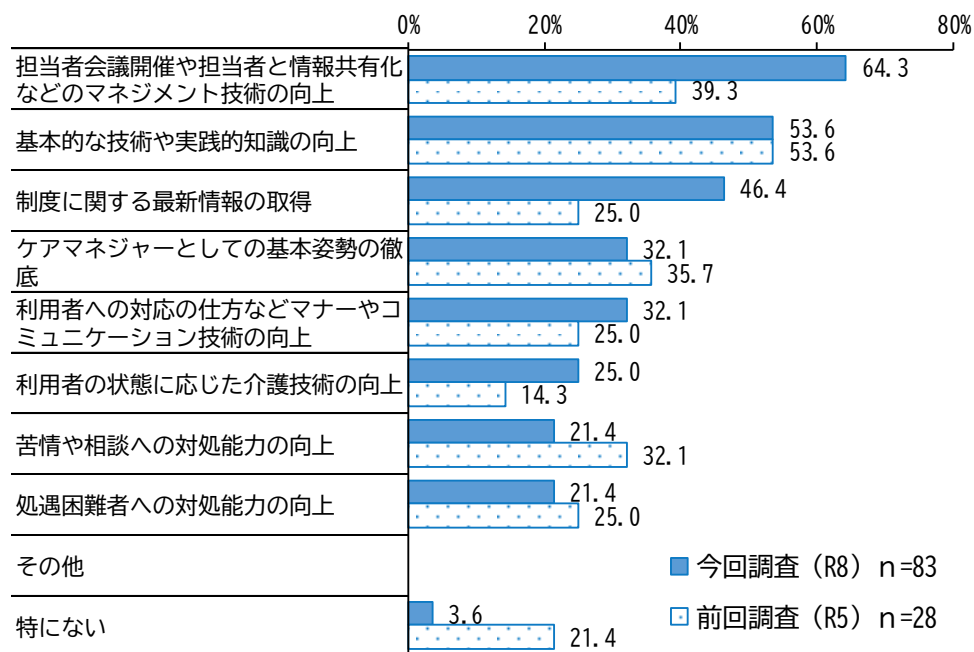
4-6 介護支援専門員の質の確保・向上を図るために重視していること

介護支援専門員を配置している事業所のみ

問25 貴事業所では、介護支援専門員の質の確保・向上を図るために、特にどのような点に重視して取り組んでいますか。（○印は5つまで）

「担当者会議開催や担当者と情報共有化などのマネジメント技術の向上」（64.3%）が最も高く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」（53.6%）、「制度に関する最新情報の取得」（46.4%）となっています。

前回調査と比べると、「制度に関する最新情報の取得」「利用者の状態に応じた介護技術の向上」が順位を上げています。



Ⅱ 調査の結果 5 サービス提供事業者調査

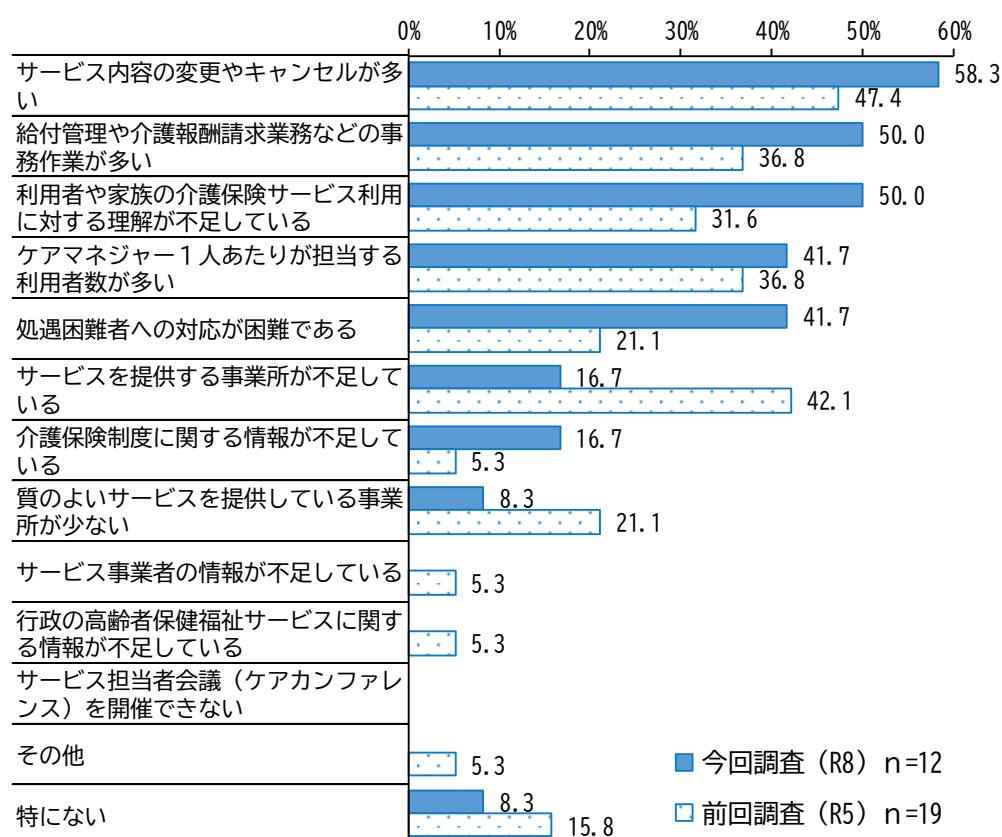
4-7 居宅介護サービス計画の作成における問題

居宅介護支援事業所のみ

問26 居宅介護サービス計画を作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。（○印は5つまで）

「サービス内容の変更やキャンセルが多い」（58.3%）が最も高く、次いで「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」「利用者や家族の介護保険サービス利用に対する理解が不足している」（ともに 50.0%）となっています。

前回調査と比べると、「利用者や家族の介護保険サービス利用に対する理解が不足している」が順位を上げ、「サービスを提供する事業所が不足している」が順位を下げています。



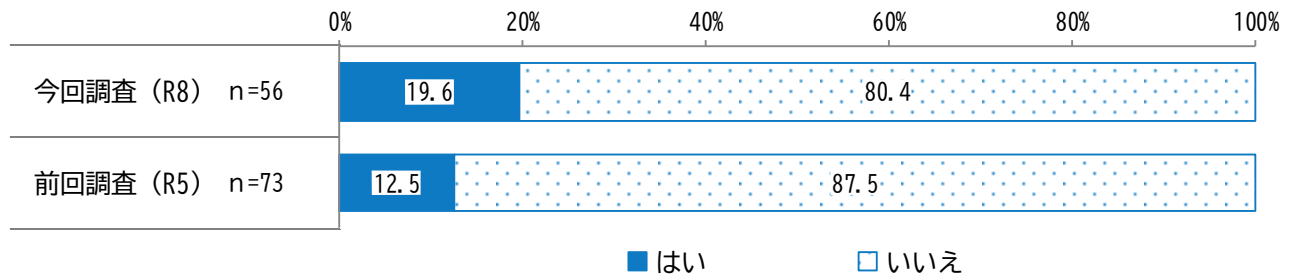
4-8 困難事例について

居宅介護支援事業所以外の事業所のみ

問27 適切なサービスを提供することが困難であると認めた場合は、居宅介護支援事業所への連絡、適当な他の事業所の紹介など必要な措置を講じることになっています。貴事業所ではサービス提供が困難な事例がありましたか。（○印は1つだけ）

「はい」（困難事例があった）が19.6%となっています。

前回調査と比べると、「はい」は7.1ポイント上昇しています。

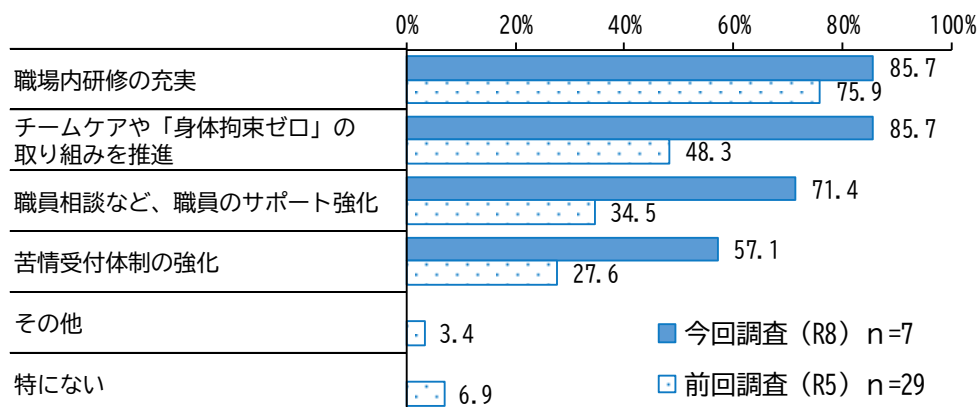


4-9 施設サービス事業所の虐待予防の取組み

施設サービス事業所のみ

問28 貴事業所では、虐待予防に関して、どのような取組みをしていますか。（○印はいくつでも）

「職場内研修の充実」「チームケアや「身体拘束ゼロ」の取り組みを推進」（ともに85.7%）が最も高くなっています。



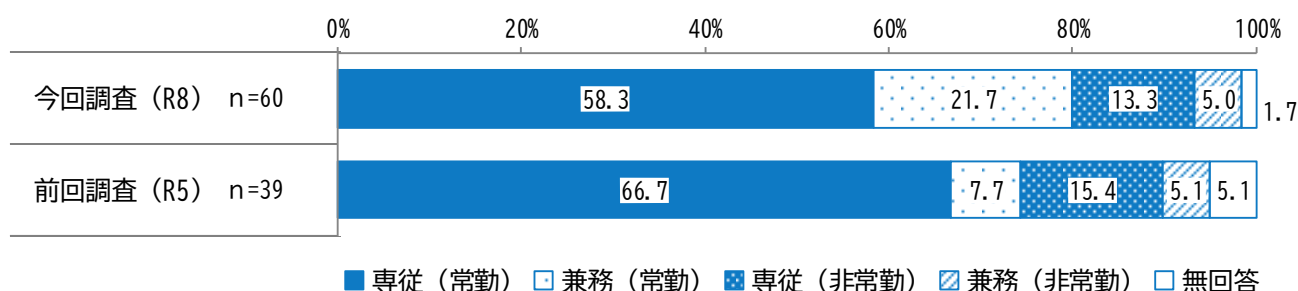
6 ケアマネジャー調査

(1) 調査対象者について

1-1 勤務形態

問1 あなたの勤務形態はどれに該当しますか。(○印は1つだけ)

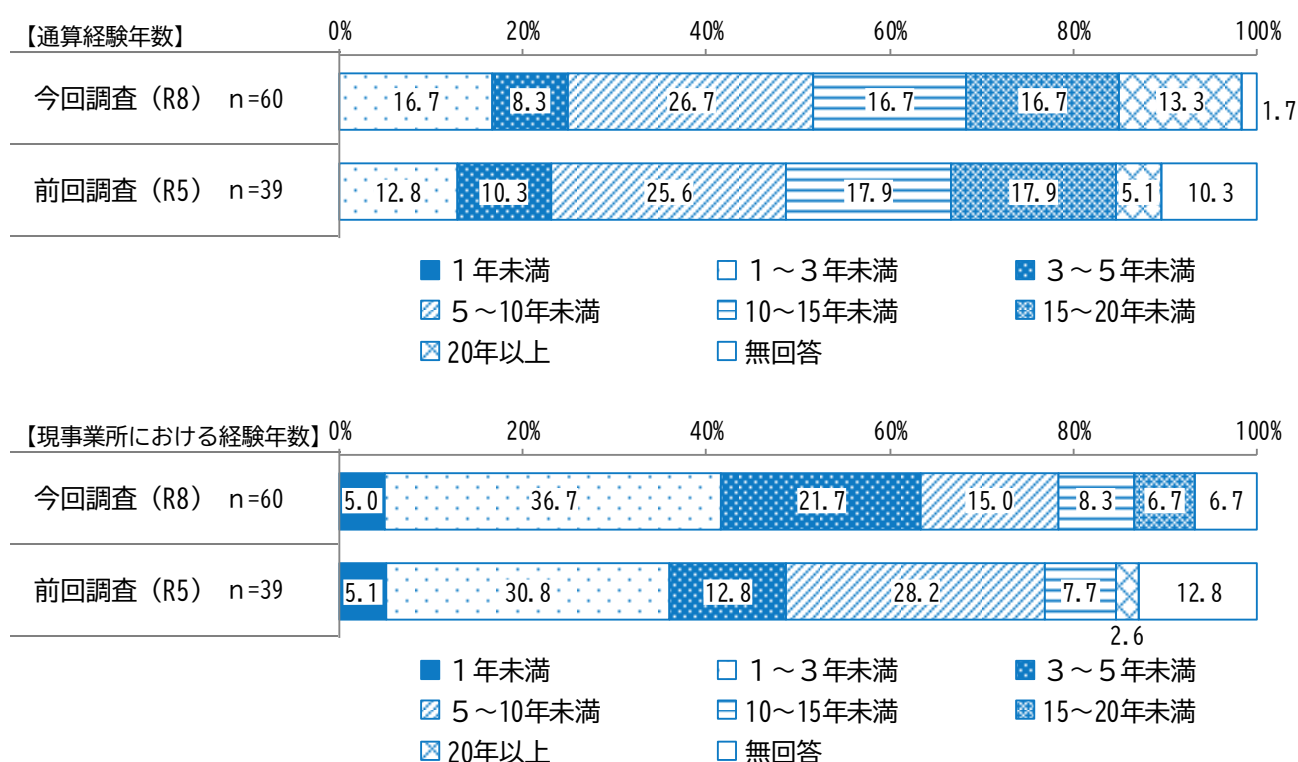
「専従(常勤)」(58.3%)が最も高く、次いで「兼務(常勤)」(21.7%)となっています。



1-2 介護支援専門員としての経験年数

問2 令和7(2025)年12月1日現在、介護支援専門員としての経験はどれくらいになりますか。それぞれ数字でご記入ください。

通算経験年数は「5～10年未満」(26.7%)が最も高く、現事業所における経験年数は「1～3年未満」(36.7%)が最も高くなっています。

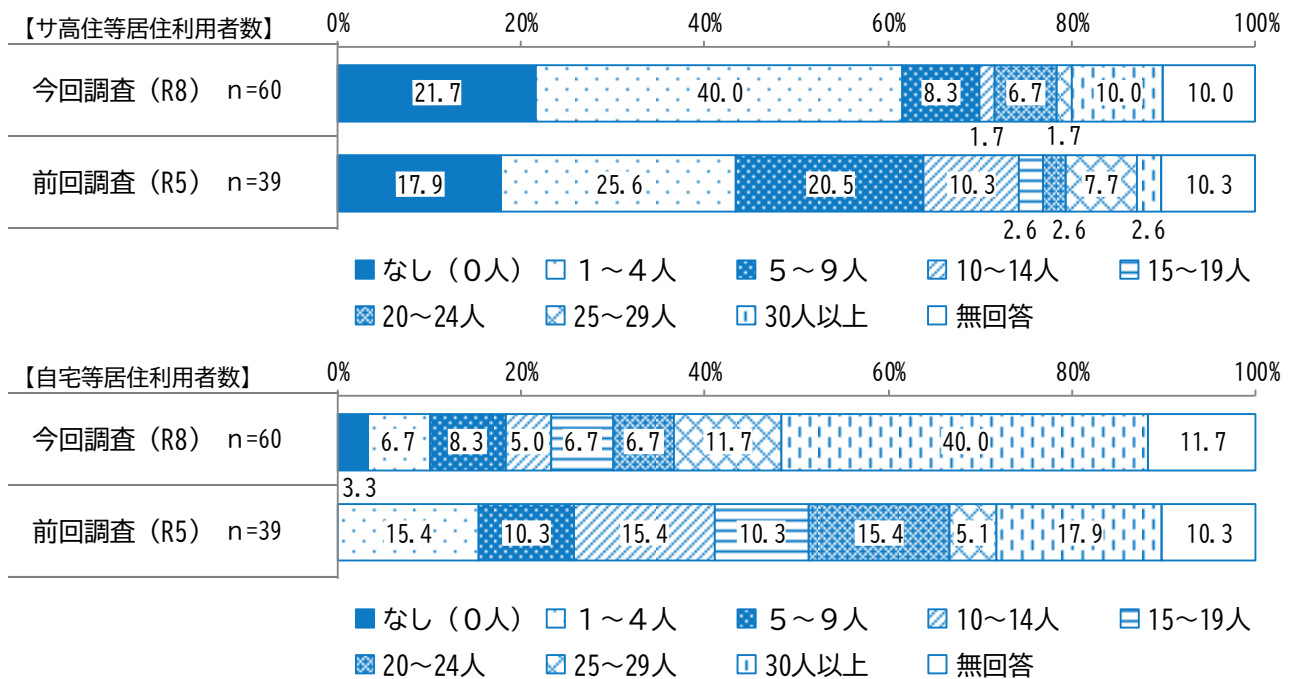


(2) ケアプランの作成について

2-1 現在担当している利用者数について

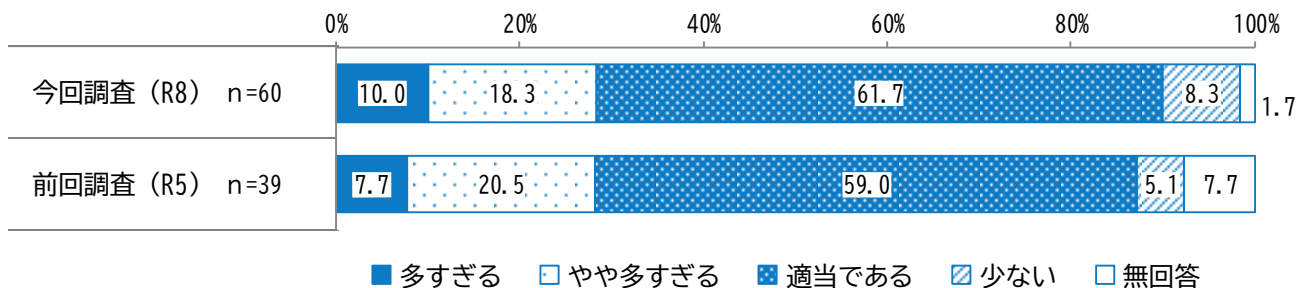
問3 令和7（2025）年12月1日現在、あなたが担当している利用者数についてご記入ください。

担当している利用者数は、サービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームに居住する利用者数は「1～4人」（40.0%）が最も高く、次いで「なし（0人）」（21.7%）となっています。自宅等に居住する利用者数は「30人以上」（40.0%）が最も高く、次いで「25～29人」（11.7%）となっています。



問4 担当している利用者の人数は、適当ですか。（○印は1つだけ）

担当利用者数の評価については「適当である」（61.7%）が最も高く、『多い』（「多すぎる」「やや多すぎる」の計）は28.3%、「少ない」は8.3%となっています。

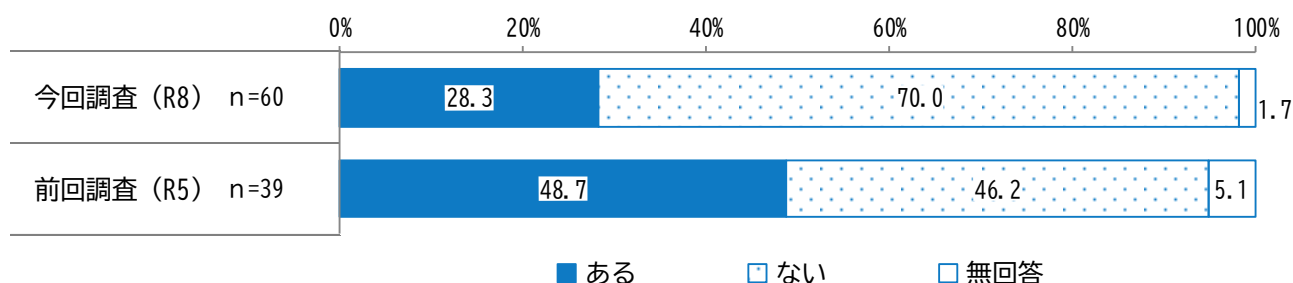


Ⅱ 調査の結果 6 ケアマネジャー調査

2-2 ケアプランの作成を断ったことについて

問5 この1年間で介護サービス計画の作成を断ったことはありますか。（○印は1つだけ）

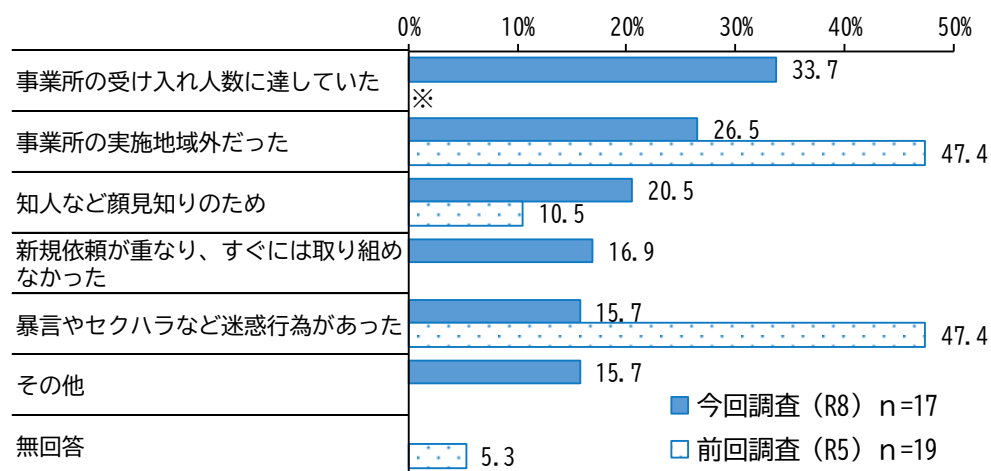
ケアプランの作成を断ったことは、「ある」が28.3%となっています。



問5で「ある」と回答した人のみ

問5-1 それはどのような理由でしたか。（○印はいくつでも）

ケアプランの作成を断った理由は、「事業所の受け入れ人数に達していた」（33.7%）が最も高く、次いで「事業所の実施地域外だった」（26.5%）となっています。

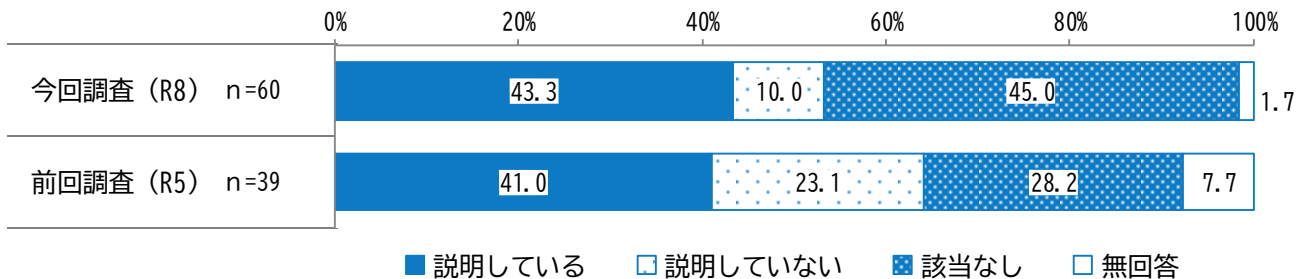


※前回調査は選択肢無し。

2-3 要介護認定区分変更申請についての説明の有無

問6 現在担当している利用者の状態が良くなった場合、変更申請するように説明していますか。（○印は1つだけ）

「説明している」が43.3%、「説明していない」が10.0%となっています。

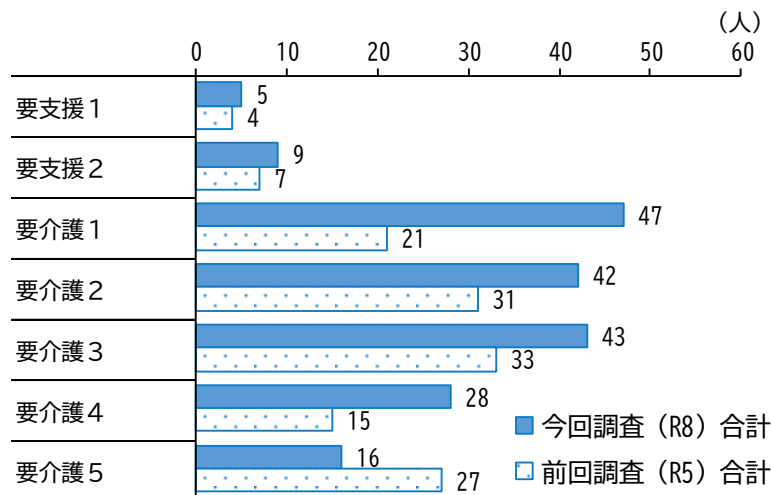


2-4 居所変更の状況

問7 利用者のうち、過去1年の間に自宅等（※サービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを除く）から居住の場所を変更した人数（要介護度別）をご記入ください。

※一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

居所を変更した人（回答の合計 190 人）を要介護度別でみると、「要介護1」（47 人）が最も多く、次いで「要介護3」（43 人）となっています。

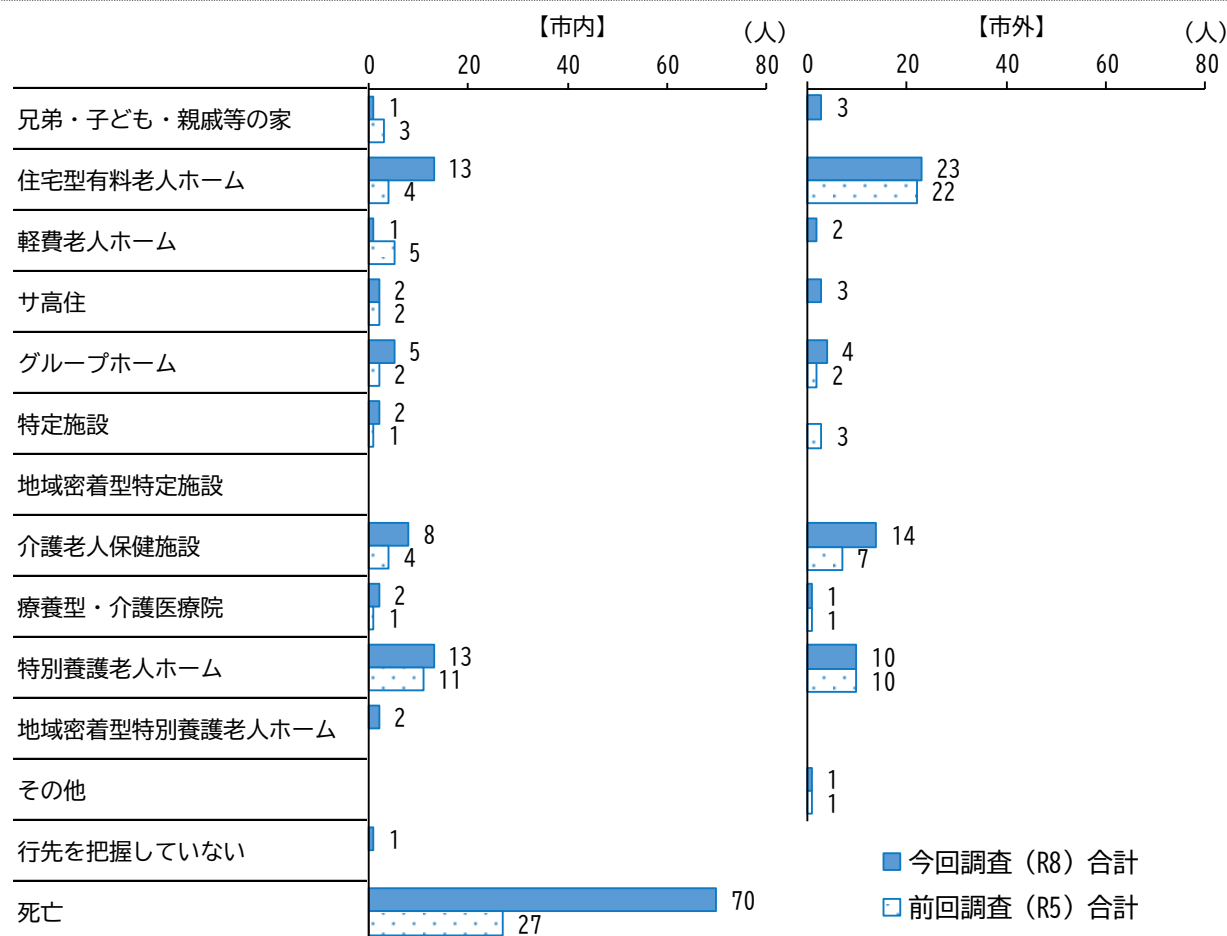


Ⅱ 調査の結果 6 ケアマネジャー調査

問8 利用者のうち、過去1年の間に自宅等（※サービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを除く）から、居住の場所を変更した人数（行き先別）をご記入ください。

※一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

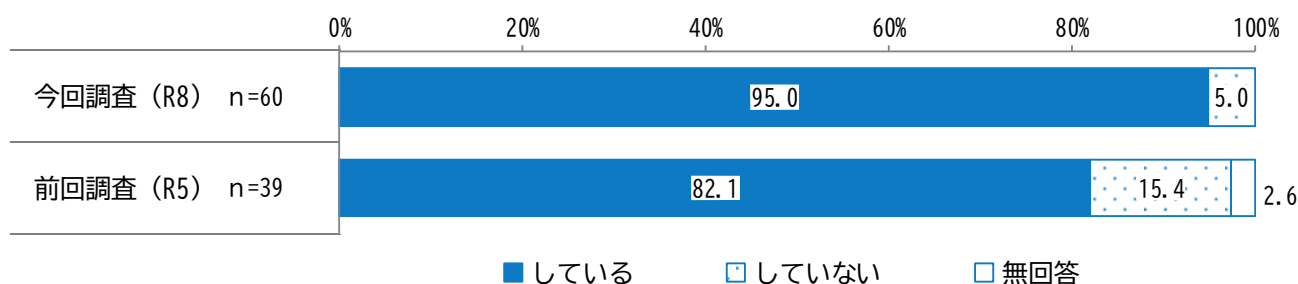
居所を変更した人（回答の合計181人）を行き先別でみると、「死亡」の70人を除いて、市内では「住宅型有料老人ホーム」「特別養護老人ホーム」（ともに13人）が最も多く、市外では「住宅型有料老人ホーム」（23人）が最も多くなっています。



2-5 ケアプランへの介護保険外サービスの加味の状況

問9 介護保険給付対象外のサービス（市が単独で行っているサービス等）も加味して、サービス計画の作成を行っていますか。（○印は1つだけ）

「している」（介護保険外サービスを加味している）が95.0%となっています。

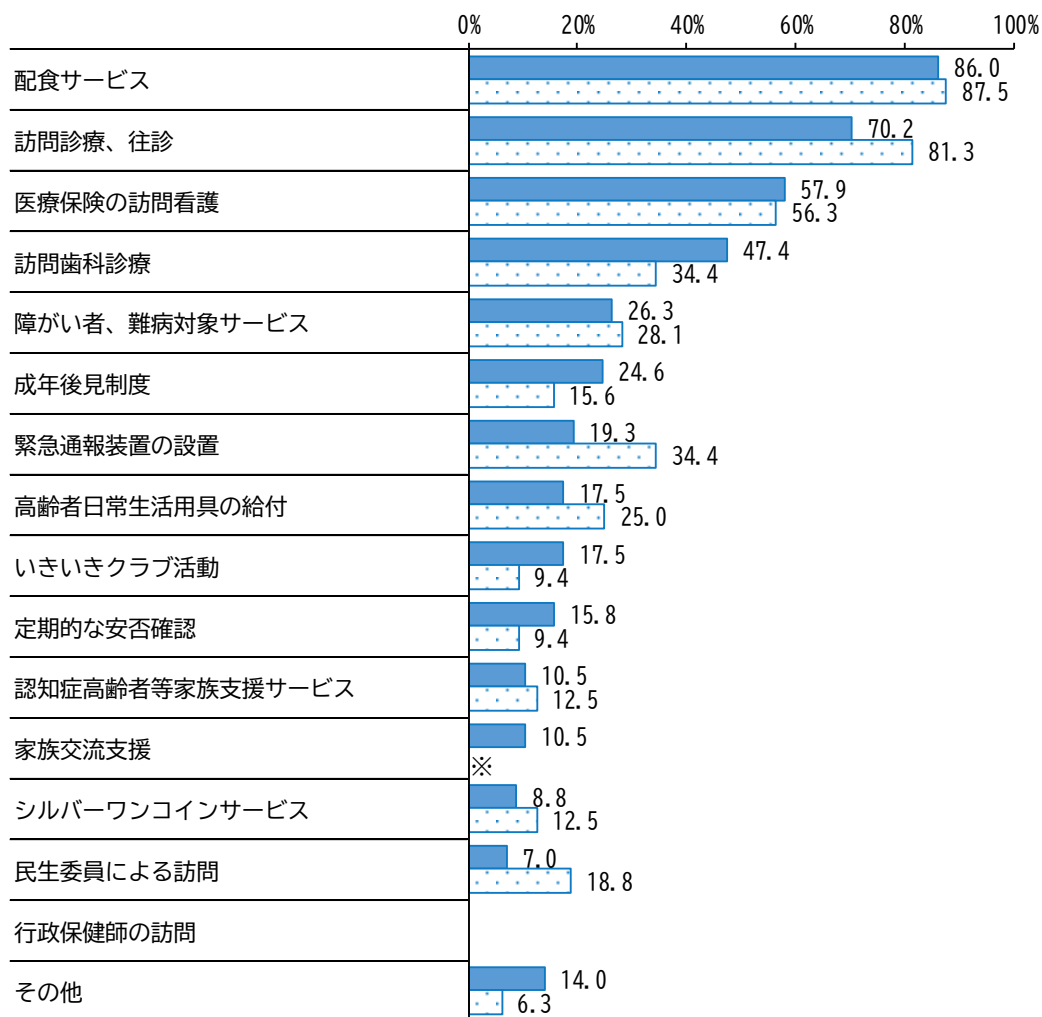


問9で「している」と回答した人のみ

問9-1 介護保険給付以外にケアプランに位置付けているサービスや支援活動の種類は何ですか。（○印はいくつでも）

ケアプランに位置付けている介護保険外のサービス・活動は、「配食サービス」（86.0%）が最も高く、次いで「訪問診療、往診」（70.2%）、「医療保険の訪問看護」（57.9%）となっています。

前回調査と比べると、「成年後見制度」が順位を上げ、「緊急通報装置の設置」「民生委員による訪問」が順位を下げています。



※前回調査は選択肢無し。他に「家族支援サービス」が21.9%、「ボランティアによるサロン活動」が9.4%。

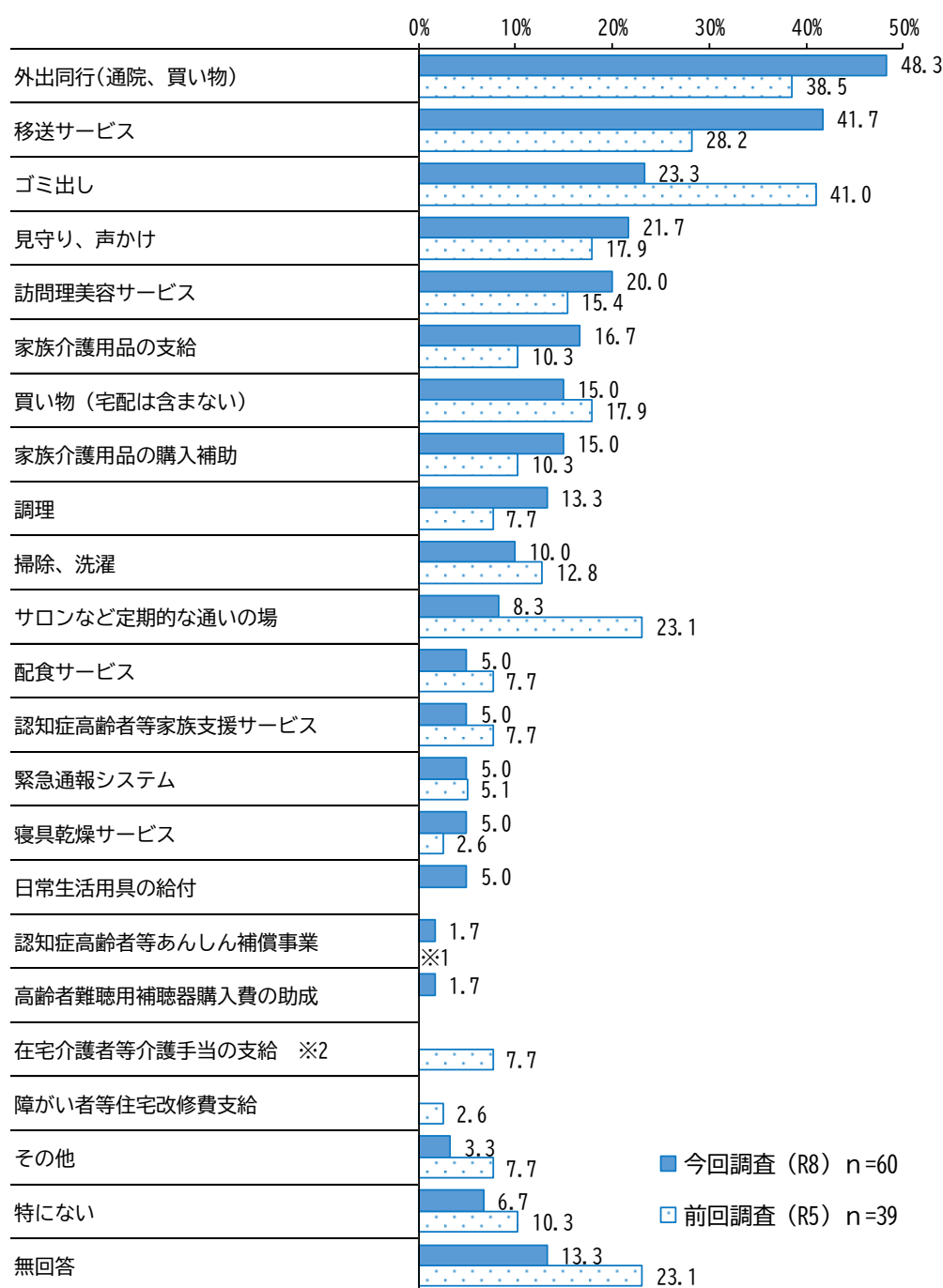
(3) 高齢者施策について

3-1 供給不足と感じている介護保険外サービス

問10 介護保険給付対象外サービス（市が単独で行っているサービス等）で、みよし市内で供給が不足していると感じるサービスはどれですか。（○印はいくつでも）

「外出同行（通院、買い物）」（48.3％）が最も高く、次いで「移送サービス」（41.7％）、「ゴミ出し」（23.3％）となっています。

前回調査と比べると、「家族介護用品の支給」が順位を上げ、「ゴミ出し」「サロンなど定期的な通いの場」が順位を下げています。



※1：前回調査は選択肢無し。他に「床ずれ防止用具等購入費等の助成」が2.6％。

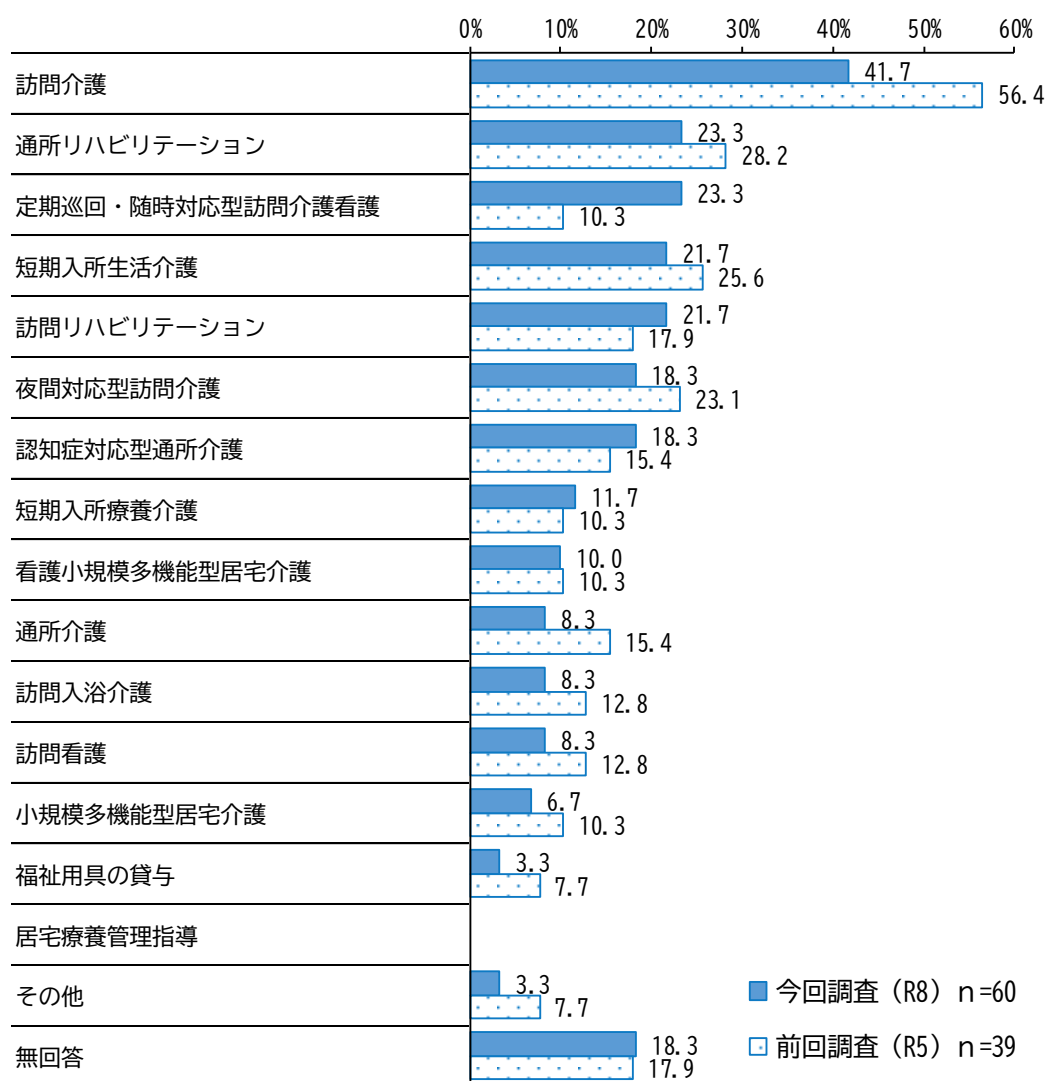
※2：前回調査では「ねたきり老人等手当の支給」。

3-2 供給不足と感じている居宅サービス

問11 介護保険対象の居宅サービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。（○印はいくつでも）

「訪問介護」（41.7%）が最も高く、次いで「通所リハビリテーション」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（ともに 23.3%）となっています。

前回調査と比べると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が順位を上げ、「通所介護」が順位を下げています。

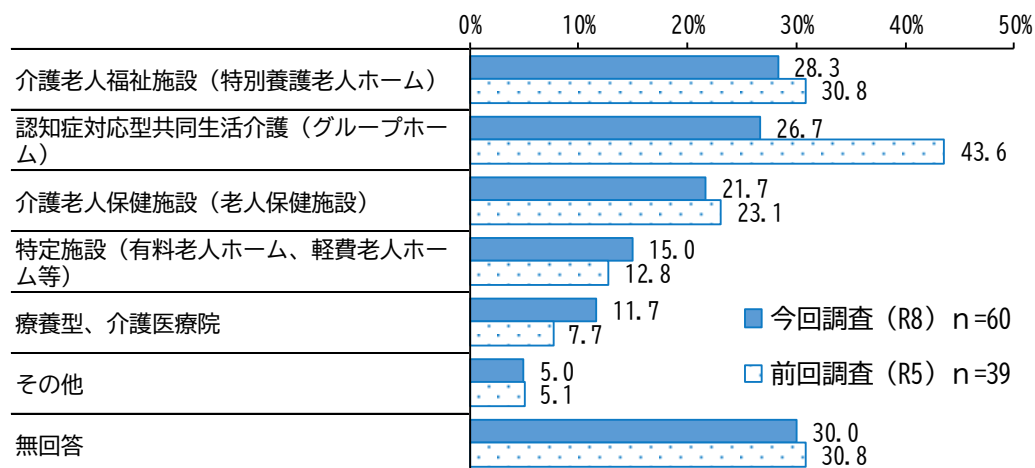


Ⅱ 調査の結果 6 ケアマネジャー調査

3-3 供給不足と感じている施設サービス

問12 介護保険対象の施設サービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。（○印はいくつでも）

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（28.3%）が最も高く、次いで「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」（26.7%）となっています。

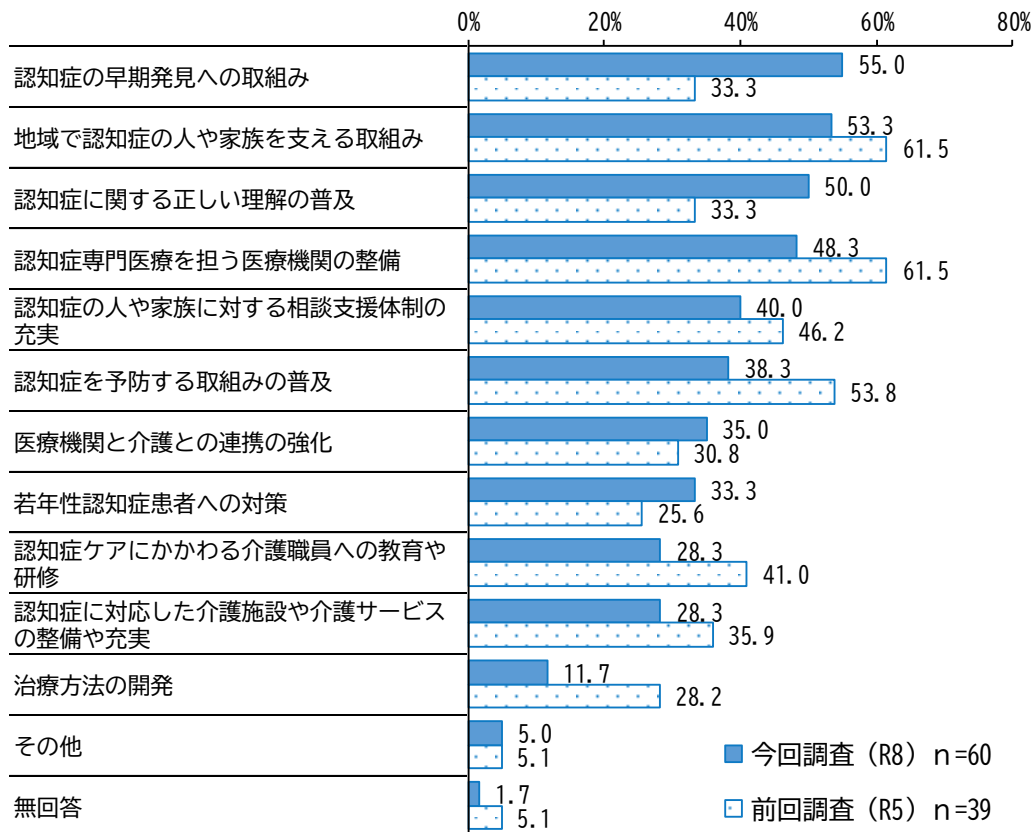


3-4 重点を置くべき認知症対策

問13 社会において、特に重点を置くべき認知症対策は何だと思いますか。（○印はいくつでも）

「認知症の早期発見への取組み」（55.0%）が最も高く、次いで「地域で認知症の人や家族を支える取組み」（53.3%）、「認知症に関する正しい理解の普及」（50.0%）となっています。

前回調査と比べると、「認知症の早期発見への取組み」「認知症に関する正しい理解の普及」「若年性認知症患者への対策」が順位を上げています。



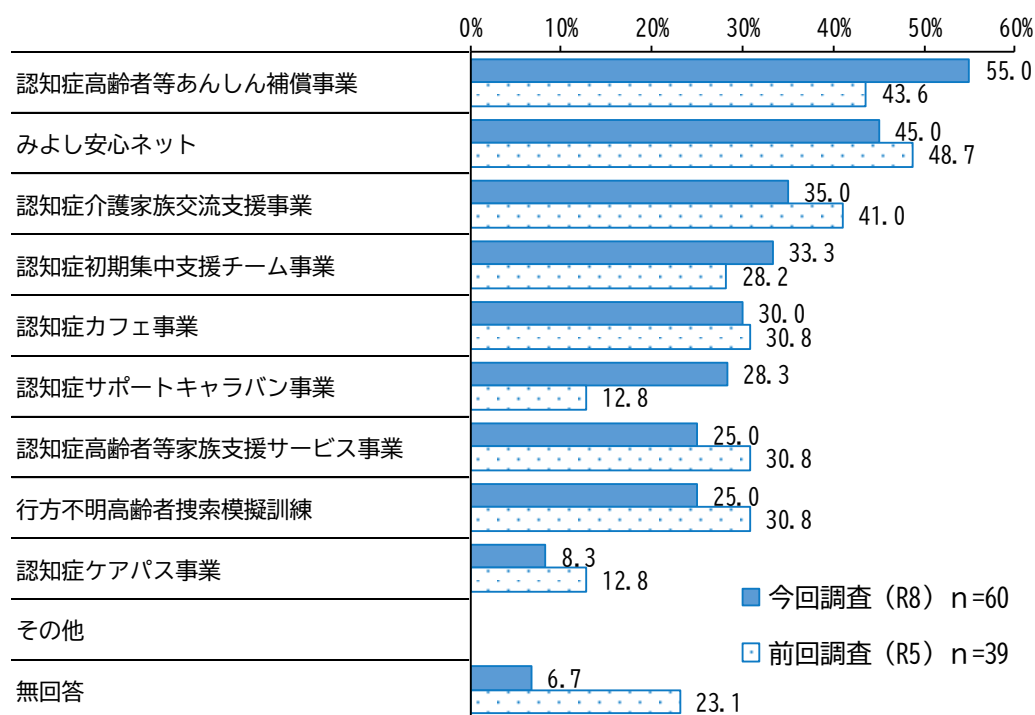
Ⅱ 調査の結果 6 ケアマネジャー調査

3-5 市の認知症高齢者事業で効果的だと思うもの

問14 市が行っている認知症高齢者に対する事業について、効果的であると思う事業は何ですか。（○印はいくつでも）

「認知症高齢者等あんしん補償事業」（55.0%）が最も高く、次いで「みよし安心ネット」（45.0%）、「認知症介護家族交流支援事業」（35.0%）となっています。

前回調査と比べると、「認知症初期集中支援チーム事業」が順位を上げています。



※前回調査では他に「回想法事業」が23.1%。

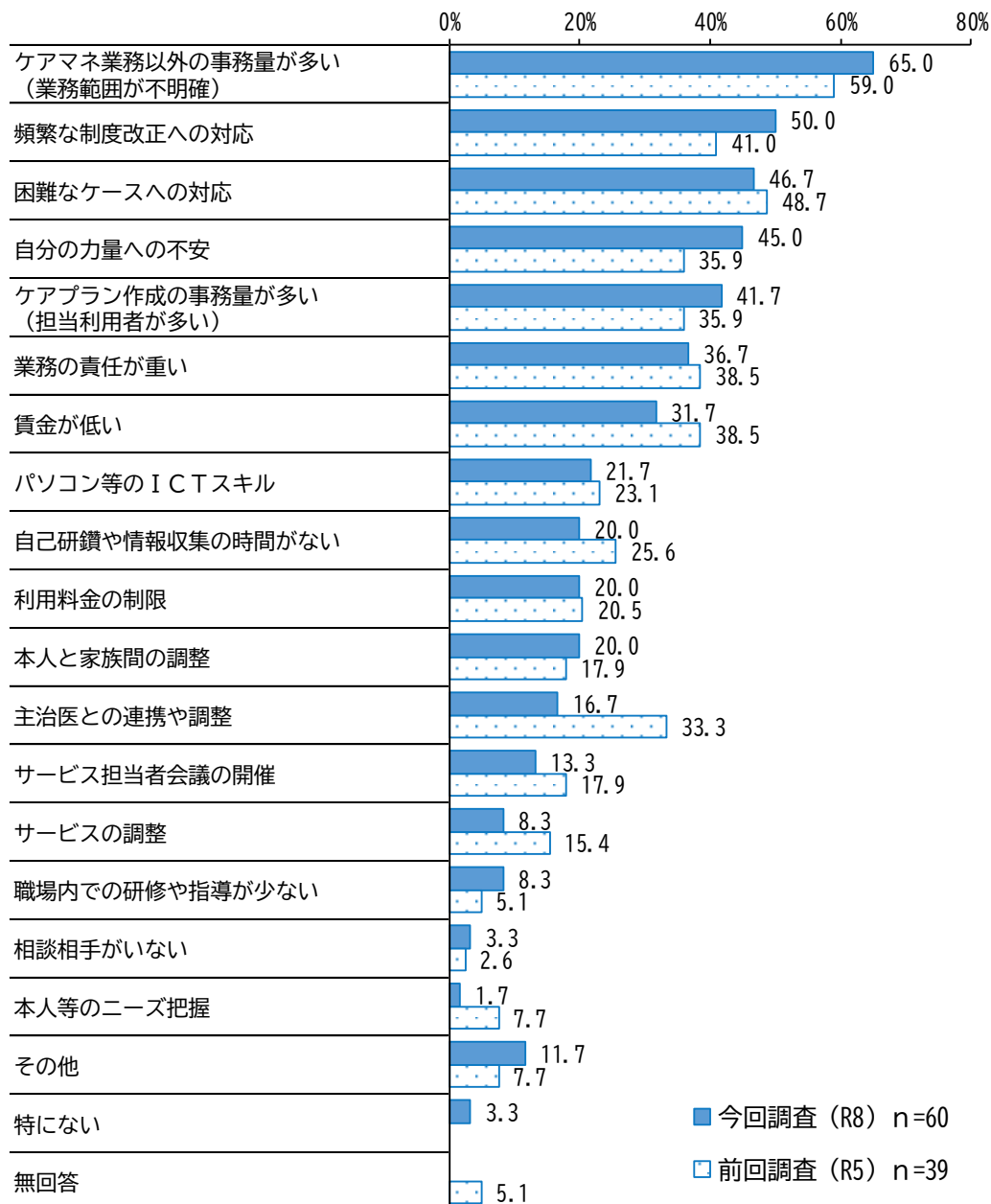
(4) ケアマネジメント業務の課題について

4-1 介護支援専門員として困っていること

問15 介護支援専門員として困っていることは何ですか。(〇印はいくつでも)

「ケアマネ業務以外の事務量が多い(業務範囲が不明確)」(65.0%)が最も高く、次いで「頻繁な制度改正への対応」(50.0%)、「困難なケースへの対応」(46.7%)となっています。

前回調査と比べると、「自分の力量への不安」「パソコン等のICTスキル」が順位を上げ、「賃金が低い」「主治医との連携や調整」が順位を下げています。



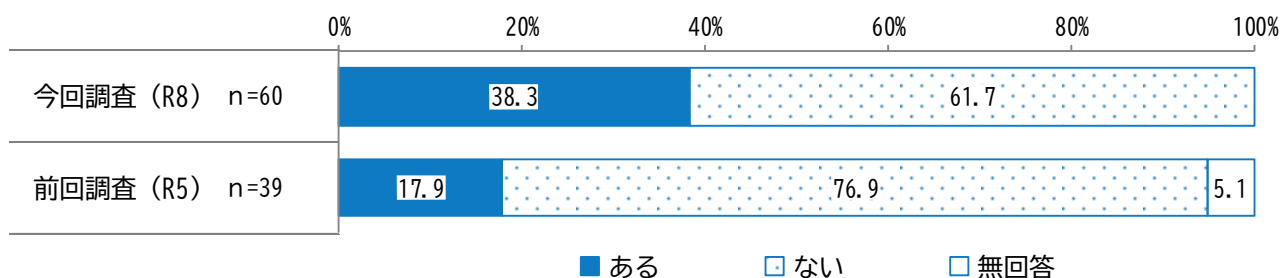
Ⅱ 調査の結果 6 ケアマネジャー調査

4-2 利用者からの苦情について

問16 この1年間で利用者から苦情を受けたことがありますか。（○印は1つだけ）

「ある」（苦情を受けたことがある）が 38.3%となっています。

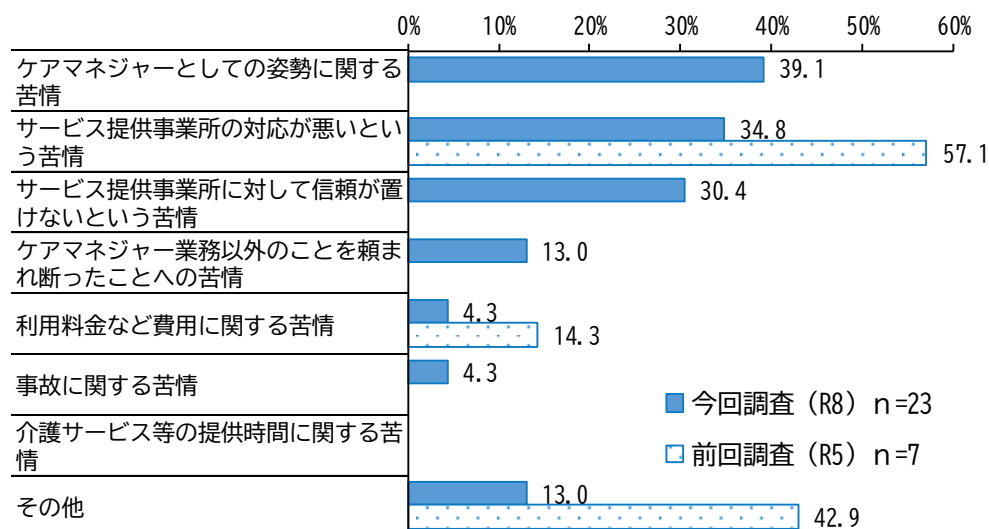
前回調査と比べると、「ある」が 20.4 ポイント上昇しています。



問16で「ある」と回答した人のみ

問16-1 どういった苦情を受けたことがありますか。（○印はいくつでも）

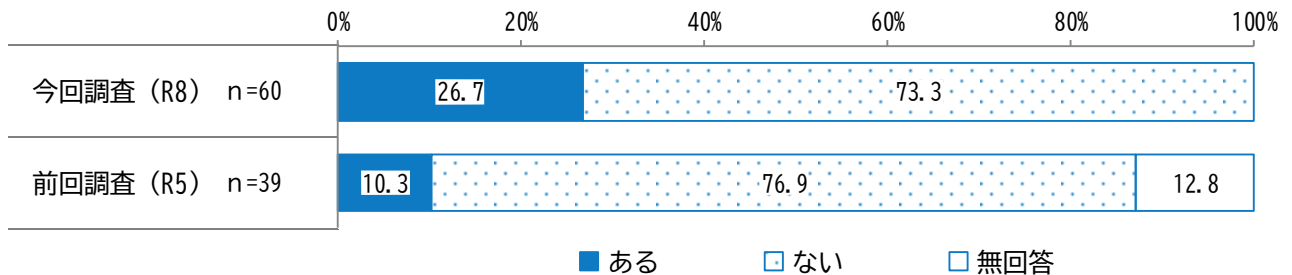
苦情の内容は、「ケアマネジャーとしての姿勢に関する苦情」（39.1%）が最も高く、次いで「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」（34.8%）となっています。



4-3 高齢者虐待の事例について

問17 あなたが受けもっている利用者の中で、この1年間で高齢者虐待を受けているか、またはを受けていると思われる事例がありましたか。（○印は1つだけ）

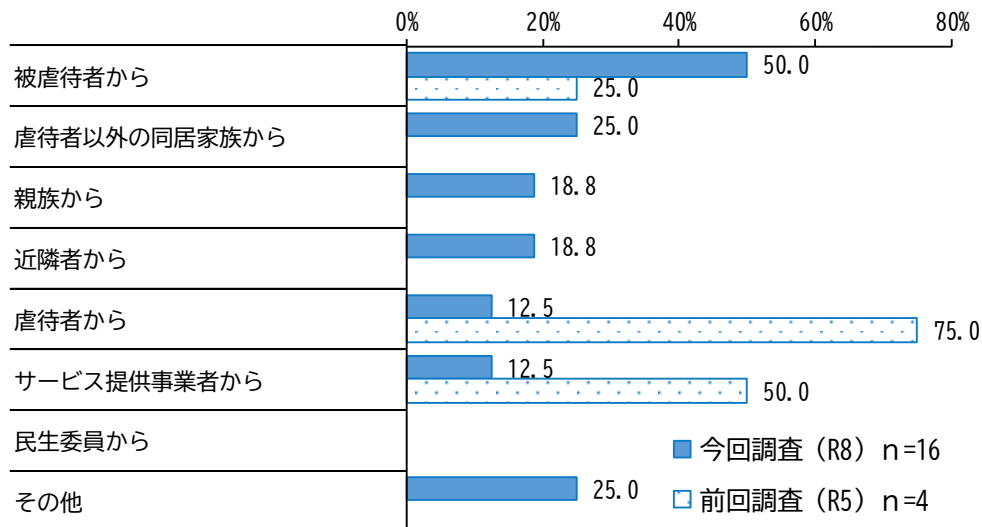
担当利用者における高齢者虐待の事例は、「ある」が26.7%となっています。
 前回調査と比べると、「ある」は16.4ポイント上昇しています。



問17で「ある」と回答した人のみ

問17-1 どこから虐待を発見しましたか。（○印はいくつでも）

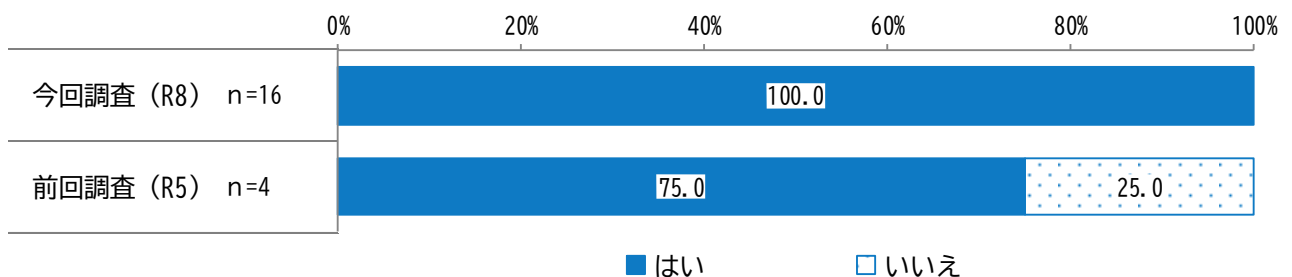
虐待の発見者は、「被虐待者から」(50.0%)が最も高く、次いで「虐待者以外の同居家族から」(25.0%)となっています。



問17で「ある」と回答した人のみ

問17-2 その時に、関係機関に相談・通報しましたか。（○印は1つだけ）

虐待発見時の相談・通報は、「はい」(相談・通報した)が100.0%となっています。

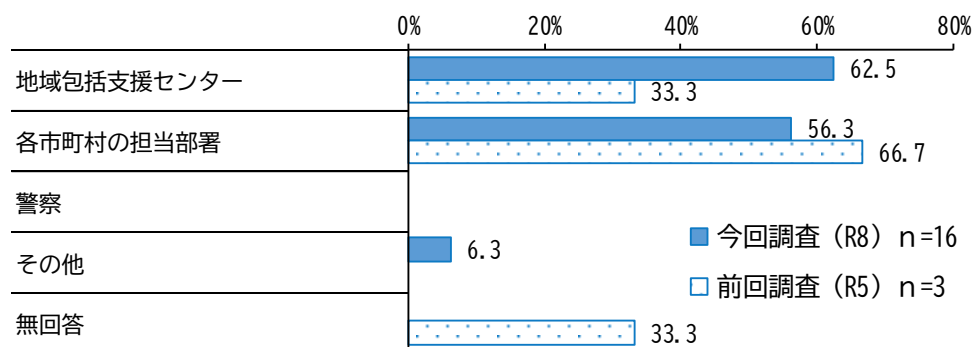


Ⅱ 調査の結果 6 ケアマネジャー調査

問17-2で「はい」と回答した人のみ

問17-3 相談、通報先はどこですか。（〇印はいくつでも）

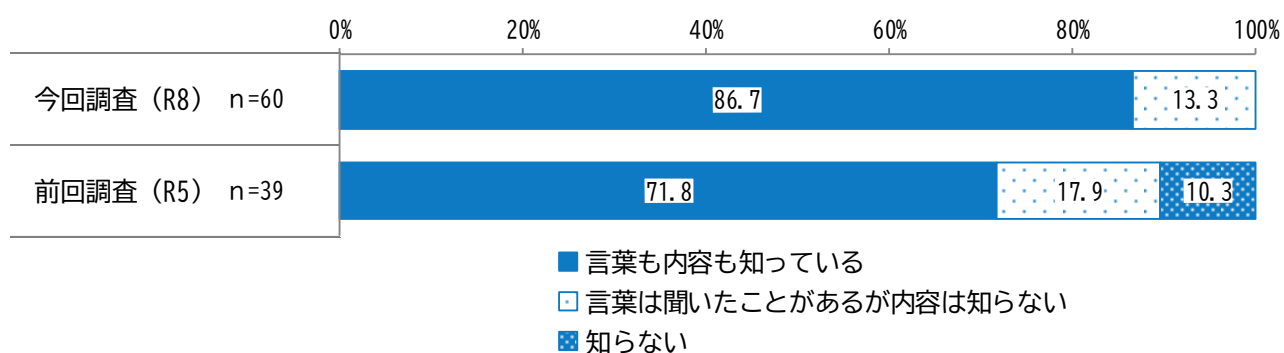
相談・通報先は、「地域包括支援センター」（62.5%）が最も高く、次いで「各市町村の担当部署」（56.3%）となっています。



4-4 人生会議の認知度

問18 あなたは、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）という言葉について、知っていますか。（〇印は1つだけ）

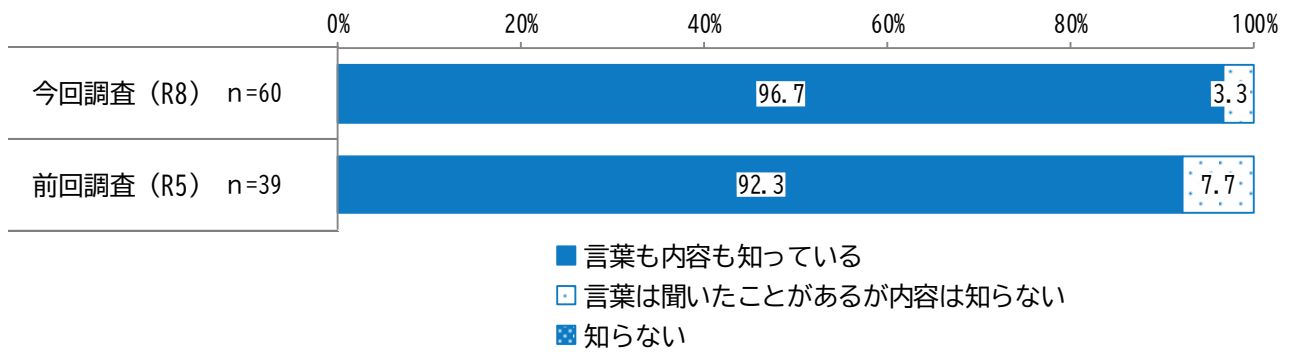
「言葉も内容も知っている」（86.7%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は 100.0%となっています。



4-5 エンディングノートの認知度

問19 あなたは、「エンディングノート」について、知っていますか。（○印は1つだけ）

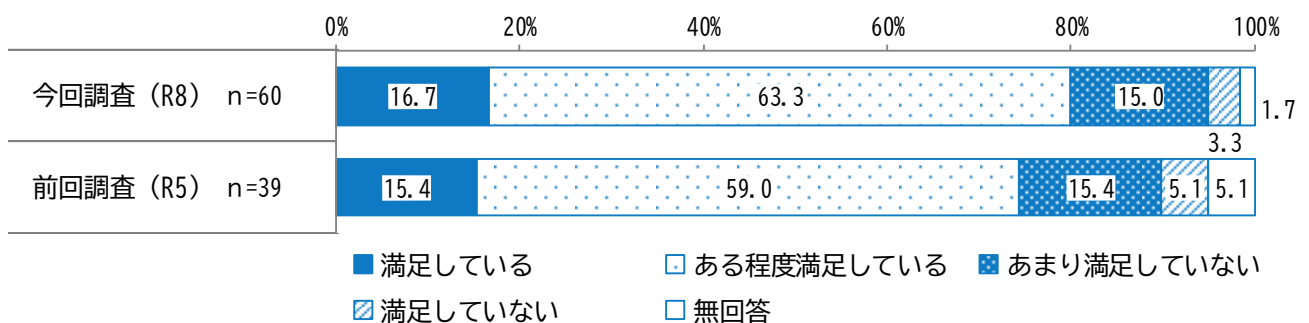
「言葉も内容も知っている」（96.7%）が最も高く、『言葉は知っている』（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の計）は 100.0%となっています。



4-6 ケアマネジャーの仕事について

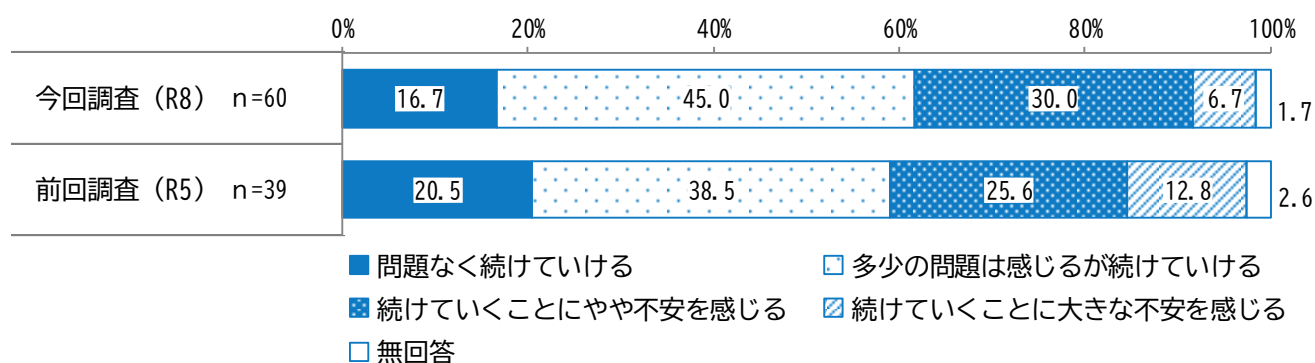
問20 ケアマネジャーとして仕事に満足していますか。（○印は1つだけ）

ケアマネジャーとしての仕事の満足度は、「ある程度満足している」（63.3%）が最も高く、『満足している』（「満足している」「ある程度満足している」の計）は 80.0%、『満足していない』（「満足していない」「あまり満足していない」の計）は 18.3%となっています。



問21 引き続きケアマネジャーとして働くことをどう思いますか。（○印は1つだけ）

ケアマネジャーとしての就労継続の可否に係る意識は、「多少の問題は感じるが続けていける」（45.0%）が最も高く、『続けていける』（「問題なく続けていける」「多少の問題は感じるが続けていける」の計）は 61.7%、『続けていくことに不安を感じる』（「続けていくことに大きな不安を感じる」「続けていくことにやや不安を感じる」の計）は 36.7%となっています。



4-7 第9期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画の認知度

問22 令和5（2023）年3月にみよし市が策定した第9期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画の内容をご存じですか。（○印は1つだけ）

「計画があることは知っているが、内容までは知らない」（60.0%）が最も高く、『あることは知っている』（「計画の概要は知っている」「計画があることは知っているが、内容までは知らない」の計）は 85.0%、「計画があることも知らない」は 15.0%となっています。

前回調査と比べると、『あることは知っている』（77.0%→85.0%）は 8.0 ポイント上昇しています。

